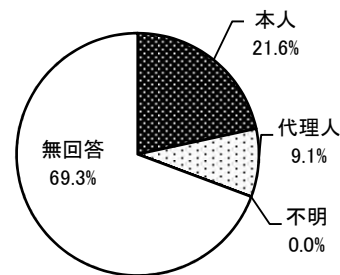


配布数	有効回答数	有効回答率
375	264	70.4%

属性1 アンケートにお答えになる方 (単数回答 n=264)

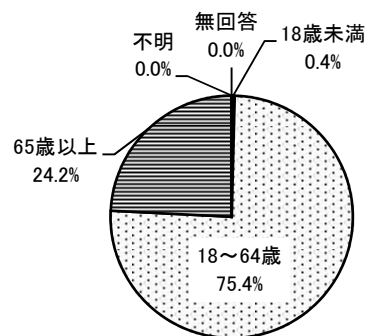
項目	人数	%
本人	57	21.6%
代理人	24	9.1%
不明	0	0.0%
無回答	183	69.3%
合計	264	100.0%



n=264

属性2 年齢 平成30年7月1日現在 (単数回答 n=264)

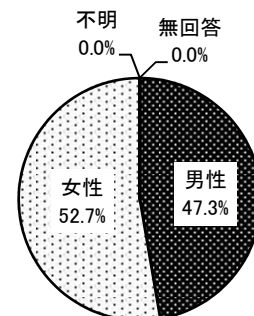
年代	人数	%
18歳未満	1	0.4%
18～64歳	199	75.4%
65歳以上	64	24.2%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	264	100.0%



n=264

属性3 性別 (単数回答 n=264)

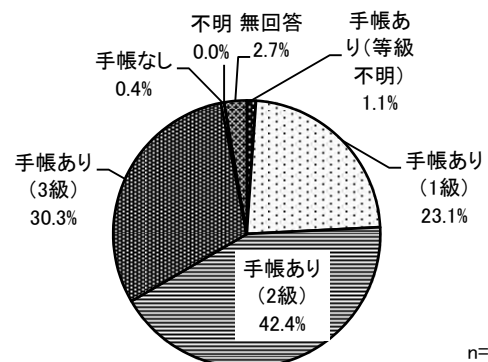
性別	人数	%
男性	125	47.3%
女性	139	52.7%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	264	100.0%



n=264

属性4 精神障がい者保険福祉手帳の有無・等級 (単数回答 n=264)

手帳の有無・等級	人数	%
手帳あり (等級不明)	3	1.1%
手帳あり (1級)	61	23.1%
手帳あり (2級)	112	42.4%
手帳あり (3級)	80	30.3%
手帳なし	1	0.4%
不明	0	0.0%
無回答	7	2.7%
合計	264	100.0%

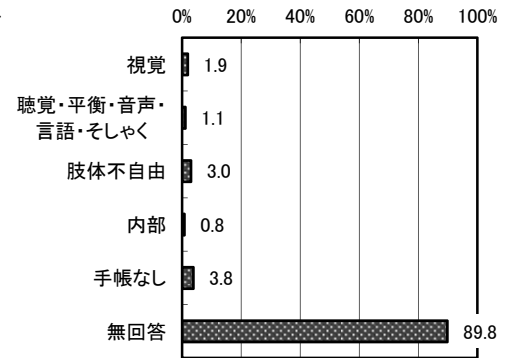


n=264

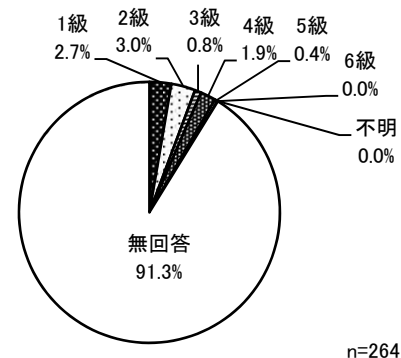
属性 5 身体障がいの種類・部位（複数回答 n=264）

種類・部位	人数	%
視覚	5	1.9%
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	3	1.1%
肢体不自由	8	3.0%
内部（心臓・腎臓など）	2	0.8%
手帳なし	10	3.8%
無回答	237	89.8%
合計	264	

n=264


属性 6 身体障がい者手帳の総合等級（単数回答 n=264）

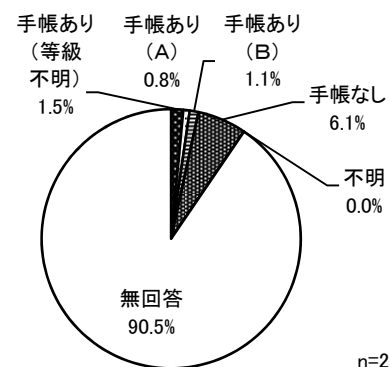
等級	人数	%
1級	7	2.7%
2級	8	3.0%
3級	2	0.8%
4級	5	1.9%
5級	1	0.4%
6級	0	0.0%
不明	0	0.0%
無回答	241	91.3%
合計	264	100.0%



n=264

属性 7 療育手帳の有無・等級（単数回答 n=264）

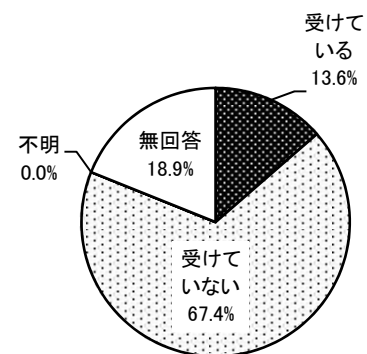
手帳の有無・等級	人数	%
手帳あり（等級不明）	4	1.5%
手帳あり（A）	2	0.8%
手帳あり（B）	3	1.1%
手帳なし	16	6.1%
不明	0	0.0%
無回答	239	90.5%
合計	264	100.0%



n=264

属性 8 介護保険のサービス利用（単数回答 n=264）

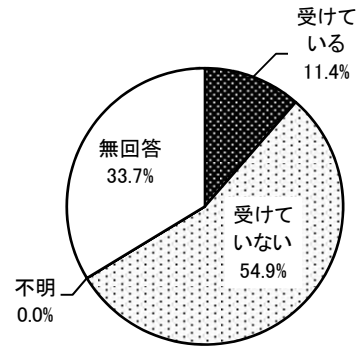
項目	人数	%
受けている	36	13.6%
受けていない	178	67.4%
不明	0	0.0%
無回答	50	18.9%
合計	264	100.0%



n=264

属性 9 障がい支援区分の認定 (単数回答 n=264)

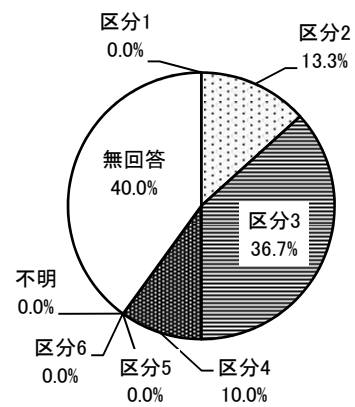
項目	人数	%
受けている	30	11.4%
受けていない	145	54.9%
不明	0	0.0%
無回答	89	33.7%
合計	264	100.0%



n=264

属性 10 障がい支援区分のレベル (単数回答 n=30)

障がい支援区分	人数	%
区分1	0	0.0%
区分2	4	13.3%
区分3	11	36.7%
区分4	3	10.0%
区分5	0	0.0%
区分6	0	0.0%
不明	0	0.0%
無回答	12	40.0%
合計	30	100.0%



n=30

【生活の状況】

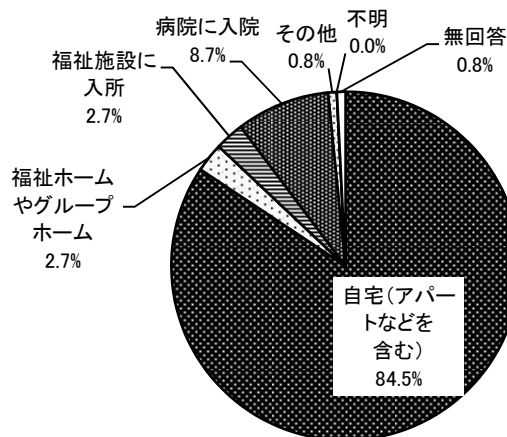
現在暮らしている場所は、「自宅（アパートなどを含む）」が 84.5%と最も高く、次いで「病院に入院」が 8.7%、「福祉ホームやグループホーム」及び「福祉施設に入所」が 2.7%となった。家族構成については、「二世世代世帯（親・子）」が 47.3%と最も高く、次いで「一人暮らし」が 25.0%、「三世世代世帯（親・子・孫）」が 9.8%となった。

月収（年金、福祉手当、生活保護や仕送りも含む）は、「5 万円～10 万円未満」が 41.7%と最も高く、次いで「10 万円～20 万円未満」が 31.4%、「20 万円以上」が 7.6%となり、『10 万円未満』が 49.7%と概ね過半数を占めている。また、収入がある人に主な収入源について尋ねたところ、「障がい年金（国民・厚生・共済など）」が 71.8%と最も高く 7 割以上を占め、次いで「本人の就労収入（工賃を含む）」が 25.2%、「障がい年金以外の公的年金（遺族年金など）（国民・厚生・共済など）」が 15.4%となっている。

問 1 あなたは現在どこで暮らしていますか。（単数回答 n=264）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自宅（アパートなどを含む）	223	84.5%	0	0.0%	178	89.4%	45	70.3%
2 福祉ホームやグループホーム	7	2.7%	0	0.0%	6	3.0%	1	1.6%
3 福祉施設に入所	7	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	10.9%
4 病院に入院	23	8.7%	0	0.0%	12	6.0%	11	17.2%
5 その他	2	0.8%	1	100.0%	1	0.5%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.8%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

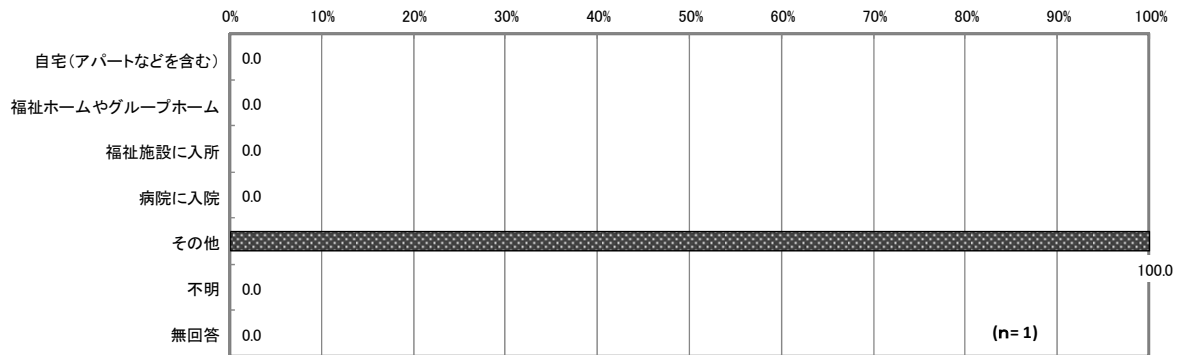
5 その他：主な内訳 学校の寮（1）実家（1）



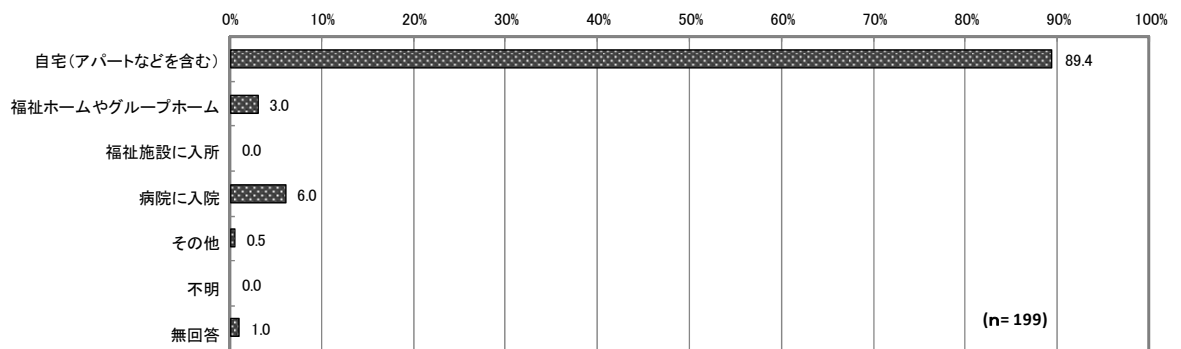
n=264

【年代別】

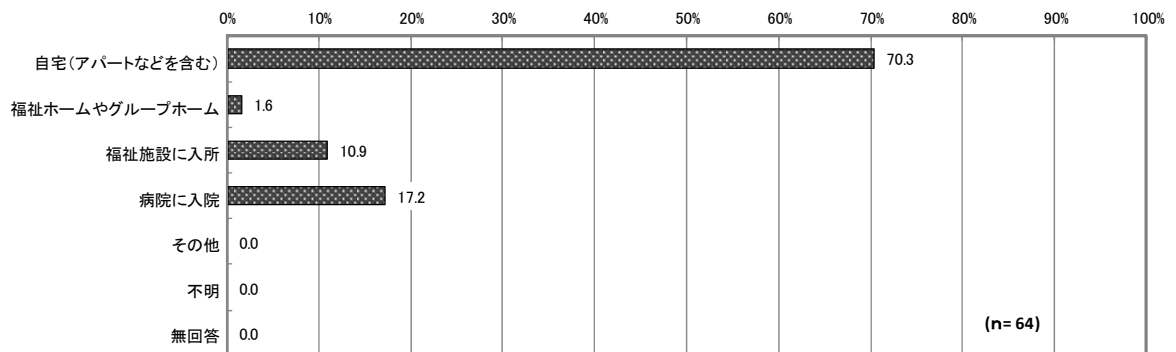
《18 歳未満》



《18～64 歳》



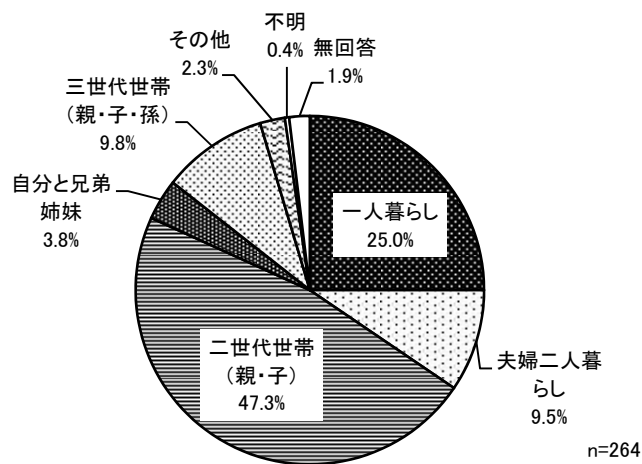
《65 歳以上》



問2 あなたの家族構成をお答えください。施設入所・入院の方は、自宅（実家）の状態をお答えください。（単数回答 n=264）

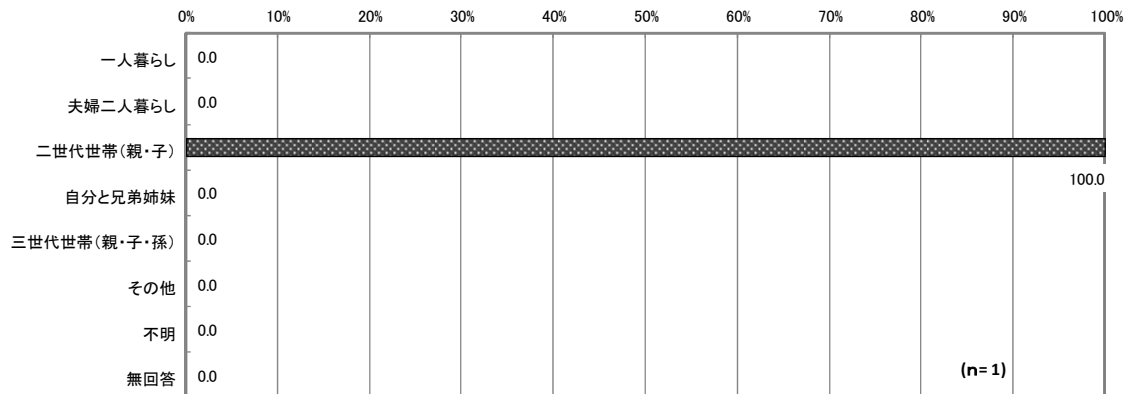
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 一人暮らし	66	25.0%	0	0.0%	36	18.1%	30	46.9%
2 夫婦二人暮らし	25	9.5%	0	0.0%	13	6.5%	12	18.8%
3 二世世代世帯（親・子）	125	47.3%	1	100.0%	114	57.3%	10	15.6%
4 自分と兄弟姉妹	10	3.8%	0	0.0%	5	2.5%	5	7.8%
5 三世世代世帯（親・子・孫）	26	9.8%	0	0.0%	23	11.6%	3	4.7%
6 その他	6	2.3%	0	0.0%	4	2.0%	2	3.1%
不明	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
無回答	5	1.9%	0	0.0%	4	2.0%	1	1.6%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

6 その他：主な内訳 グループホームで4名（2）核家族（1）姪夫婦とその子供（1）義妹一人暮らし（1）

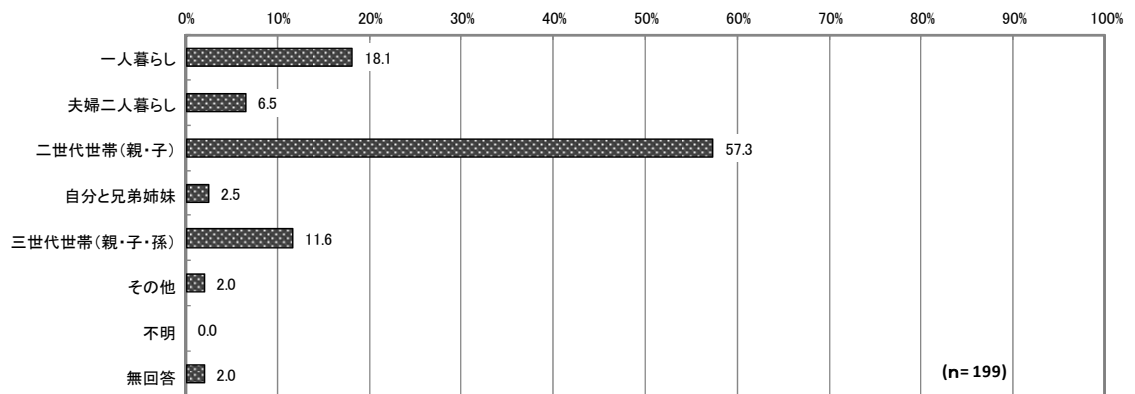


【年代別】

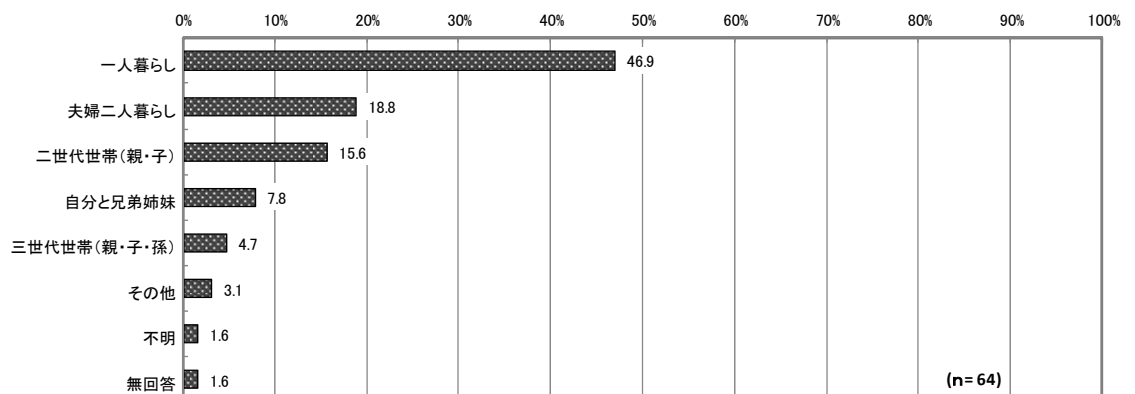
《18 歳未満》



《18～64 歳》

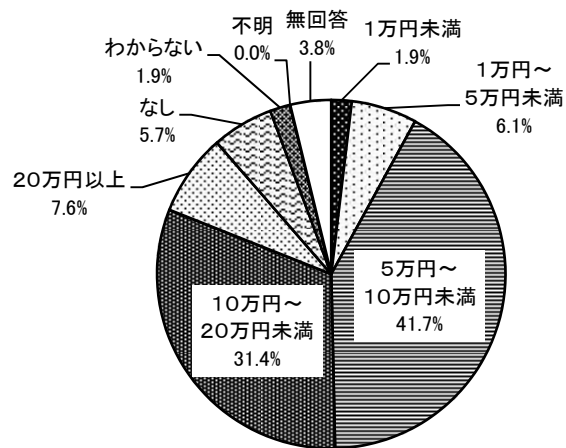


《65 歳以上》



問3 あなたの月収は（年金、福祉手当、生活保護や仕送りも含む）どのくらいですか。税や社会保険料等の控除前の額をお答えください。（単数回答 n=264）

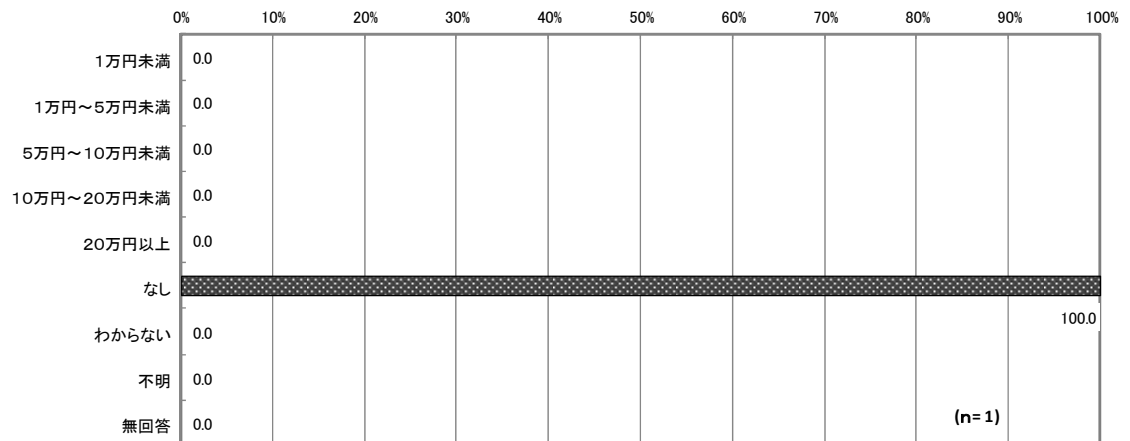
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 1万円未満	5	1.9%	0	0.0%	4	2.0%	1	1.6%
2 1万円～5万円未満	16	6.1%	0	0.0%	11	5.5%	5	7.8%
3 5万円～10万円未満	110	41.7%	0	0.0%	85	42.7%	25	39.1%
4 10万円～20万円未満	83	31.4%	0	0.0%	58	29.1%	25	39.1%
5 20万円以上	20	7.6%	0	0.0%	16	8.0%	4	6.3%
6 なし	15	5.7%	1	100.0%	14	7.0%	0	0.0%
7 わからない	5	1.9%	0	0.0%	5	2.5%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	3.8%	0	0.0%	6	3.0%	4	6.3%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



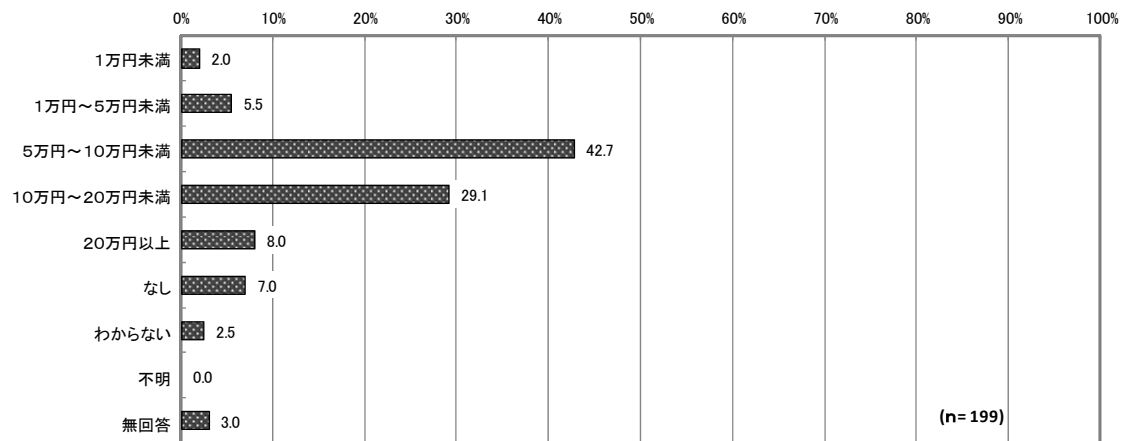
n=264

【年代別】

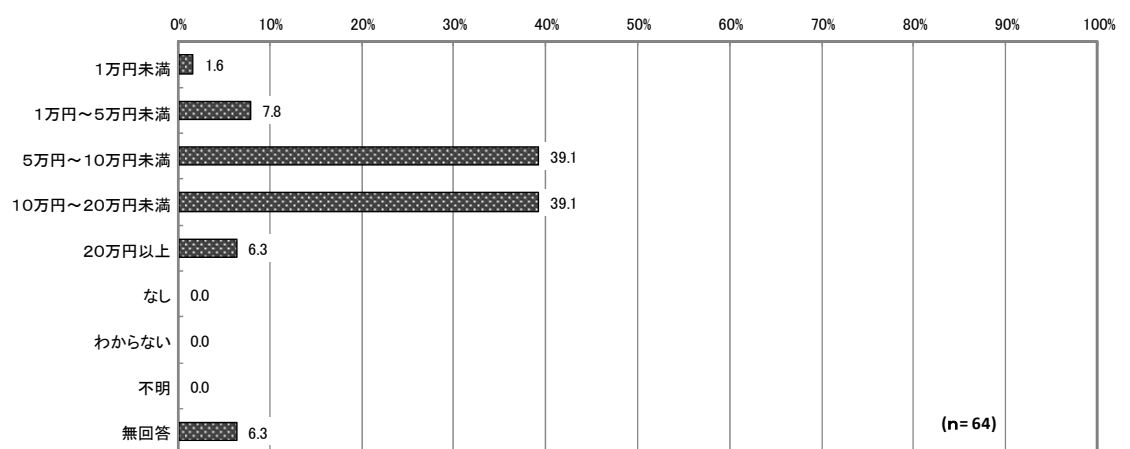
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

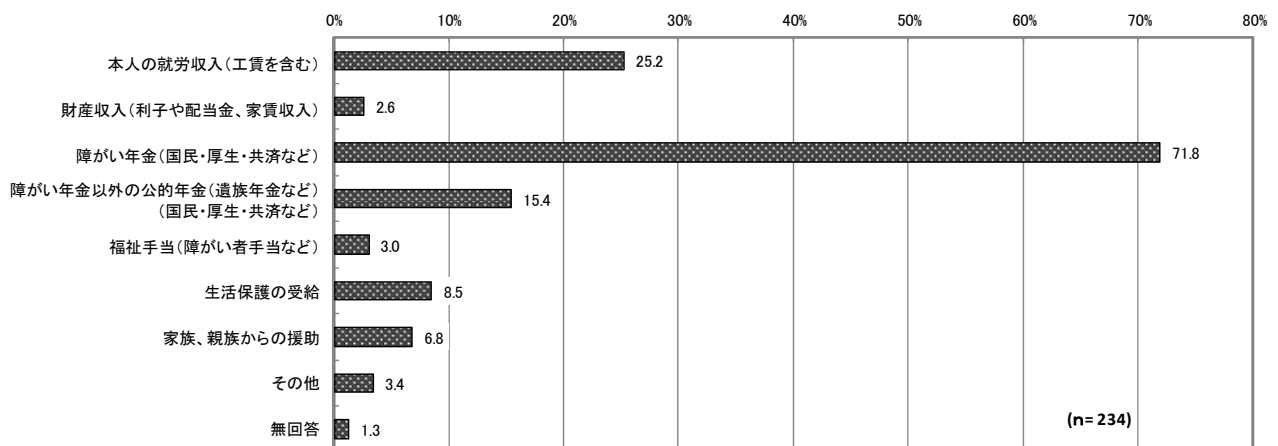


問4 問3で「1～5」を回答した方におたずねします。あなたの主な収入源はどれですか。

(複数回答 n=234)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 本人の就労収入（工賃を含む）	59	25.2%	0	0.0%	56	32.2%	3	5.0%
2 財産収入（利子や配当金、家賃収入）	6	2.6%	0	0.0%	4	2.3%	2	3.3%
3 障がい年金（国民・厚生・共済など）	168	71.8%	0	0.0%	134	77.0%	34	56.7%
4 障がい年金以外の公的年金（遺族年金など） （国民・厚生・共済など）	36	15.4%	0	0.0%	8	4.6%	28	46.7%
5 福祉手当（障がい者手当など）	7	3.0%	0	0.0%	5	2.9%	2	3.3%
6 生活保護の受給	20	8.5%	0	0.0%	15	8.6%	5	8.3%
7 家族、親族からの援助	16	6.8%	0	0.0%	14	8.0%	2	3.3%
8 その他	8	3.4%	0	0.0%	7	4.0%	1	1.7%
無回答	3	1.3%	0	0.0%	2	1.1%	1	1.7%
合計	234		0		174		60	

8 その他：主な内訳 失業手当（2）生命保険会社の個人年金（1）障害特別給付金（1）雇用保険（1）
傷病手当（1）障がい年金は親が管理しているため収入にならない（1）

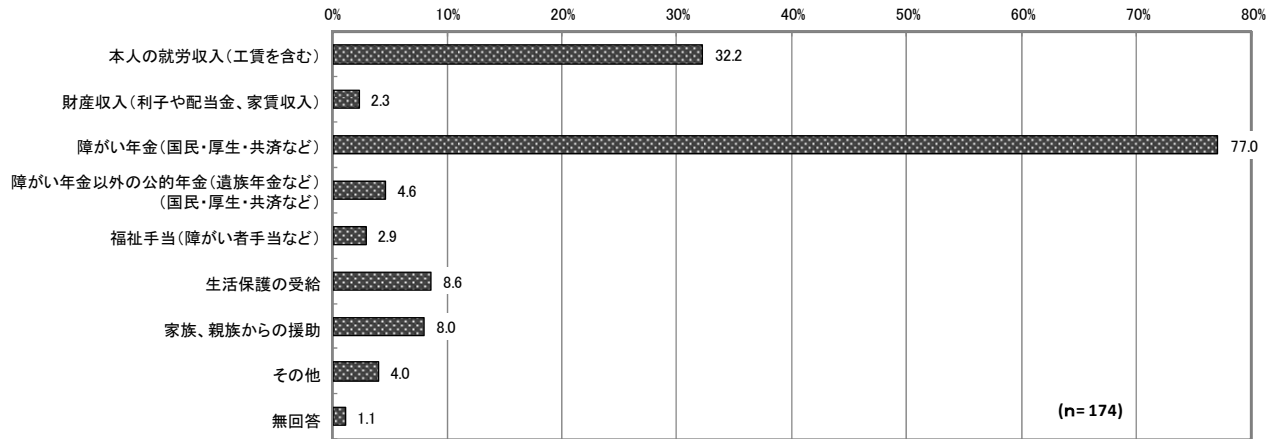


【年代別】

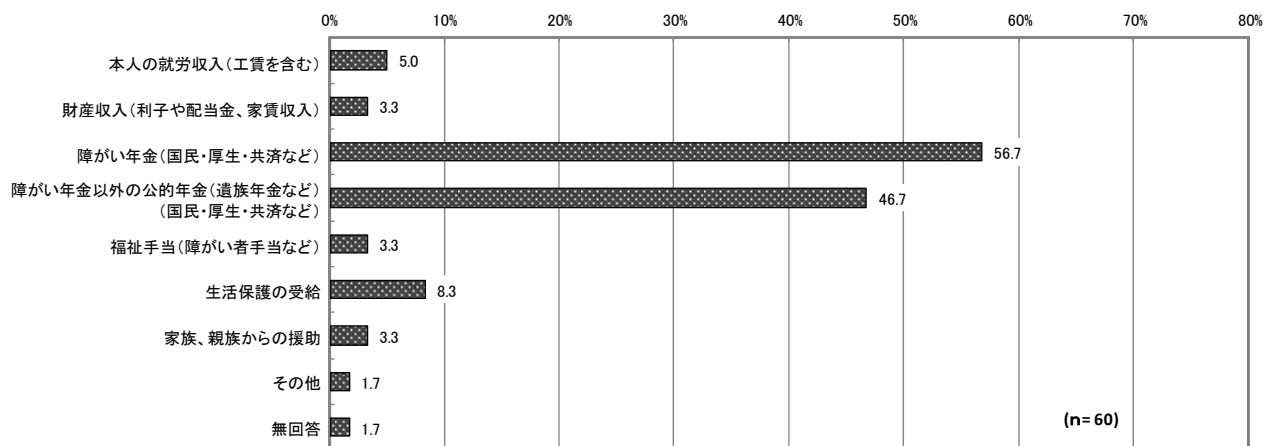
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》



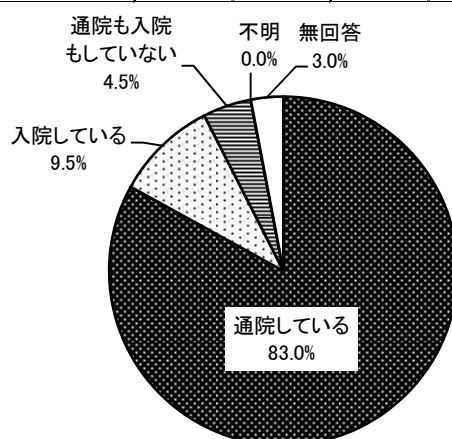
【障がいの状況】

現在の精神科・神経科などへの入院・通院の状況は、「通院している」が83.0%と最も高く8割以上を占め、次いで「入院している」が9.5%、「通院も入院もしていない」が4.5%となっている。通院している人に通院頻度を尋ねたところ、「月1回程度」が52.5%と最も高く、次いで「2～3週間に1回程度」が21.9%、「2か月～5か月に1回程度」が10.5%となった。また、入院している人に退院できる条件を尋ねたところ、「病気が良くなること」が64.0%と最も高く、次いで「退院後の生活の支援をしてもらえること」が40.0%、「退院後に住む場所があること」及び「自立するための資金や収入があること」が24.0%となっている。

初めて病院に通院してから、病気（精神障がい）を自分で受け入れられるまでの期間は、「初診からまもなく」が25.4%と最も高く、次いで「10年以上」が18.6%、「5年以内」が13.6%となった。

問5 現在の精神科・神経科などへの入院・通院の状況をお答えください。（単数回答 n=264）

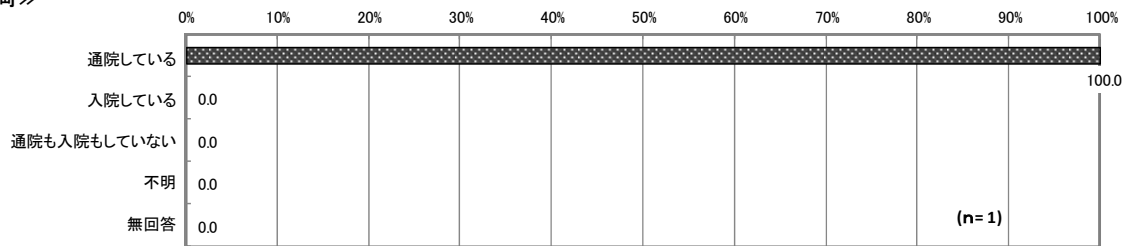
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 通院している	219	83.0%	1	100.0%	173	86.9%	45	70.3%
2 入院している	25	9.5%	0	0.0%	13	6.5%	12	18.8%
3 通院も入院もしていない	12	4.5%	0	0.0%	8	4.0%	4	6.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	3.0%	0	0.0%	5	2.5%	3	4.7%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



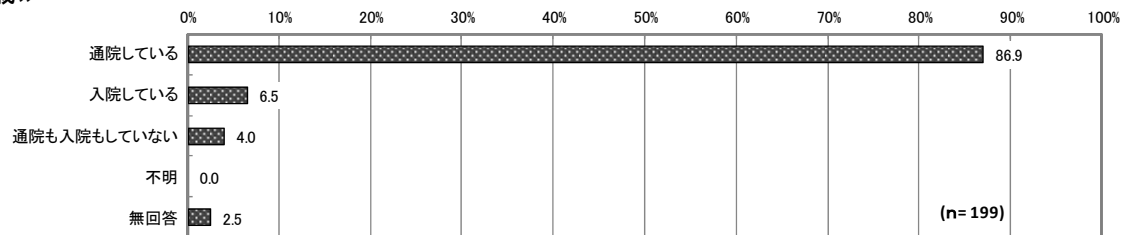
n=264

【年代別】

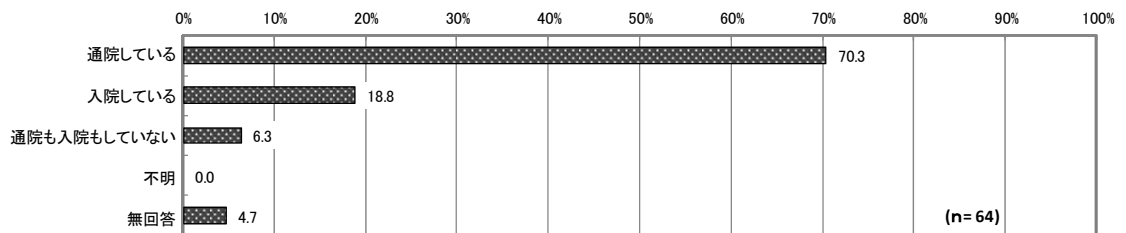
《18 歳未満》



《18～64 歳》



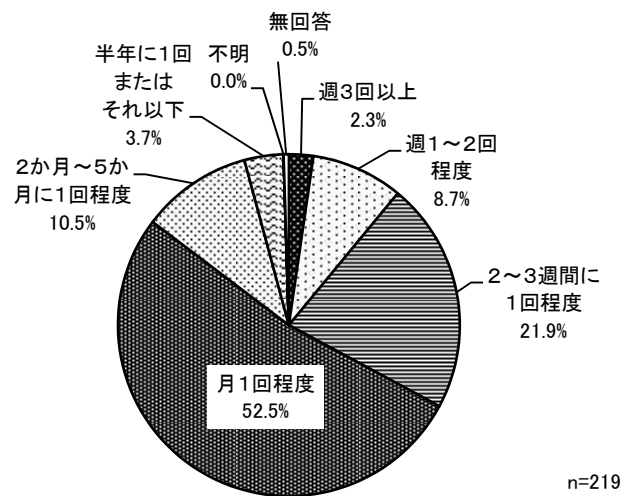
《65 歳以上》



問6 問5で「1」を回答した方におたずねします。あなたの通院の頻度はどのくらいですか。

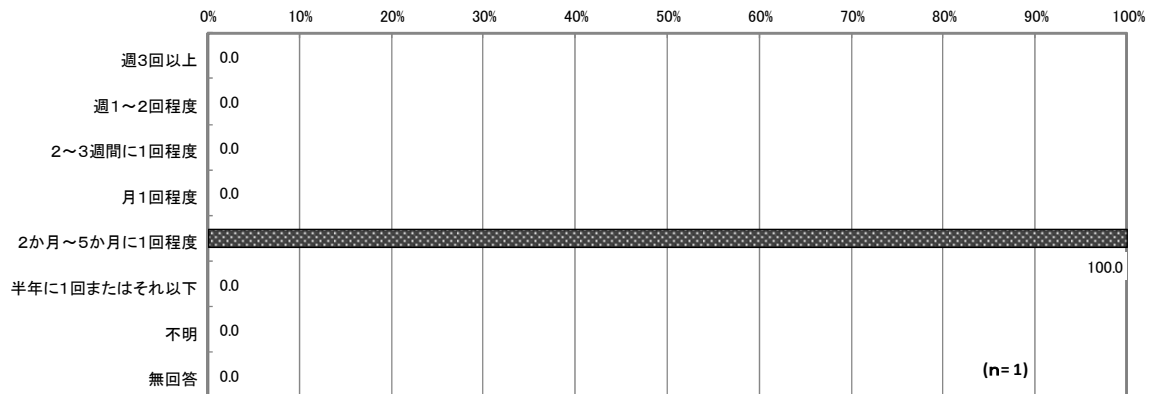
(単数回答 n=219)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 週3回以上	5	2.3%	0	0.0%	2	1.2%	3	6.7%
2 週1～2回程度	19	8.7%	0	0.0%	15	8.7%	4	8.9%
3 2～3週間に1回程度	48	21.9%	0	0.0%	45	26.0%	3	6.7%
4 月1回程度	115	52.5%	0	0.0%	88	50.9%	27	60.0%
5 2か月～5か月に1回程度	23	10.5%	1	100.0%	16	9.2%	6	13.3%
6 半年に1回またはそれ以下	8	3.7%	0	0.0%	7	4.0%	1	2.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%
合計	219	100.0%	1	100.0%	173	100.0%	45	100.0%

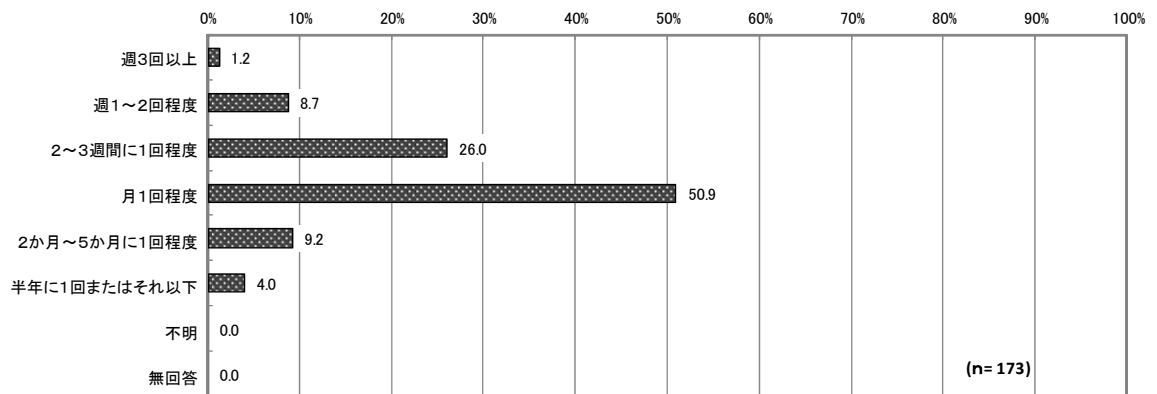


【年代別】

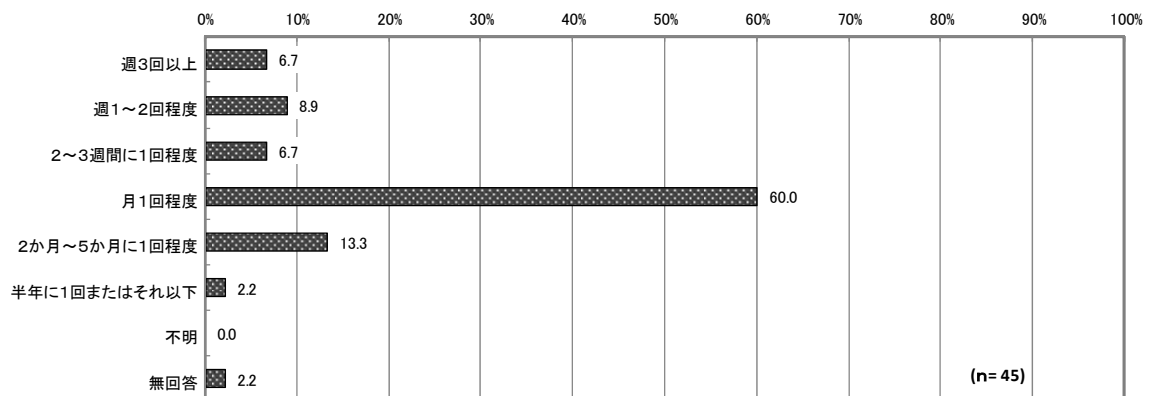
《18 歳未満》



《18～64 歳》

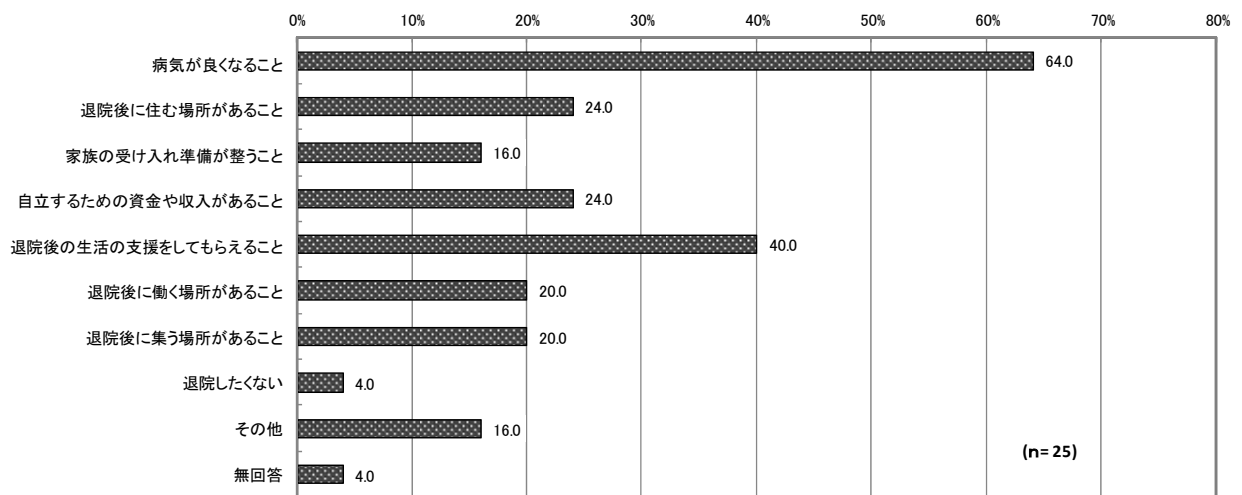


《65 歳以上》



問7 問5で「2」を回答した方におたずねします。どんな条件が整えば退院できると思いますか。
(複数回答 n=25)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 病気が良くなること	16	64.0%	0	0.0%	10	76.9%	6	50.0%
2 退院後に住む場所があること	6	24.0%	0	0.0%	3	23.1%	3	25.0%
3 家族の受け入れ準備が整うこと	4	16.0%	0	0.0%	3	23.1%	1	8.3%
4 自立するための資金や収入があること	6	24.0%	0	0.0%	5	38.5%	1	8.3%
5 退院後の生活の支援をしてもらえること	10	40.0%	0	0.0%	6	46.2%	4	33.3%
6 退院後に働く場所があること	5	20.0%	0	0.0%	4	30.8%	1	8.3%
7 退院後に集う場所があること	5	20.0%	0	0.0%	4	30.8%	1	8.3%
8 退院したくない	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
9 その他	4	16.0%	0	0.0%	2	15.4%	2	16.7%
無回答	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
合計	25	100.0%	0	0.0%	13	100.0%	12	100.0%

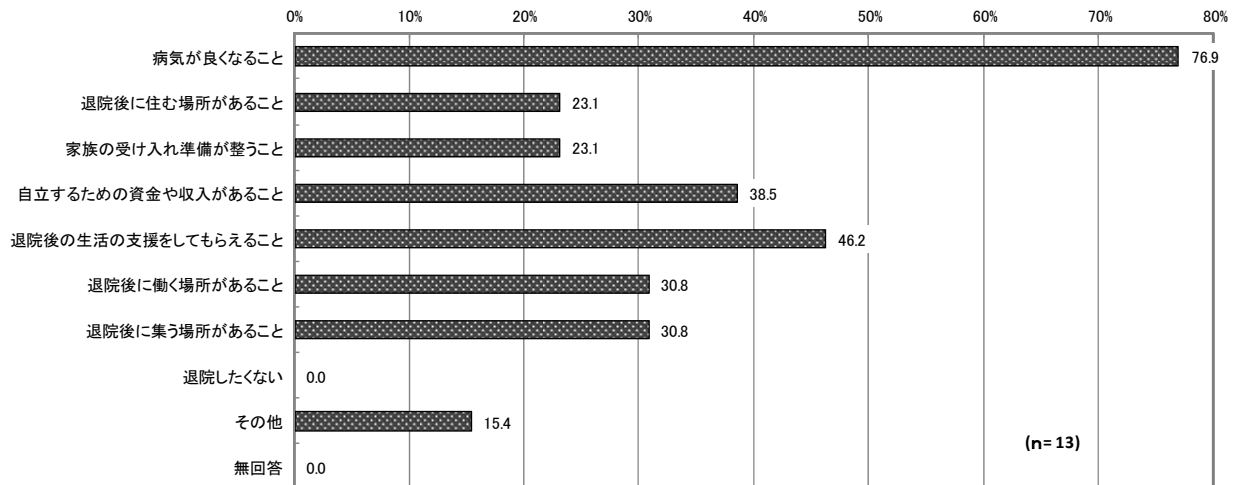


【年代別】

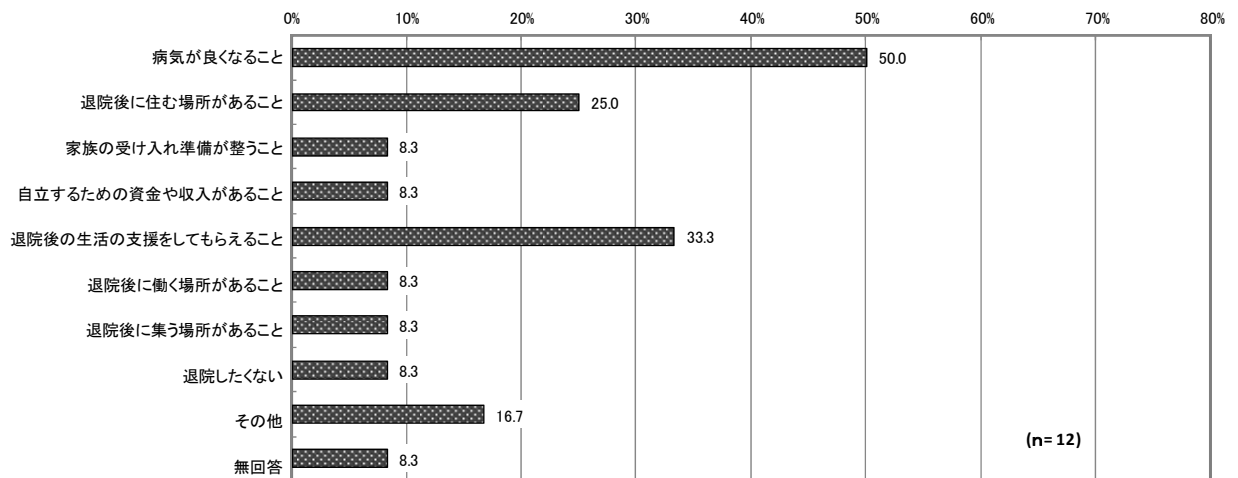
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》

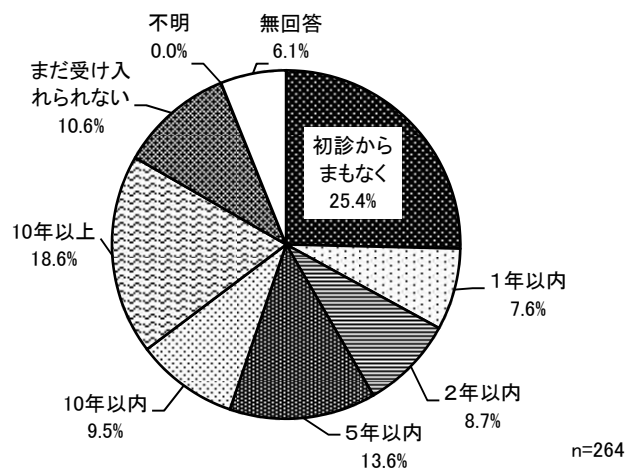


《65 歳以上》



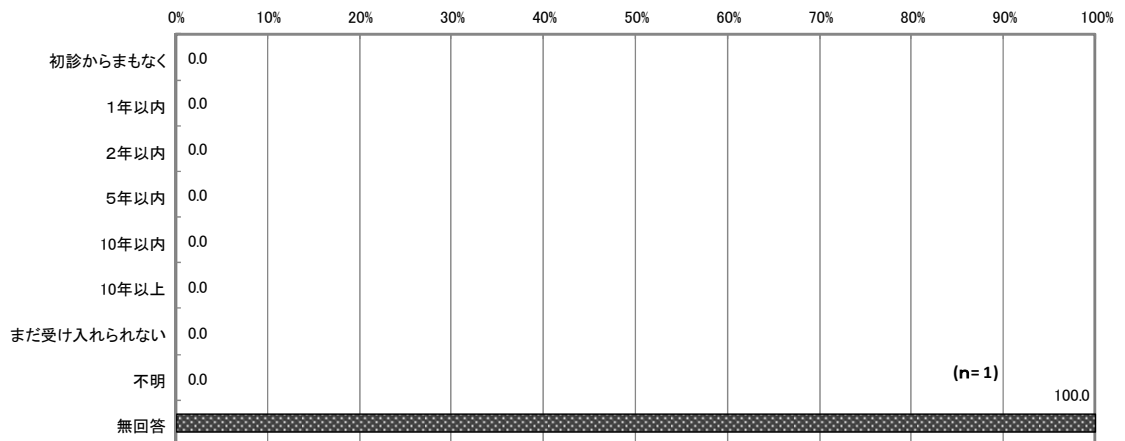
問 8 初めて病院に通院してから、病気（精神障がい）を自分で受け入れられるまで、どのくらいの期間がかかりましたか。（単数回答 n=264）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 初診からまもなく	67	25.4%	0	0.0%	53	26.6%	14	21.9%
2 1年以内	20	7.6%	0	0.0%	16	8.0%	4	6.3%
3 2年以内	23	8.7%	0	0.0%	18	9.0%	5	7.8%
4 5年以内	36	13.6%	0	0.0%	30	15.1%	6	9.4%
5 10年以内	25	9.5%	0	0.0%	18	9.0%	7	10.9%
6 10年以上	49	18.6%	0	0.0%	36	18.1%	13	20.3%
7 まだ受け入れられない	28	10.6%	0	0.0%	20	10.1%	8	12.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	16	6.1%	1	100.0%	8	4.0%	7	10.9%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

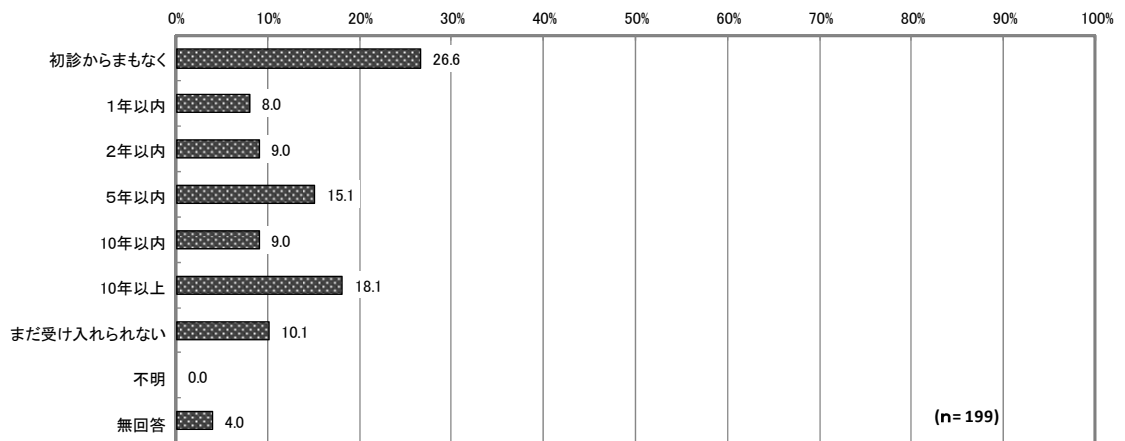


【年代別】

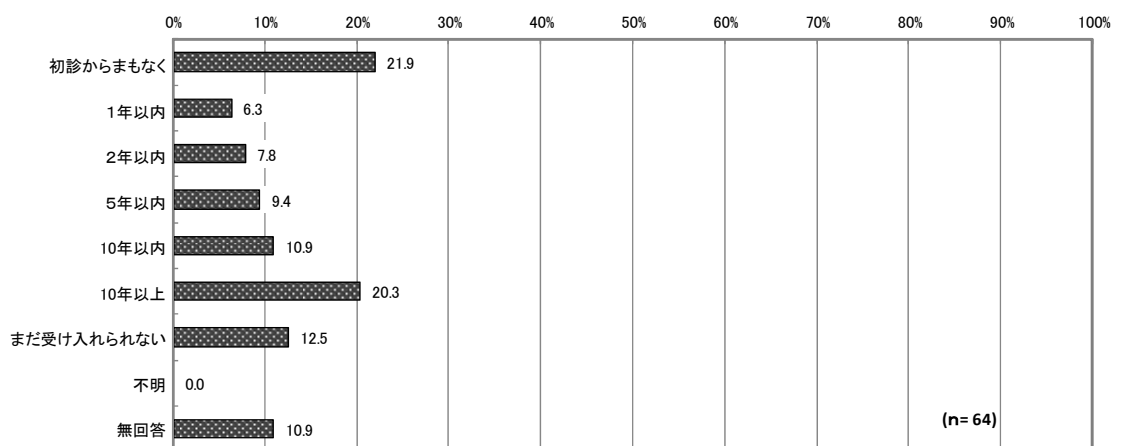
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【日常生活】

普段の生活の中で困っていることは、「健康」が 55.7%と半数以上を占めて最も高く、次いで「収入」が 54.2%、「人とのコミュニケーション、情報入手」が 40.9%となっている。

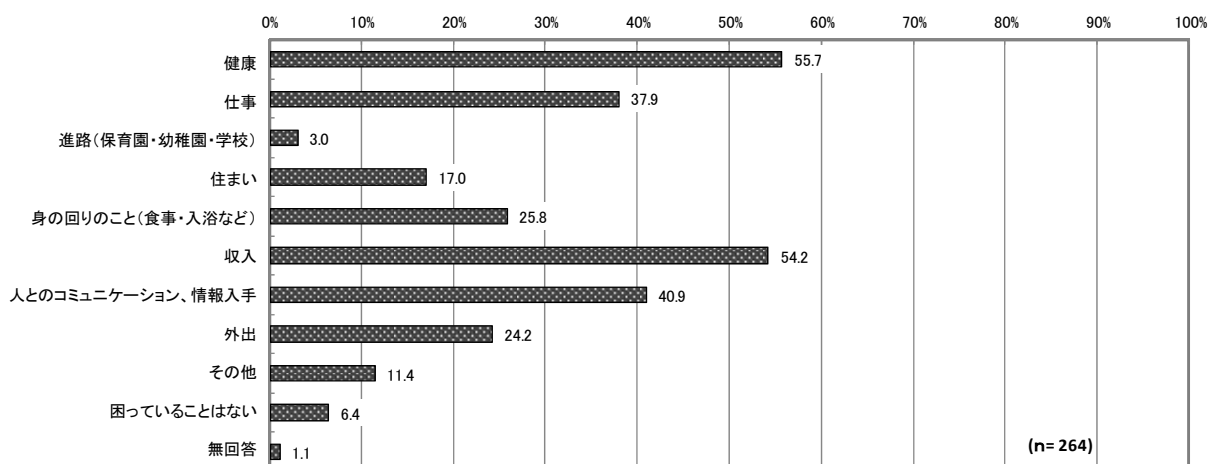
ヘルプカードの認知状況については、「知らない」が 77.7%と 7 割強を占め、「知っている」の 17.8%を大きく上回っている。

日常生活で少しでも介助や支援が必要なことは、「人とのコミュニケーション」が 38.6%と 4 割弱を占めて最も高く、次いで「掃除・片付け」が 34.5%、「食事づくり」が 33.7%となっている。日常生活の中で少しでも介助や支援が必要なおと回答した人に、主な介助者について尋ねたところ、「母」が 33.2%と最も高く、次いで「配偶者」が 16.8%、「その他」が 11.1%となった。また、介助者の健康状態については、「普通」が 47.0%と半数弱を占めたが、「高齢で健康状態に不安がある」が 17.9%、「具合が悪く病気の治療中である」10.4%、「病気がちである」7.5%と、健康状態に不安を抱える人も 3 割半ばとなっている。

問 9 普段の生活の中で困っていることはありますか。 (複数回答 n=264)

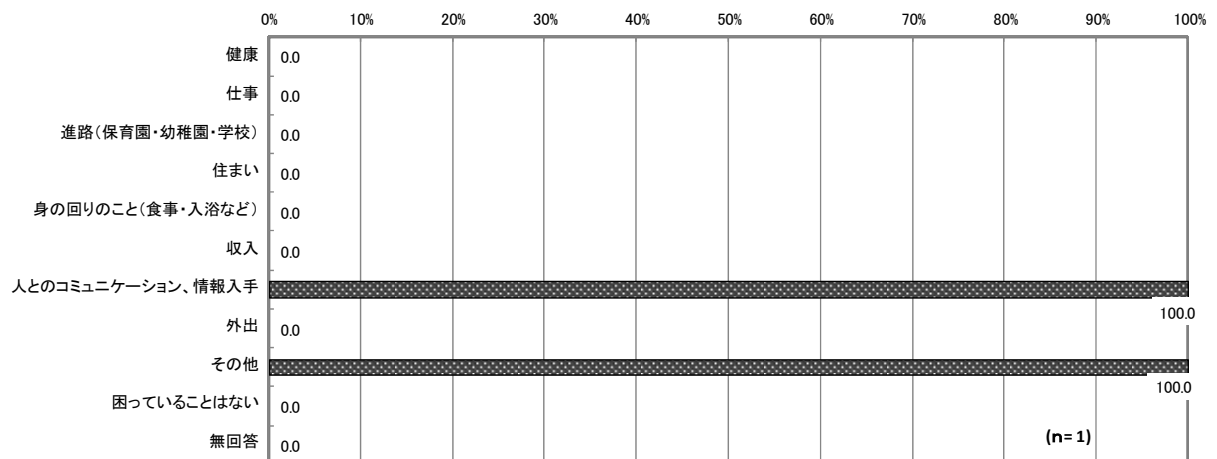
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 健康	147	55.7%	0	0.0%	118	59.3%	29	45.3%
2 仕事	100	37.9%	0	0.0%	94	47.2%	6	9.4%
3 進路(保育園・幼稚園・学校)	8	3.0%	0	0.0%	8	4.0%	0	0.0%
4 住まい	45	17.0%	0	0.0%	33	16.6%	12	18.8%
5 身の回りのこと(食事・入浴など)	68	25.8%	0	0.0%	46	23.1%	22	34.4%
6 収入	143	54.2%	0	0.0%	126	63.3%	17	26.6%
7 人とのコミュニケーション、情報入手	108	40.9%	1	100.0%	94	47.2%	13	20.3%
8 外出	64	24.2%	0	0.0%	49	24.6%	15	23.4%
9 その他	30	11.4%	1	100.0%	19	9.5%	10	15.6%
10 困っていることはない	17	6.4%	0	0.0%	9	4.5%	8	12.5%
無回答	3	1.1%	0	0.0%	1	0.5%	2	3.1%
合計	264		1		199		64	

9 その他：主な内訳 年金関係 (3) 将来 (3) 家族 (2) 自立出来ない (2) 子育て (1) 両親の高齢化 (1)
物のしまい忘れ (1) 手のふるえ (1) なかなか入院出来ない (1) 歩くことが出来ない (1)

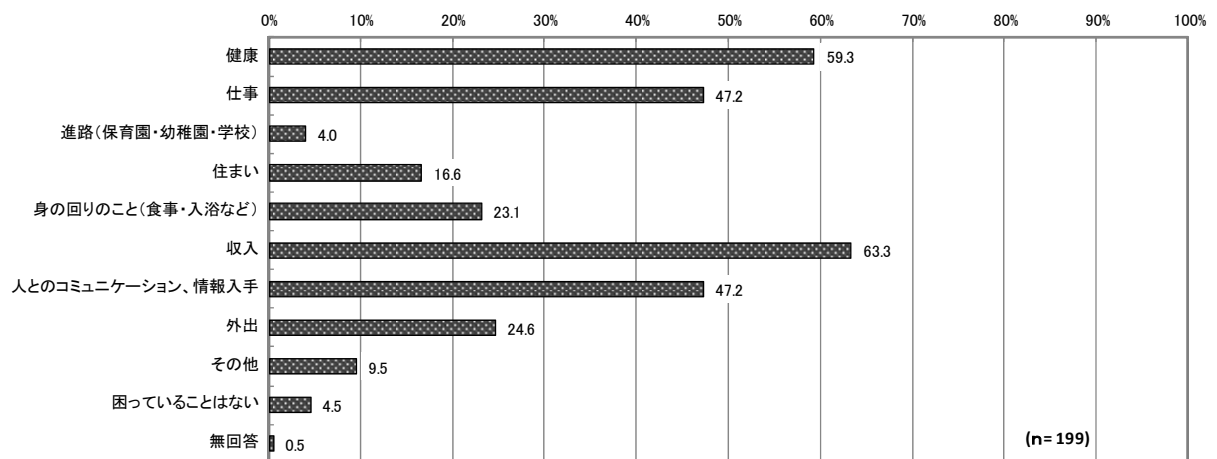


【年代別】

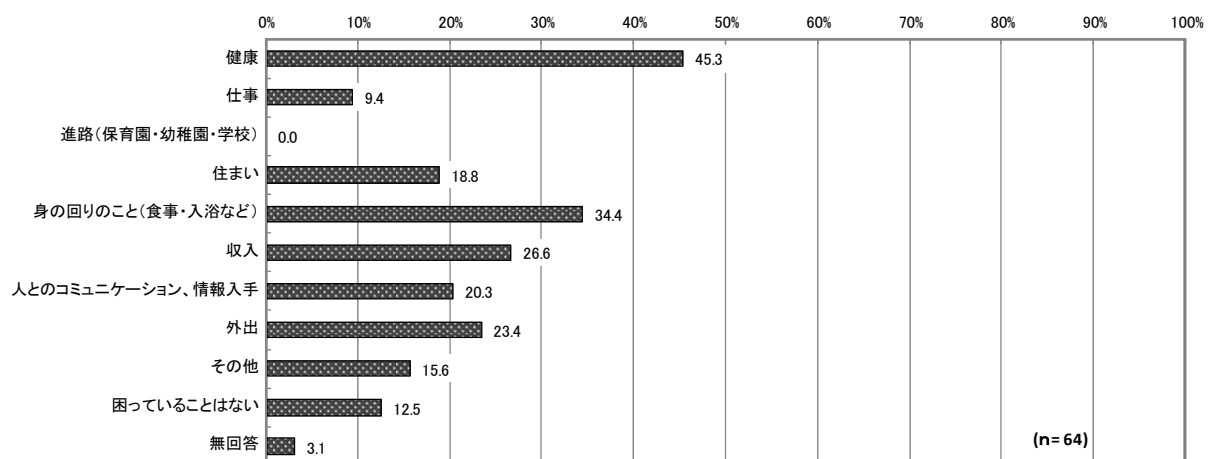
《18 歳未満》



《18～64 歳》

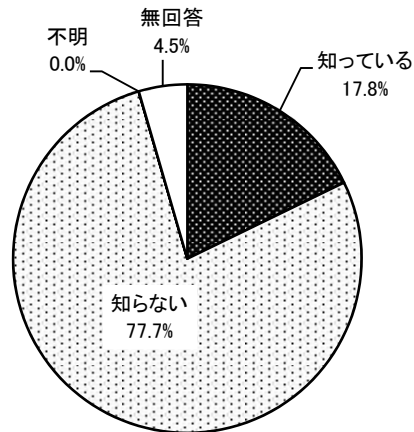


《65 歳以上》

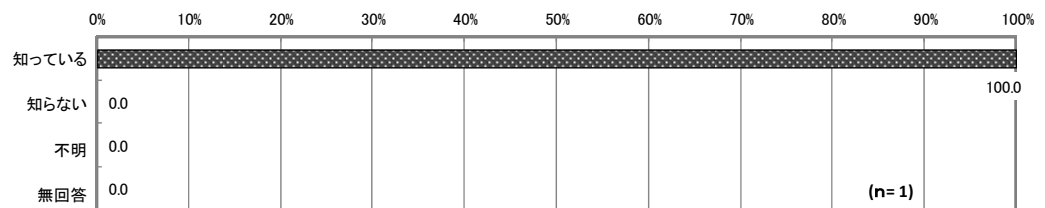
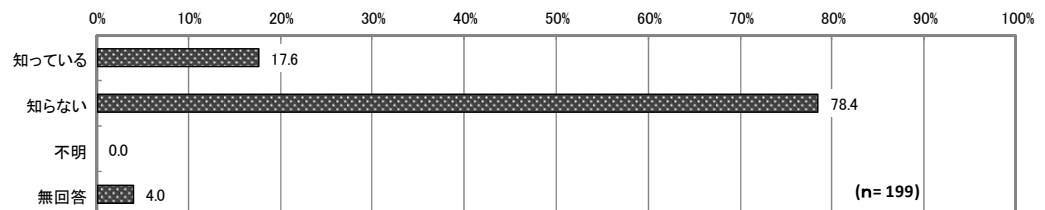
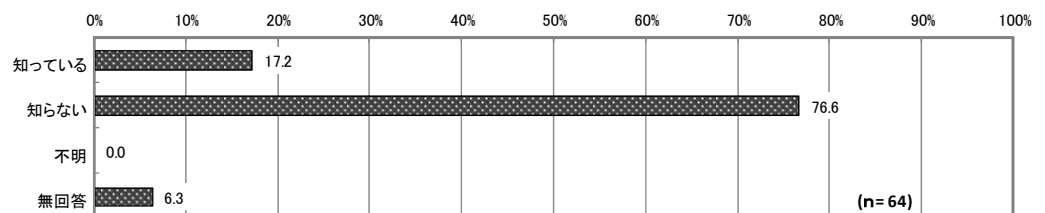


問 10 ヘルプカードを知っていますか。 (単数回答 n=264)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	47	17.8%	1	100.0%	35	17.6%	11	17.2%
2 知らない	205	77.7%	0	0.0%	156	78.4%	49	76.6%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	4.5%	0	0.0%	8	4.0%	4	6.3%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



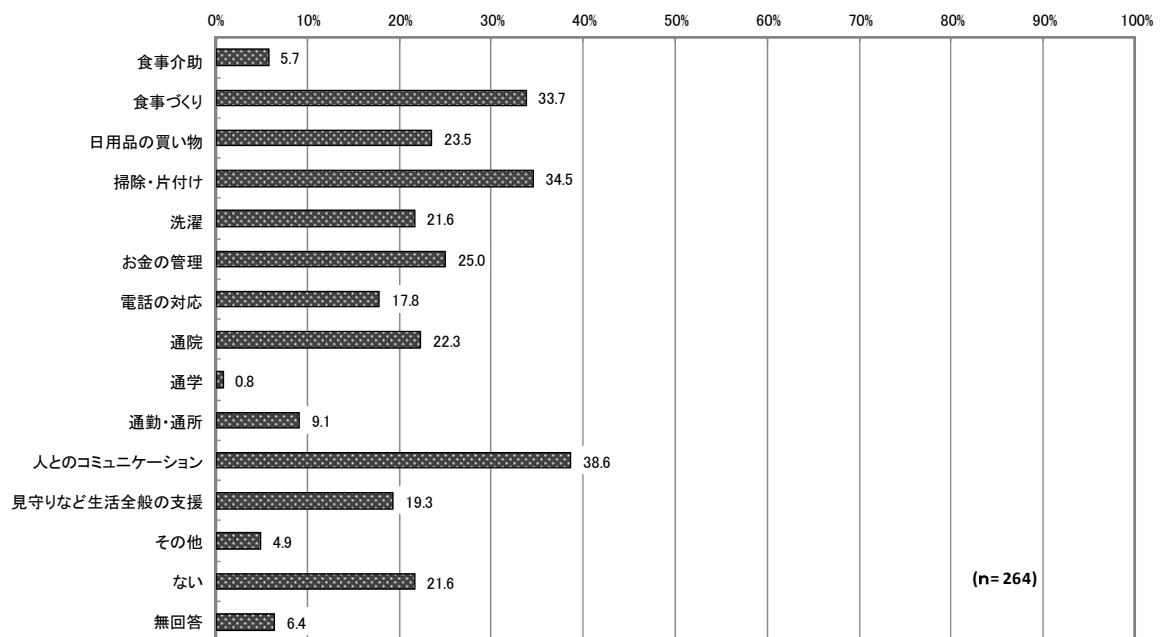
n=264

【年代別】
《18 歳未満》

《18～64 歳》

《65 歳以上》


問 11 日常生活で少しでも支援が必要なことがありますか。 (複数回答 n=264)

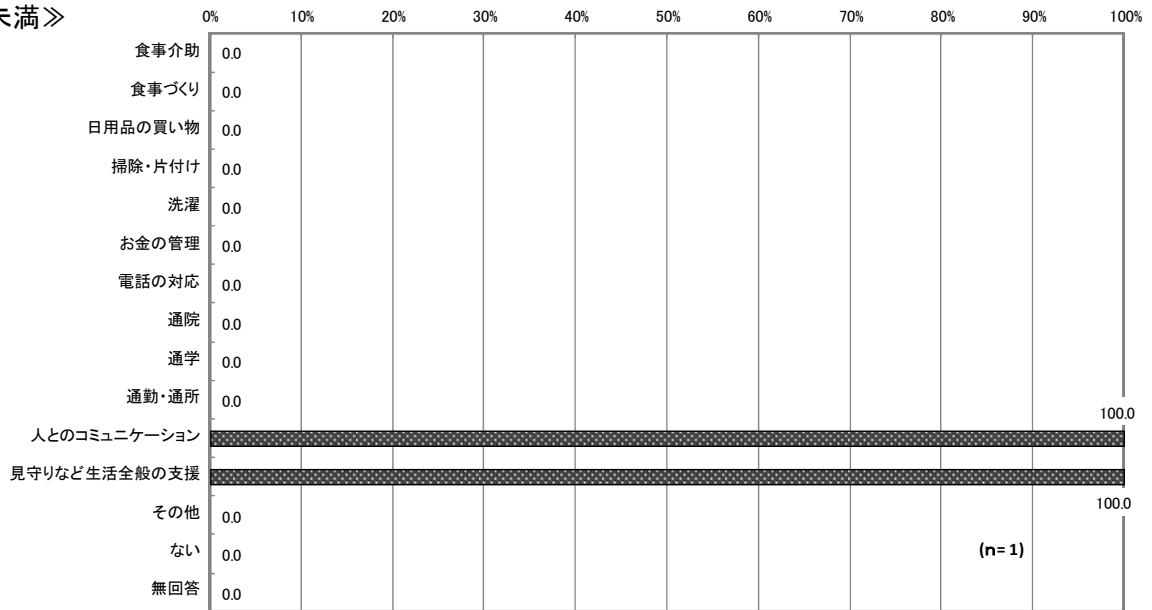
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 食事介助	15	5.7%	0	0.0%	5	2.5%	10	15.6%
2 食事づくり	89	33.7%	0	0.0%	68	34.2%	21	32.8%
3 日用品の買い物	62	23.5%	0	0.0%	47	23.6%	15	23.4%
4 掃除・片付け	91	34.5%	0	0.0%	71	35.7%	20	31.3%
5 洗濯	57	21.6%	0	0.0%	41	20.6%	16	25.0%
6 お金の管理	66	25.0%	0	0.0%	52	26.1%	14	21.9%
7 電話の対応	47	17.8%	0	0.0%	39	19.6%	8	12.5%
8 通院	59	22.3%	0	0.0%	43	21.6%	16	25.0%
9 通学	2	0.8%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
10 通勤・通所	24	9.1%	0	0.0%	18	9.0%	6	9.4%
11 人とのコミュニケーション	102	38.6%	1	100.0%	81	40.7%	20	31.3%
12 見守りなど生活全般の支援	51	19.3%	1	100.0%	33	16.6%	17	26.6%
13 その他	13	4.9%	0	0.0%	9	4.5%	4	6.3%
14 ない	57	21.6%	0	0.0%	45	22.6%	12	18.8%
無回答	17	6.4%	0	0.0%	6	3.0%	11	17.2%
合計	264		1		199		64	

13 その他：主な内訳 道路がわからなくなる (1) 入浴 (1) 父母亡き後の生活 (1) 除雪 (1)
睡眠中の付添い (1) 外出手段 (1) 申請・手続、ケアマネージャーとの打ち合わせ等 (1)

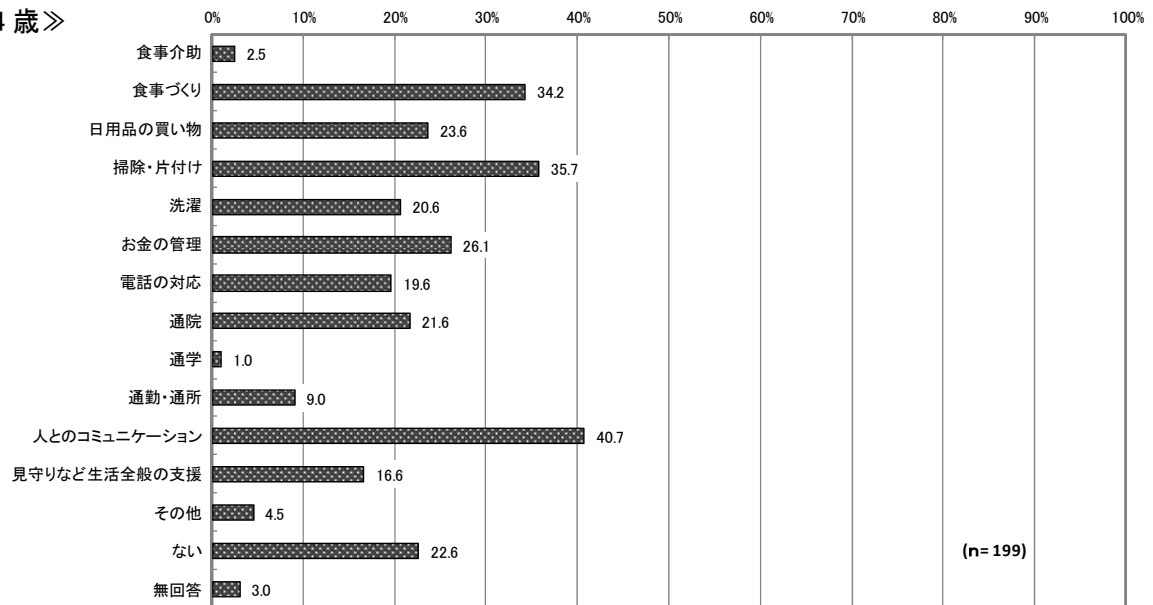


【年代別】

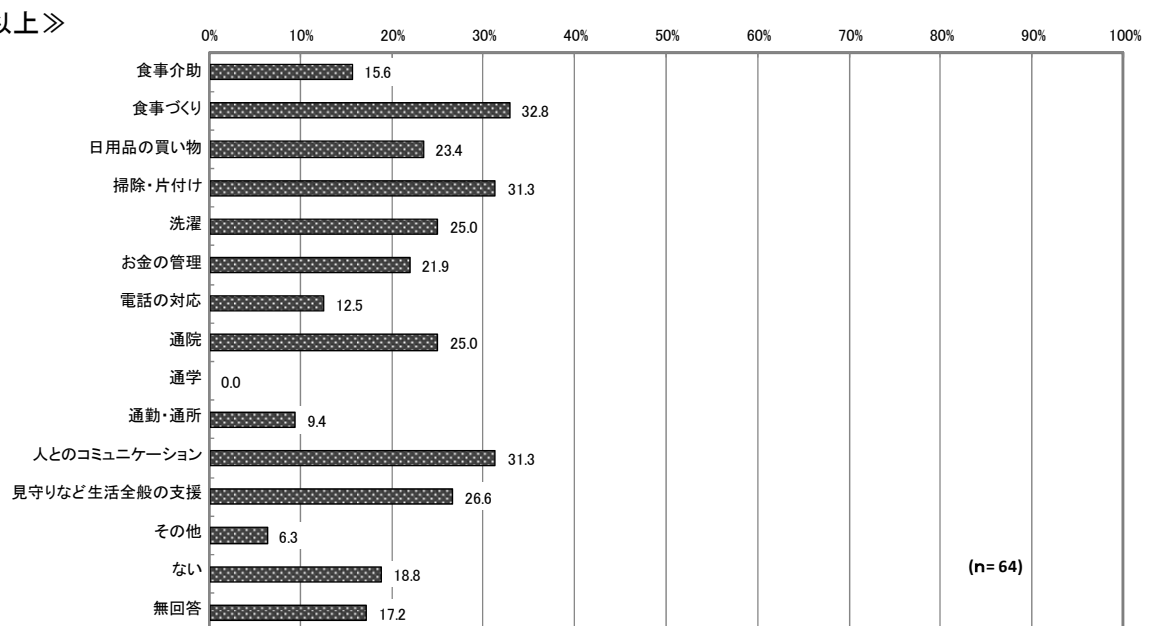
《18 歳未満》



《18～64 歳》



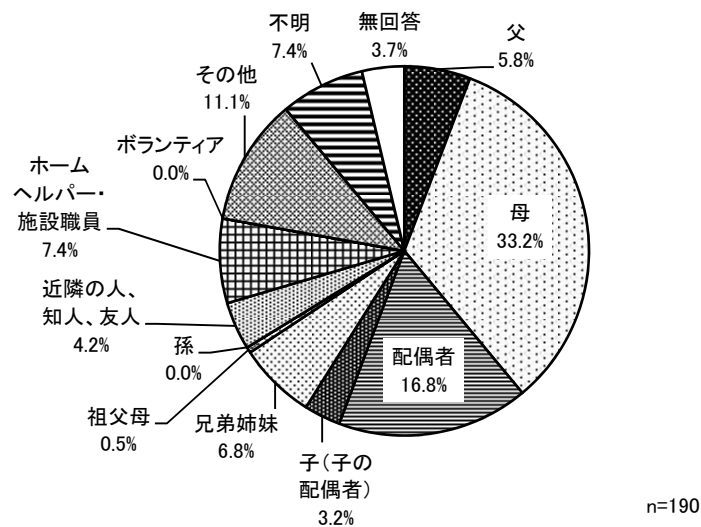
《65 歳以上》



問12 問11で「1～13」を回答した方におたずねします。あなたを介助している方（介助者）はどなたですか。（主な介助者に1つだけ○印）（単数回答 n=190）

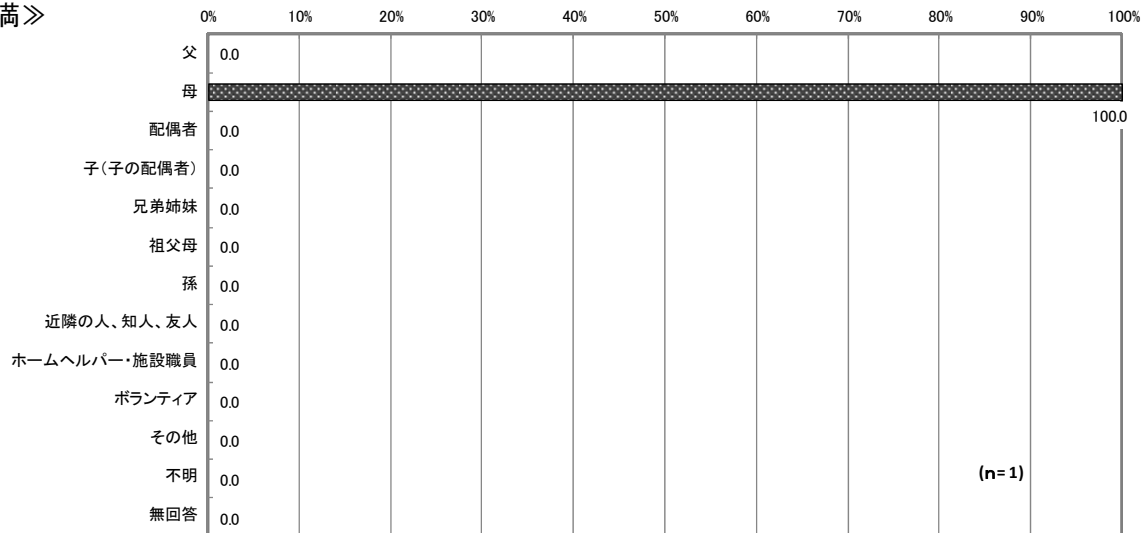
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 父	11	5.8%	0	0.0%	9	6.1%	2	4.9%
2 母	63	33.2%	1	100.0%	62	41.9%	0	0.0%
3 配偶者	32	16.8%	0	0.0%	19	12.8%	13	31.7%
4 子（子の配偶者）	6	3.2%	0	0.0%	2	1.4%	4	9.8%
5 兄弟姉妹	13	6.8%	0	0.0%	8	5.4%	5	12.2%
6 祖父母	1	0.5%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
7 孫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 近隣の人、知人、友人	8	4.2%	0	0.0%	5	3.4%	3	7.3%
9 ホームヘルパー・施設職員	14	7.4%	0	0.0%	6	4.1%	8	19.5%
10 ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 その他	21	11.1%	0	0.0%	18	12.2%	3	7.3%
不明	14	7.4%	0	0.0%	13	8.8%	1	2.4%
無回答	7	3.7%	0	0.0%	5	3.4%	2	4.9%
合計	190	100.0%	1	100.0%	148	100.0%	41	100.0%

11 その他：主な内訳 いない（8）病院職員、看護師（5）介助が必要な程では無い（2）世話人（1）お弁当屋さん（1）母（1）

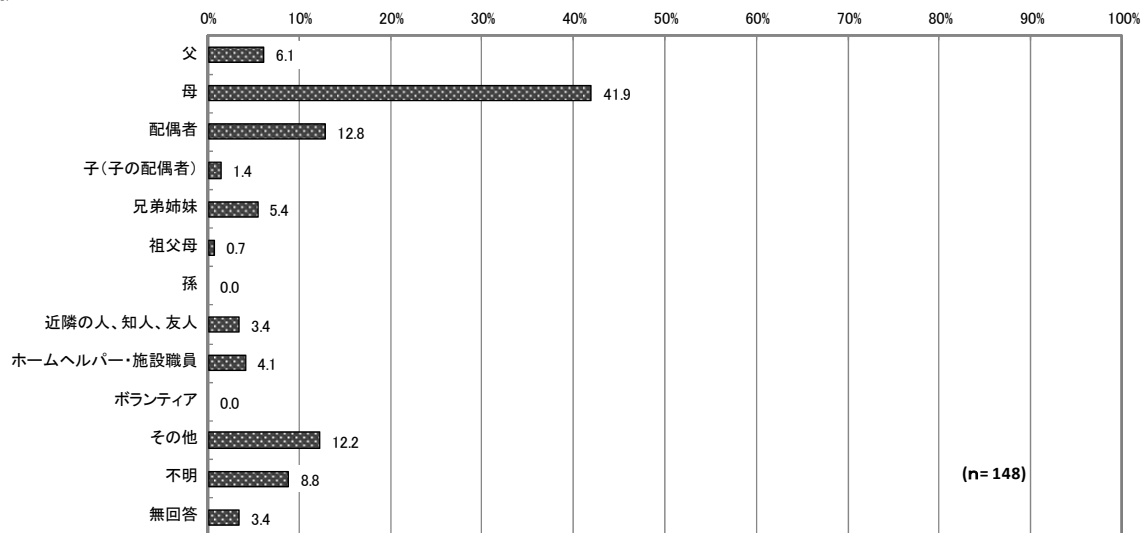


【年代別】

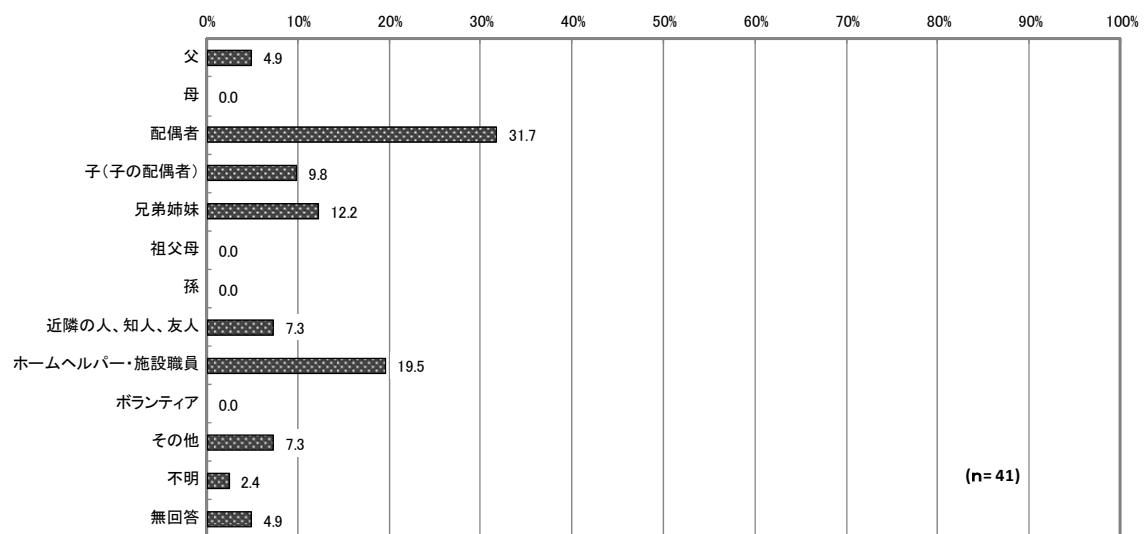
《18 歳未満》



《18～64 歳》

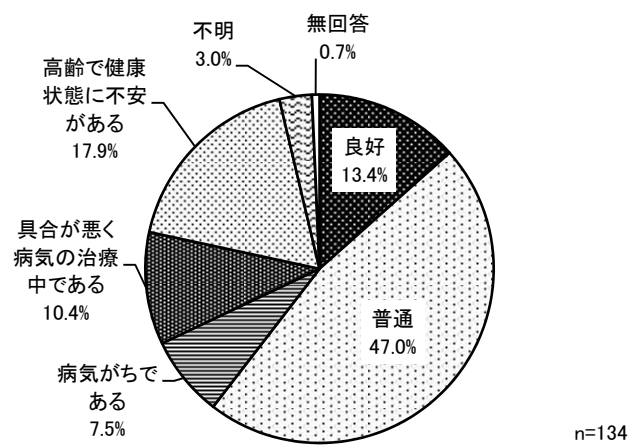


《65 歳以上》



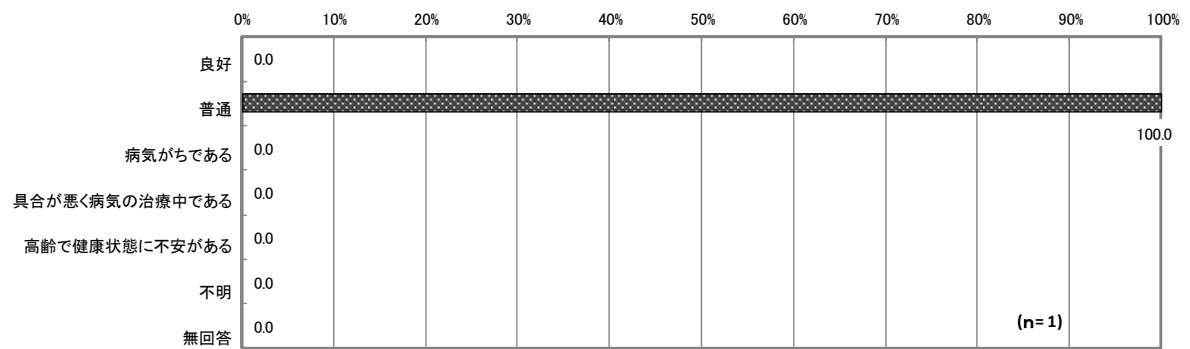
問 13 問 12 で「1～8」を回答した方におたずねします。主な介助者の健康状態はいかがですか。
(単数回答 n=134)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 良好	18	13.4%	0	0.0%	12	11.3%	6	22.2%
2 普通	63	47.0%	1	100.0%	52	49.1%	10	37.0%
3 病気がちである	10	7.5%	0	0.0%	9	8.5%	1	3.7%
4 具合が悪く病気の治療中である	14	10.4%	0	0.0%	12	11.3%	2	7.4%
5 高齢で健康状態に不安がある	24	17.9%	0	0.0%	19	17.9%	5	18.5%
不明	4	3.0%	0	0.0%	2	1.9%	2	7.4%
無回答	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
合計	134	100.0%	1	100.0%	106	100.0%	27	100.0%

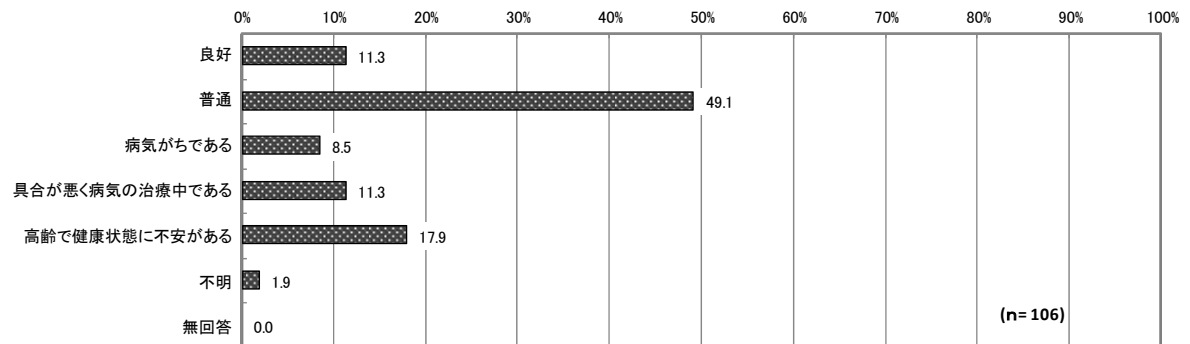


【年代別】

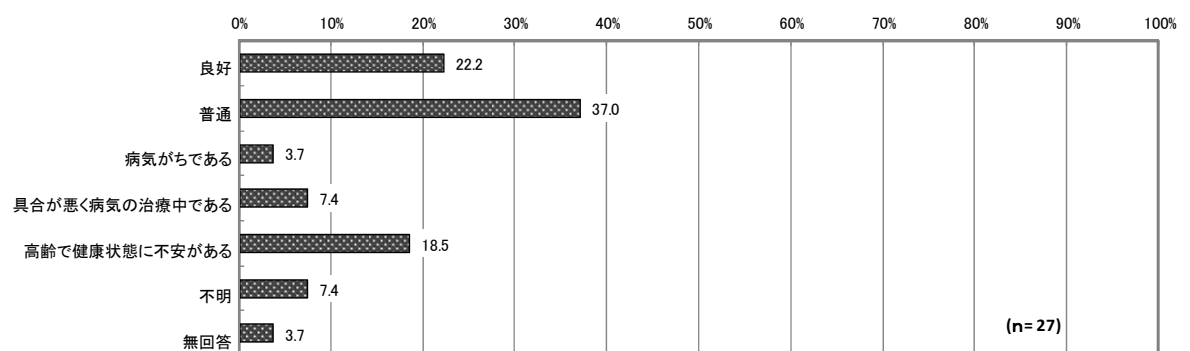
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【福祉サービス】

福祉制度の中で、知っているサービスは、「福祉タクシー券・給油券の交付」が70.1%と最も高く、次いで「自立支援医療（精神通院）の給付」が52.3%となり、これらのサービスは5割以上知られていた。利用したことがあるサービスは、「福祉タクシー券・給油券の交付」が54.5%と最も高く、「自立支援医療（精神通院）の給付」が43.6%、「交通料金の割引」が26.5%、「ハローワークでの職業相談」が23.1%となり、これら以外のサービスは2割未満にとどまった。また、今後利用したいサービスは、「NHK受信料の減免」が14.8%と最も高く、次いで「福祉タクシー券・給油券の交付」が13.6%、「自動車税の減免」が13.3%となった。

山形市内の精神障がい者入所施設の数については、「不足している」と「ちょうど良い」が20.5%と同率であった。全体では、「その他」が39.4%と最も高く、その内訳は「知らない、分からない」等の回答が多数を占めた。一方、定員数については、「ちょうど良い」が23.1%と、「不足している」の13.3%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が39.8%と最も高かった。

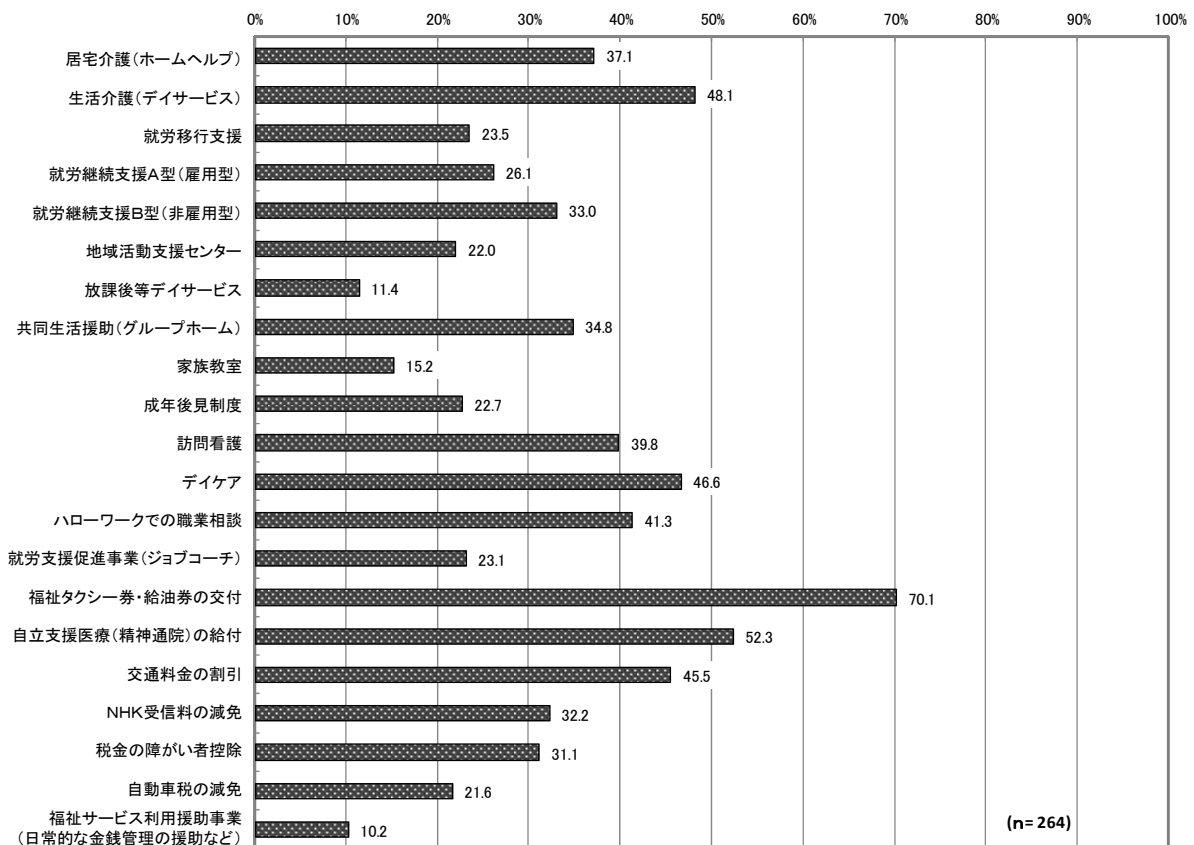
山形市内の精神障がい者グループホームの数については、「ちょうど良い」が16.3%と、「不足している」の15.9%をわずかに上回った。全体では、「その他」が43.9%と最も高く、その内訳は「知らない、分からない」等の回答が多数を占めた。また、定員数についても、「ちょうど良い」が18.9%と、「不足している」の12.1%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が43.6%と最も高かった。

山形市内の精神障がい者通所事業所の数については、「ちょうど良い」が21.6%と、「不足している」の16.3%を上回った。全体では、「その他」が39.4%と最も高く、その内訳は「知らない、分からない」等の回答が多数を占めた。また、定員数についても、「ちょうど良い」が21.6%と、「不足している」の14.0%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が40.2%と最も高かった。

問 14 次にあげた福祉制度の中で、「知っている」「利用したことがある」「今後利用したい」サービスはどれですか。（複数回答 n=264）

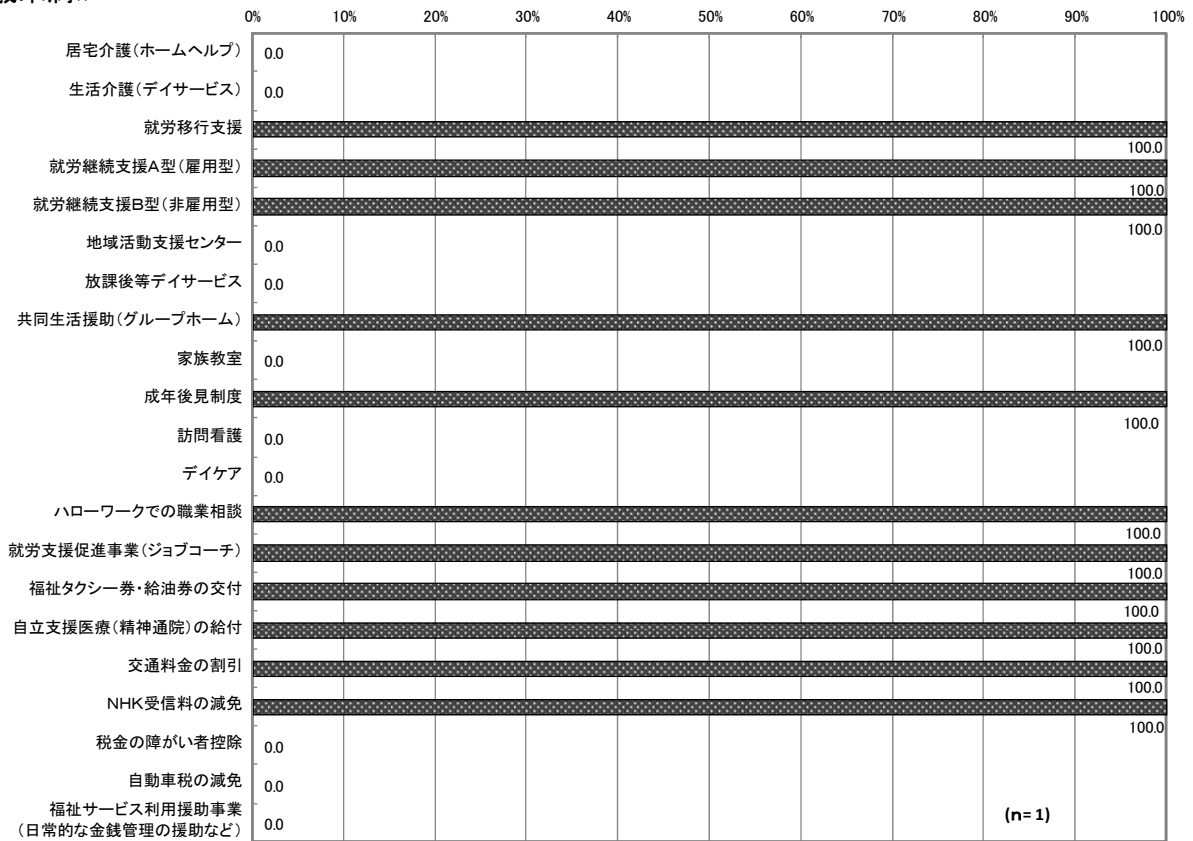
【知っているサービス】

サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	98	37.1%	0	0.0%	71	35.7%	27	42.2%
2 生活介護（デイサービス）	127	48.1%	0	0.0%	91	45.7%	36	56.3%
3 就労移行支援	62	23.5%	1	100.0%	56	28.1%	5	7.8%
4 就労継続支援A型（雇用型）	69	26.1%	1	100.0%	63	31.7%	5	7.8%
5 就労継続支援B型（非雇用型）	87	33.0%	1	100.0%	81	40.7%	5	7.8%
6 地域活動支援センター	58	22.0%	0	0.0%	48	24.1%	10	15.6%
7 放課後等デイサービス	30	11.4%	0	0.0%	27	13.6%	3	4.7%
8 共同生活援助（グループホーム）	92	34.8%	1	100.0%	77	38.7%	14	21.9%
9 家族教室	40	15.2%	0	0.0%	33	16.6%	7	10.9%
10 成年後見制度	60	22.7%	1	100.0%	46	23.1%	13	20.3%
11 訪問看護	105	39.8%	0	0.0%	78	39.2%	27	42.2%
12 デイケア	123	46.6%	0	0.0%	96	48.2%	27	42.2%
13 ハローワークでの職業相談	109	41.3%	1	100.0%	99	49.7%	9	14.1%
14 就労支援促進事業（ジョブコーチ）	61	23.1%	1	100.0%	56	28.1%	4	6.3%
15 福祉タクシー券・給油券の交付	185	70.1%	1	100.0%	149	74.9%	35	54.7%
16 自立支援医療（精神通院）の給付	138	52.3%	1	100.0%	113	56.8%	24	37.5%
17 交通料金の割引	120	45.5%	1	100.0%	97	48.7%	22	34.4%
18 NHK受信料の減免	85	32.2%	1	100.0%	63	31.7%	21	32.8%
19 税金の障がい者控除	82	31.1%	0	0.0%	69	34.7%	13	20.3%
20 自動車税の減免	57	21.6%	0	0.0%	49	24.6%	8	12.5%
21 福祉サービス利用援助事業（日常的な金銭管理の援助など）	27	10.2%	0	0.0%	24	12.1%	3	4.7%
合計	264		1		199		64	

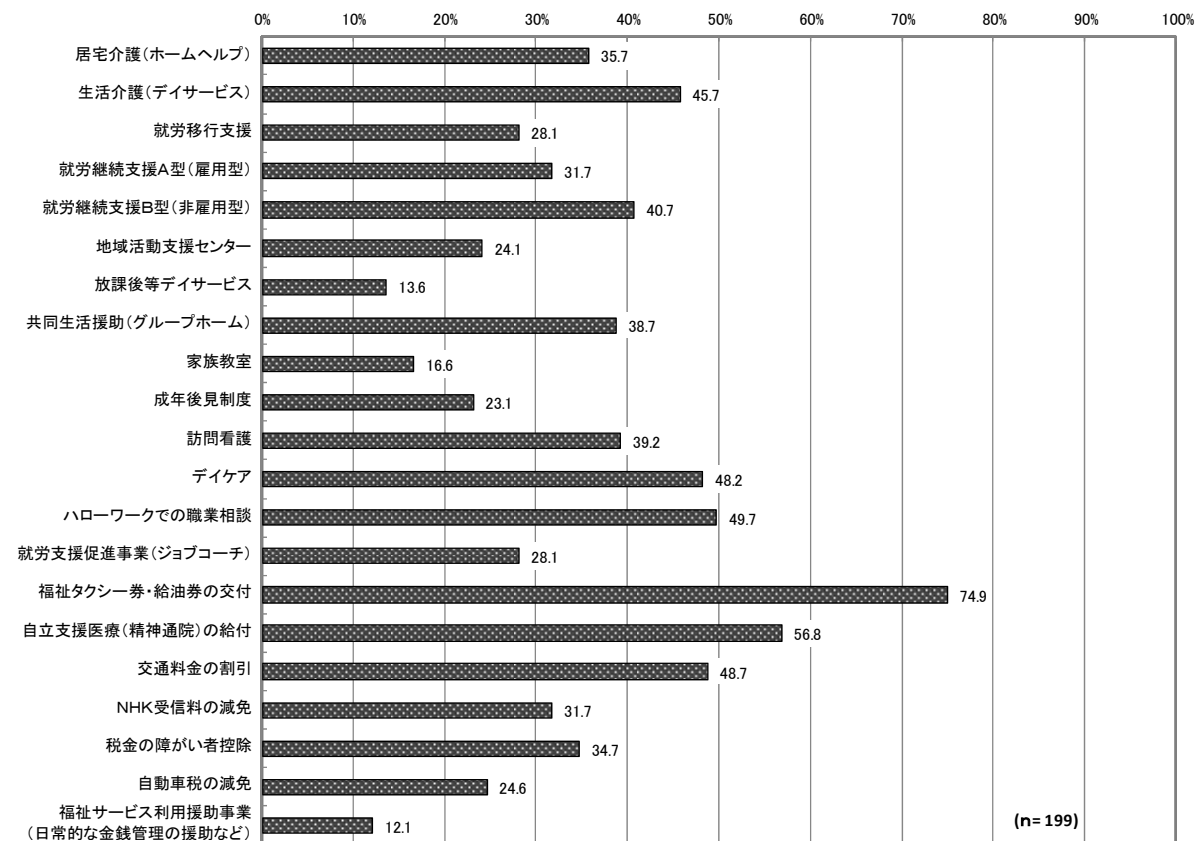


【年代別】

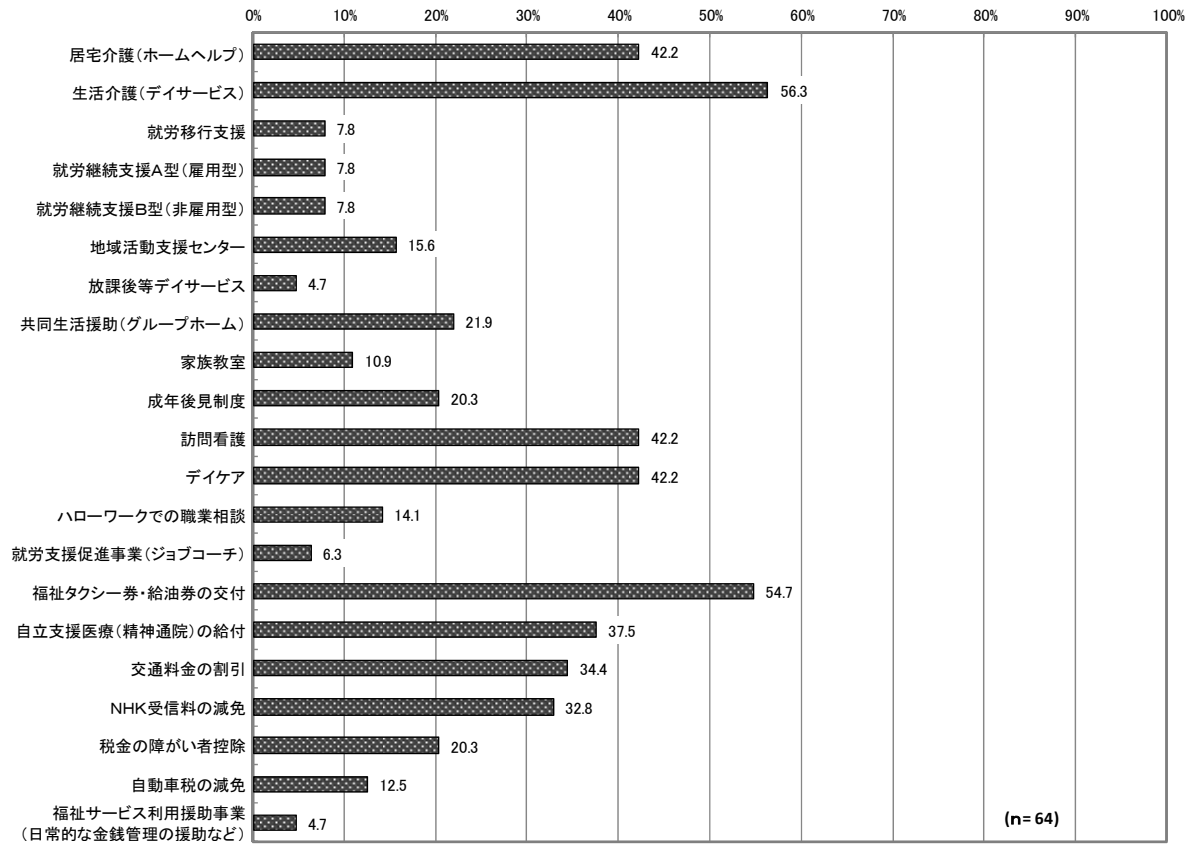
《18 歳未満》



《18～64 歳》

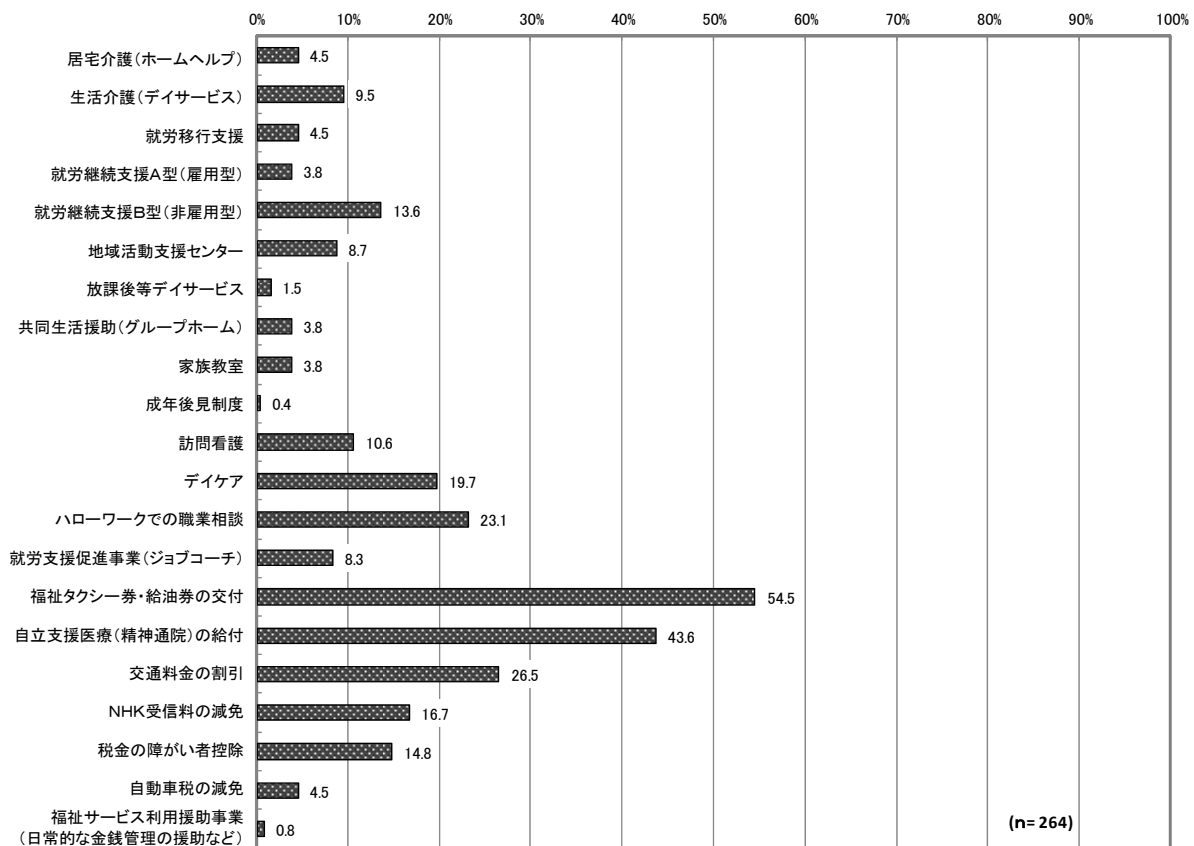


《65 歳以上》



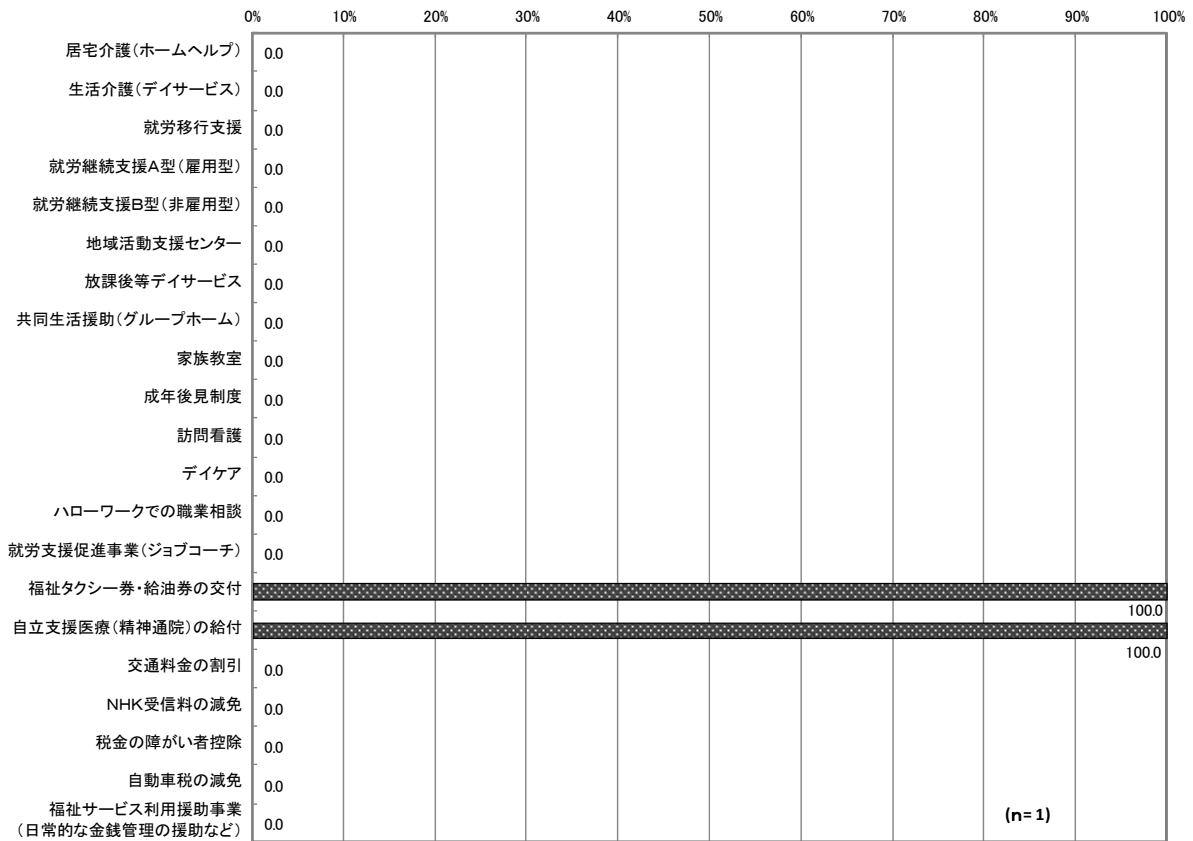
【利用したことがあるサービス】

サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	12	4.5%	0	0.0%	5	2.5%	7	10.9%
2 生活介護（デイサービス）	25	9.5%	0	0.0%	11	5.5%	14	21.9%
3 就労移行支援	12	4.5%	0	0.0%	12	6.0%	0	0.0%
4 就労継続支援A型（雇用型）	10	3.8%	0	0.0%	9	4.5%	1	1.6%
5 就労継続支援B型（非雇用型）	36	13.6%	0	0.0%	35	17.6%	1	1.6%
6 地域活動支援センター	23	8.7%	0	0.0%	21	10.6%	2	3.1%
7 放課後等デイサービス	4	1.5%	0	0.0%	4	2.0%	0	0.0%
8 共同生活援助（グループホーム）	10	3.8%	0	0.0%	8	4.0%	2	3.1%
9 家族教室	10	3.8%	0	0.0%	9	4.5%	1	1.6%
10 成年後見制度	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
11 訪問看護	28	10.6%	0	0.0%	18	9.0%	10	15.6%
12 デイケア	52	19.7%	0	0.0%	41	20.6%	11	17.2%
13 ハローワークでの職業相談	61	23.1%	0	0.0%	61	30.7%	0	0.0%
14 就労支援促進事業（ジョブコーチ）	22	8.3%	0	0.0%	22	11.1%	0	0.0%
15 福祉タクシー券・給油券の交付	144	54.5%	1	100.0%	119	59.8%	24	37.5%
16 自立支援医療（精神通院）の給付	115	43.6%	1	100.0%	97	48.7%	17	26.6%
17 交通料金の割引	70	26.5%	0	0.0%	59	29.6%	11	17.2%
18 NHK受信料の減免	44	16.7%	0	0.0%	31	15.6%	13	20.3%
19 税金の障がい者控除	39	14.8%	0	0.0%	34	17.1%	5	7.8%
20 自動車税の減免	12	4.5%	0	0.0%	11	5.5%	1	1.6%
21 福祉サービス利用援助事業（日常的な金銭管理の援助など）	2	0.8%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
合計	264		1		199		64	

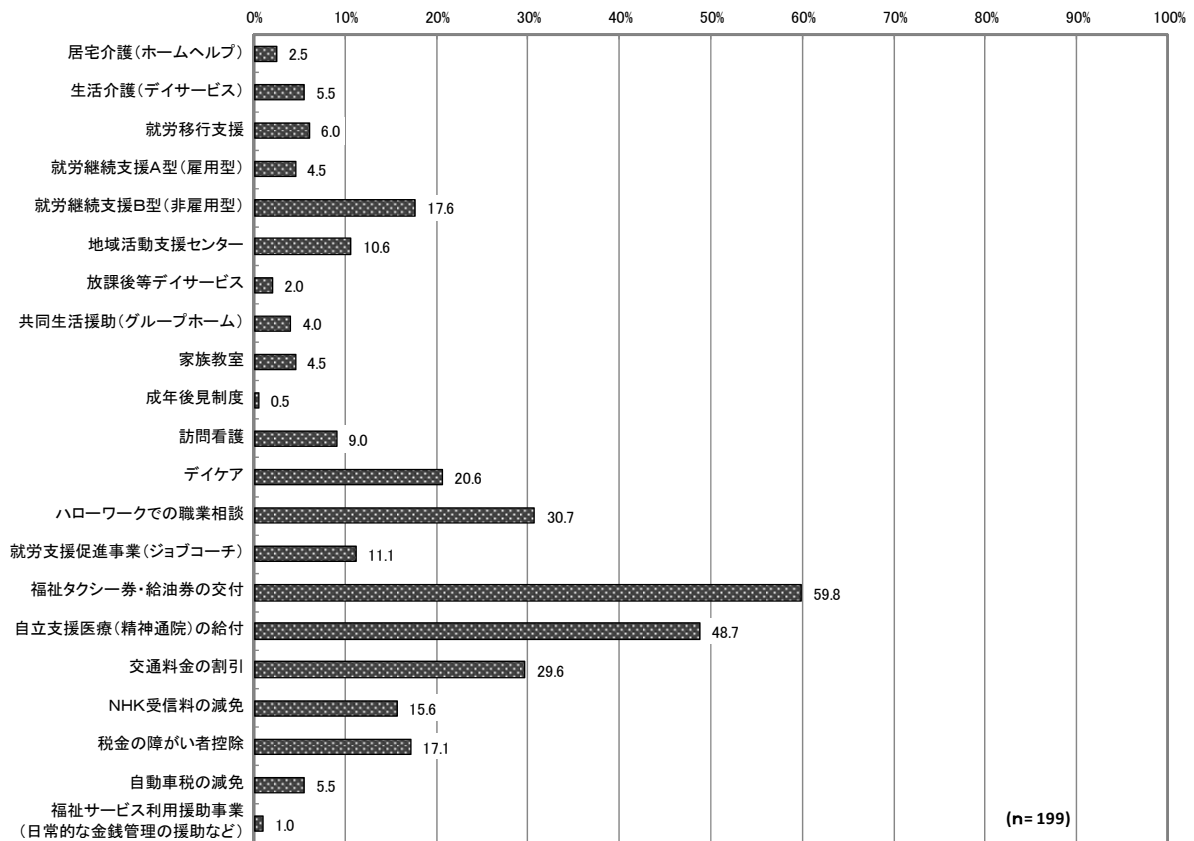


【年代別】

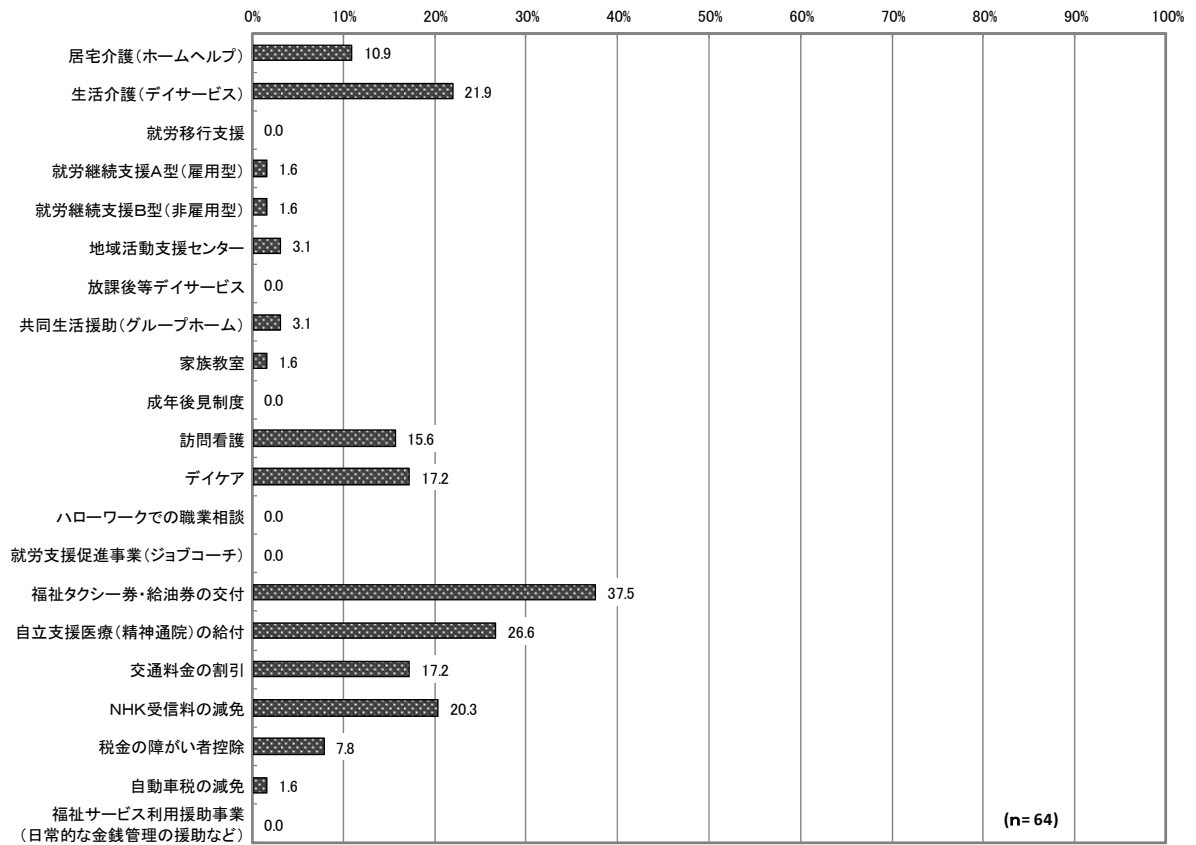
《18 歳未満》



《18～64 歳》

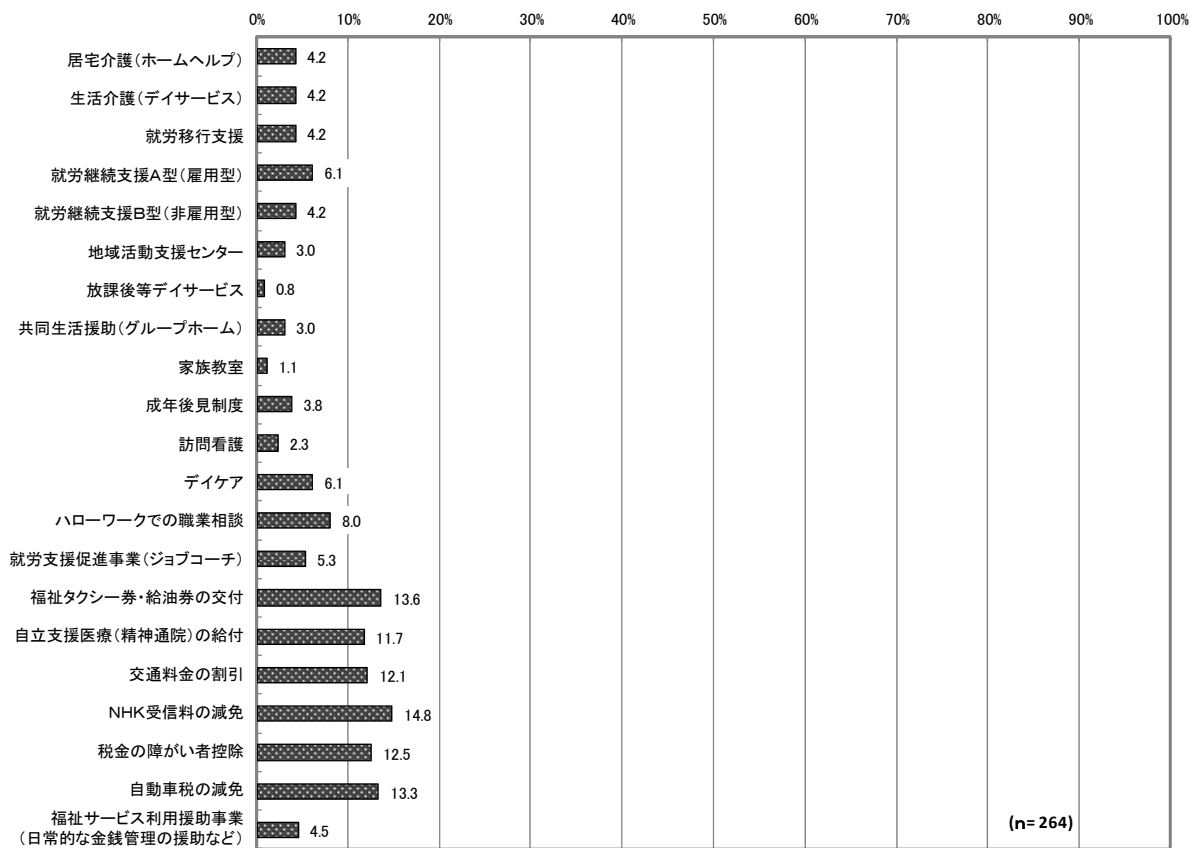


《65 歳以上》



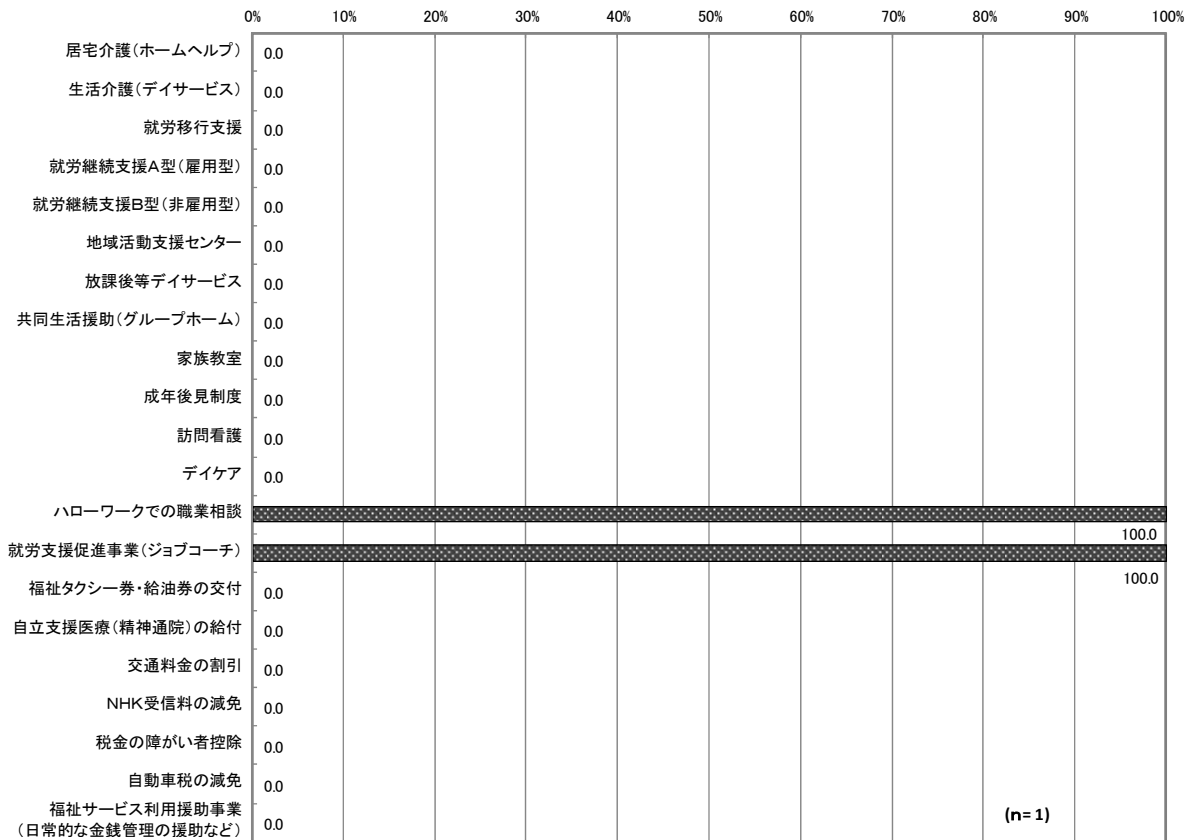
【今後利用したいサービス】

サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	11	4.2%	0	0.0%	7	3.5%	4	6.3%
2 生活介護（デイサービス）	11	4.2%	0	0.0%	5	2.5%	6	9.4%
3 就労移行支援	11	4.2%	0	0.0%	11	5.5%	0	0.0%
4 就労継続支援A型（雇用型）	16	6.1%	0	0.0%	16	8.0%	0	0.0%
5 就労継続支援B型（非雇用型）	11	4.2%	0	0.0%	11	5.5%	0	0.0%
6 地域活動支援センター	8	3.0%	0	0.0%	7	3.5%	1	1.6%
7 放課後等デイサービス	2	0.8%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
8 共同生活援助（グループホーム）	8	3.0%	0	0.0%	8	4.0%	0	0.0%
9 家族教室	3	1.1%	0	0.0%	3	1.5%	0	0.0%
10 成年後見制度	10	3.8%	0	0.0%	7	3.5%	3	4.7%
11 訪問看護	6	2.3%	0	0.0%	5	2.5%	1	1.6%
12 デイケア	16	6.1%	0	0.0%	12	6.0%	4	6.3%
13 ハローワークでの職業相談	21	8.0%	1	100.0%	20	10.1%	0	0.0%
14 就労支援促進事業（ジョブコーチ）	14	5.3%	1	100.0%	13	6.5%	0	0.0%
15 福祉タクシー券・給油券の交付	36	13.6%	0	0.0%	30	15.1%	6	9.4%
16 自立支援医療（精神通院）の給付	31	11.7%	0	0.0%	28	14.1%	3	4.7%
17 交通料金の割引	32	12.1%	0	0.0%	25	12.6%	7	10.9%
18 NHK受信料の減免	39	14.8%	0	0.0%	31	15.6%	8	12.5%
19 税金の障がい者控除	33	12.5%	0	0.0%	29	14.6%	4	6.3%
20 自動車税の減免	35	13.3%	0	0.0%	31	15.6%	4	6.3%
21 福祉サービス利用援助事業（日常的な金銭管理の援助など）	12	4.5%	0	0.0%	10	5.0%	2	3.1%
合計	264		1		199		64	

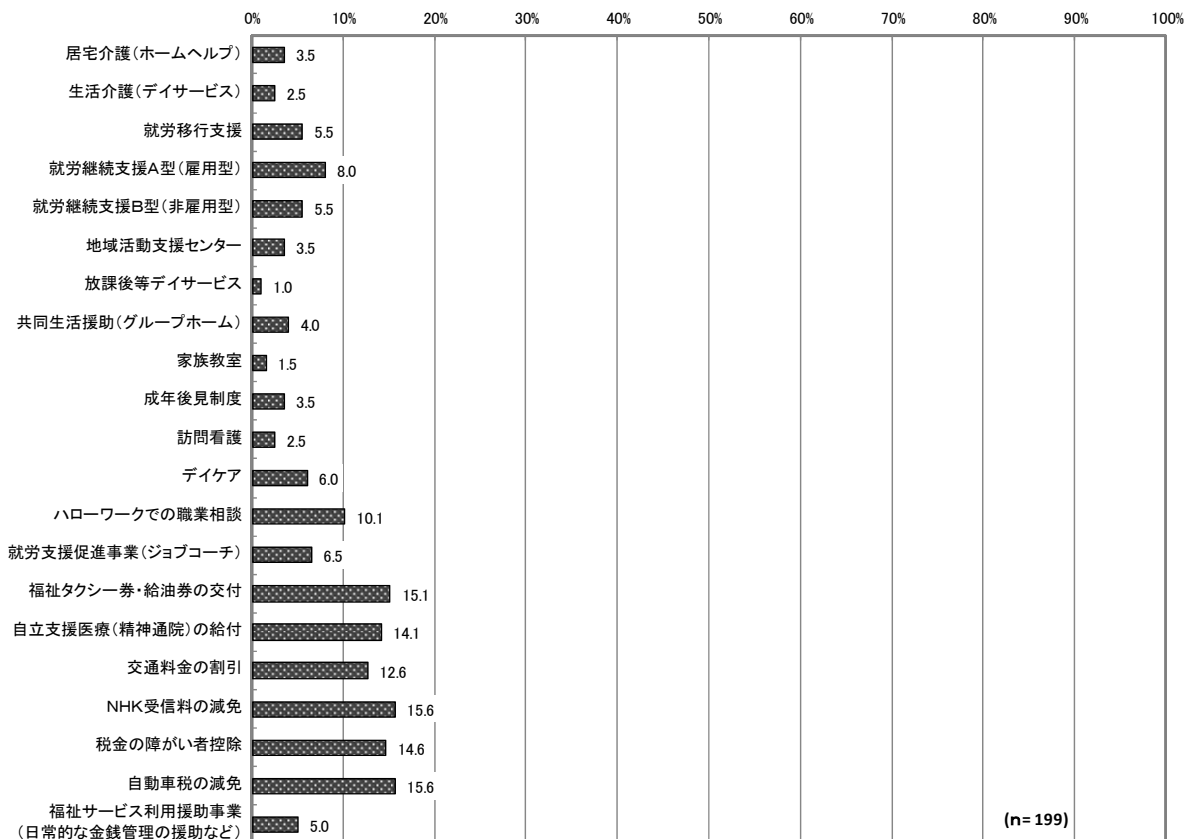


【年代別】

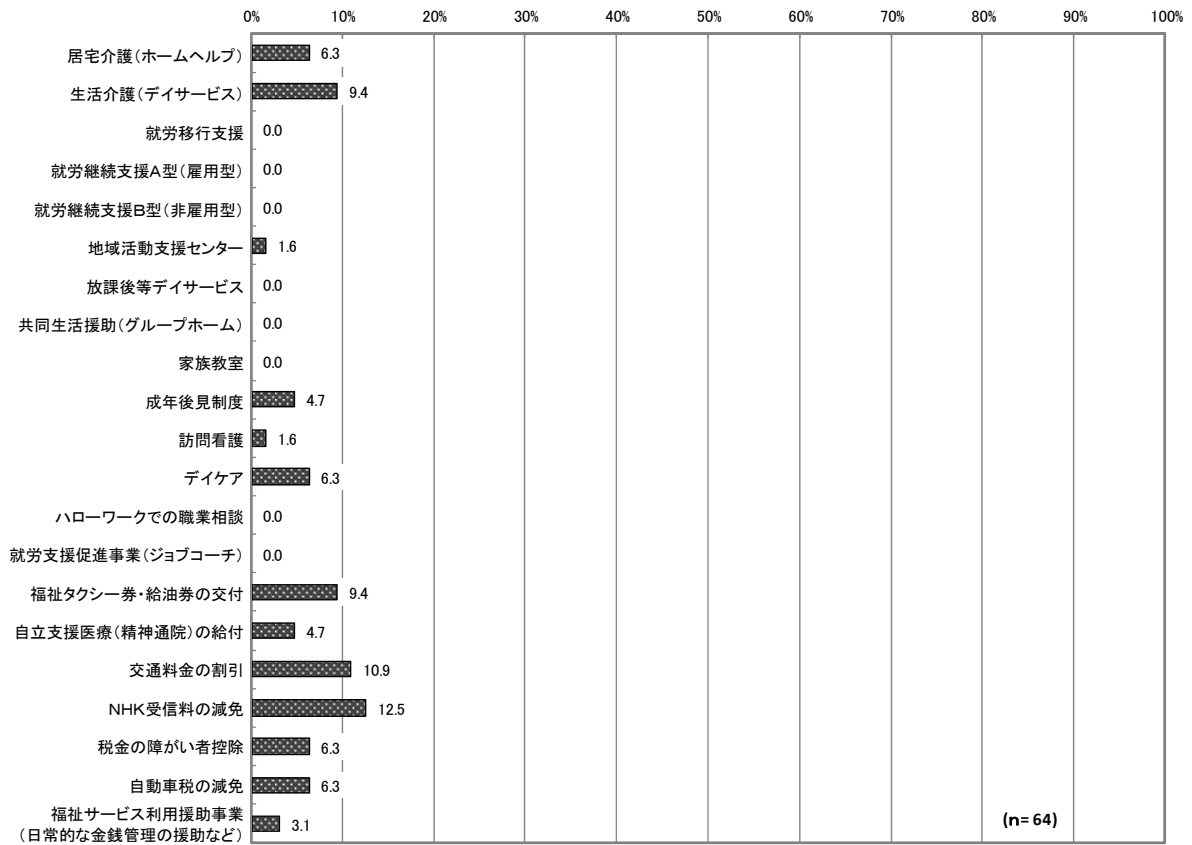
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



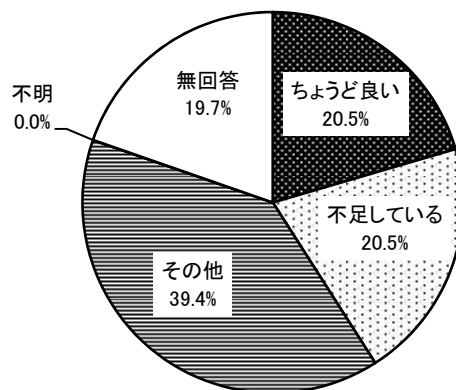
問 15 山形市内の精神障がい者入所施設の数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=264)

【入所施設の数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	54	20.5%	0	0.0%	40	20.1%	14	21.9%
2 不足している	54	20.5%	0	0.0%	45	22.6%	9	14.1%
3 その他	104	39.4%	1	100.0%	80	40.2%	23	35.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	52	19.7%	0	0.0%	34	17.1%	18	28.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

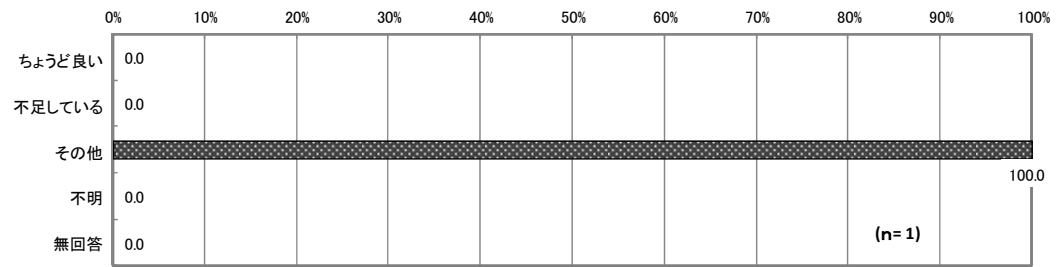
- 2 不足している：具体的に グループホームが足りない (4) 近くにない (3) A型事業所が少ない (3)
 精神障がい者向けがない (3) 自分にあう所がない (2) 満員 (2) 地域活動支援センターがもっとあればよい (1) 思っている以上に苦しんでいる人が多いと感じる (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (92) 年齢制限があり利用出来ない (1)
 施設を全部知っている訳ではないが、不足していると思う。その施設にあわないと断わられてしまう (1) 1人の生活の方が気持ちが楽 (1)



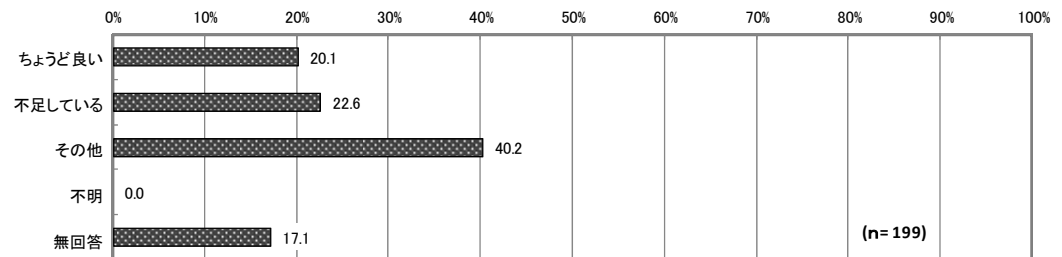
n=264

【年代別】

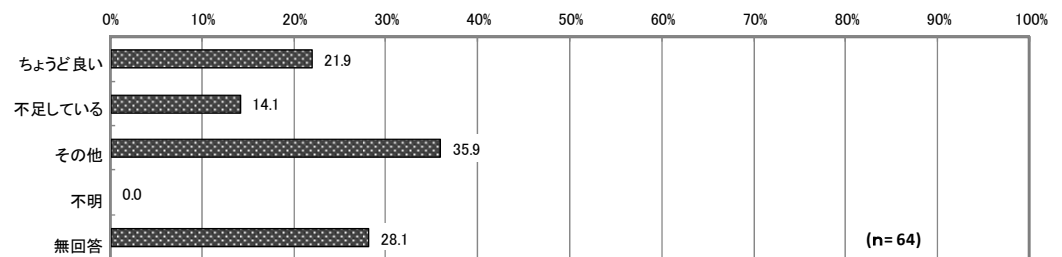
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



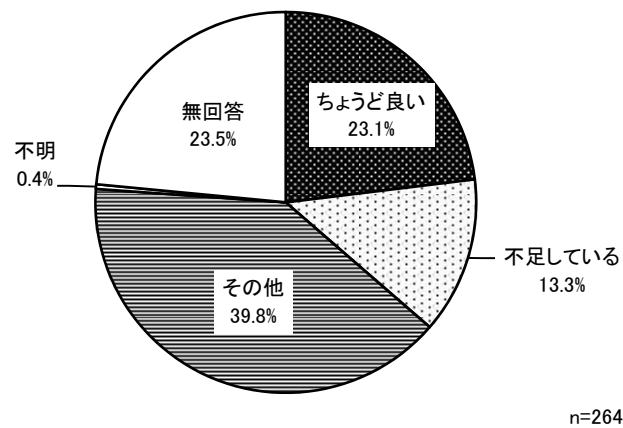
【入所施設の定員数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	61	23.1%	0	0.0%	46	23.1%	15	23.4%
2 不足している	35	13.3%	0	0.0%	30	15.1%	5	7.8%
3 その他	105	39.8%	1	100.0%	81	40.7%	23	35.9%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	62	23.5%	0	0.0%	41	20.6%	21	32.8%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

2 不足している：具体的に 定員が少ない (3) 施設が少ない (2) きめ細かに対応してほしい (1)

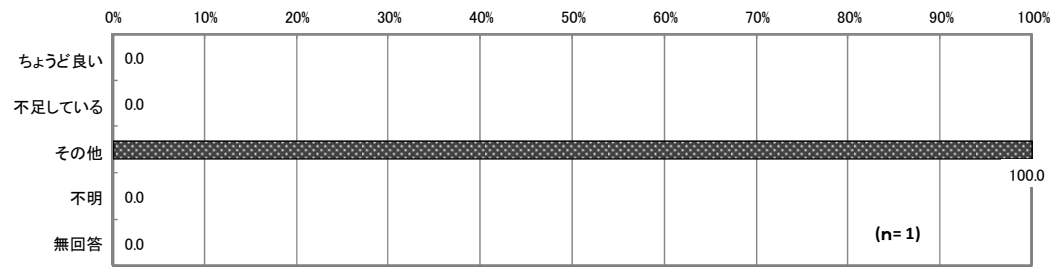
一人になれるスペースがないときいている (1) 作業療法の定員をもっと増やした方がよい (1) 身近なものになっていない (1)

3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (93)

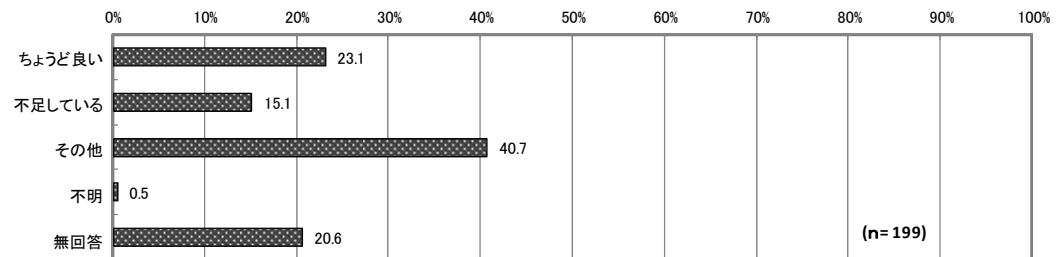


【年代別】

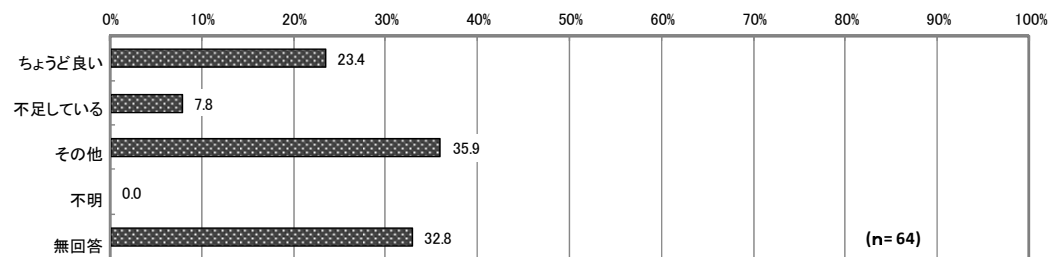
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



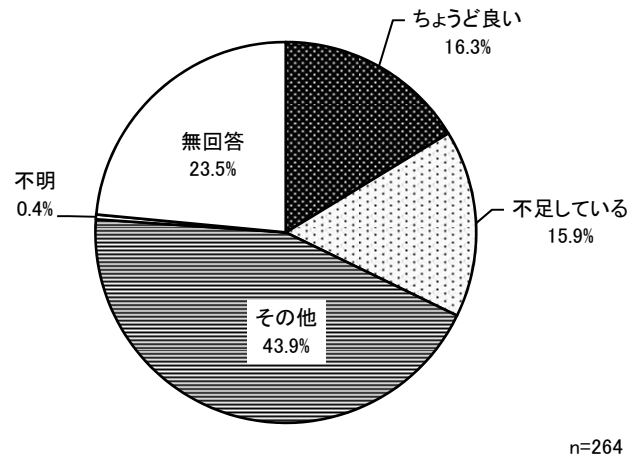
問 16 山形市内の精神障がい者グループホームの数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=264)

【グループホームの数】

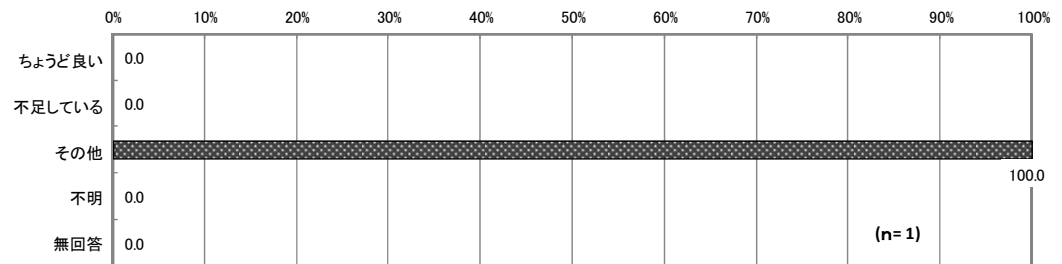
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	43	16.3%	0	0.0%	35	17.6%	8	12.5%
2 不足している	42	15.9%	0	0.0%	35	17.6%	7	10.9%
3 その他	116	43.9%	1	100.0%	91	45.7%	24	37.5%
不明	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
無回答	62	23.5%	0	0.0%	38	19.1%	24	37.5%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

- 2 不足している：具体的に 空き待ち (2) 山形市内に数ヶ所 (3施設位) しかない等、施設が少ない (2)
 利用したい人がもっといると思う (1) ケースワーカーに聞いた (1) 精神も発達も知的も全部一緒のため満員 (1) 70 才以上が多くなる (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (99) 生活保護のために入居できない (1)

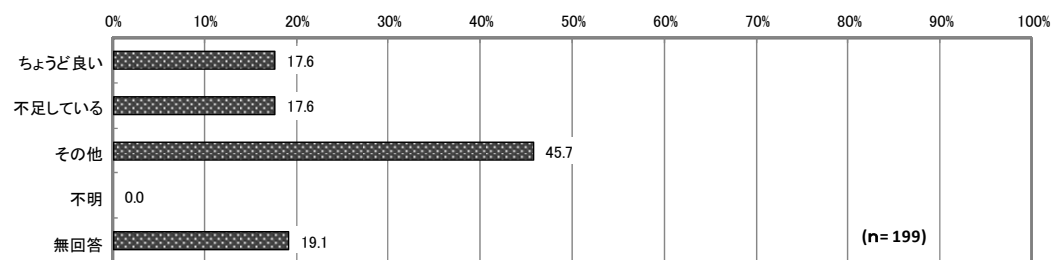


【年代別】

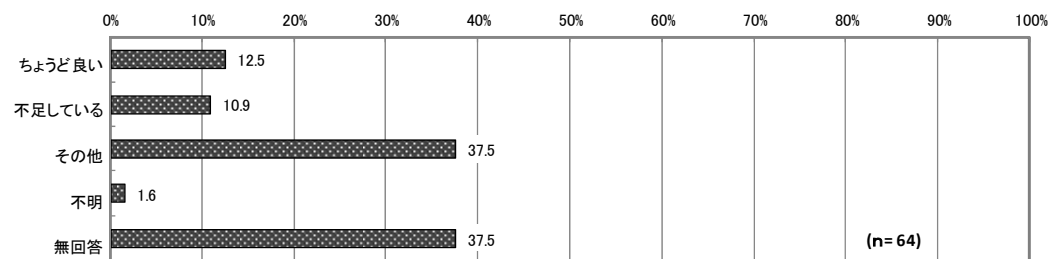
《18 歳未満》



《18～64 歳》



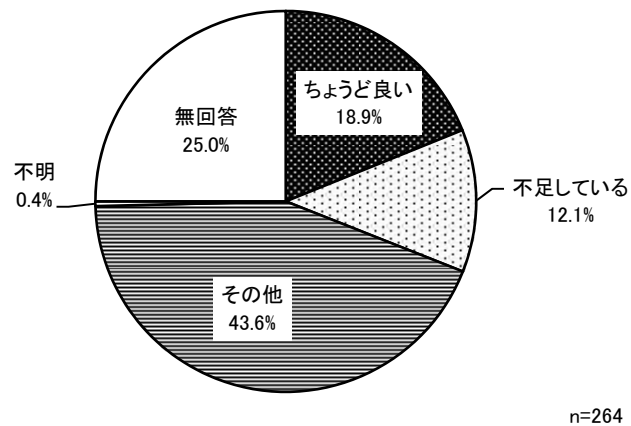
《65 歳以上》



【グループホームの定員数】

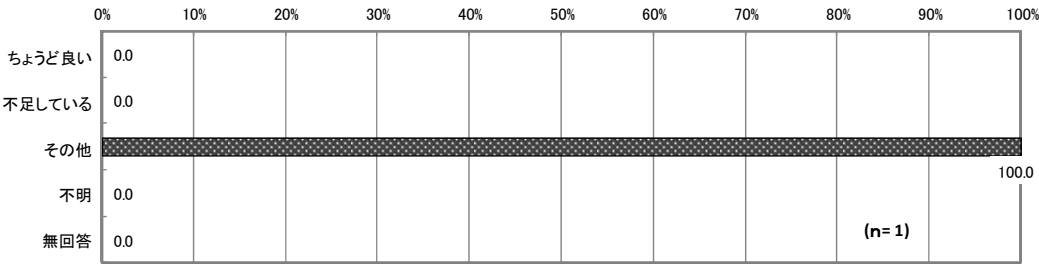
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	50	18.9%	0	0.0%	41	20.6%	9	14.1%
2 不足している	32	12.1%	0	0.0%	26	13.1%	6	9.4%
3 その他	115	43.6%	1	100.0%	91	45.7%	23	35.9%
不明	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
無回答	66	25.0%	0	0.0%	41	20.6%	25	39.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

- 2 不足している：具体的に 入りたいと思っているが不足している (2) 施設が少ないので定員も少数だ
 と思う (1) 一人になれるスペースがないときいている (1) 70 才以上が多くなる (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (96) 入院中 (1) 生活保護のために入居できない (1)

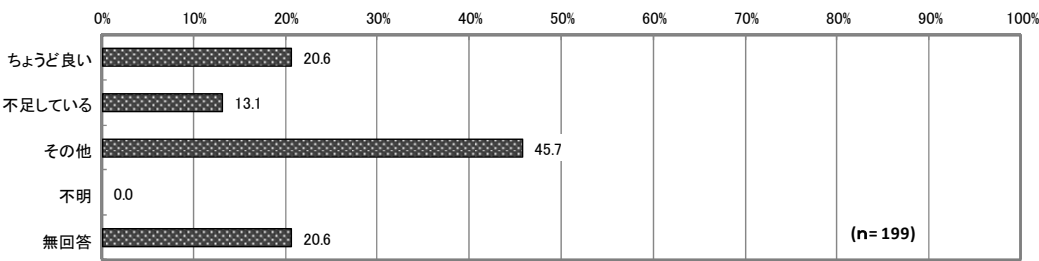


【年代別】

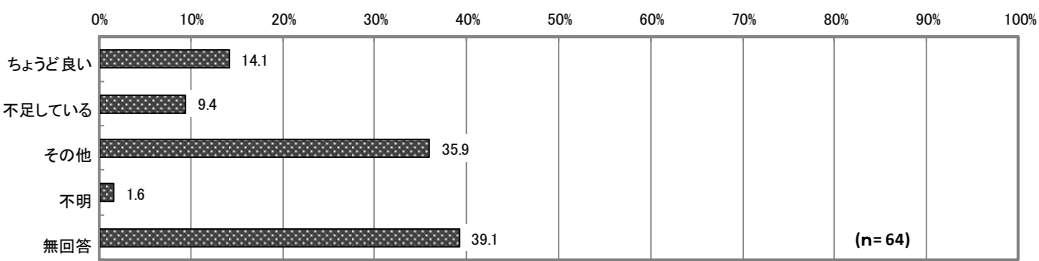
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



問 17 山形市内の精神障がい福祉サービス通所事業所の数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=264)

【障がい者通所事業所の数】

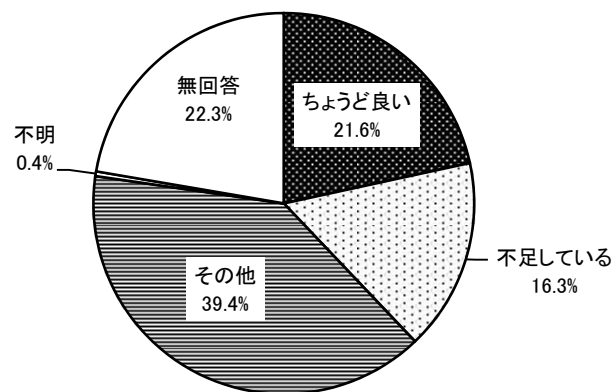
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	57	21.6%	0	0.0%	45	22.6%	12	18.8%
2 不足している	43	16.3%	0	0.0%	39	19.6%	4	6.3%
3 その他	104	39.4%	1	100.0%	80	40.2%	23	35.9%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	59	22.3%	0	0.0%	34	17.1%	25	39.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

2 不足している：具体的に 近くにない (4) A型事業所が少ない (3) 利用したいが入れない (2)

病院のデイケアの職員は信用できない出来事があった (1) 精神も発達も知的も全部一

緒のため満員 (1) 精神障がい者への配慮が足りない (1) 自分にあうところがない (1)

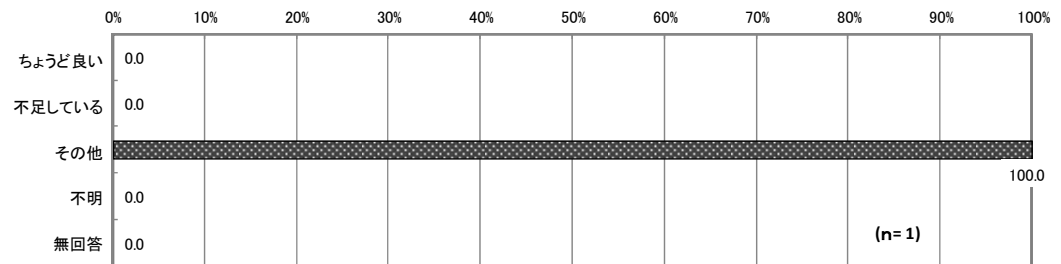
3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (83) 施設の数も少なく定員数も少ないので入所したくても出来ない (1) 利用したことがない (1) 感じのよい福祉サービス事業所がない (1)



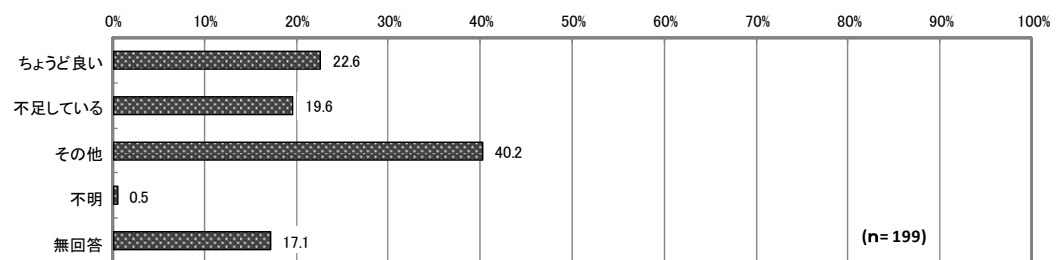
n=264

【年代別】

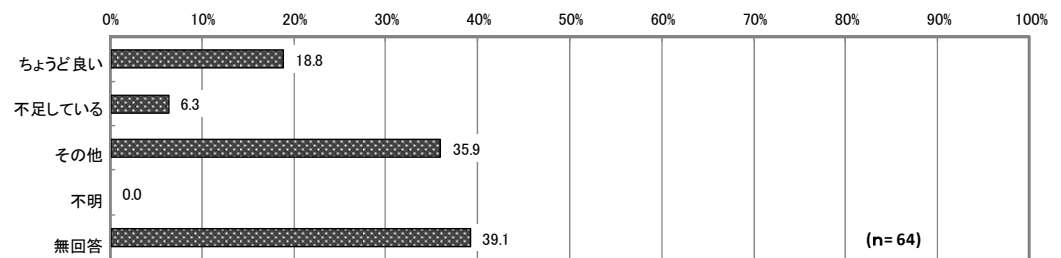
《18 歳未満》



《18～64 歳》



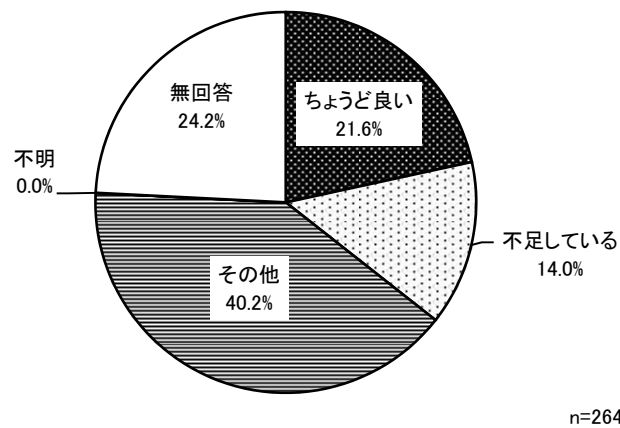
《65 歳以上》



【障がい者通所事業所の定員数】

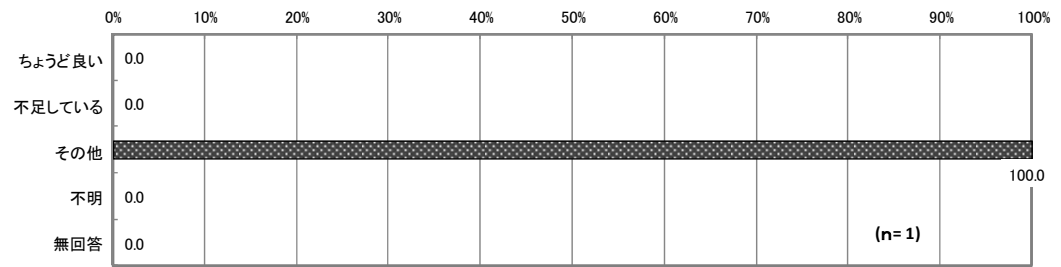
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	57	21.6%	0	0.0%	47	23.6%	10	15.6%
2 不足している	37	14.0%	0	0.0%	32	16.1%	5	7.8%
3 その他	106	40.2%	1	100.0%	82	41.2%	23	35.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	64	24.2%	0	0.0%	38	19.1%	26	40.6%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

- 2 不足している：具体的に 入りたいと思っているのに数が少なくて入れない (2) 受け皿が少ないと病気になる (1) 混む (1) 10名位の小規模施設がほとんど (1) 一人になれるスペースがないときいている (1) 就労Aが不足している (1) 通所している人が少ない気がする (1) 障害程度に合う所が少ない (1)
- 3 その他：主な内訳 分からない、知らない、考えたことがない (85) 利用したことがない (1) 利用したくない (1)

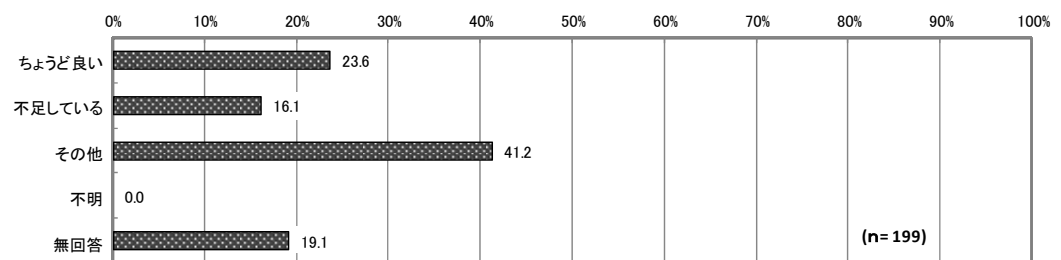


【年代別】

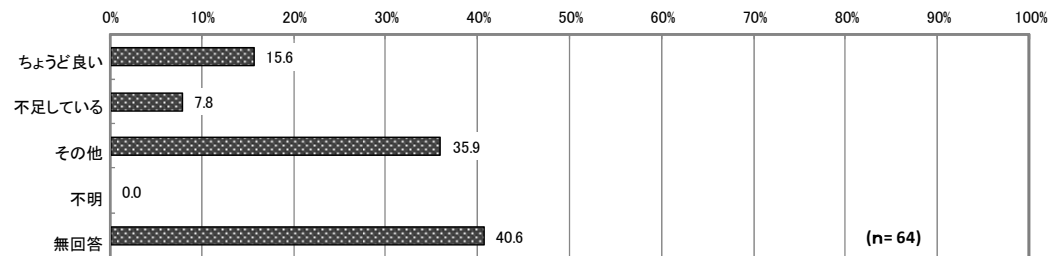
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【就労について】

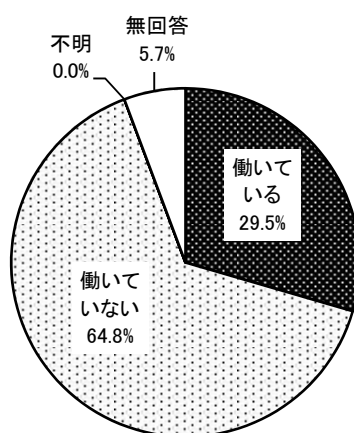
現在の就労状況については、「働いていない」が64.8%と6割半ばを占め、「働いている」の29.5%を大きく上回った。働いている人に就労形態を尋ねたところ、「臨時・日雇い・パート・嘱託・アルバイト」が41.0%と4割強を占めて最も高く、次いで「就労継続支援事業所B型（非雇用型）」が32.1%、「正社員、正職員」が10.3%となった。現在の仕事をどのようにして見つけたかについては、「公共職業安定所（ハローワーク）」が25.6%と最も高く、次いで「就労移行支援事業所」が11.5%となった。仕事をするうえでの不安や不満については、「収入が少ない」が53.8%と最も高く、次いで「職場の人間関係にとけこめない」が21.8%、「病気で生活のリズムがくずれやすい」が19.2%となっている。

一方、働いていない人に仕事をしていない理由を尋ねたところ、「病気のため（入院中を含む）」が43.3%と最も高く、次いで「障がいや病気に合った仕事がない」が29.8%、「高齢のため」が24.6%となった。今後の活動や将来の進路については、「自宅でできる仕事がしたい」が19.3%と最も高く、次いで「障がい者の雇用が多い事業所」が17.5%となっている。

働き続ける（または将来働く）ために特に必要だと思うことは、「自分に合った仕事である」が33.0%と最も高く、次いで「障がいや病気に対する理解や配慮」が32.2%、「具合が悪くなった時に気軽に通院できる」及び「職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること」が23.9%となった。

問 18 あなたは現在、働いていますか。（単数回答 n=264）

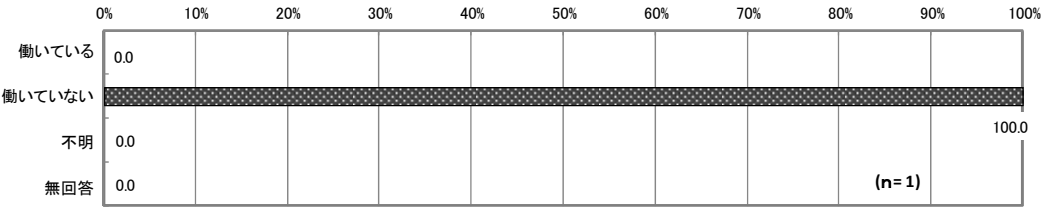
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 働いている	78	29.5%	0	0.0%	73	36.7%	5	7.8%
2 働いていない	171	64.8%	1	100.0%	120	60.3%	50	78.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	5.7%	0	0.0%	6	3.0%	9	14.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



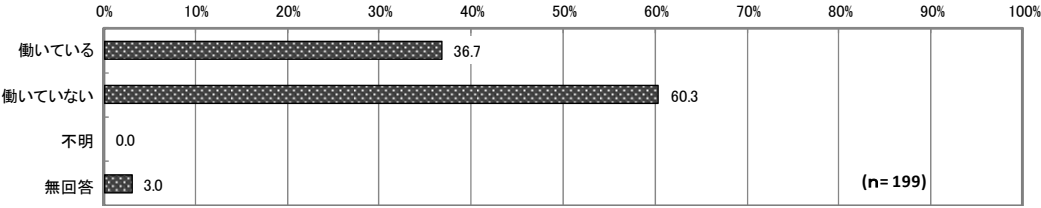
n=264

【年代別】

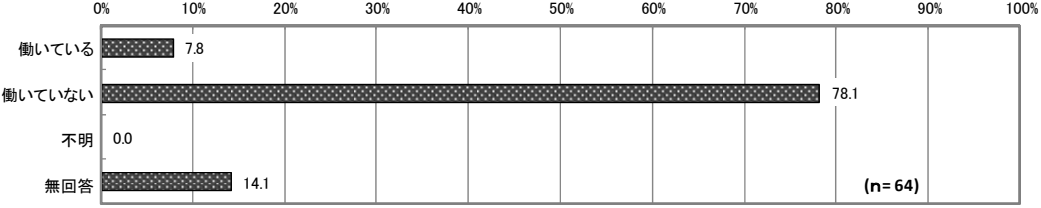
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

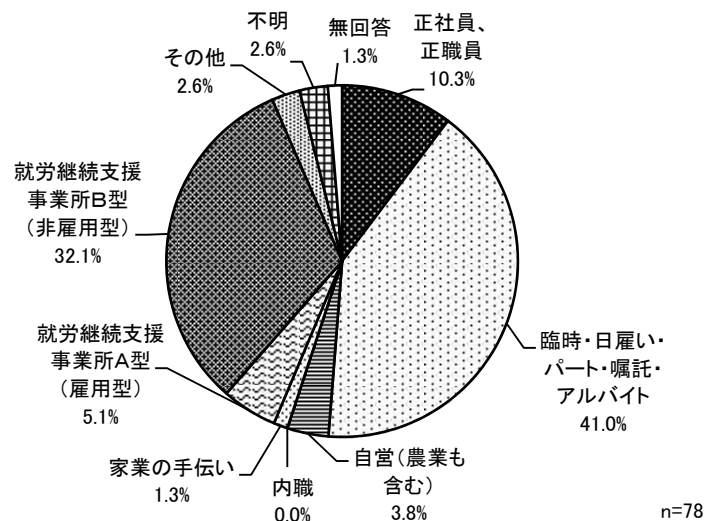


問 19 問 18 で「1」を回答した方におたずねします。どのような形態で働いていますか。

(単数回答 n=78)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 正社員、正職員	8	10.3%	0	0.0%	8	11.0%	0	0.0%
2 臨時・日雇い・パート・嘱託・アルバイト	32	41.0%	0	0.0%	30	41.1%	2	40.0%
3 自営（農業も含む）	3	3.8%	0	0.0%	2	2.7%	1	20.0%
4 内職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 家業の手伝い	1	1.3%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
6 就労継続支援事業所A型（雇用型）	4	5.1%	0	0.0%	4	5.5%	0	0.0%
7 就労継続支援事業所B型（非雇用型）	25	32.1%	0	0.0%	23	31.5%	2	40.0%
8 その他	2	2.6%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
不明	2	2.6%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
無回答	1	1.3%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
合計	78	100.0%	0	0.0%	73	100.0%	5	100.0%

8 その他：主な内訳 工賃（1）公共職業訓練（1）

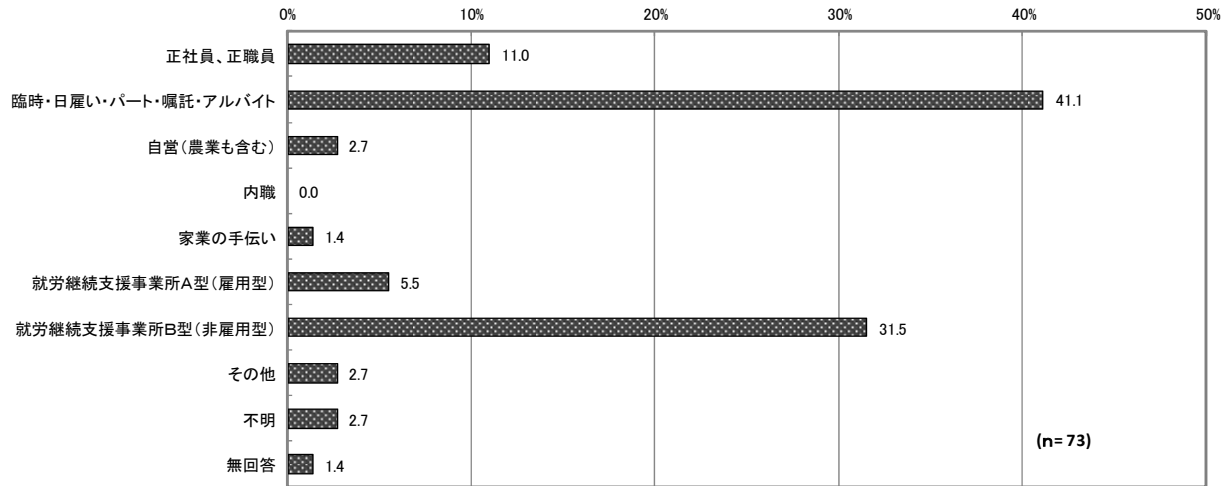


【年代別】

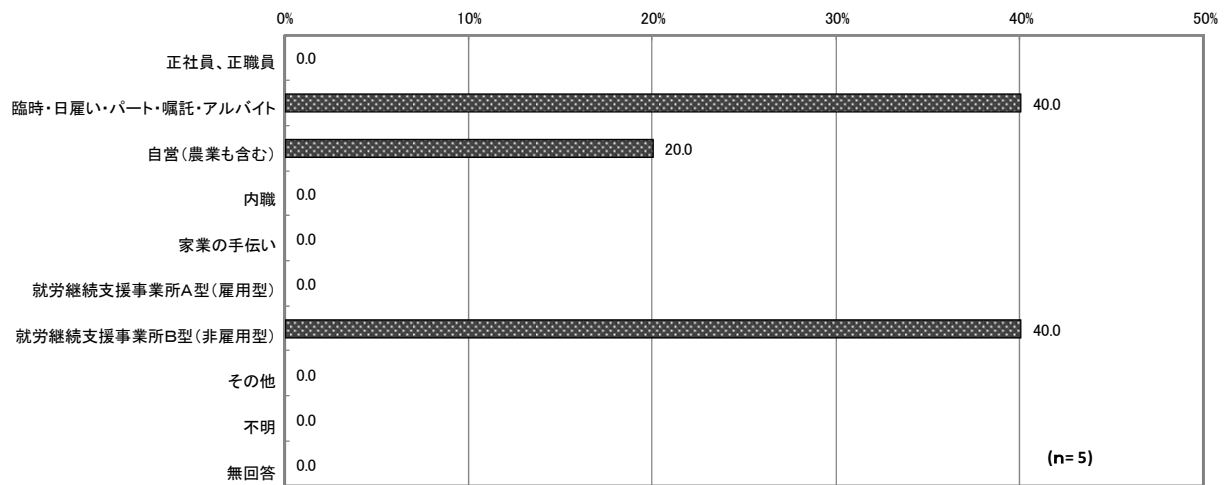
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

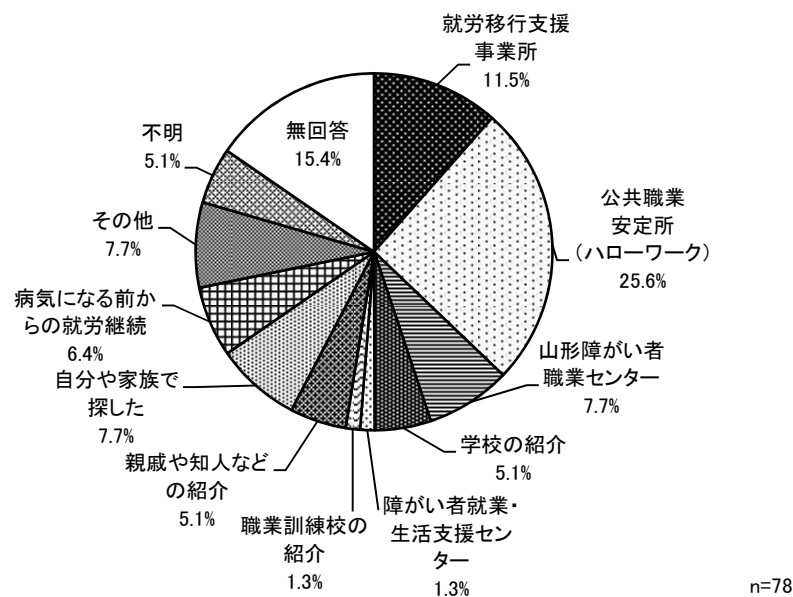


問 20 問 18 で「1」を回答した方におたずねします。現在の仕事はどのようにして見つけましたか。

(単数回答 n=78)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 就労移行支援事業所	9	11.5%	0	0.0%	8	11.0%	1	20.0%
2 公共職業安定所（ハローワーク）	20	25.6%	0	0.0%	19	26.0%	1	20.0%
3 山形障がい者職業センター	6	7.7%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
4 学校の紹介	4	5.1%	0	0.0%	4	5.5%	0	0.0%
5 障がい者就業・生活支援センター	1	1.3%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
6 職業訓練校の紹介	1	1.3%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
7 親戚や知人などの紹介	4	5.1%	0	0.0%	4	5.5%	0	0.0%
8 自分や家族で探した	6	7.7%	0	0.0%	5	6.8%	1	20.0%
9 病気になる前からの就労継続	5	6.4%	0	0.0%	4	5.5%	1	20.0%
10 その他	6	7.7%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
不明	4	5.1%	0	0.0%	4	5.5%	0	0.0%
無回答	12	15.4%	0	0.0%	11	15.1%	1	20.0%
合計	78	100.0%	0	0.0%	73	100.0%	5	100.0%

10 その他：主な内訳 デイケアでの紹介（1）主治医の紹介（1）相談支援員（1）グループホーム（1）ハローワーク主催のふれあい面接会（1）

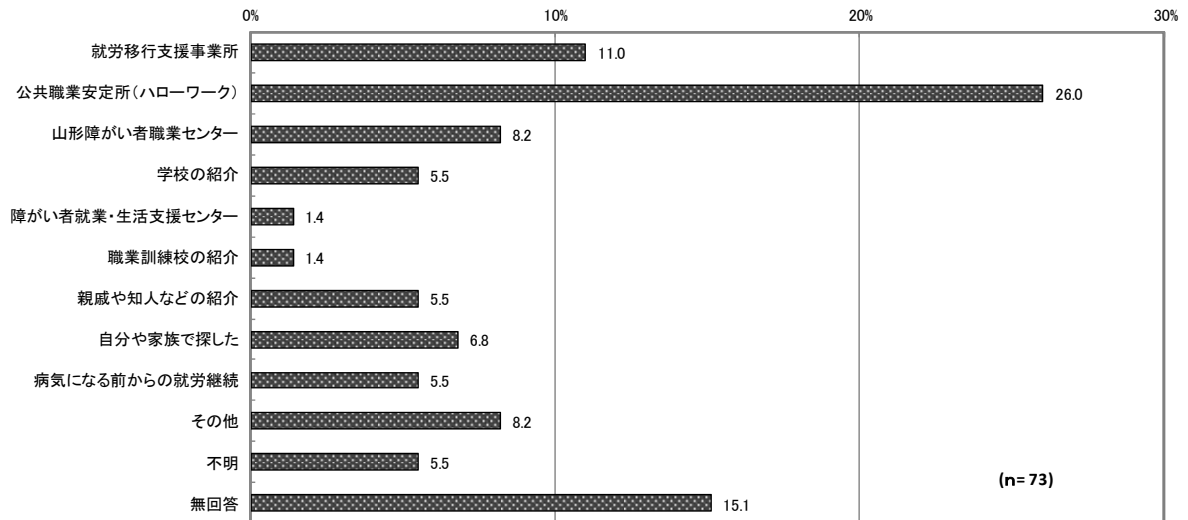


【年代別】

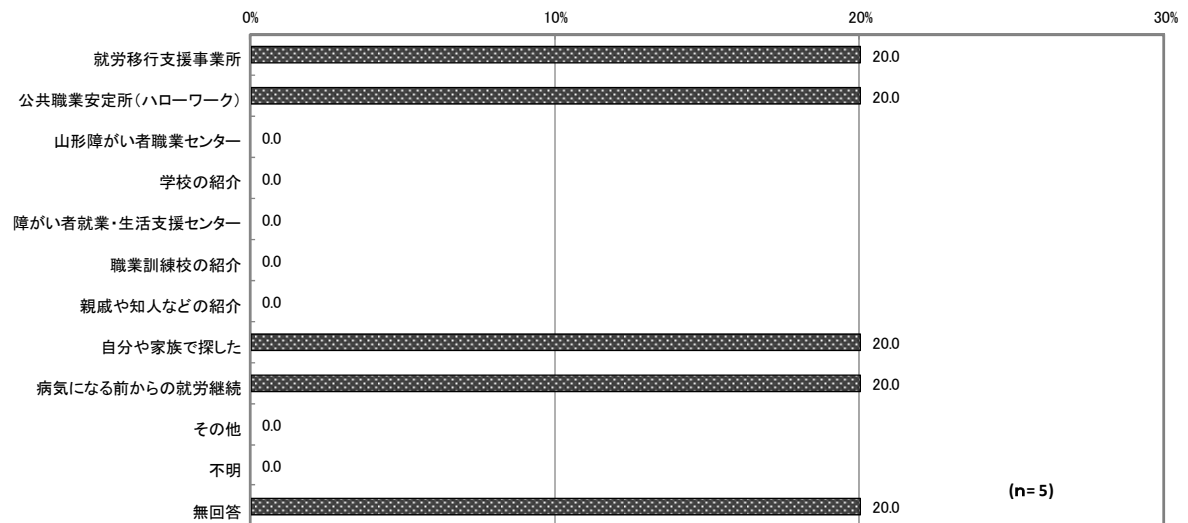
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



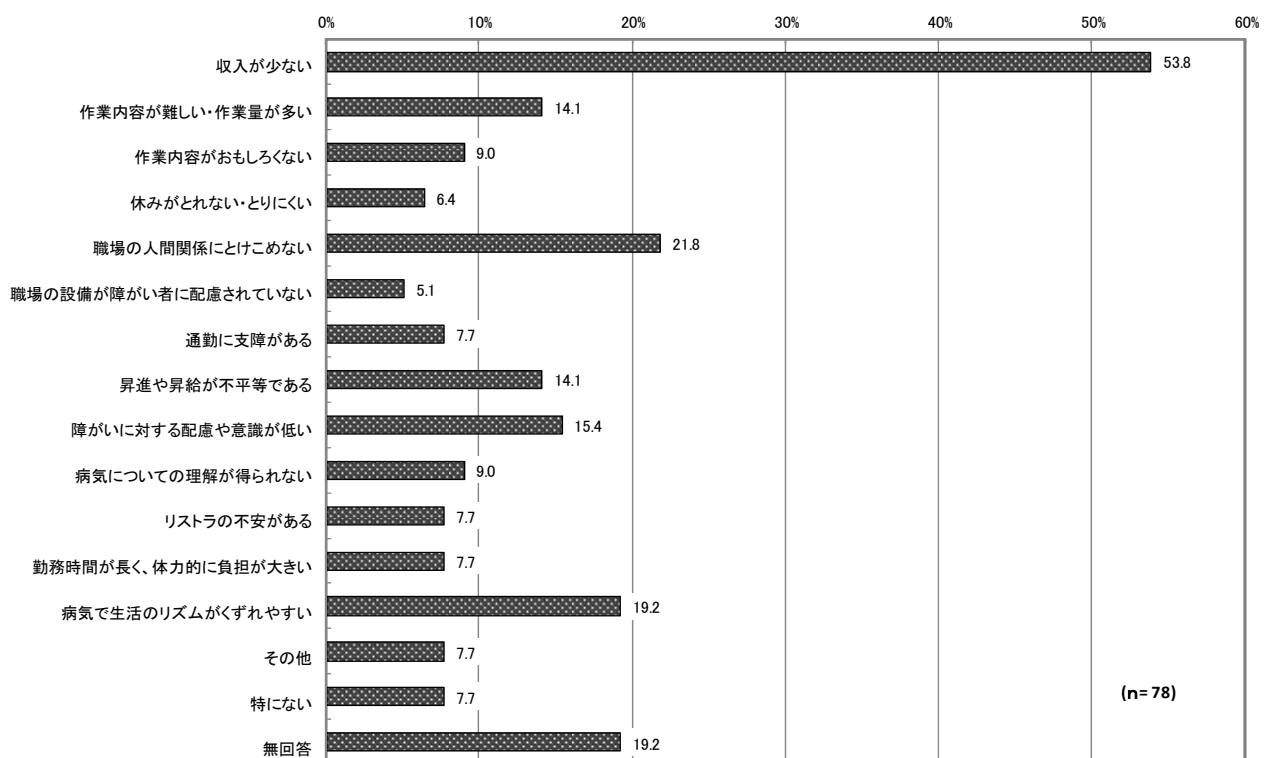
《65 歳以上》



問 21 問 18 で「1」を回答した方におたずねします。仕事をするうえで不安や不満はありますか。
(複数回答 n=78)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 収入が少ない	42	53.8%	0	0.0%	40	54.8%	2	40.0%
2 作業内容が難しい・作業量が多い	11	14.1%	0	0.0%	11	15.1%	0	0.0%
3 作業内容がおもしろくない	7	9.0%	0	0.0%	7	9.6%	0	0.0%
4 休みがとれない・とりにくい	5	6.4%	0	0.0%	5	6.8%	0	0.0%
5 職場の人間関係にとけこめない	17	21.8%	0	0.0%	16	21.9%	1	20.0%
6 職場の設備が障がい者に配慮されていない	4	5.1%	0	0.0%	4	5.5%	0	0.0%
7 通勤に支障がある	6	7.7%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
8 昇進や昇給が不平等である	11	14.1%	0	0.0%	10	13.7%	1	20.0%
9 障がいに対する配慮や意識が低い	12	15.4%	0	0.0%	11	15.1%	1	20.0%
10 病気についての理解が得られない	7	9.0%	0	0.0%	7	9.6%	0	0.0%
11 リストラの不安がある	6	7.7%	0	0.0%	5	6.8%	1	20.0%
12 勤務時間が長く、体力的に負担が大きい	6	7.7%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
13 病気で生活のリズムがくずれやすい	15	19.2%	0	0.0%	15	20.5%	0	0.0%
14 その他	6	7.7%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
15 特にない	6	7.7%	0	0.0%	6	8.2%	0	0.0%
無回答	15	19.2%	0	0.0%	13	17.8%	2	40.0%
合計	78		0		73		5	

14 その他：主な内訳 健康が不安定 (3) 疲れやすい、疲れがとれない (2) 二次障害の躁うつうつ状態で働けなくなること (1)

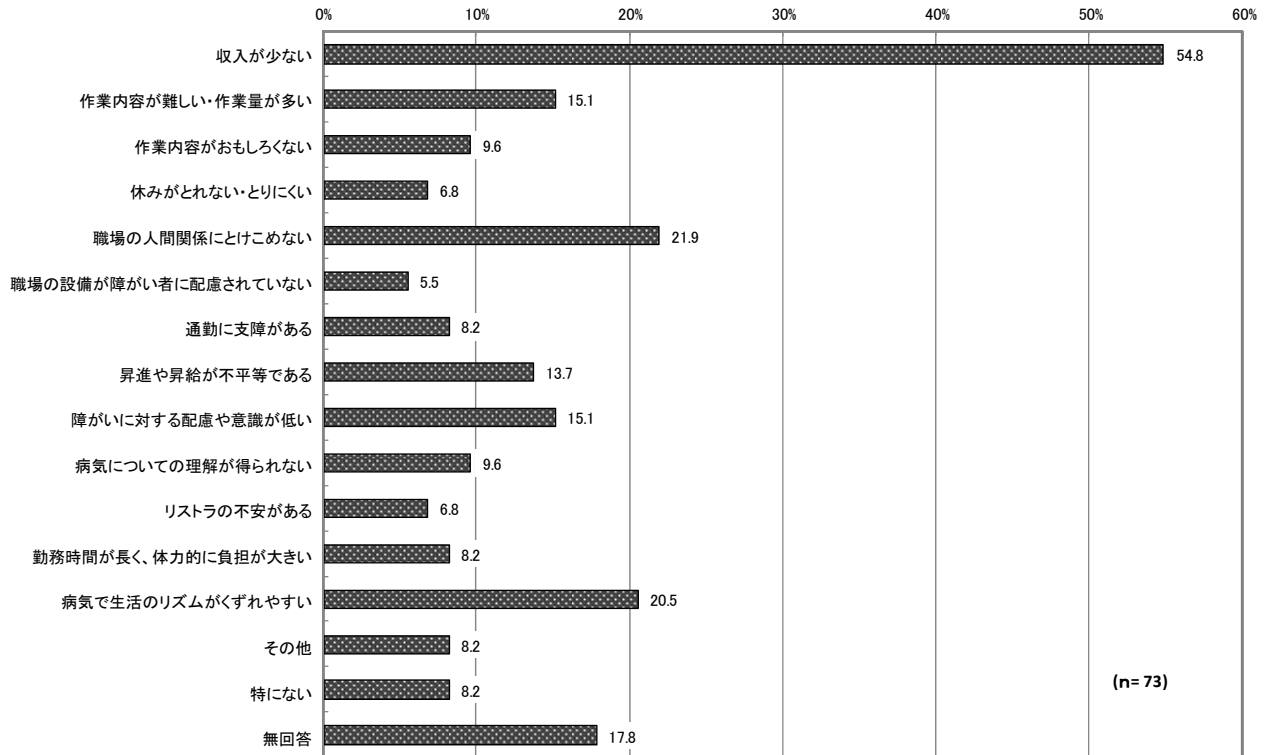


【年代別】

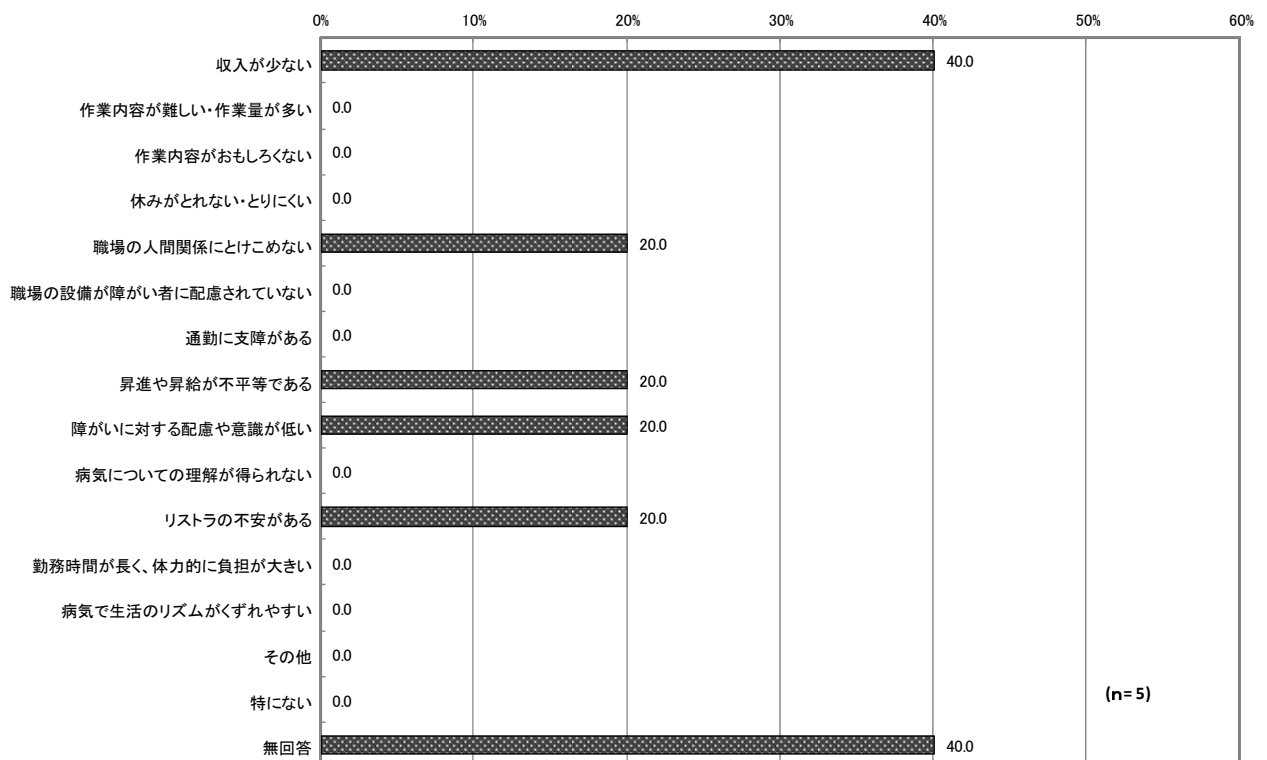
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



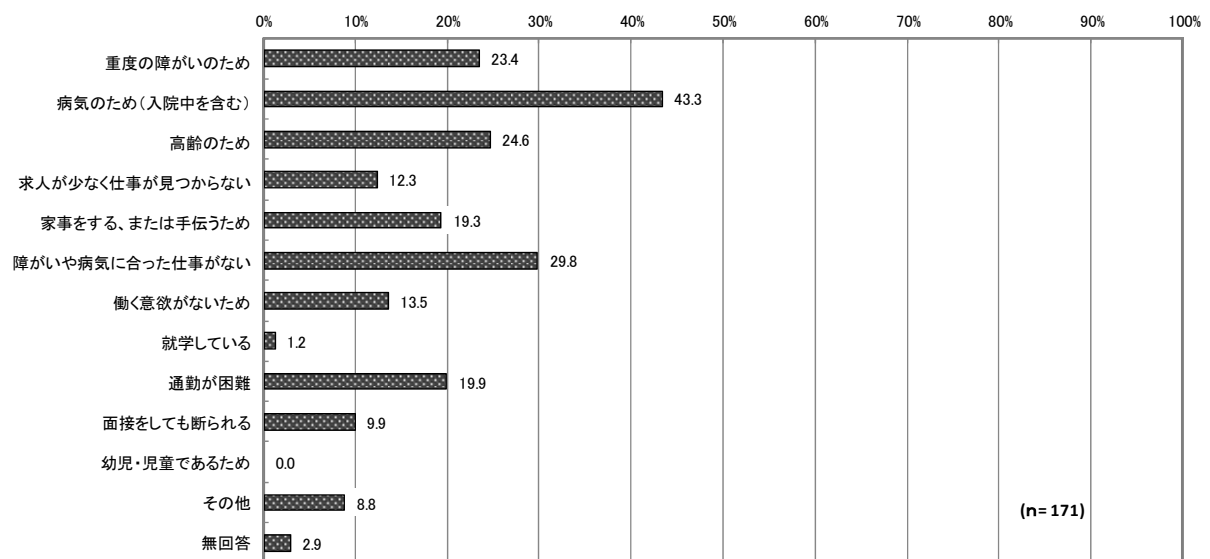
《65 歳以上》



問 22 問 18 で「2」を回答した方におたずねします。あなたが仕事をしていない理由は何ですか。
(複数回答 n=171)

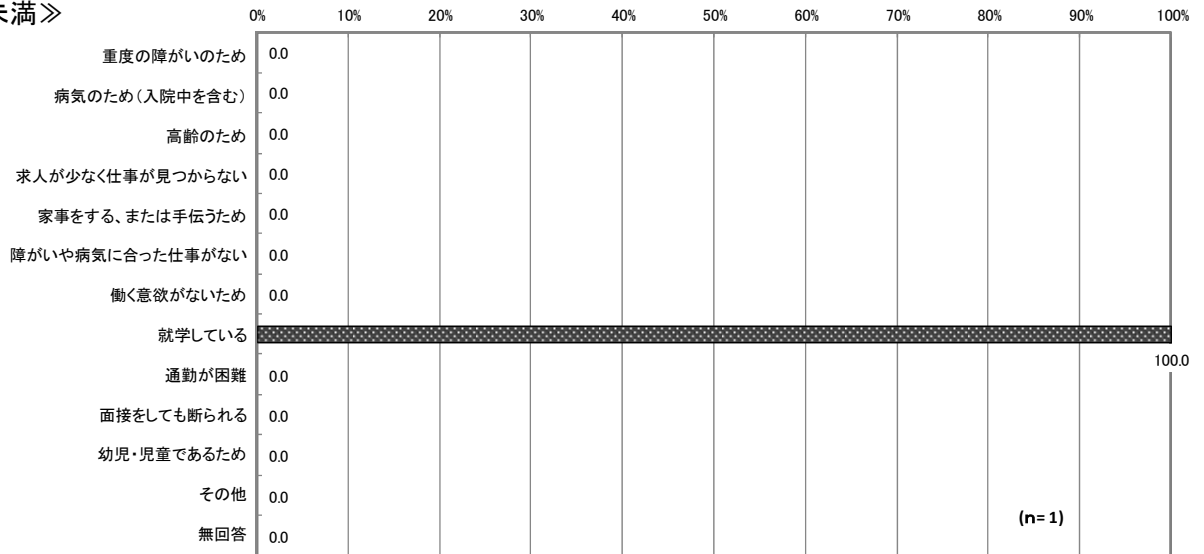
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 重度の障がいのため	40	23.4%	0	0.0%	30	25.0%	10	20.0%
2 病気のため(入院中を含む)	74	43.3%	0	0.0%	61	50.8%	13	26.0%
3 高齢のため	42	24.6%	0	0.0%	7	5.8%	35	70.0%
4 求人が少なく仕事が見つからない	21	12.3%	0	0.0%	20	16.7%	1	2.0%
5 家事をする、または手伝うため	33	19.3%	0	0.0%	27	22.5%	6	12.0%
6 障がいや病気に合った仕事がない	51	29.8%	0	0.0%	47	39.2%	4	8.0%
7 働く意欲がないため	23	13.5%	0	0.0%	19	15.8%	4	8.0%
8 就学している	2	1.2%	1	100.0%	1	0.8%	0	0.0%
9 通勤が困難	34	19.9%	0	0.0%	29	24.2%	5	10.0%
10 面接をしても断られる	17	9.9%	0	0.0%	17	14.2%	0	0.0%
11 幼児・児童であるため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 その他	15	8.8%	0	0.0%	11	9.2%	4	8.0%
無回答	5	2.9%	0	0.0%	2	1.7%	3	6.0%
合計	171		1		120		50	

12 その他：主な内訳 B型が少ない等、断られた(3) 求職活動中(2) 重複障害になったため(1)
 具合が悪い時に責任ある仕事をやりとげるのがつらい(1) 作業療法をしている(1) 週4回
 デイケア(1) 孫達の子守り(1) 生活していけるだけの収入がある(1)
 障がい年金で間に合っている(1)

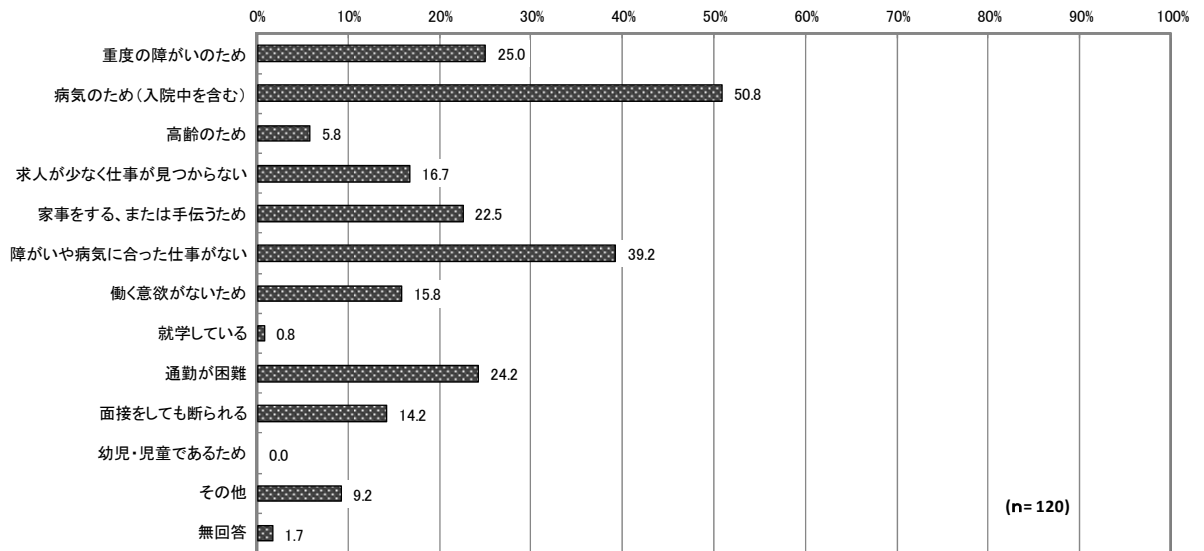


【年代別】

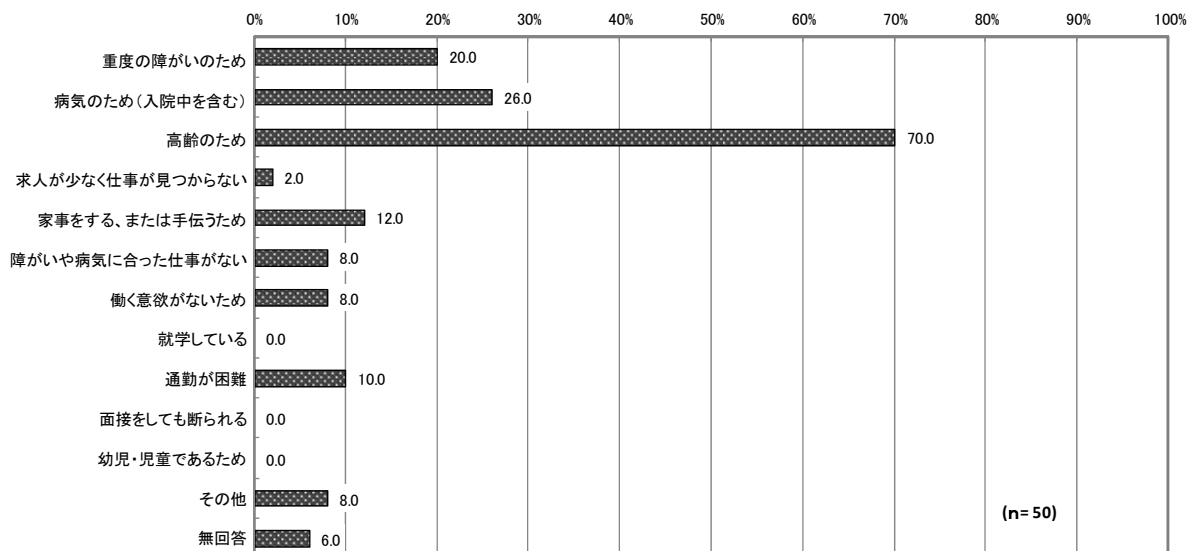
《18 歳未満》



《18～64 歳》



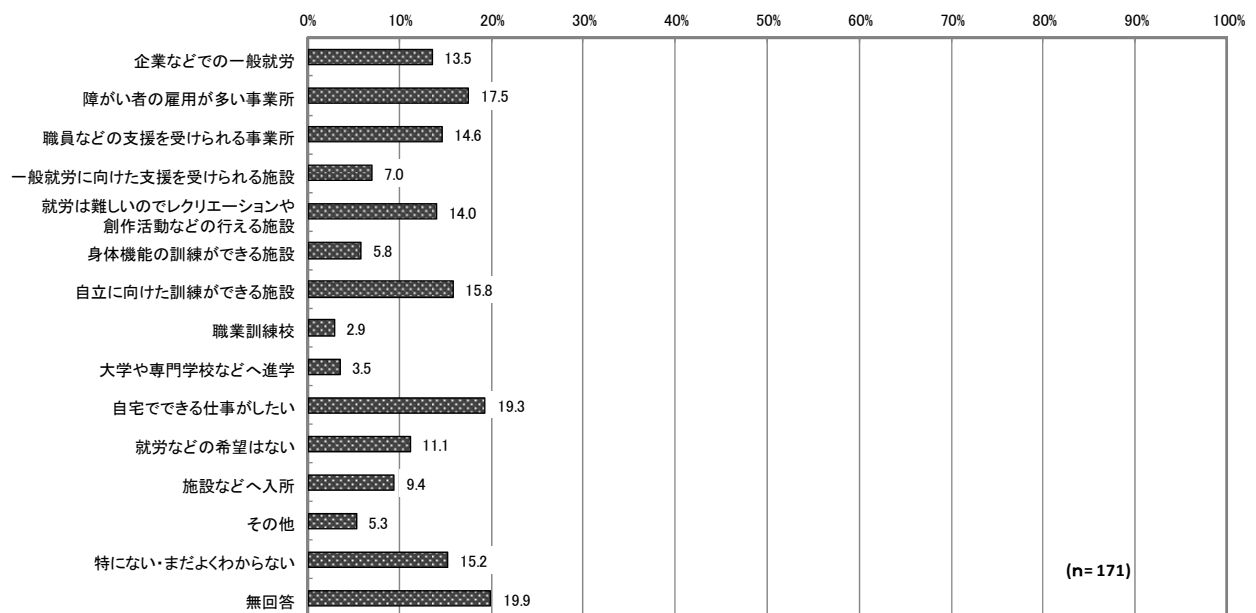
《65 歳以上》



問 23 問 18 で「2」を回答した方におたずねします。今後の活動や将来の進路について、どのような希望がありますか。（複数回答 n=171）

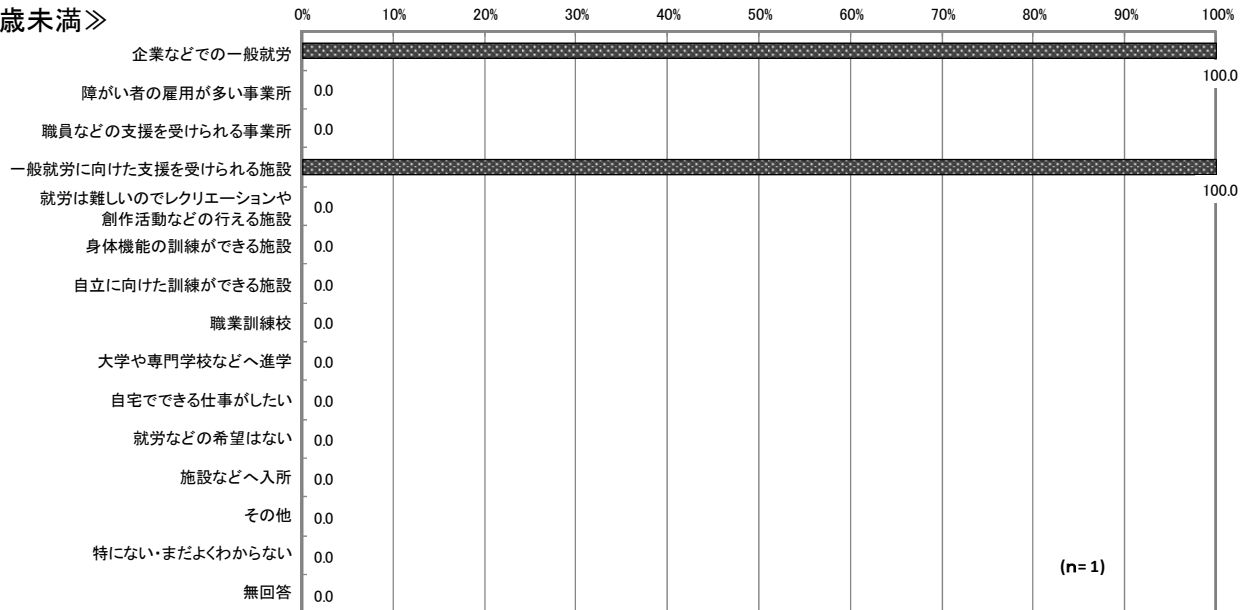
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 企業などでの一般就労	23	13.5%	1	100.0%	20	16.7%	2	4.0%
2 障がい者の雇用が多い事業所	30	17.5%	0	0.0%	28	23.3%	2	4.0%
3 職員などの支援を受けられる事業所	25	14.6%	0	0.0%	21	17.5%	4	8.0%
4 一般就労に向けた支援を受けられる施設	12	7.0%	1	100.0%	11	9.2%	0	0.0%
5 就労は難しいのでレクリエーションや創作活動などの行える施設	24	14.0%	0	0.0%	18	15.0%	6	12.0%
6 身体機能の訓練ができる施設	10	5.8%	0	0.0%	4	3.3%	6	12.0%
7 自立に向けた訓練ができる施設	27	15.8%	0	0.0%	22	18.3%	5	10.0%
8 職業訓練校	5	2.9%	0	0.0%	4	3.3%	1	2.0%
9 大学や専門学校などへ進学	6	3.5%	0	0.0%	5	4.2%	1	2.0%
10 自宅でできる仕事がしたい	33	19.3%	0	0.0%	27	22.5%	6	12.0%
11 就労などの希望はない	19	11.1%	0	0.0%	8	6.7%	11	22.0%
12 施設などへ入所	16	9.4%	0	0.0%	9	7.5%	7	14.0%
13 その他	9	5.3%	0	0.0%	6	5.0%	3	6.0%
14 特にない・まだよくわからない	26	15.2%	0	0.0%	18	15.0%	8	16.0%
無回答	34	19.9%	0	0.0%	21	17.5%	13	26.0%
合計	171		1		120		50	

13 その他：主な内訳 車が使えなくなったので車がいらない東京に出たい（1）老後に静かに暮らせる場所が欲しい（1）自営業（1）家業へ就労（1）自宅で年金生活（1）高齢で無理（1）具合の悪い時に休ませてもらえる（1）先生に就労はしてはだめだと言われている（1）施設にはかわりたくない（1）

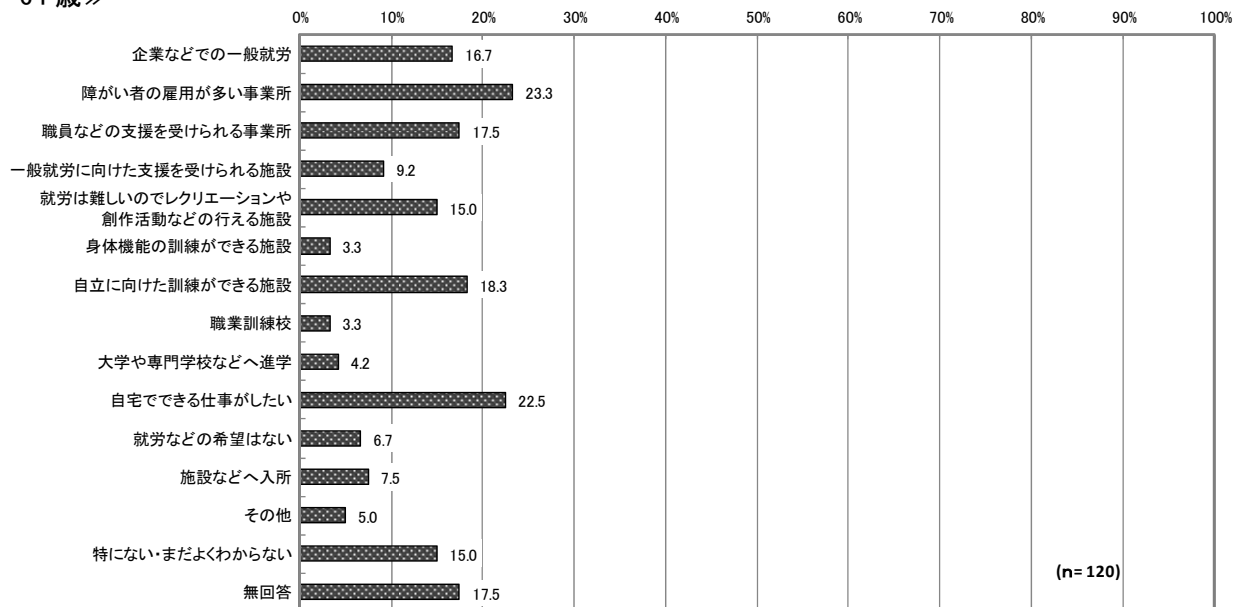


【年代別】

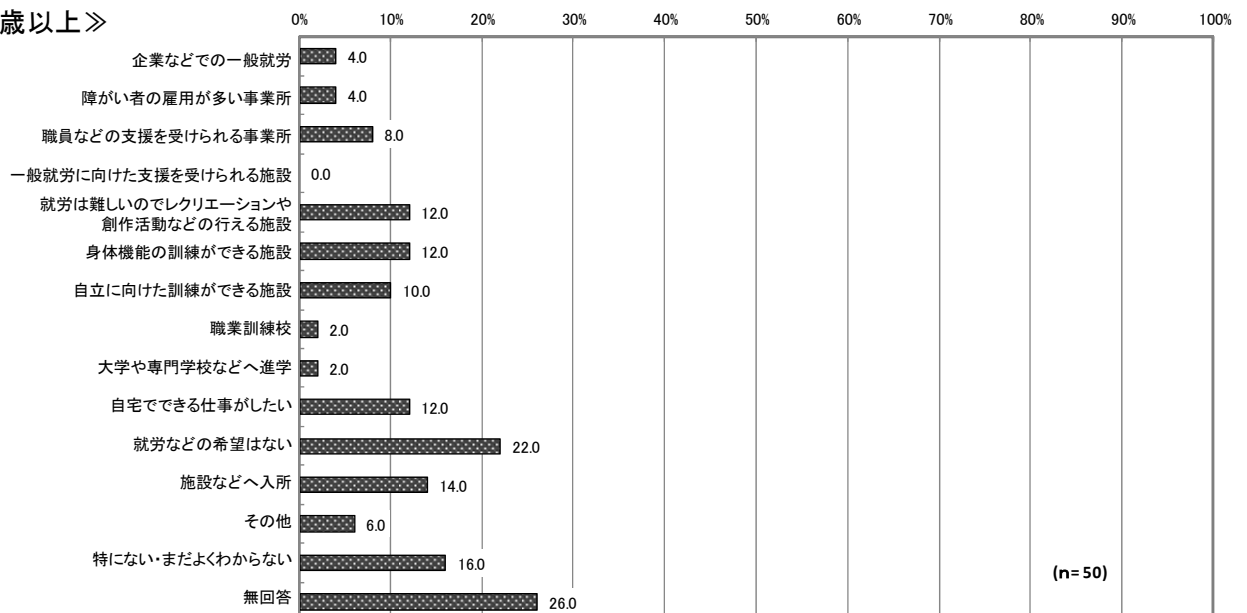
≪18歳未満≫



≪18～64歳≫



≪65歳以上≫

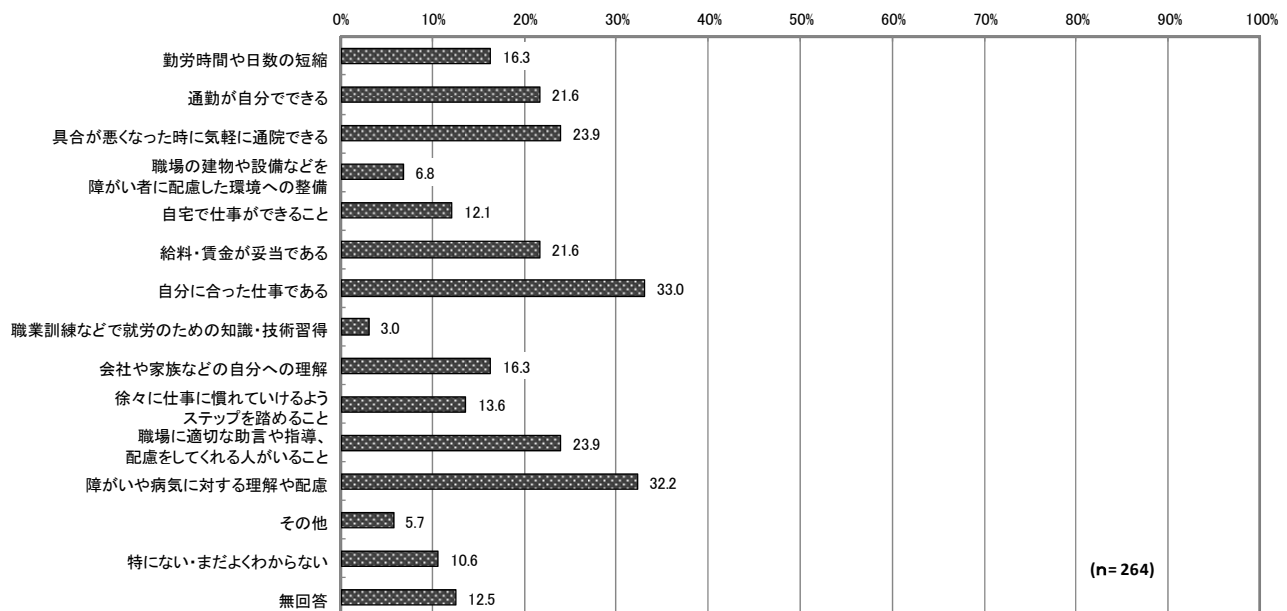


問 24 あなたが働き続ける（または将来働く）には、どのようなことが特に必要だと思いますか。

（3つまで○印） （複数回答 n=264）

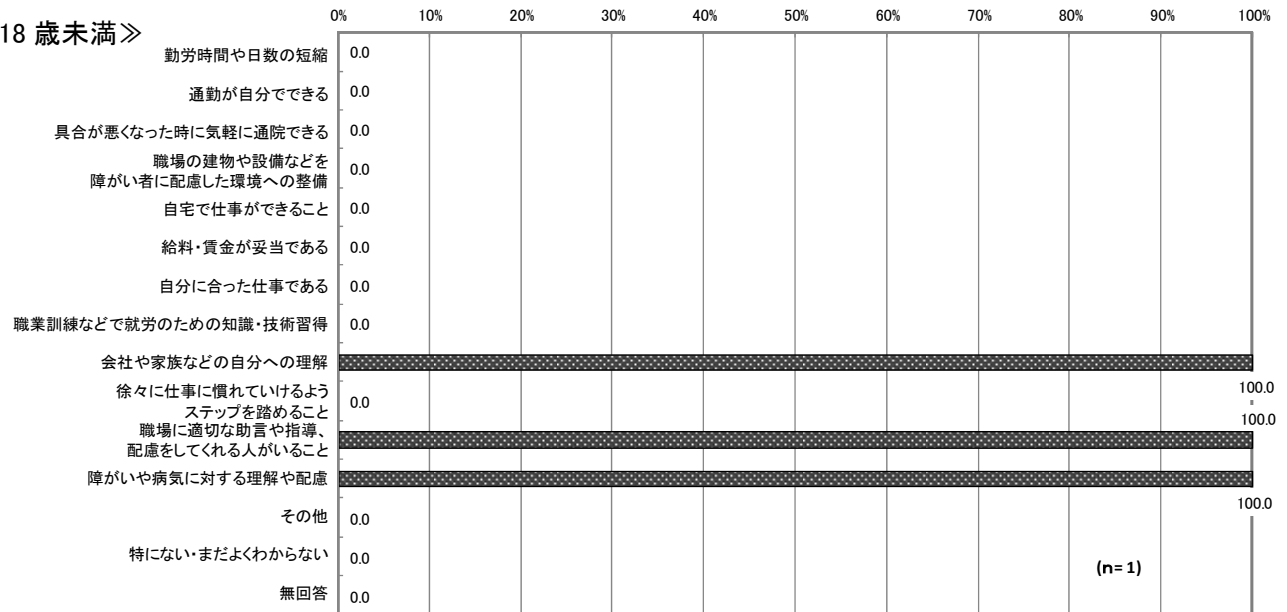
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 勤務時間や日数の短縮	43	16.3%	0	0.0%	38	19.1%	5	7.8%
2 通勤が自分のできる	57	21.6%	0	0.0%	54	27.1%	3	4.7%
3 具合が悪くなった時に気軽に通院できる	63	23.9%	0	0.0%	57	28.6%	6	9.4%
4 職場の建物や設備などを障がい者に配慮した環境への整備	18	6.8%	0	0.0%	15	7.5%	3	4.7%
5 自宅で仕事ができること	32	12.1%	0	0.0%	27	13.6%	5	7.8%
6 給料・賃金が妥当である	57	21.6%	0	0.0%	54	27.1%	3	4.7%
7 自分に合った仕事である	87	33.0%	0	0.0%	77	38.7%	10	15.6%
8 職業訓練などで就労のための知識・技術習得	8	3.0%	0	0.0%	6	3.0%	2	3.1%
9 会社や家族などの自分への理解	43	16.3%	1	100.0%	35	17.6%	7	10.9%
10 徐々に仕事に慣れていけるようステップを踏めること	36	13.6%	0	0.0%	35	17.6%	1	1.6%
11 職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること	63	23.9%	1	100.0%	52	26.1%	10	15.6%
12 障がいや病気に対する理解や配慮	85	32.2%	1	100.0%	73	36.7%	11	17.2%
13 その他	15	5.7%	0	0.0%	10	5.0%	5	7.8%
14 特にない・まだよくわからない	28	10.6%	0	0.0%	16	8.0%	12	18.8%
無回答	33	12.5%	0	0.0%	11	5.5%	22	34.4%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

13 その他：主な内訳 パソコンを使った、チラシの作成を無料で教えてくれるところ（1）病状の安定（1）
体力の継続（1）求人数増加（1）給料、休暇（1）

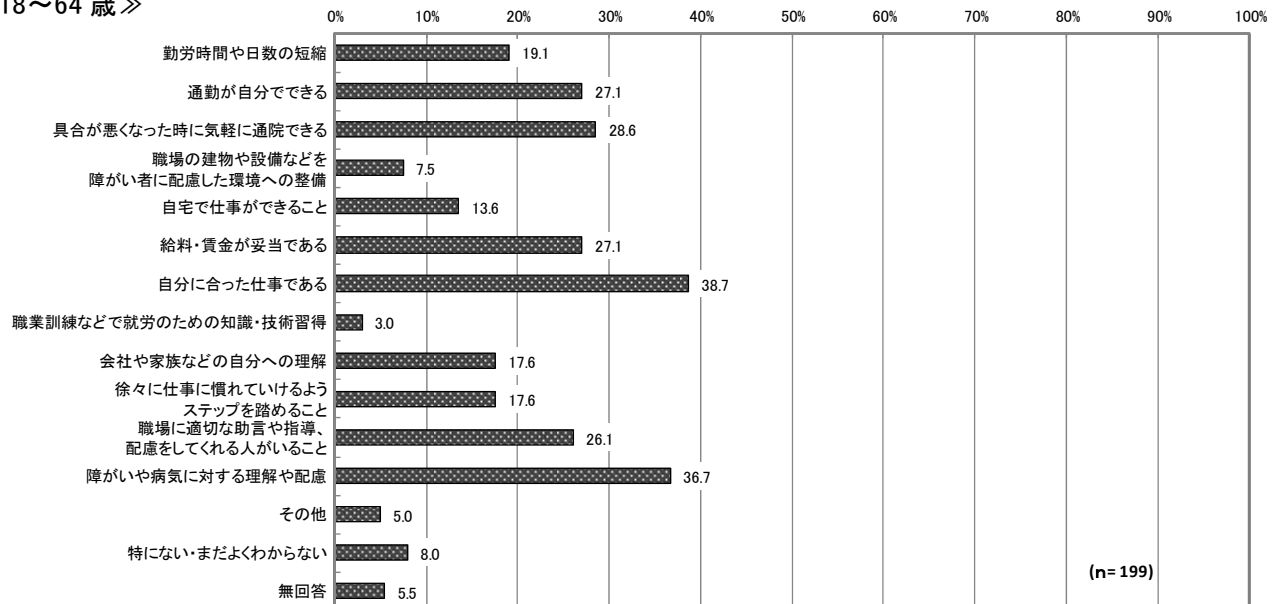


【年代別】

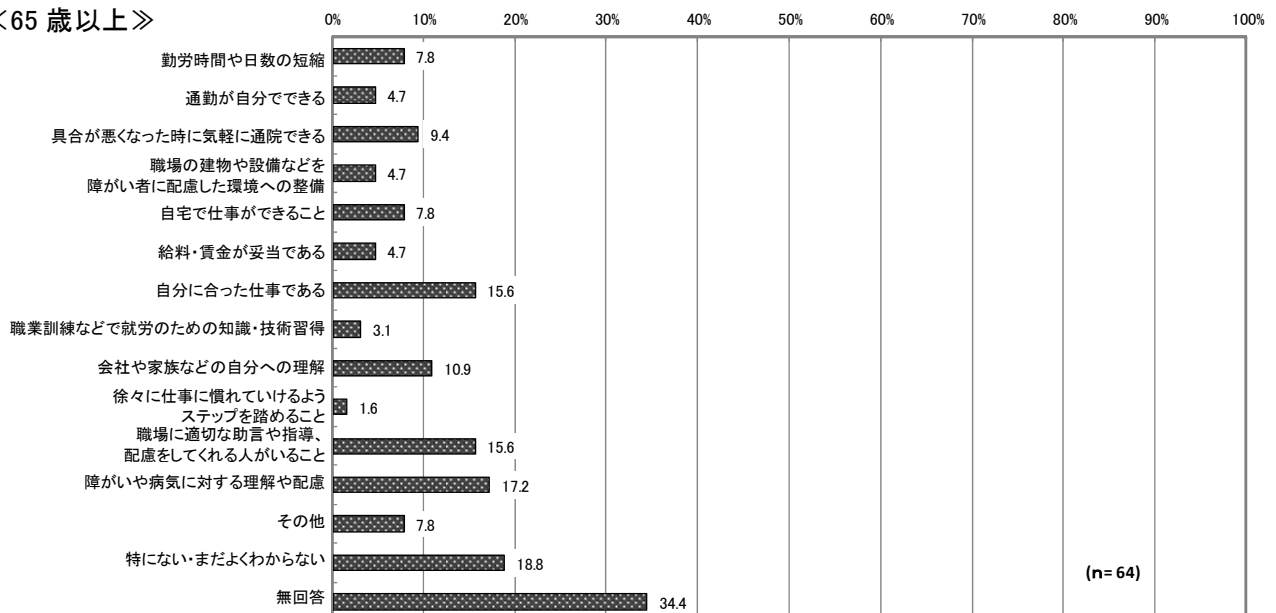
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

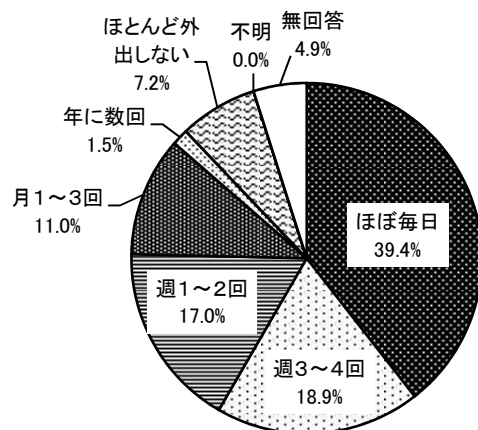


【バリアフリーに関すること】

外出頻度については、「ほぼ毎日」が39.4%と最も高く、次いで「週3～4回」が18.9%、「週1～2回」が17.0%となっており、『週1回以上』が75.3%と約7割半ばを占めている。ほとんど外出しないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「障がいや疾病が重く、外出が難しい」が42.1%と最も高く、次いで「その他」が31.6%となった。

問 25 あなたの外出頻度はどの位ですか。 (単数回答 n=264)

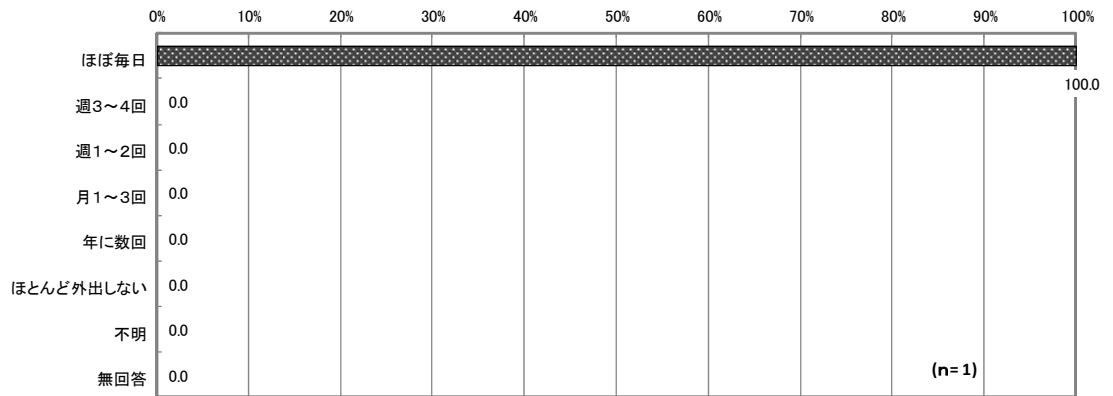
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ほぼ毎日	104	39.4%	1	100.0%	90	45.2%	13	20.3%
2 週3～4回	50	18.9%	0	0.0%	39	19.6%	11	17.2%
3 週1～2回	45	17.0%	0	0.0%	32	16.1%	13	20.3%
4 月1～3回	29	11.0%	0	0.0%	23	11.6%	6	9.4%
5 年に数回	4	1.5%	0	0.0%	2	1.0%	2	3.1%
6 ほとんど外出しない	19	7.2%	0	0.0%	8	4.0%	11	17.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	13	4.9%	0	0.0%	5	2.5%	8	12.5%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



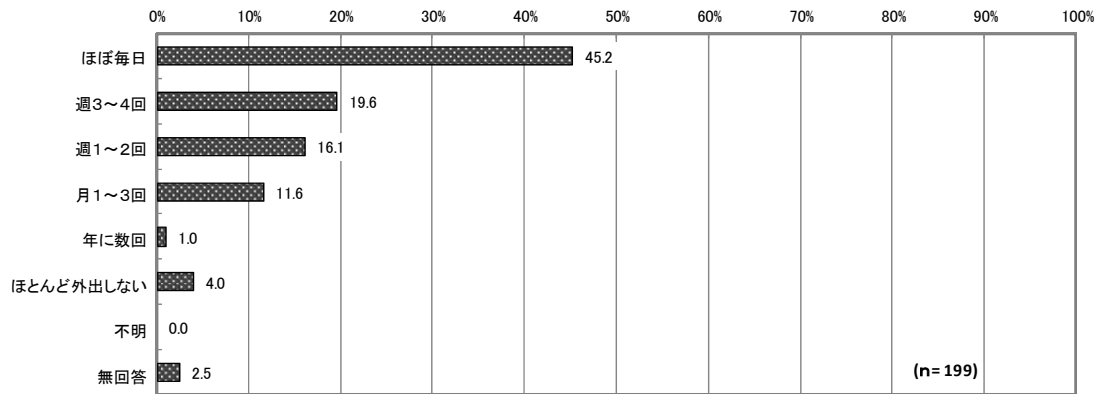
n=264

【年代別】

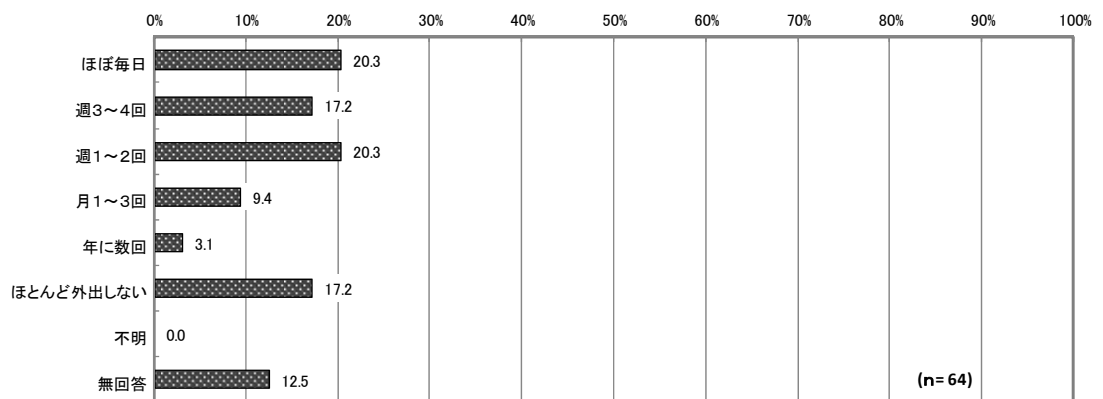
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

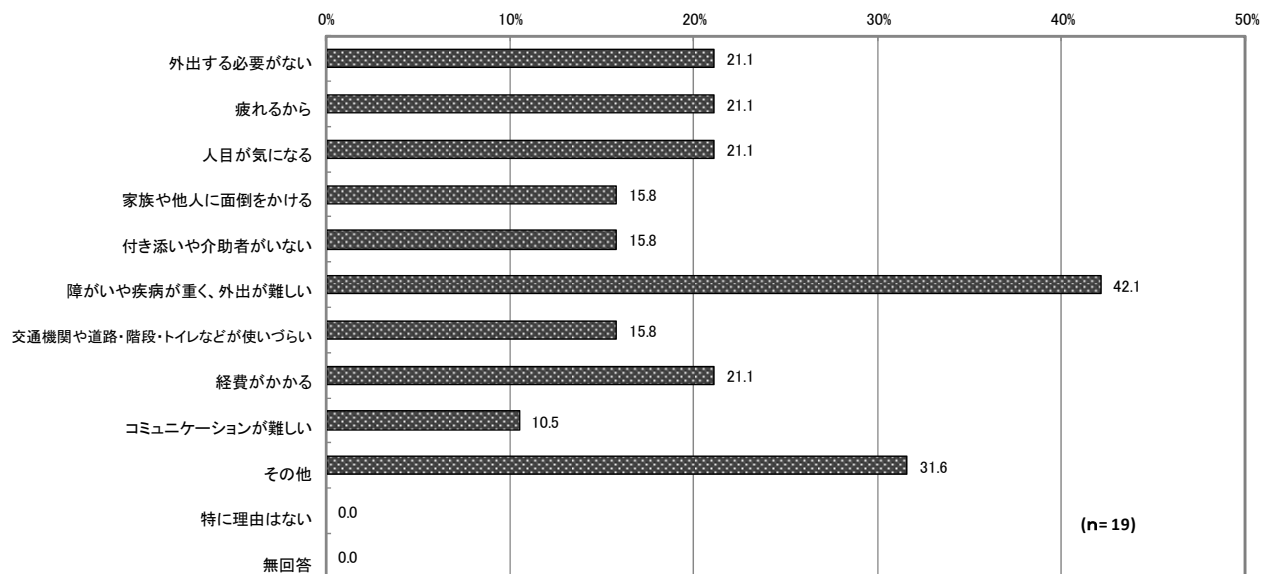


問 26 問 25 で「6」を回答した方におたずねします。あなたが外出しない主な理由は何ですか。

(複数回答 n=19)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 外出する必要がない	4	21.1%	0	0.0%	1	12.5%	3	27.3%
2 疲れるから	4	21.1%	0	0.0%	1	12.5%	3	27.3%
3 人目が気になる	4	21.1%	0	0.0%	2	25.0%	2	18.2%
4 家族や他人に面倒をかける	3	15.8%	0	0.0%	1	12.5%	2	18.2%
5 付き添いや介助者がいない	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%
6 障がいや疾病が重く、外出が難しい	8	42.1%	0	0.0%	3	37.5%	5	45.5%
7 交通機関や道路・階段・トイレなどが使いづらい	3	15.8%	0	0.0%	1	12.5%	2	18.2%
8 経費がかかる	4	21.1%	0	0.0%	3	37.5%	1	9.1%
9 コミュニケーションが難しい	2	10.5%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%
10 その他	6	31.6%	0	0.0%	2	25.0%	4	36.4%
11 特に理由はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	19		0		8		11	

10 その他：主な内訳 高齢 (2) デイサービス利用中 (1) 車に乗れなくなったから (1) 入院中 (1)

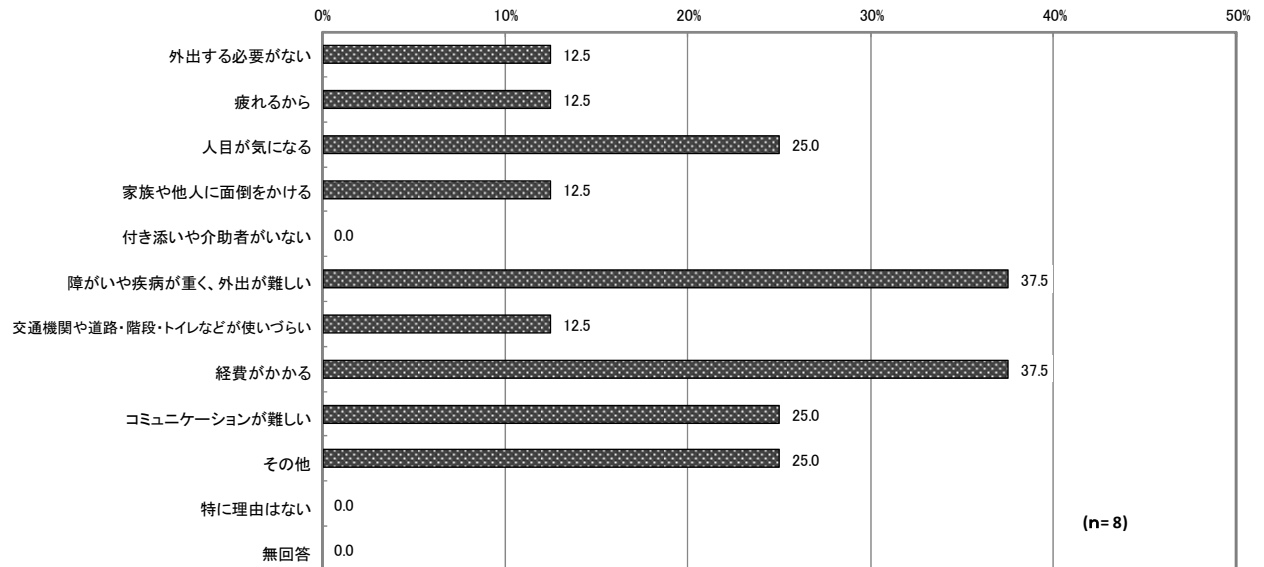


【年代別】

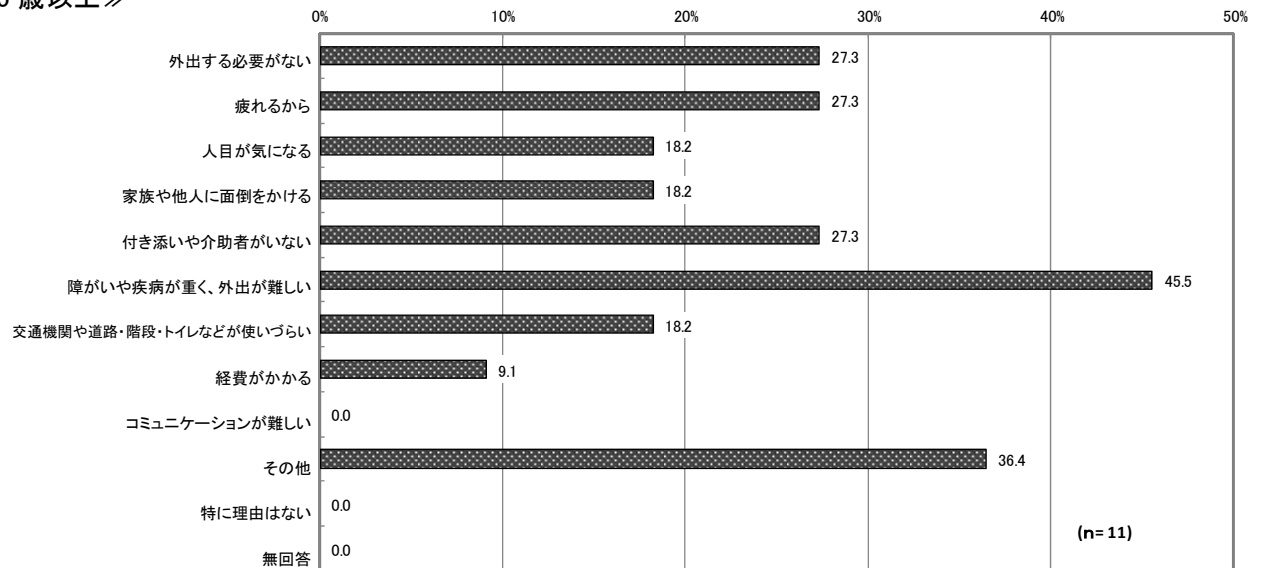
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》



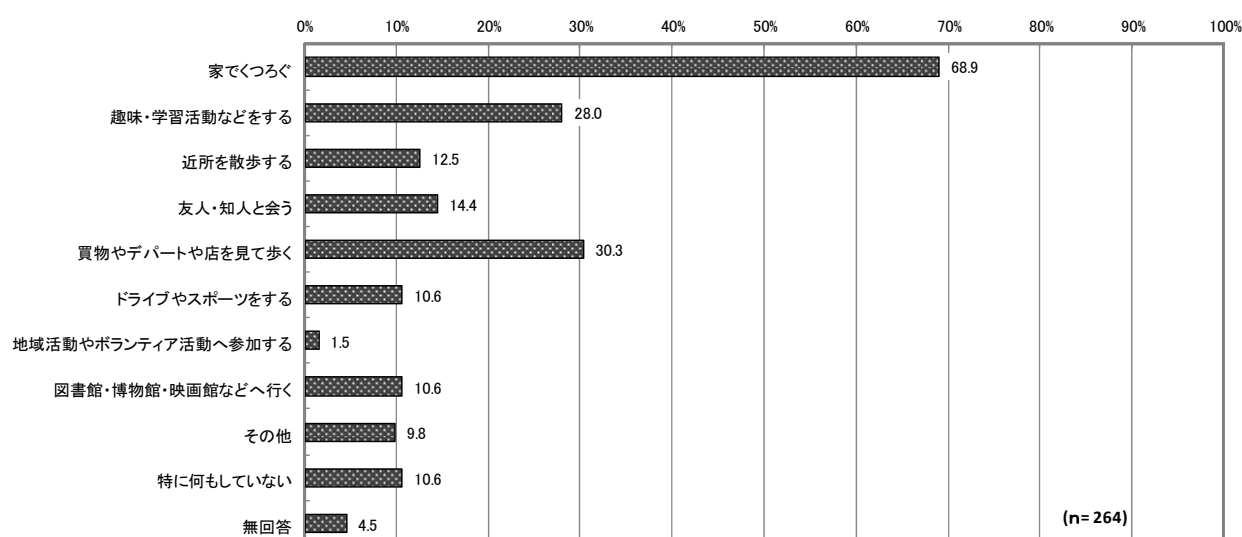
【余暇活動】

余暇の過ごし方については、「家でくつろぐ」が68.9%と7割弱を占めて最も高く、次いで「買物やデパートや店を見て歩く」が30.3%、「趣味・学習活動などをする」が28.0%となっている。余暇に特に何もしていないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「病状が重いから」が46.4%と最も高く、次いで「何をしたらよいかわからない」が42.9%、「経済的ゆとりがないから」が21.4%となった。障がい者の芸術文化活動あるいはスポーツ活動に参加してみたいかは、「興味がない」が59.1%と6割弱を占めたが、「参加してみたい」も25.8%と2割半ばを占めた。

問 27 あなたはどのように余暇などを過ごしていますか。（3つまで○印）（複数回答 n=264）

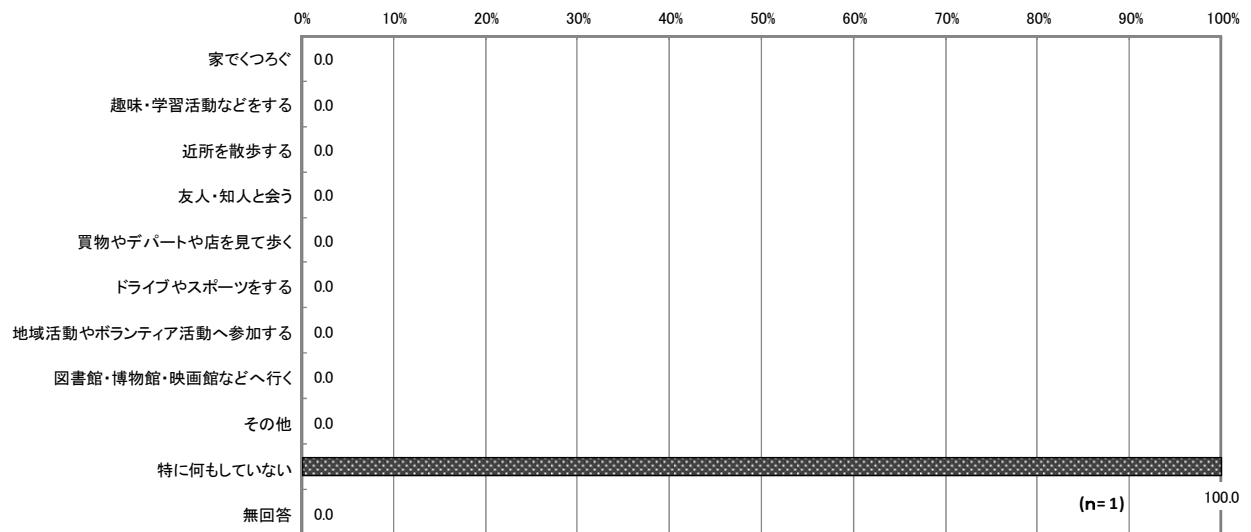
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家でくつろぐ	182	68.9%	0	0.0%	144	72.4%	38	59.4%
2 趣味・学習活動などをする	74	28.0%	0	0.0%	66	33.2%	8	12.5%
3 近所を散歩する	33	12.5%	0	0.0%	23	11.6%	10	15.6%
4 友人・知人と会う	38	14.4%	0	0.0%	32	16.1%	6	9.4%
5 買物やデパートや店を見て歩く	80	30.3%	0	0.0%	70	35.2%	10	15.6%
6 ドライブやスポーツをする	28	10.6%	0	0.0%	26	13.1%	2	3.1%
7 地域活動やボランティア活動へ参加する	4	1.5%	0	0.0%	3	1.5%	1	1.6%
8 図書館・博物館・映画館などへ行く	28	10.6%	0	0.0%	24	12.1%	4	6.3%
9 その他	26	9.8%	0	0.0%	18	9.0%	8	12.5%
10 特に何もしていない	28	10.6%	1	100.0%	17	8.5%	10	15.6%
無回答	12	4.5%	0	0.0%	5	2.5%	7	10.9%
合計	264		1		199		64	

9 その他：主な内訳 デイケア（4）通院（3）入院中（2）寝る（2）メール・電話（2）ネットサーフィン（1）家事、テレビ（1）炊事、洗濯（1）見舞い（1）県内の祭り、イベント（1）できるだけ人と会わない（1）グループホームで生活（1）

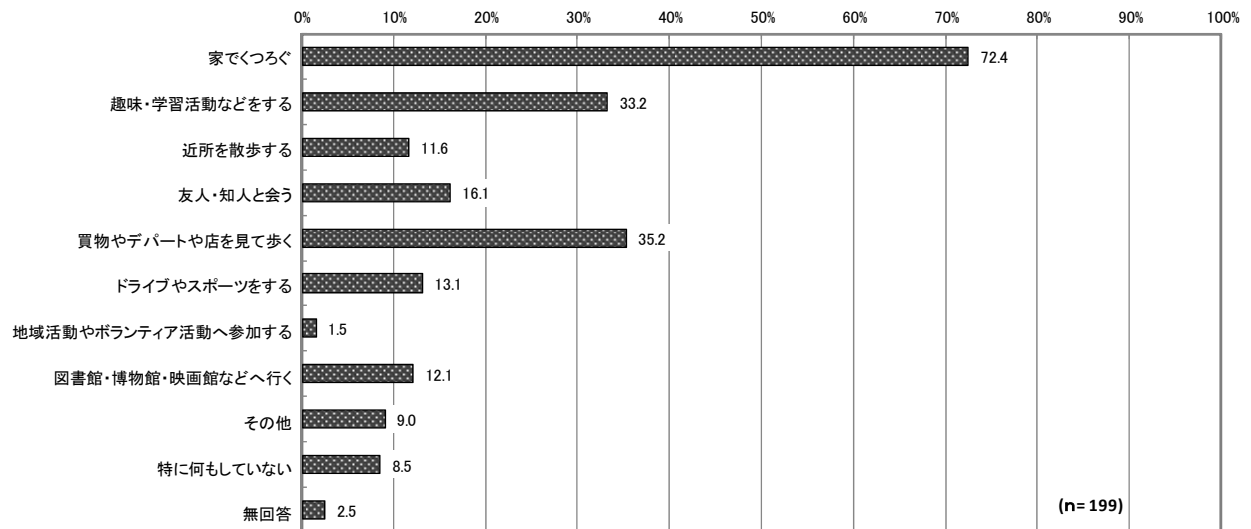


【年代別】

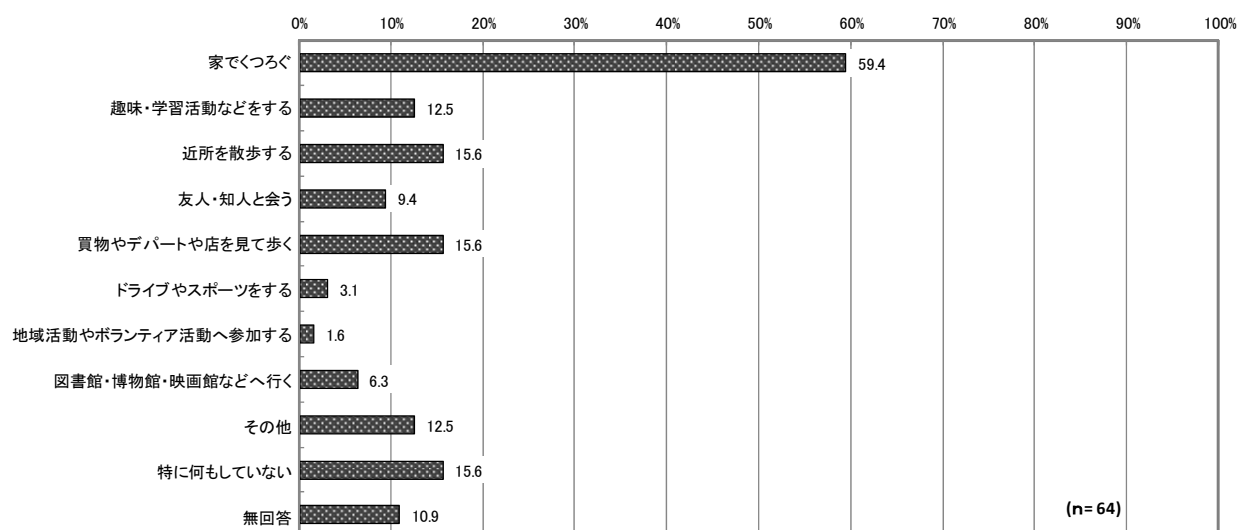
《18 歳未満》



《18～64 歳》



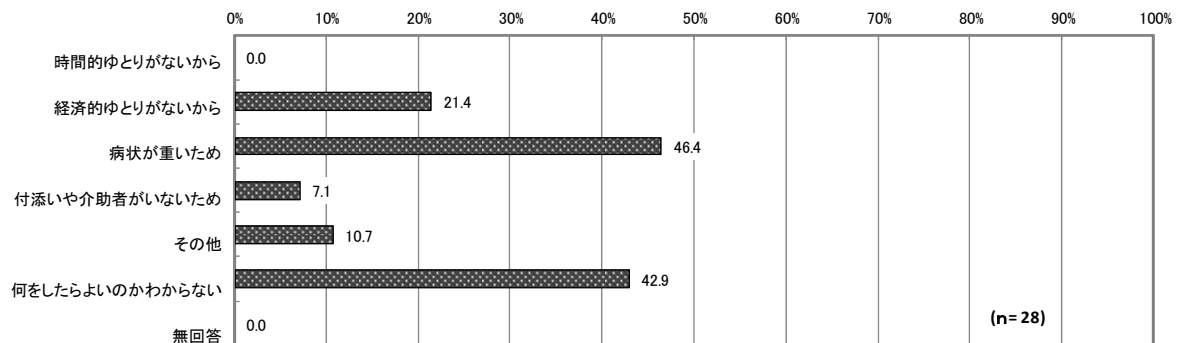
《65 歳以上》



問 28 問 27 で「10」と回答した方におたずねします。あなたが特に何もしていない理由は何ですか。
(複数回答 n=28)

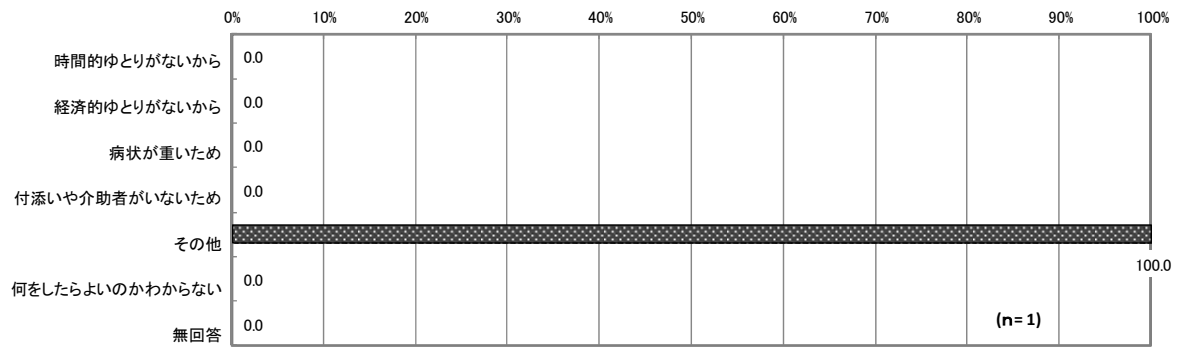
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 時間的ゆとりがないから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 経済的ゆとりがないから	6	21.4%	0	0.0%	5	29.4%	1	10.0%
3 病状が重い	13	46.4%	0	0.0%	7	41.2%	6	60.0%
4 付添いや介助者がいないため	2	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%
5 その他	3	10.7%	1	100.0%	1	5.9%	1	10.0%
6 何をしたらよいかわからない	12	42.9%	0	0.0%	10	58.8%	2	20.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	28		1		17		10	

5 その他：主な内訳 寮なので休日は外出できない (1) 意欲がない (1) 高齢のため (1)

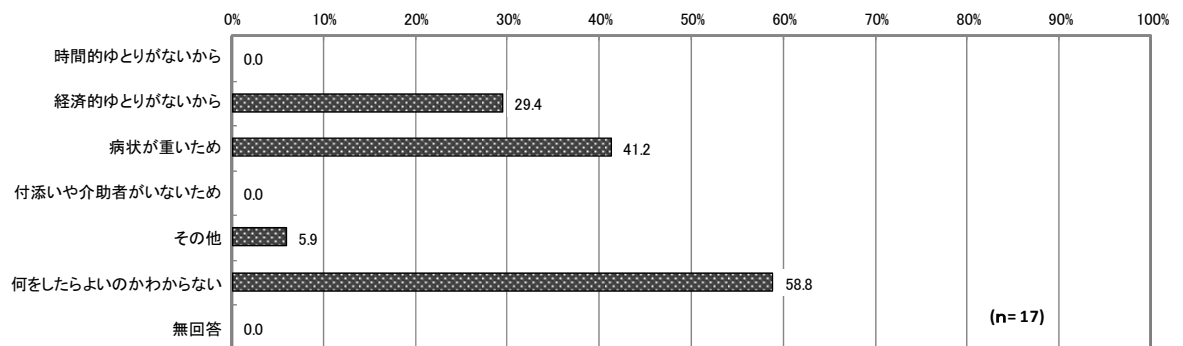


【年代別】

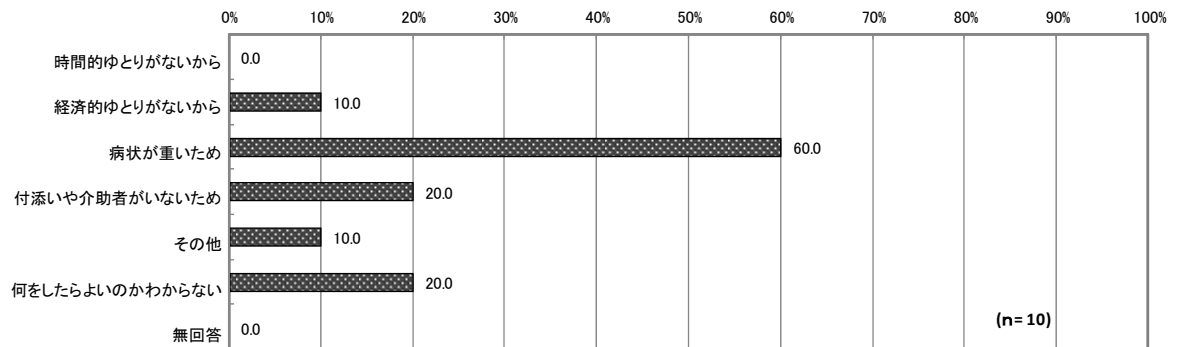
《18 歳未満》



《18～64 歳》



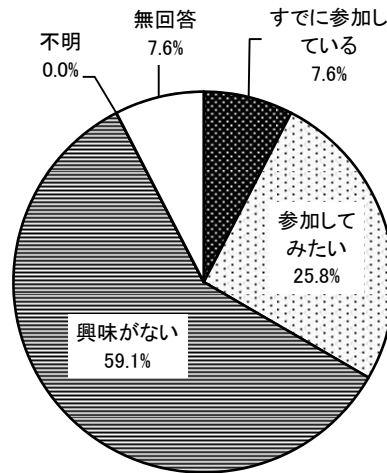
《65 歳以上》



問 29 障がい者の芸術文化活動あるいはスポーツ活動に参加してみたいですか。

(単数回答 n=264)

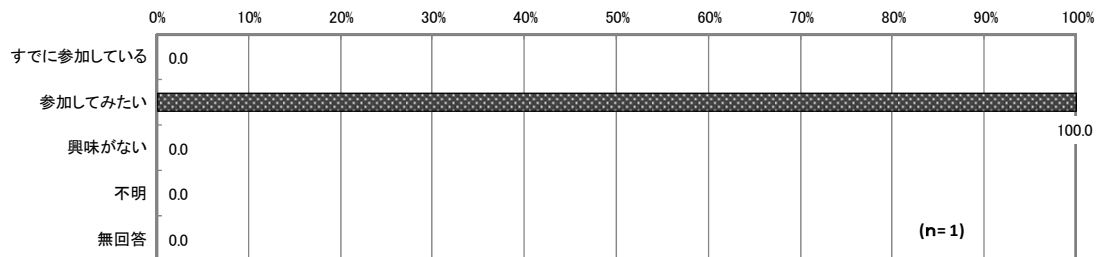
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 すでに参加している	20	7.6%	0	0.0%	15	7.5%	5	7.8%
2 参加してみたい	68	25.8%	1	100.0%	56	28.1%	11	17.2%
3 興味がない	156	59.1%	0	0.0%	121	60.8%	35	54.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	20	7.6%	0	0.0%	7	3.5%	13	20.3%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



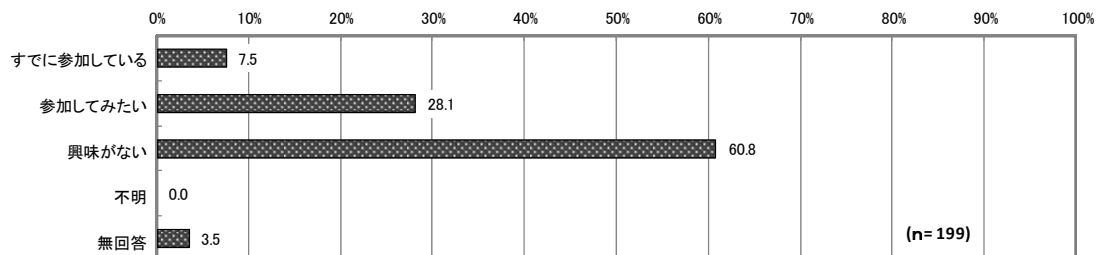
n=264

【年代別】

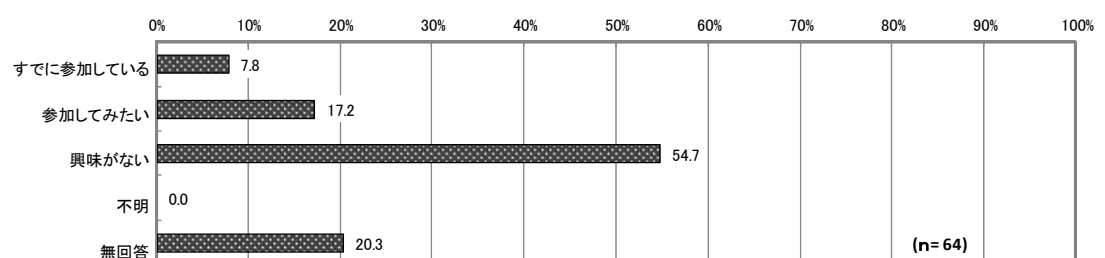
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【権利擁護】

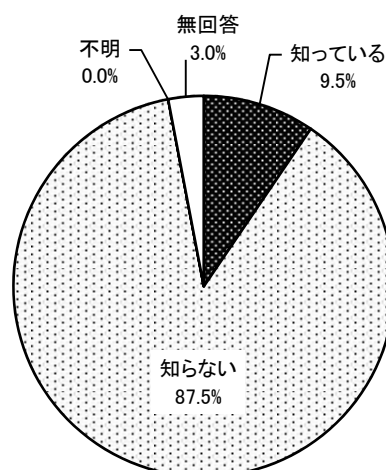
平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っているかは、「知らない」が 87.5%と 9 割強を占め、「知っている」の 9.5%を大きく上回っている。

日常生活や地域で、障がい者に対する差別・偏見や疎外感を感じることは、「ある」が 41.7%と 4 割強を占め、次いで「わからない」が 31.8%、「ない」が 22.0%となった。障がい者に対する差別・偏見があると感じている人に、どのようなところにもっとも強く障がい者に対する差別・偏見または疎外感を感じるかを尋ねたところ、「人の視線」が 52.7%と半数以上を占めて最も高く、次いで「仕事や収入」が 49.1%、「隣近所の付き合い」が 31.8%となった。また、差別をされたり、いやな思いをしたときに相談した人は、「家族」が 54.5%と最も高く、次いで「病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー」が 25.5%、「友人・知人」が 21.8%となっている。相談しなかったと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「相談しても解決しないと思った」が 65.0%と最も高く、次いで「どこに相談すればよいのかわからなかった」が 20.0%、「その他」が 10.0%となった。

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 55.3%と最も高く、次いで「地域に気軽に相談できるサポートセンター」が 29.2%、「情報提供の充実」が 24.6%となった。

問 30 あなたは、平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。 (単数回答 n=264)

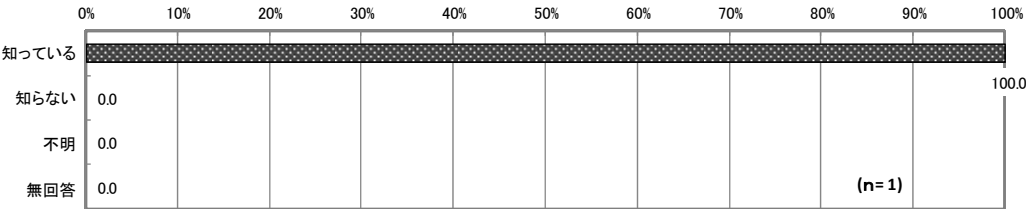
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	25	9.5%	1	100.0%	21	10.6%	3	4.7%
2 知らない	231	87.5%	0	0.0%	176	88.4%	55	85.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	3.0%	0	0.0%	2	1.0%	6	9.4%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



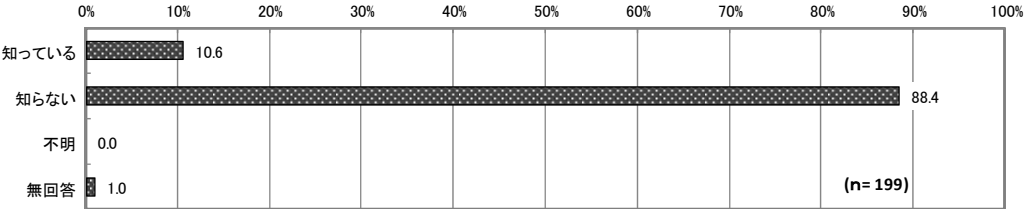
n=264

【年代別】

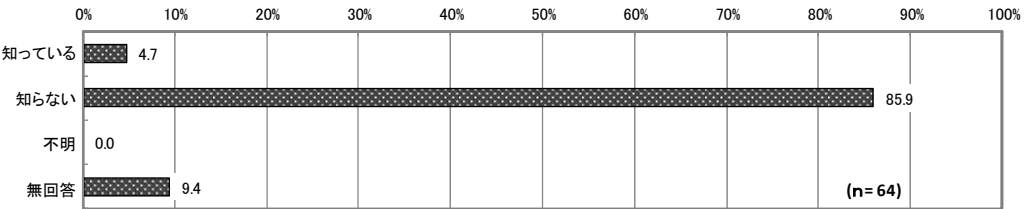
《18 歳未満》



《18～64 歳》



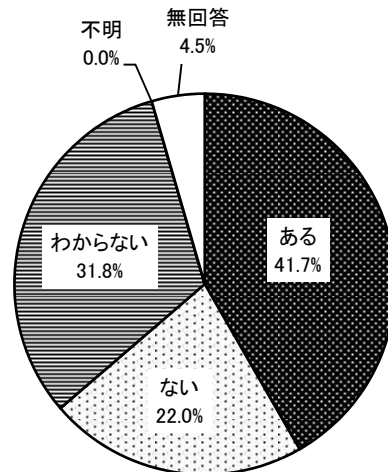
《65 歳以上》



問 31 あなたは、日常生活や地域で、障がい者に対する差別・偏見や疎外感を感じることがありますか。

(単数回答 n=264)

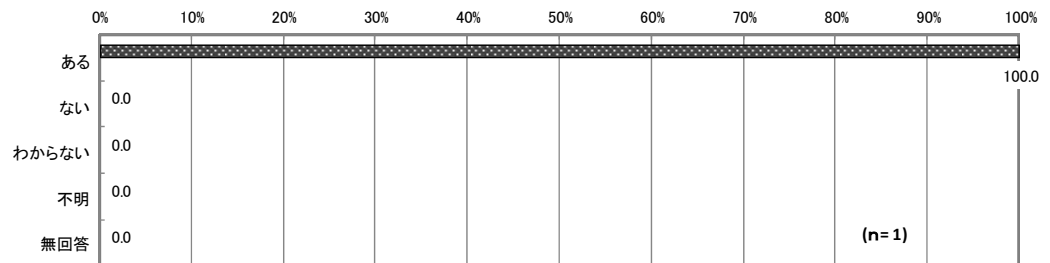
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	110	41.7%	1	100.0%	91	45.7%	18	28.1%
2 ない	58	22.0%	0	0.0%	37	18.6%	21	32.8%
3 わからない	84	31.8%	0	0.0%	66	33.2%	18	28.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	4.5%	0	0.0%	5	2.5%	7	10.9%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



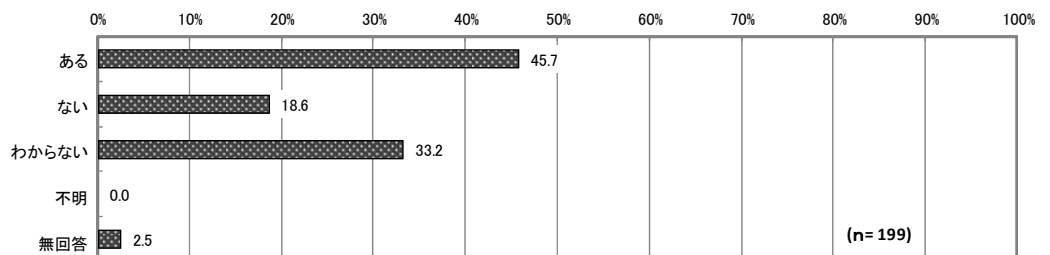
n=264

【年代別】

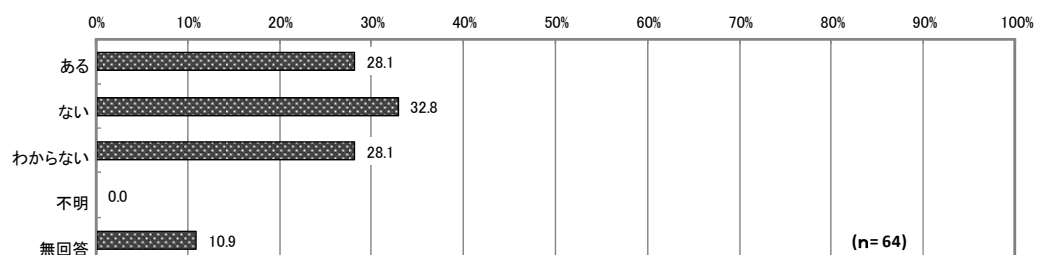
《18 歳未満》



《18～64 歳》



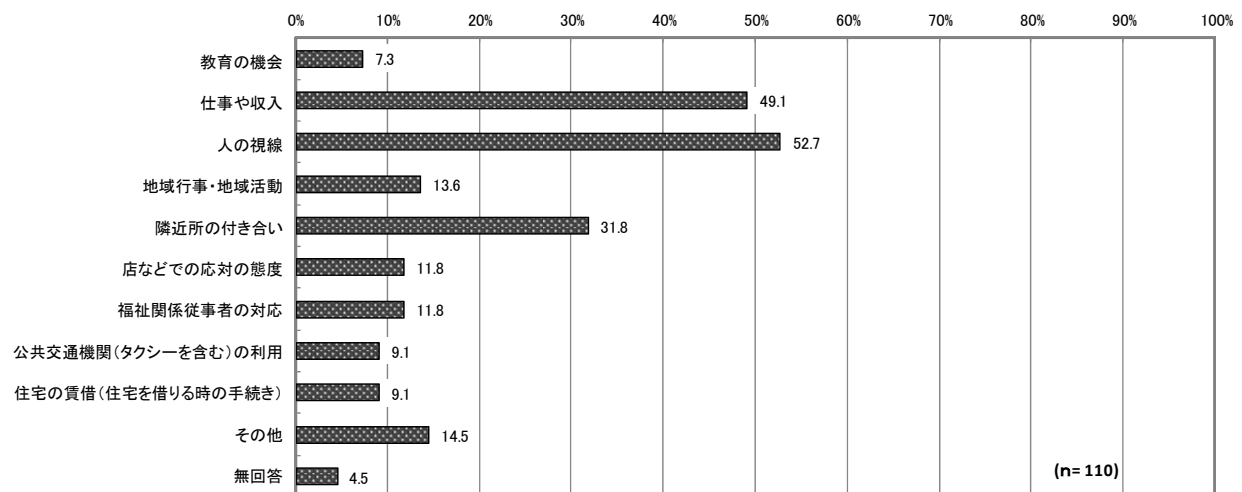
《65 歳以上》



問 32 問 31 で「1」を回答した方におたずねします。どのようなところに、もっとも強く障がい者に対する差別・偏見または疎外感を感じますか。 （3つまで○印） （複数回答 n=110）

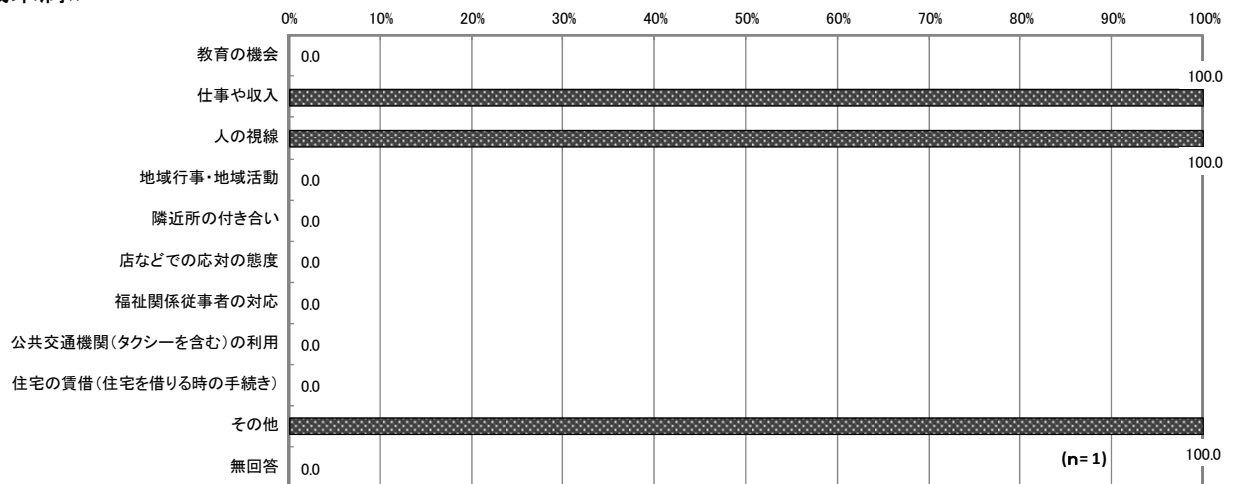
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 教育の機会	8	7.3%	0	0.0%	7	7.7%	1	5.6%
2 仕事や収入	54	49.1%	1	100.0%	51	56.0%	2	11.1%
3 人の視線	58	52.7%	1	100.0%	47	51.6%	10	55.6%
4 地域行事・地域活動	15	13.6%	0	0.0%	12	13.2%	3	16.7%
5 隣近所の付き合い	35	31.8%	0	0.0%	32	35.2%	3	16.7%
6 店などでの対応の態度	13	11.8%	0	0.0%	11	12.1%	2	11.1%
7 福祉関係従事者の対応	13	11.8%	0	0.0%	9	9.9%	4	22.2%
8 公共交通機関（タクシーを含む）の利用	10	9.1%	0	0.0%	9	9.9%	1	5.6%
9 住宅の賃借（住宅を借りる時の手続き）	10	9.1%	0	0.0%	10	11.0%	0	0.0%
10 その他	16	14.5%	1	100.0%	12	13.2%	3	16.7%
無回答	5	4.5%	0	0.0%	3	3.3%	2	11.1%
合計	110		1		91		18	

10 その他：主な内訳 病院（患者も含む）(2) 世間話やうわさ話 (1) 自分は健康との主張 (1) 職場 (1) 大家さんの非協力 (1) 何もしてないのに決めつけられて通報され、警察で取り調べを受けた (1) 家族の理解 (1) 冷たくされる (1) 障害者手帳、医療証、年金 (1) 義務教育中 (1) 歩道の段差 (1) ハローワークの職員の態度 (1) 金融機関での対応 (1)

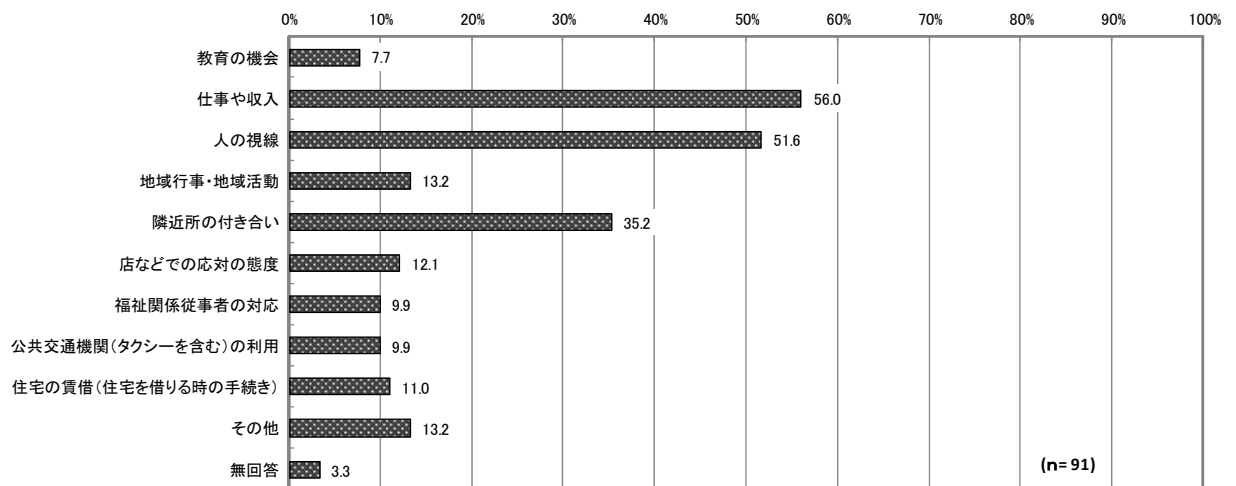


【年代別】

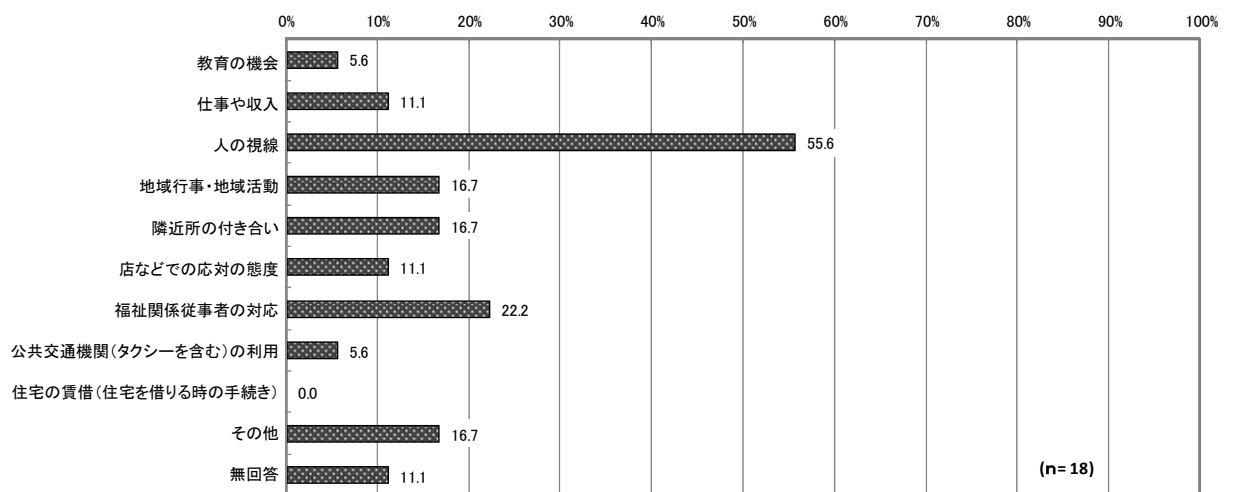
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

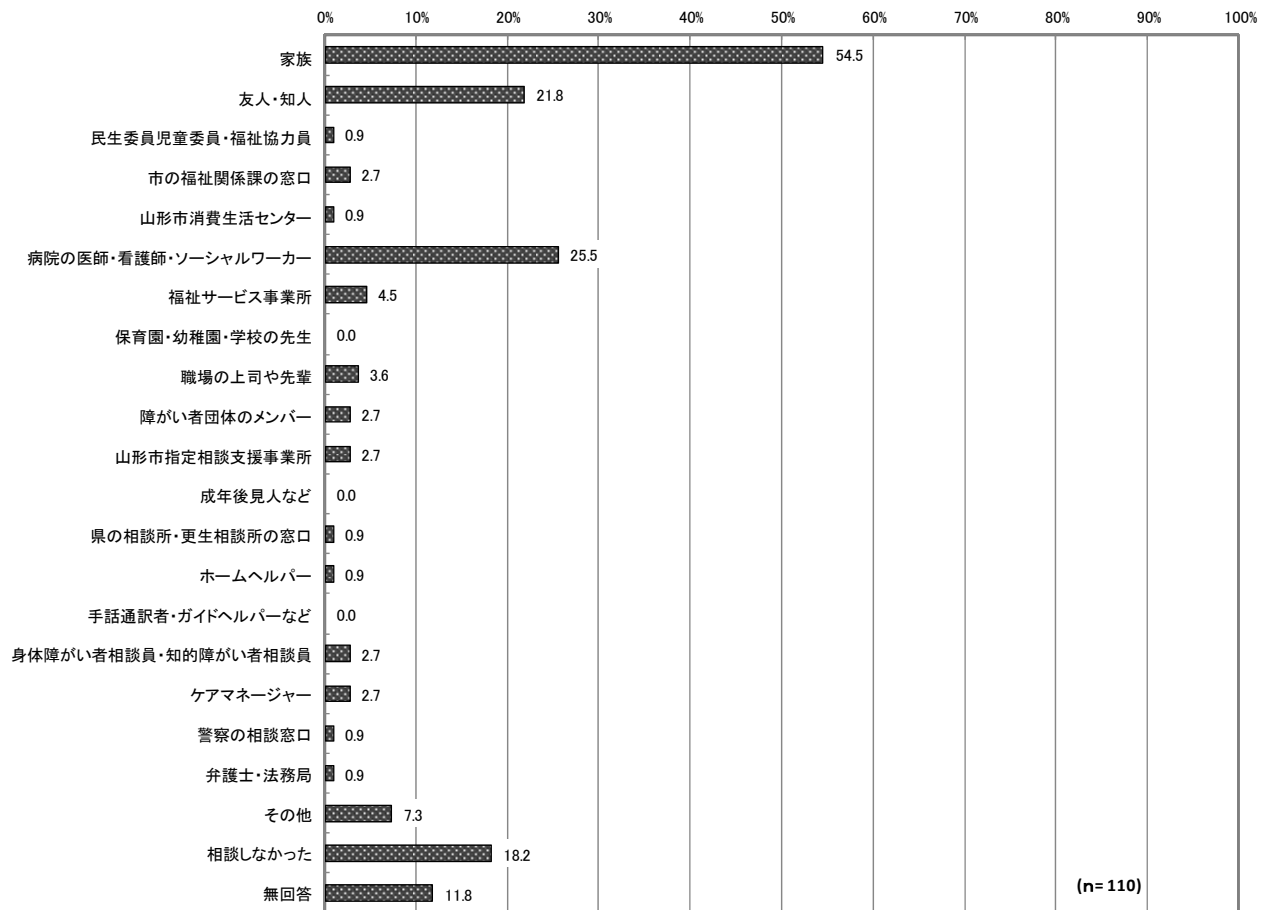


問 33 問 31 で「1」を回答した方におたずねします。差別をされたり、いやな思いをしたときに誰に相談しましたか。（3つまで○印）（複数回答 n=110）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	60	54.5%	1	100.0%	51	56.0%	8	44.4%
2 友人・知人	24	21.8%	0	0.0%	24	26.4%	0	0.0%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%
4 市の福祉関係課の窓口	3	2.7%	0	0.0%	2	2.2%	1	5.6%
5 山形市消費生活センター	1	0.9%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
6 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	28	25.5%	0	0.0%	26	28.6%	2	11.1%
7 福祉サービス事業所	5	4.5%	0	0.0%	5	5.5%	0	0.0%
8 保育園・幼稚園・学校の先生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 職場の上司や先輩	4	3.6%	0	0.0%	4	4.4%	0	0.0%
10 障がい者団体のメンバー	3	2.7%	0	0.0%	3	3.3%	0	0.0%
11 山形市指定相談支援事業所	3	2.7%	0	0.0%	3	3.3%	0	0.0%
12 成年後見人など	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13 県の相談所・更生相談所の窓口	1	0.9%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
14 ホームヘルパー	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%
15 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	3	2.7%	0	0.0%	2	2.2%	1	5.6%
17 ケアマネージャー	3	2.7%	0	0.0%	2	2.2%	1	5.6%
18 警察の相談窓口	1	0.9%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
19 弁護士・法務局	1	0.9%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
20 その他	8	7.3%	1	100.0%	7	7.7%	0	0.0%
21 相談しなかった	20	18.2%	0	0.0%	17	18.7%	3	16.7%
無回答	13	11.8%	0	0.0%	7	7.7%	6	33.3%
合計	110		1		91		18	

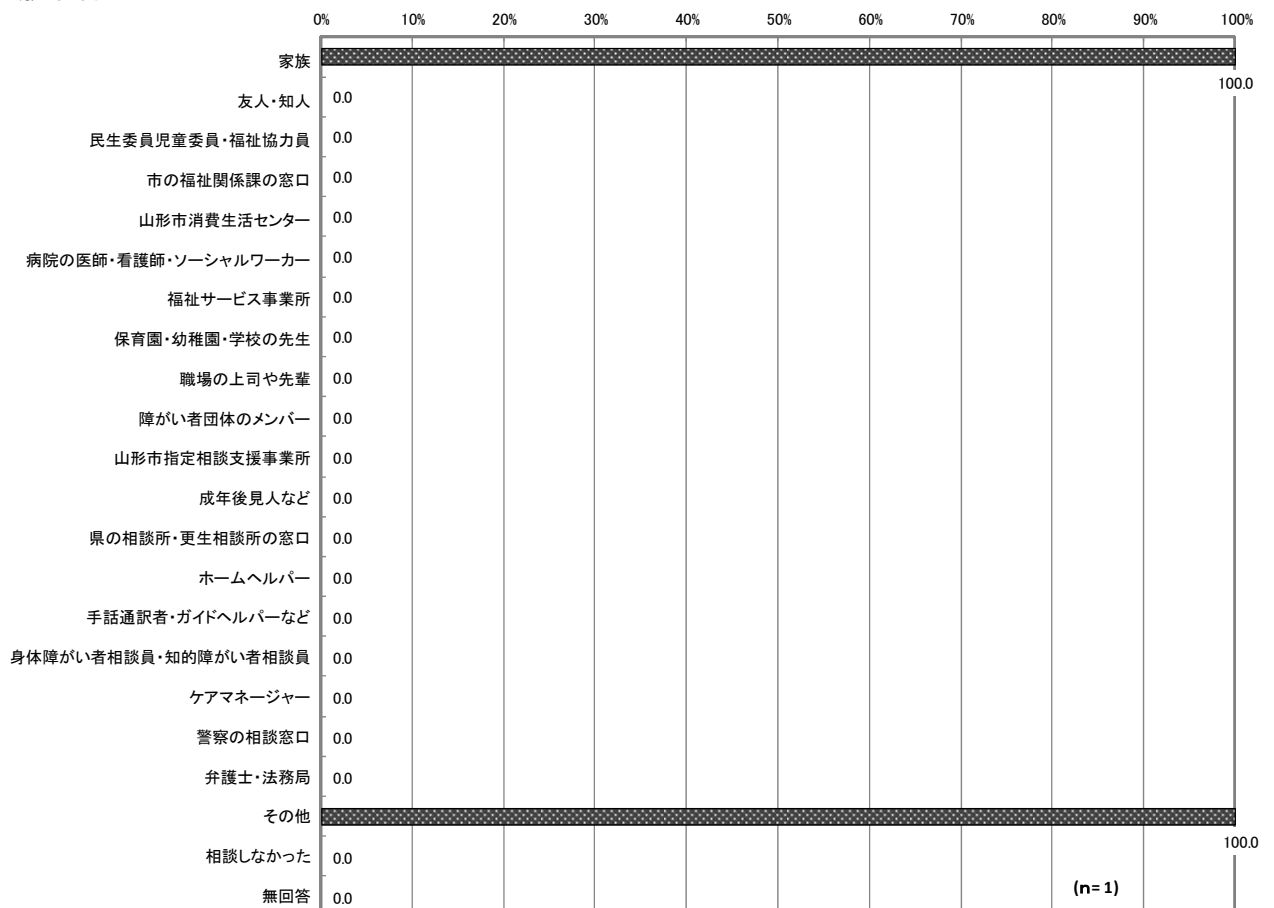
20 その他：主な内訳 医師、看護師（3）B型事業所の職員（1）ハローワーク（1）市教育委員会（1）相手方の同僚、上司（1）他の人から親の耳に入るまではだれにも相談しなかった（1）

山形市障がい福祉アンケート 「精神障がい」 調査結果

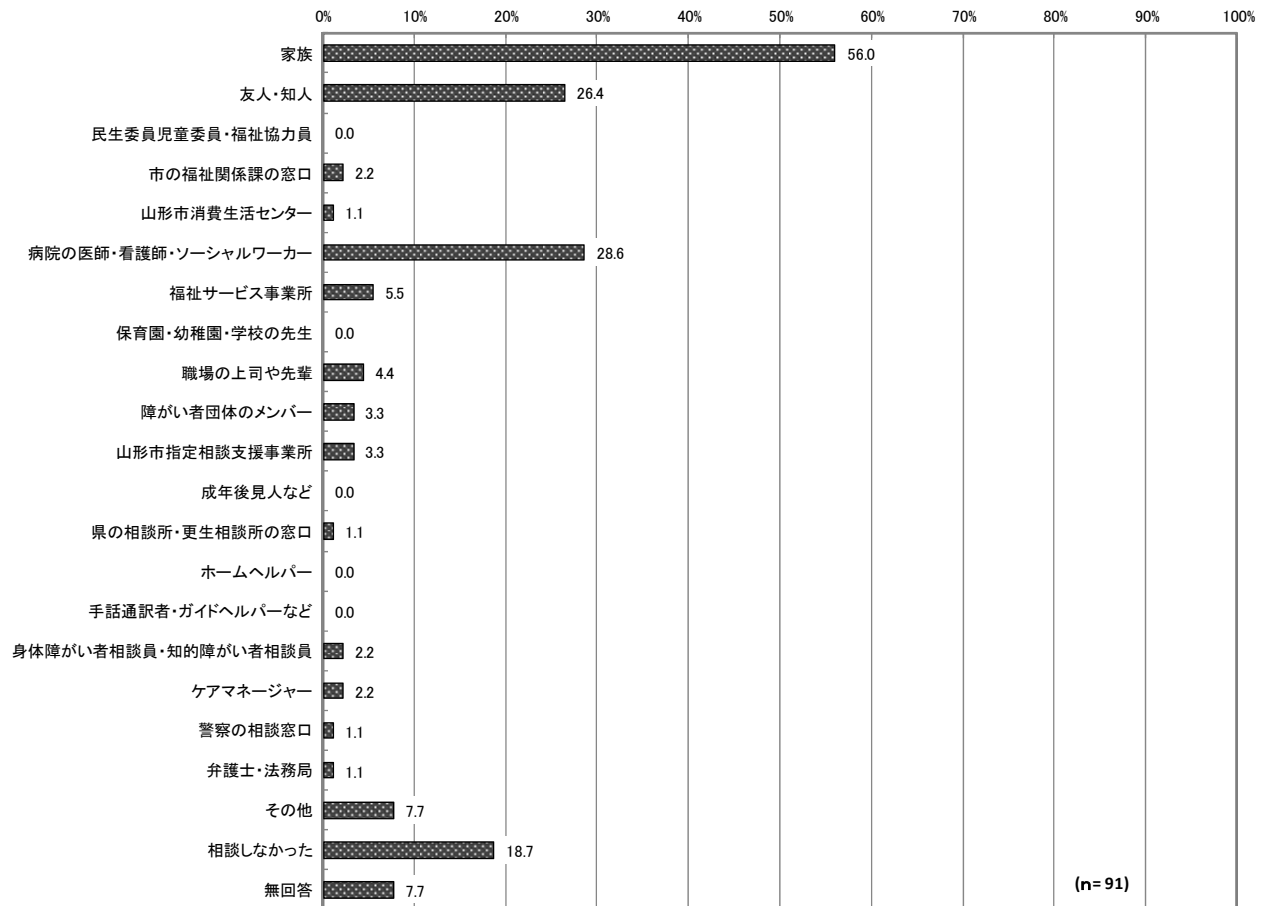


【年代別】

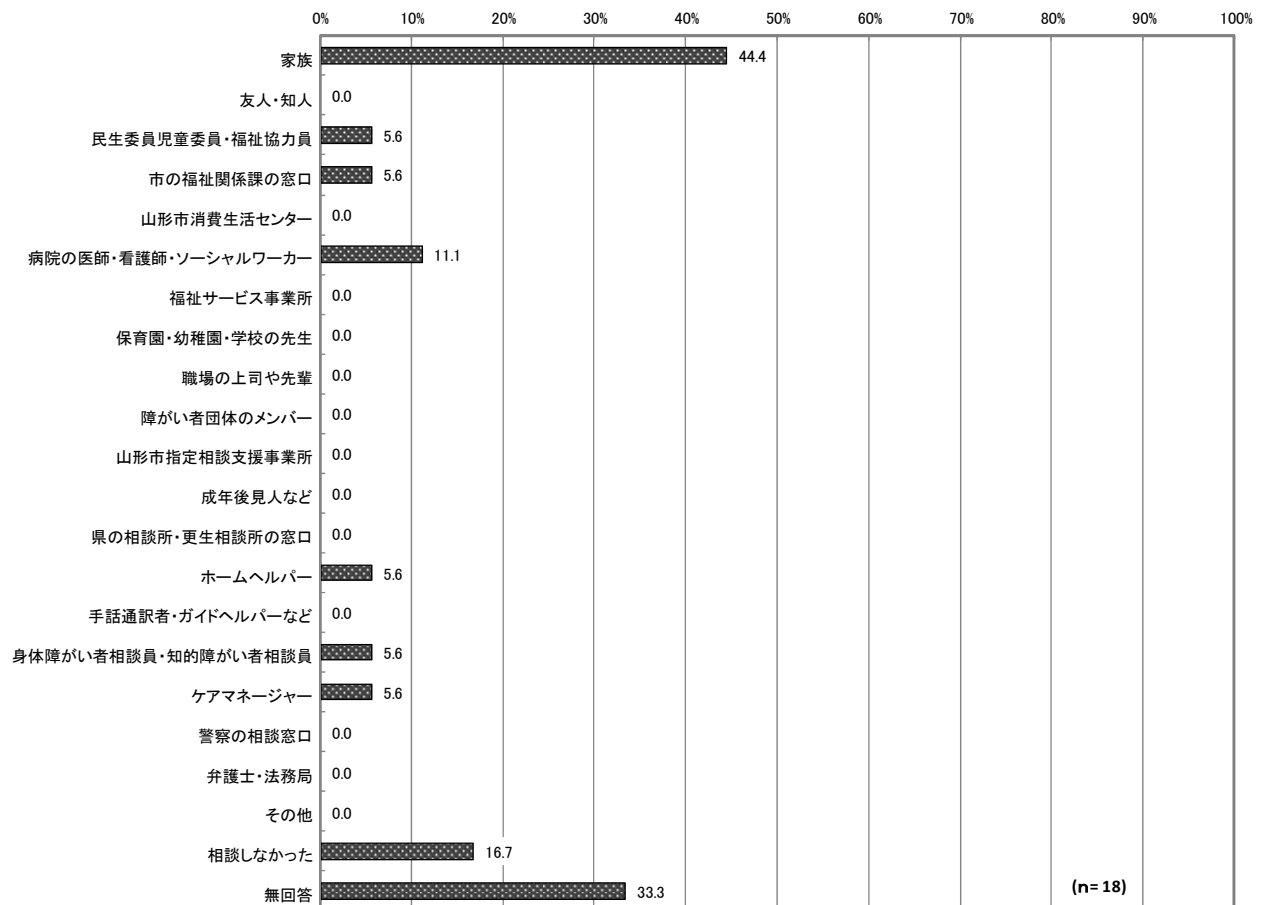
≪18 歳未満≫



《18～64 歳》

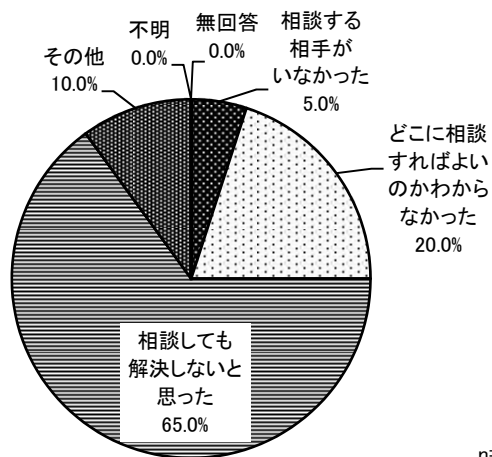


《65 歳以上》



問 34 問 33 で「21」を回答した方におたずねします。なぜ相談をしなかったのか理由を選んでください。（単数回答 n=20）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 相談する相手がいなかった	1	5.0%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%
2 どこに相談すればよいのかわからなかった	4	20.0%	0	0.0%	3	17.6%	1	33.3%
3 相談しても解決しないと思った	13	65.0%	0	0.0%	12	70.6%	1	33.3%
4 その他	2	10.0%	0	0.0%	1	5.9%	1	33.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	20	100.0%	0	0.0%	17	100.0%	3	100.0%

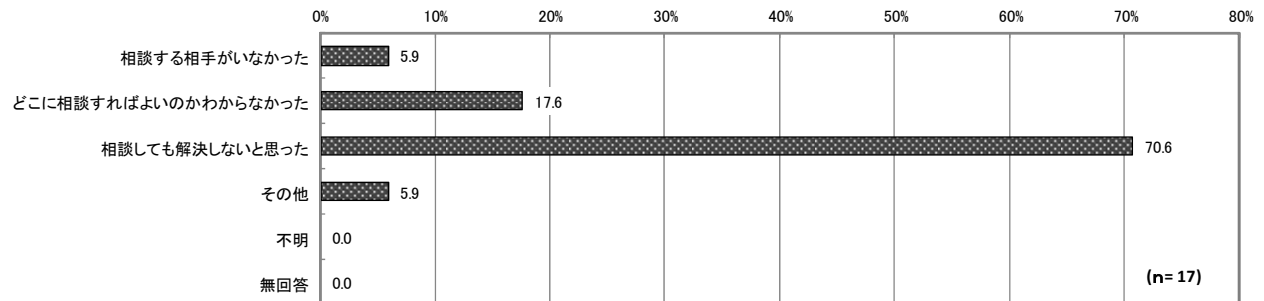


【年代別】

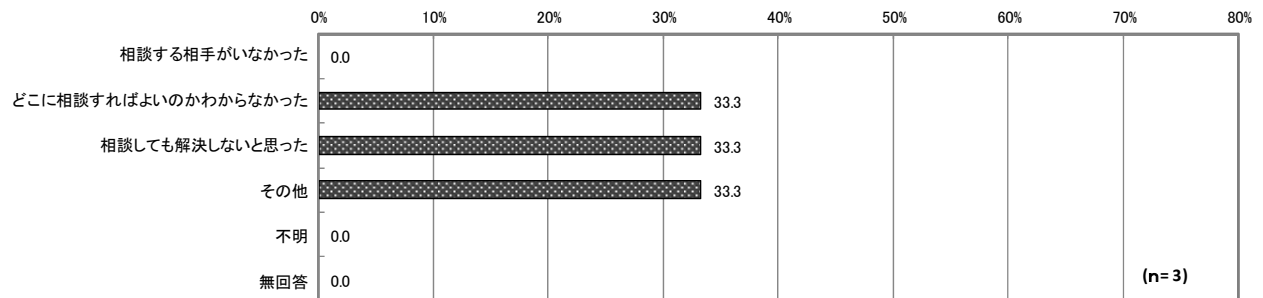
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



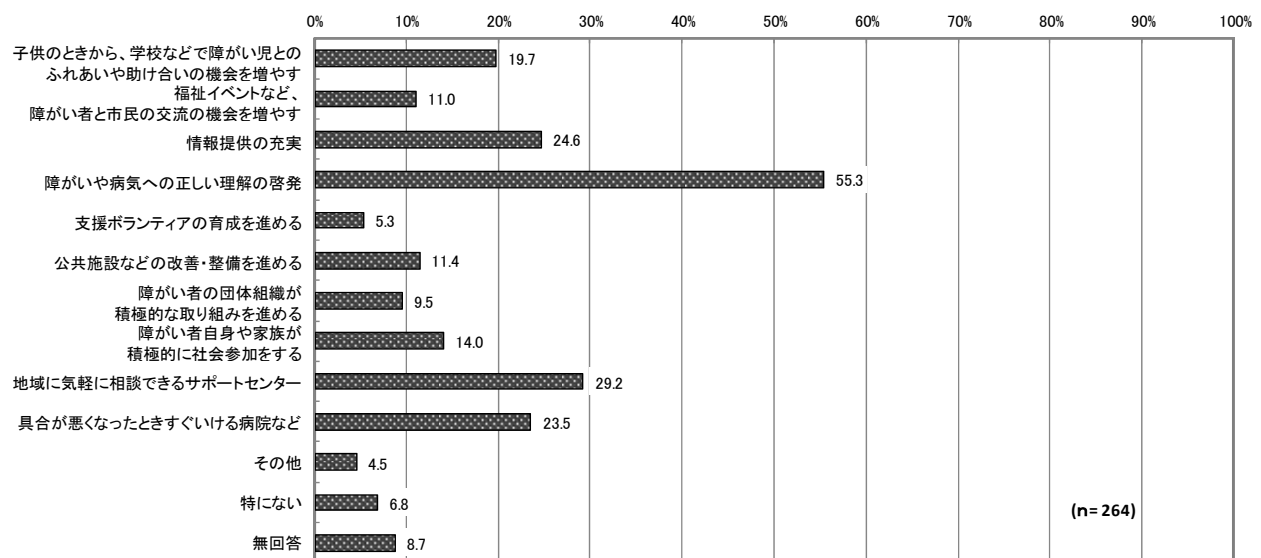
《65 歳以上》



問 35 あなたにとって差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは何ですか。（3つまで○印）（複数回答 n=264）

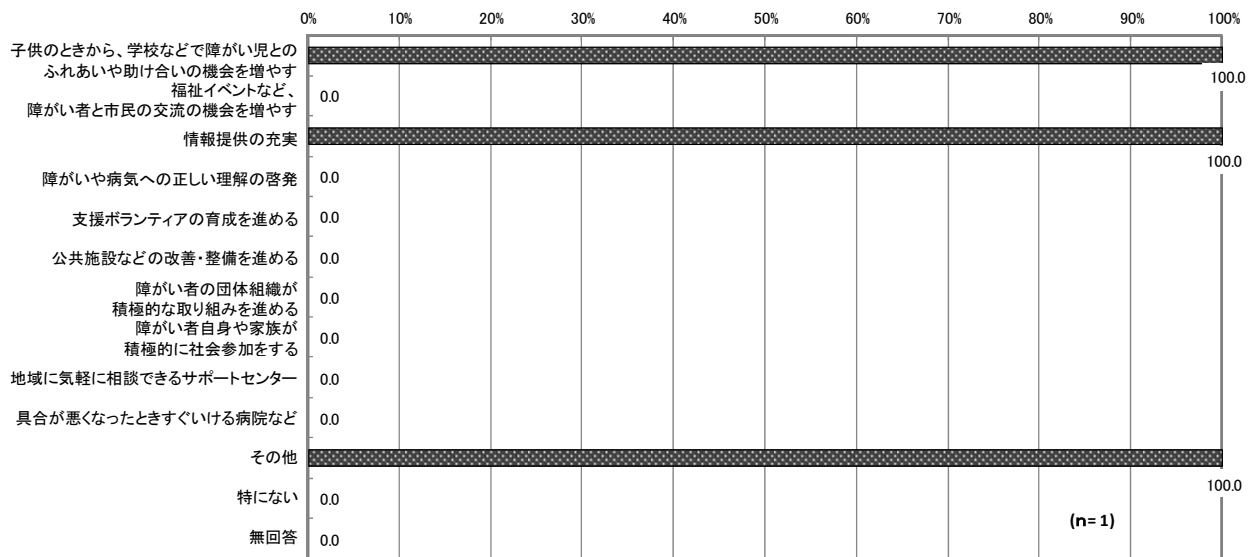
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	52	19.7%	1	100.0%	37	18.6%	14	21.9%
2 福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	29	11.0%	0	0.0%	23	11.6%	6	9.4%
3 情報提供の充実	65	24.6%	1	100.0%	50	25.1%	14	21.9%
4 障がいや病気への正しい理解の啓発	146	55.3%	0	0.0%	121	60.8%	25	39.1%
5 支援ボランティアの育成を進める	14	5.3%	0	0.0%	10	5.0%	4	6.3%
6 公共施設などの改善・整備を進める	30	11.4%	0	0.0%	22	11.1%	8	12.5%
7 障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める	25	9.5%	0	0.0%	19	9.5%	6	9.4%
8 障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	37	14.0%	0	0.0%	29	14.6%	8	12.5%
9 地域に気軽に相談できるサポートセンター	77	29.2%	0	0.0%	60	30.2%	17	26.6%
10 具合が悪くなったときすぐいける病院など	62	23.5%	0	0.0%	53	26.6%	9	14.1%
11 その他	12	4.5%	1	100.0%	9	4.5%	2	3.1%
12 特になし	18	6.8%	0	0.0%	12	6.0%	6	9.4%
無回答	23	8.7%	0	0.0%	12	6.0%	11	17.2%
合計	264		1		199		64	

- 11 その他：主な内訳 幼少期からの道徳心・教育（2）家族の父母の力（1）惻隠の情（1）子供の時から健常児と同じ学校にする。時々触れ合うだけではダメ。サービスが違うのも差別（1）能力があるのに病気をかかえていてやれる仕事がない（1）差別・偏見はなくならないと思う。病気を理解しようとしなないしできないと思う（1）差別者を公職追放（1）偏見はあって良いので、そっとしてほしい（1）

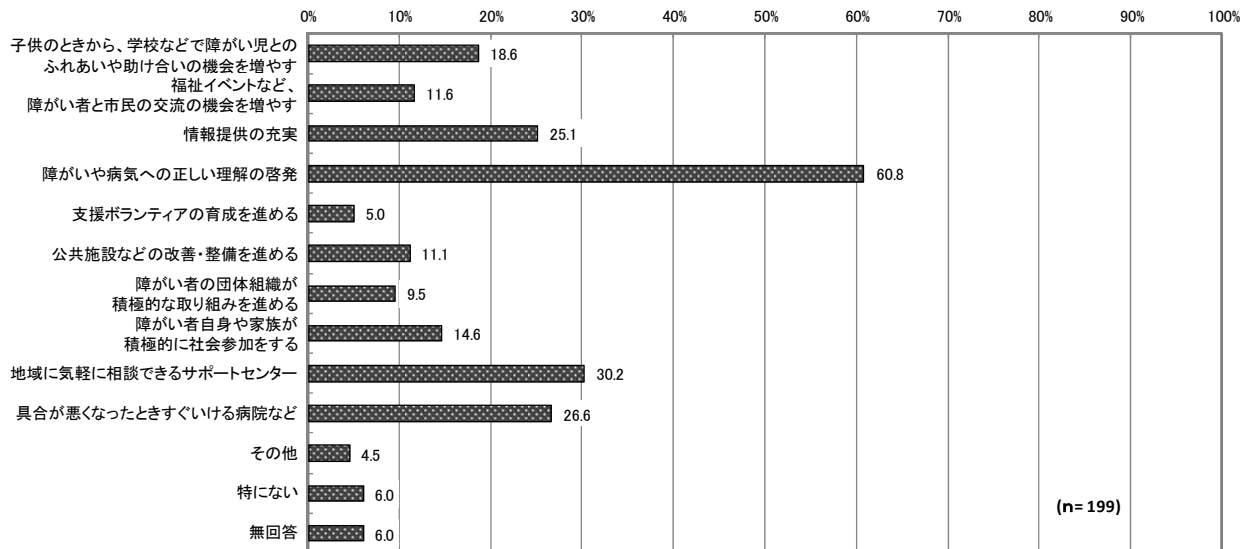


【年代別】

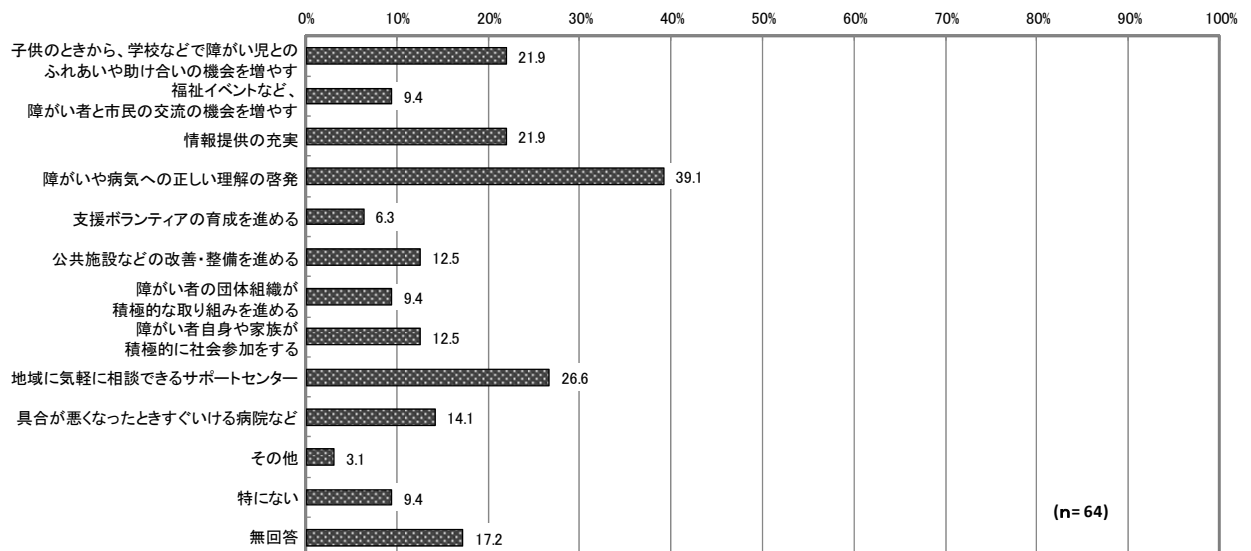
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【相談・情報】

福祉サービスの利用について相談する相手は、「家族」が 57.6%と半数を超えて最も高く、次いで「病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー」が 43.9%、「友人・知人」及び「市の福祉関係課の窓口」が 19.7%となっている。相談機能を充実させるために必要だと思うことは、「身近な場所で相談できること」が 38.6%と最も高く、次いで「適切なアドバイスができる人材」が 33.0%、「わかりやすい情報の提供」が 29.9%となった。福祉サービスの内容について、どのようなもので知ることが多いかは、「市の広報・資料」が 40.9%と 4 割強を占めて最も高く、次いで「医療機関」が 33.3%、「家族や仲間の話」が 15.5%となっている。

今後（将来）どのように生活したいかは、「自宅で家族と暮らしたい」が 39.8%と 4 割弱を占めて最も高く、次いで「特に考えていない・まだよくわからない」が 18.2%、「自立して暮らしたい（家族と別居）」が 16.3%となった。今後（将来）、「自立して暮らしたい（家族と別居）」または「世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）」と回答した人に、独立にあたり不安なことを尋ねたところ、「収入の安定」が 69.6%と 7 割弱を占めて最も高く、次いで「障がいの状態に合った住宅の確保」及び「独立がうまくいかなかったとき」が 39.3%となっている。また、今後（将来）、「世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）」または「施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）」と回答した人に、グループホームなどへの入居または施設への入所はいつ頃までにしたいと考えているかを尋ねたところ、「その他」が 25.0%と最も高く、次いで「6～10年後」が 19.4%、「3～5年後」が 16.7%となった。

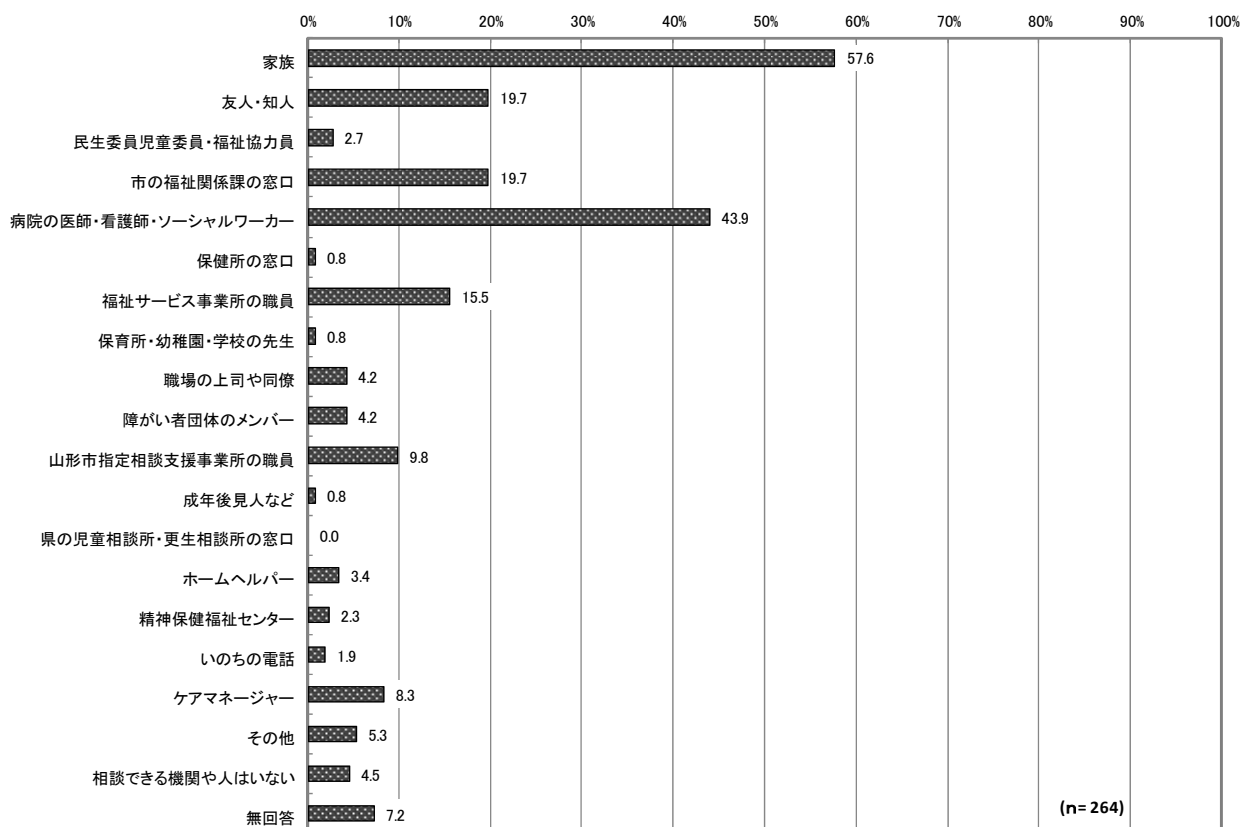
悪質商法などの被害にあった経験については、「ない」が 75.0%と 7 割半ばを占め、「ある」が 19.7%と 2 割弱となった。悪質商法などの被害にあったことがある人に相談した相手を尋ねたところ、「家族」が 46.2%と 4 割半ばと最も高く、次いで「山形市消費生活センター」及び「相談しなかった」が 28.8%となっている。また、相談しなかったと回答した人に相談しなかった理由を尋ねたところ、「相談しても解決しないと思った」が 33.3%と最も高く、次いで「どこに相談すればよいのかわからなかった」および「その他」が同率 26.7%となった。

今後の生活に対しての不安については、「生活費（経済的負担）」が 67.4%と 7 割弱を占めて最も高く、次いで「身体のこと（医療や健康）」が 66.7%、「住宅・生活の場所」が 33.7%となった。今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うかは、「経済面での支援が受けられる」が 41.7%と 4 割強を占めて最も高く、次いで「障がいや病気について周囲の人の理解」が 34.5%、「安心して住めるところがある」が 22.0%となった。

問 36 あなたが福祉サービスの利用について相談する相手を教えてください。（複数回答 n=264）

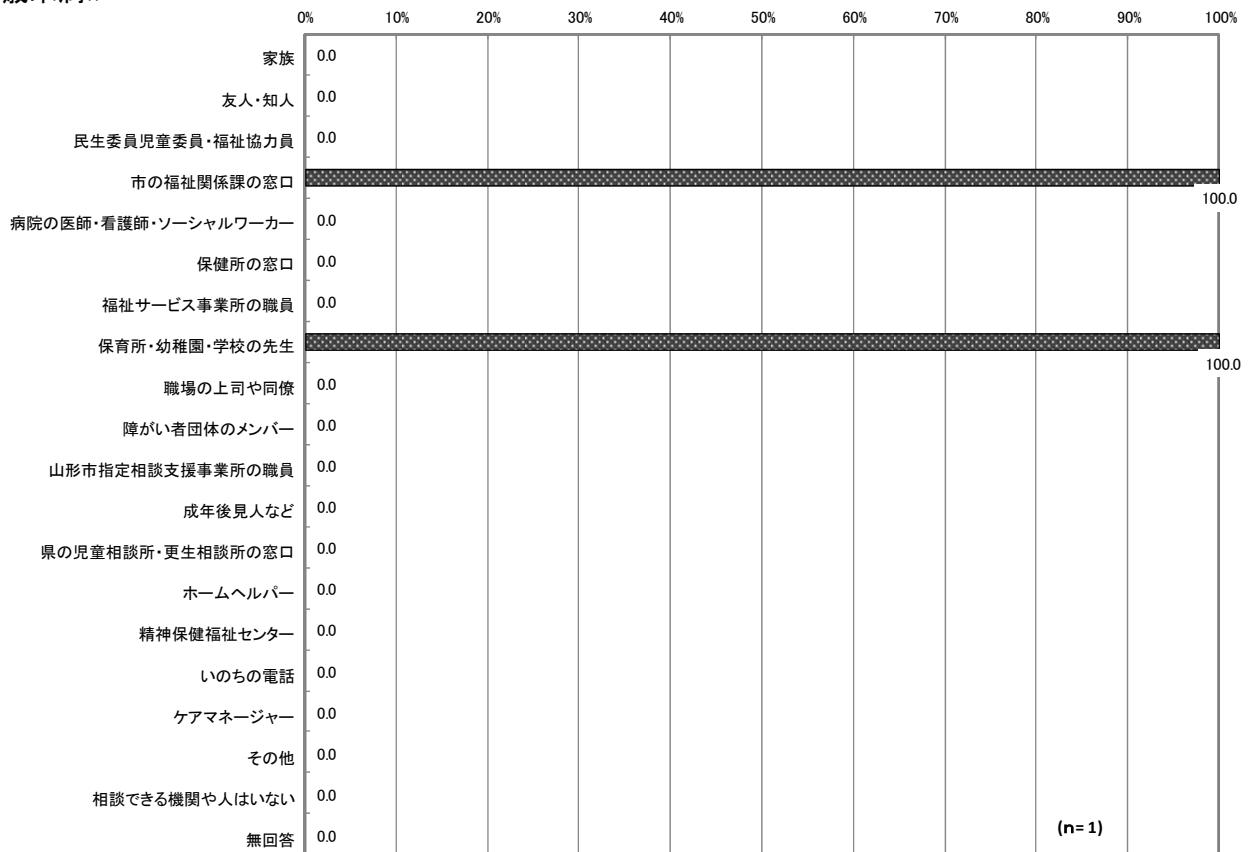
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	152	57.6%	0	0.0%	126	63.3%	26	40.6%
2 友人・知人	52	19.7%	0	0.0%	45	22.6%	7	10.9%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	7	2.7%	0	0.0%	2	1.0%	5	7.8%
4 市の福祉関係課の窓口	52	19.7%	1	100.0%	37	18.6%	14	21.9%
5 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	116	43.9%	0	0.0%	90	45.2%	26	40.6%
6 保健所の窓口	2	0.8%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
7 福祉サービス事業所の職員	41	15.5%	0	0.0%	33	16.6%	8	12.5%
8 保育所・幼稚園・学校の先生	2	0.8%	1	100.0%	1	0.5%	0	0.0%
9 職場の上司や同僚	11	4.2%	0	0.0%	10	5.0%	1	1.6%
10 障がい者団体のメンバー	11	4.2%	0	0.0%	7	3.5%	4	6.3%
11 山形市指定相談支援事業所の職員	26	9.8%	0	0.0%	22	11.1%	4	6.3%
12 成年後見人など	2	0.8%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
13 県の児童相談所・更生相談所の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14 ホームヘルパー	9	3.4%	0	0.0%	3	1.5%	6	9.4%
15 精神保健福祉センター	6	2.3%	0	0.0%	4	2.0%	2	3.1%
16 いのちの電話	5	1.9%	0	0.0%	4	2.0%	1	1.6%
17 ケアマネージャー	22	8.3%	0	0.0%	7	3.5%	15	23.4%
18 その他	14	5.3%	0	0.0%	13	6.5%	1	1.6%
19 相談できる機関や人はいない	12	4.5%	0	0.0%	9	4.5%	3	4.7%
無回答	19	7.2%	0	0.0%	8	4.0%	11	17.2%
合計	264		1		199		64	

18 その他：主な内訳 病院の相談室（2）訪問看護（2）入居中の施設ケアマネージャー（1）障がい者生活支援センター（1）自分でネットで調べる（1）障がい者就業・生活支援センター（1）県立総合療育訓練センターの相談員（1）発達支援センター（1）ハローワークで仕事を相談しても義務的な様子で頼りにならないので諦めている（1）

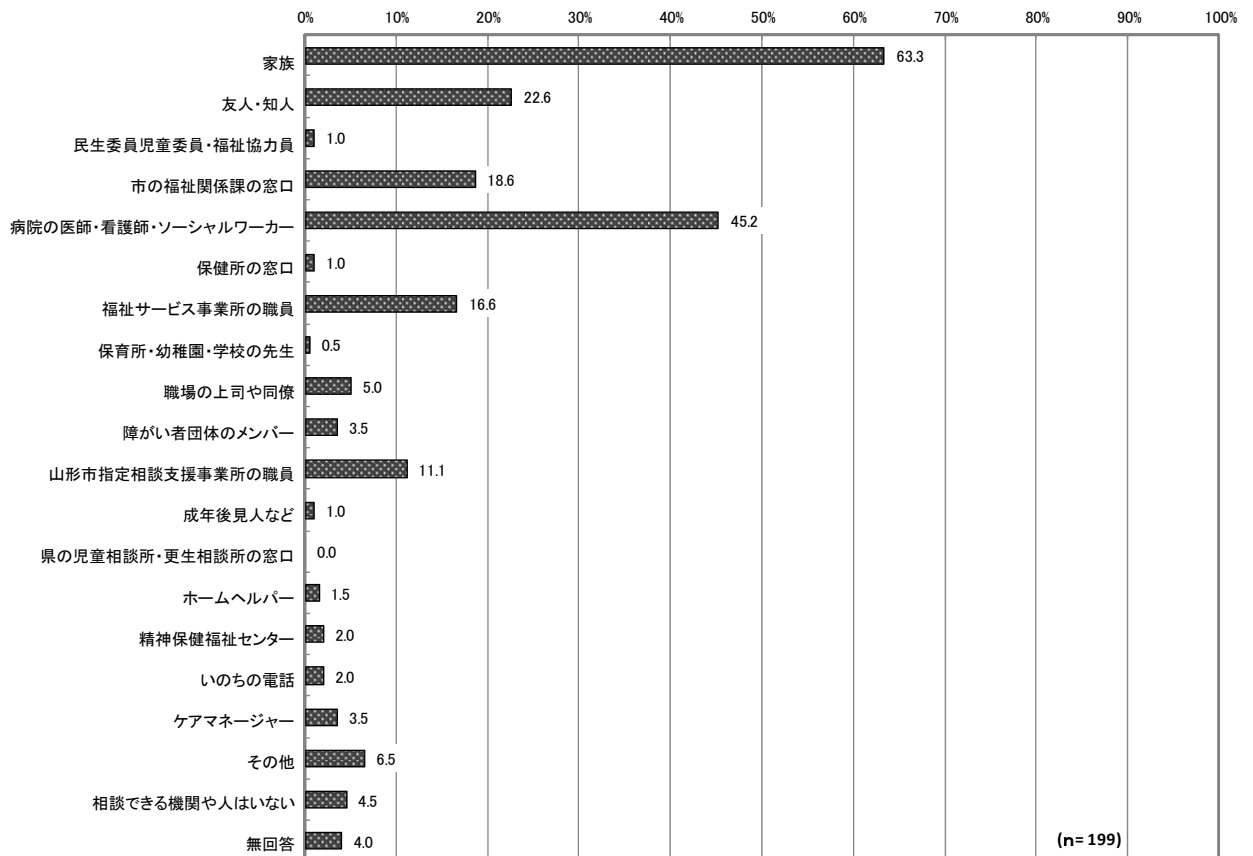


【年代別】

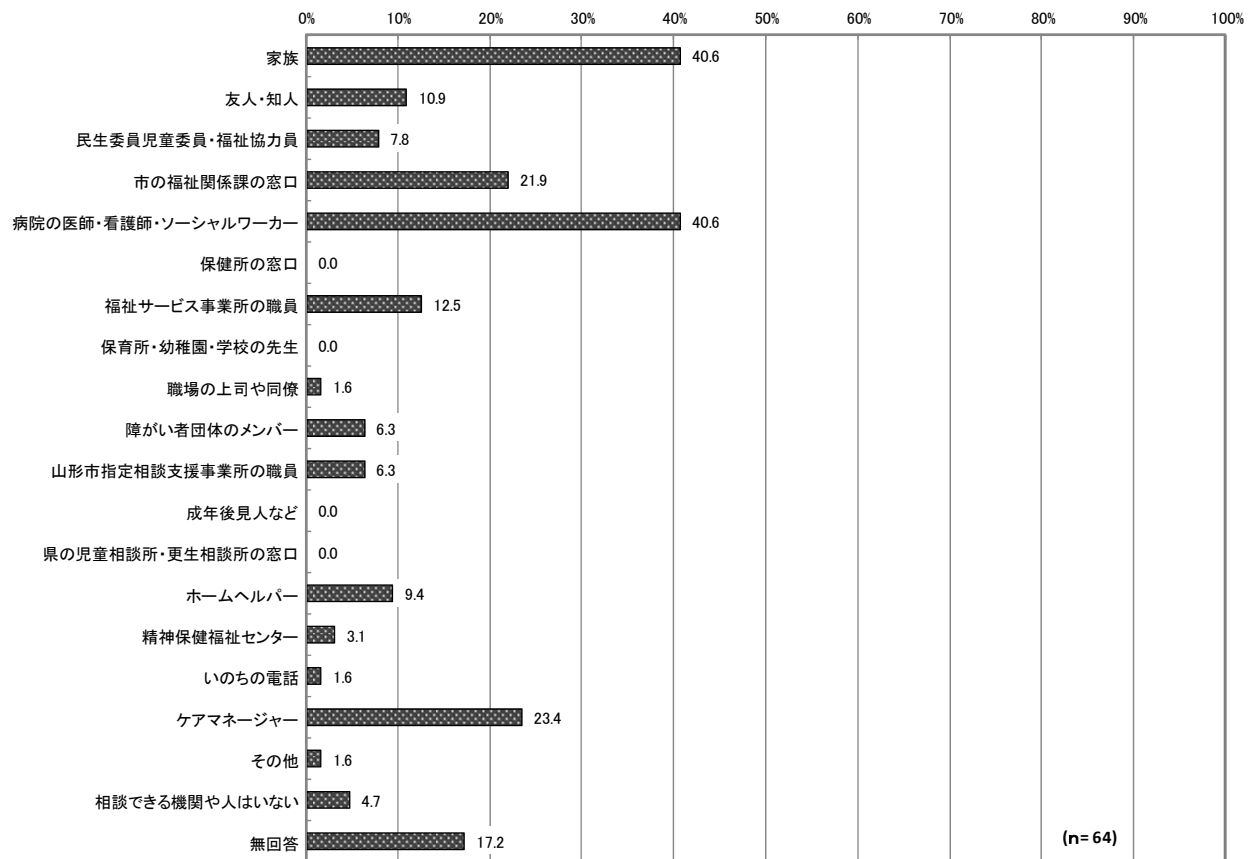
《18 歳未満》



《18～64 歳》



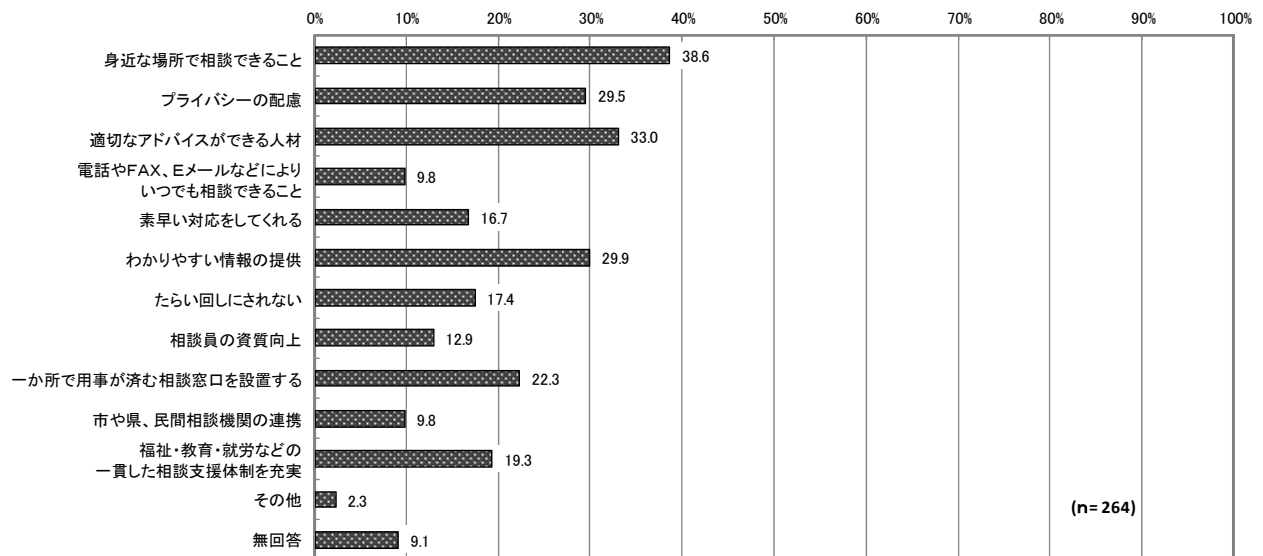
《65 歳以上》



問 37 相談機能を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○印）
（複数回答 n=264）

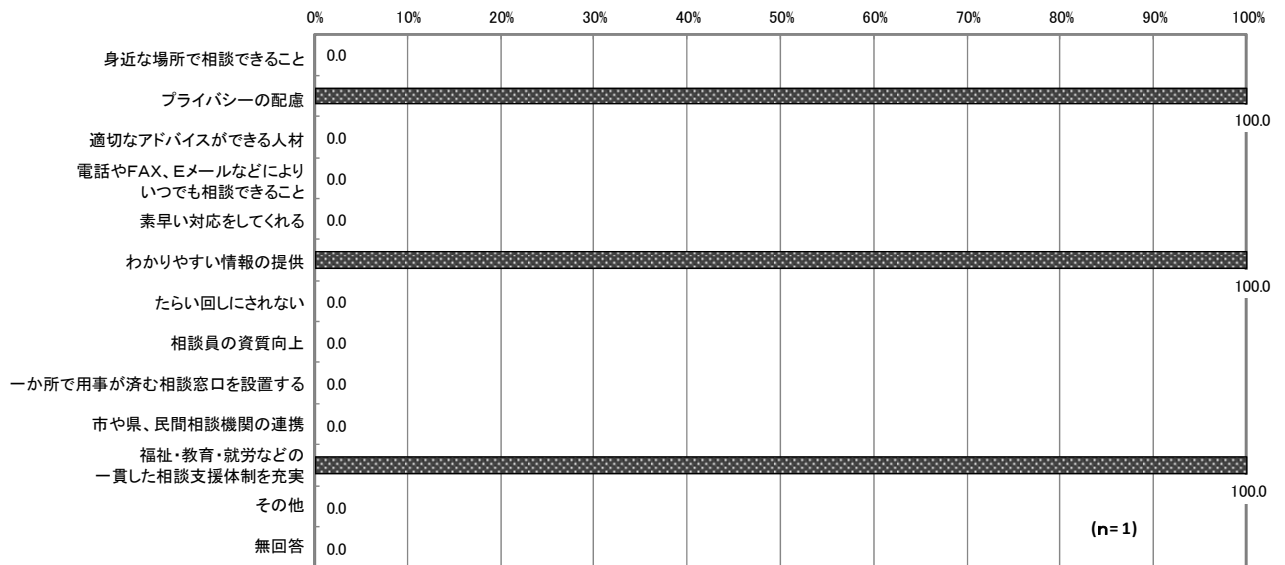
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 身近な場所で相談できること	102	38.6%	0	0.0%	80	40.2%	22	34.4%
2 プライバシーの配慮	78	29.5%	1	100.0%	67	33.7%	10	15.6%
3 適切なアドバイスができる人材	87	33.0%	0	0.0%	75	37.7%	12	18.8%
4 電話やFAX、Eメールなどによりいつでも相談できること	26	9.8%	0	0.0%	24	12.1%	2	3.1%
5 素早い対応をしてくれる	44	16.7%	0	0.0%	33	16.6%	11	17.2%
6 わかりやすい情報の提供	79	29.9%	1	100.0%	58	29.1%	20	31.3%
7 たらひ回しにされない	46	17.4%	0	0.0%	36	18.1%	10	15.6%
8 相談員の資質向上	34	12.9%	0	0.0%	27	13.6%	7	10.9%
9 一か所で用事が済む相談窓口を設置する	59	22.3%	0	0.0%	42	21.1%	17	26.6%
10 市や県、民間相談機関の連携	26	9.8%	0	0.0%	19	9.5%	7	10.9%
11 福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実	51	19.3%	1	100.0%	38	19.1%	12	18.8%
12 その他	6	2.3%	0	0.0%	5	2.5%	1	1.6%
無回答	24	9.1%	0	0.0%	11	5.5%	13	20.3%
合計	264		1		199		64	

12 その他：主な内訳 毎日相談しなくても済むような、提出書類の簡素化（1）

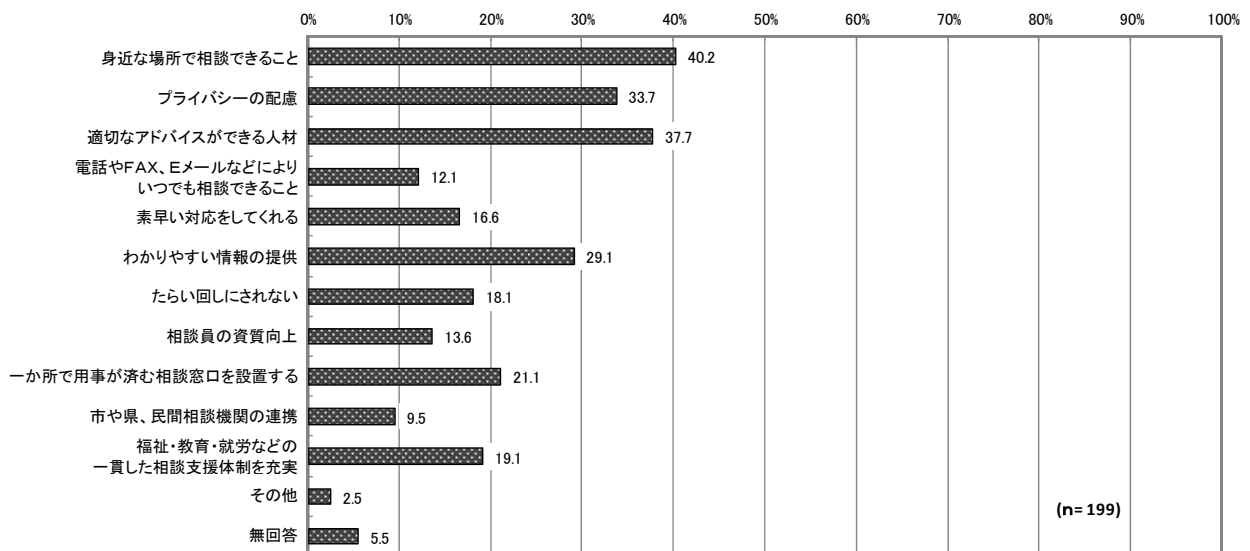


【年代別】

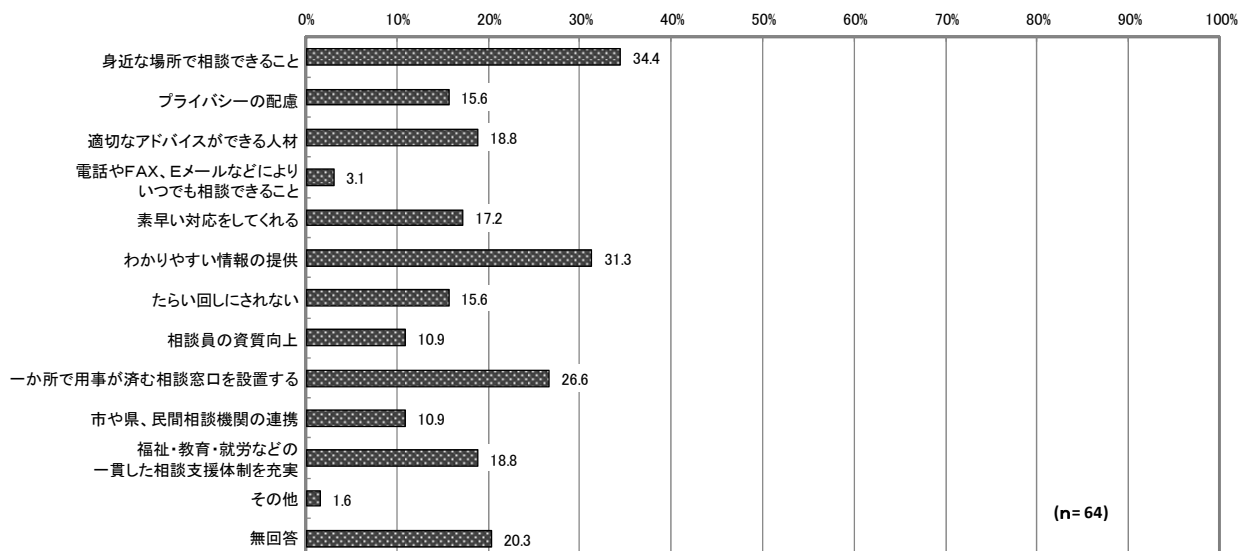
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

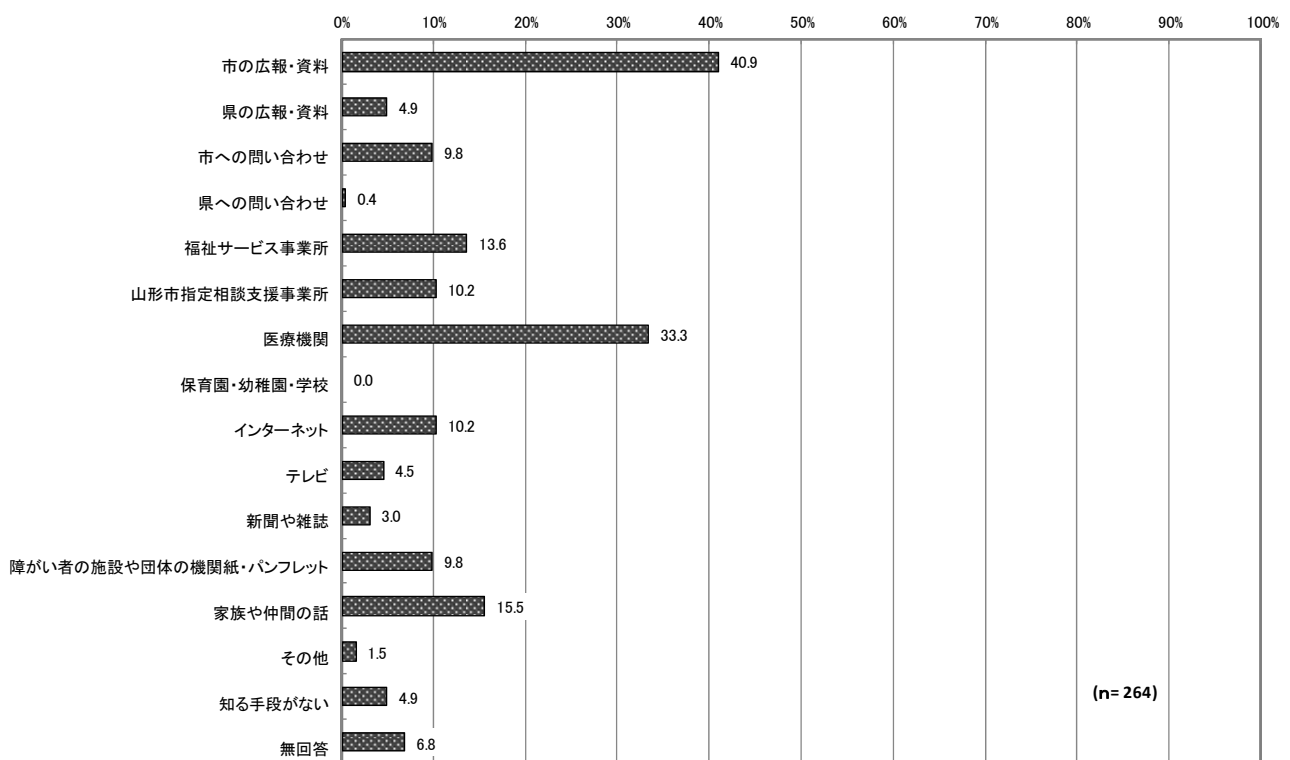


問 38 あなたは、福祉サービスの内容について、どのようなもので知ることが多いですか。

(2つまで○印) (複数回答 n=264)

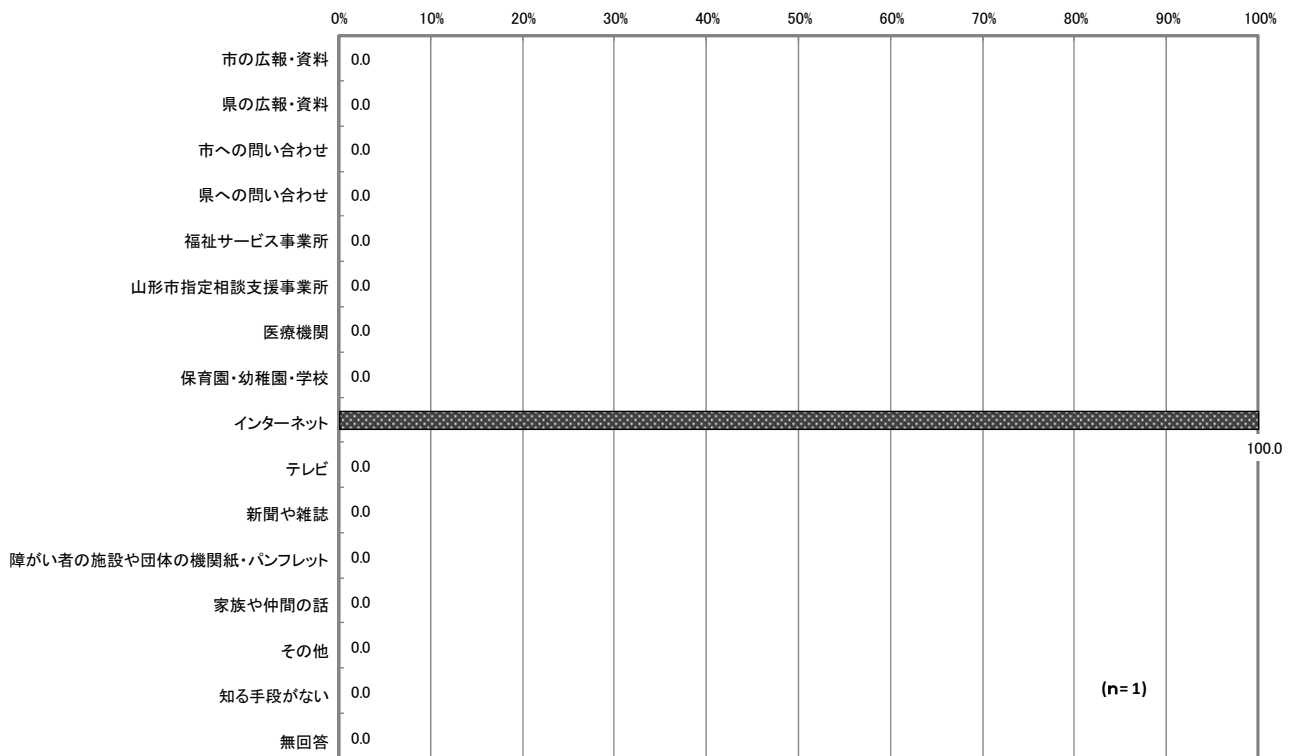
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 市の広報・資料	108	40.9%	0	0.0%	79	39.7%	29	45.3%
2 県の広報・資料	13	4.9%	0	0.0%	8	4.0%	5	7.8%
3 市への問い合わせ	26	9.8%	0	0.0%	20	10.1%	6	9.4%
4 県への問い合わせ	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
5 福祉サービス事業所	36	13.6%	0	0.0%	25	12.6%	11	17.2%
6 山形市指定相談支援事業所	27	10.2%	0	0.0%	23	11.6%	4	6.3%
7 医療機関	88	33.3%	0	0.0%	69	34.7%	19	29.7%
8 保育園・幼稚園・学校	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 インターネット	27	10.2%	1	100.0%	26	13.1%	0	0.0%
10 テレビ	12	4.5%	0	0.0%	8	4.0%	4	6.3%
11 新聞や雑誌	8	3.0%	0	0.0%	4	2.0%	4	6.3%
12 障がい者の施設や団体の機関紙・パンフレット	26	9.8%	0	0.0%	17	8.5%	9	14.1%
13 家族や仲間の話	41	15.5%	0	0.0%	33	16.6%	8	12.5%
14 その他	4	1.5%	0	0.0%	4	2.0%	0	0.0%
15 知る手段がない	13	4.9%	0	0.0%	13	6.5%	0	0.0%
無回答	18	6.8%	0	0.0%	9	4.5%	9	14.1%
合計	264		1		199		64	

14 その他：主な内訳 知ろうとは思わない (1)

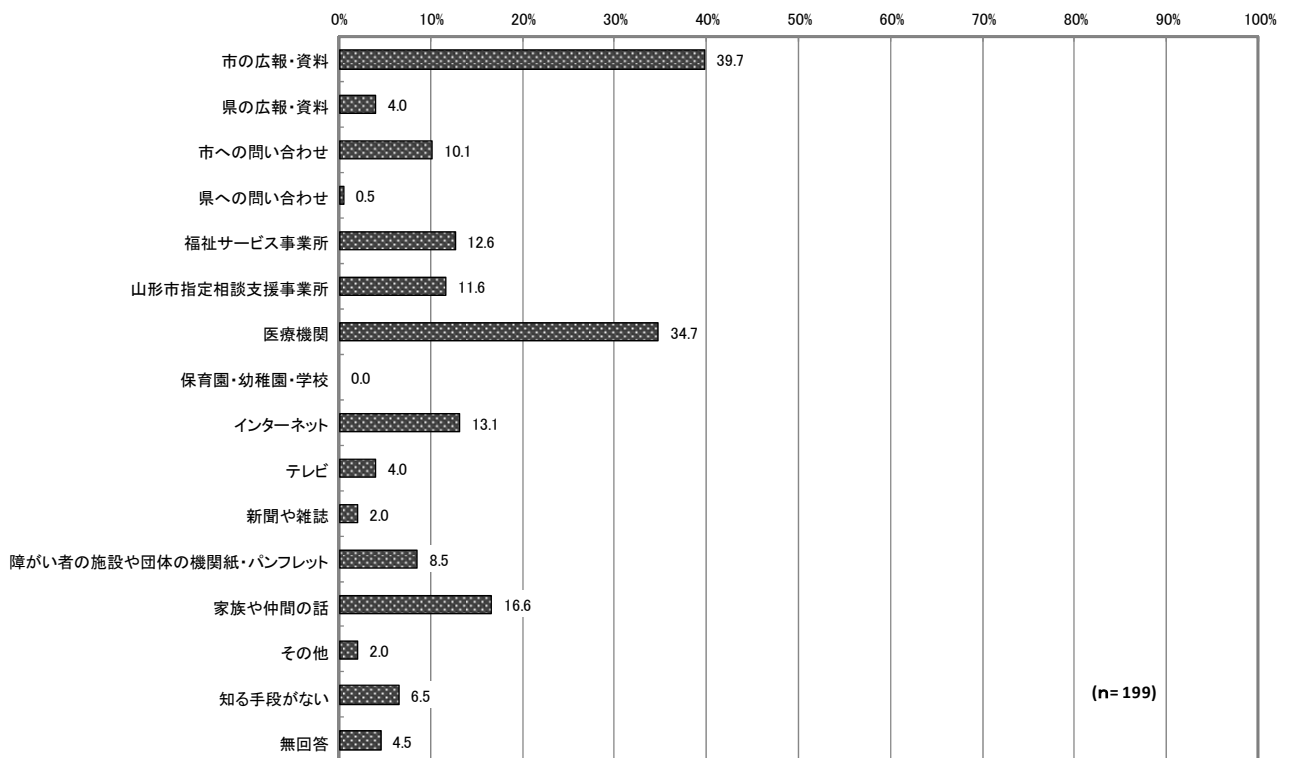


【年代別】

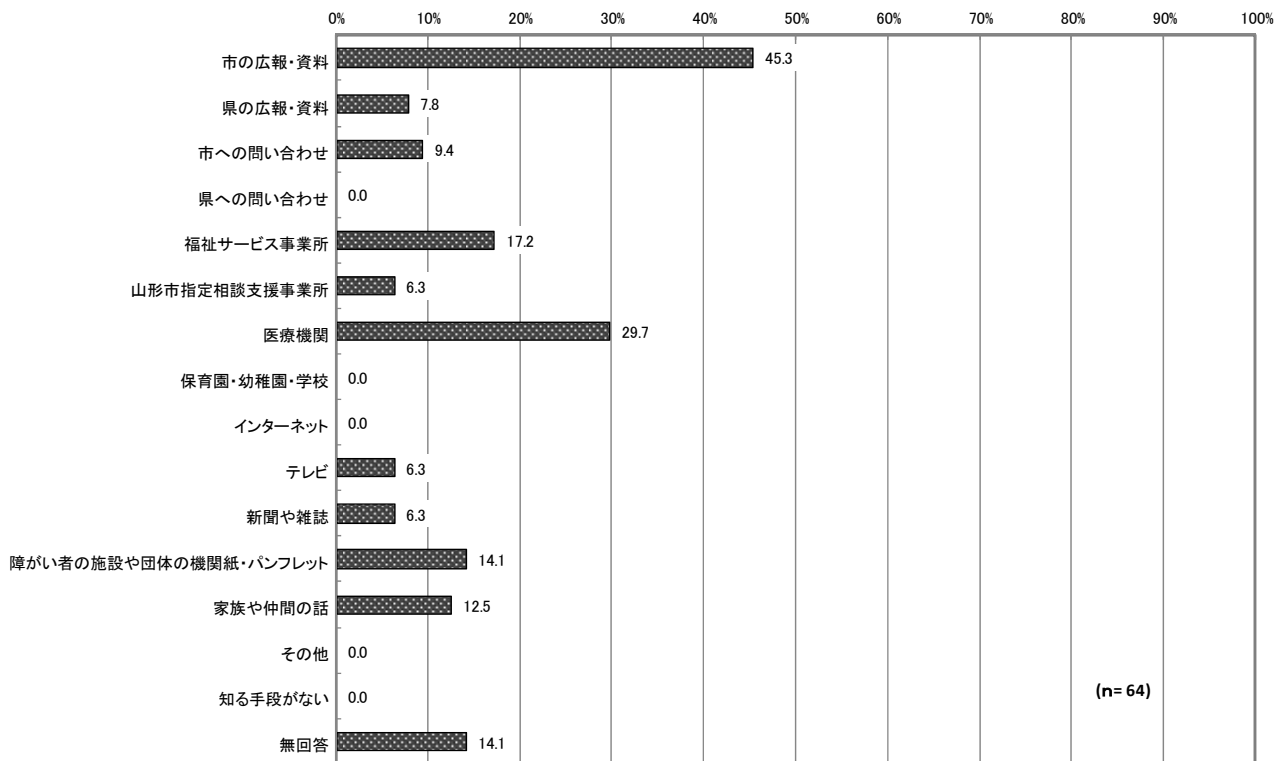
《18 歳未満》



《18～64 歳》



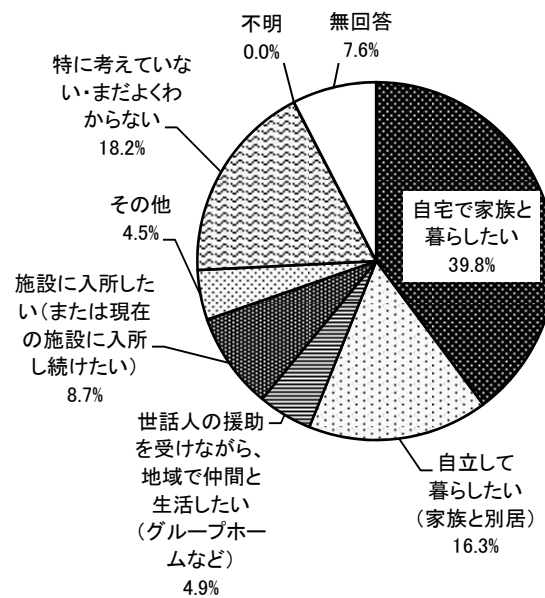
《65 歳以上》



問 39 あなたは、今後（将来）どのように生活したい（させたい）ですか。（単数回答 n=264）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自宅で家族と暮らしたい	105	39.8%	0	0.0%	86	43.2%	19	29.7%
2 自立して暮らしたい（家族と別居）	43	16.3%	0	0.0%	41	20.6%	2	3.1%
3 世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）	13	4.9%	0	0.0%	10	5.0%	3	4.7%
4 施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）	23	8.7%	0	0.0%	9	4.5%	14	21.9%
5 その他	12	4.5%	1	100.0%	10	5.0%	1	1.6%
6 特に考えていない・まだよくわからない	48	18.2%	0	0.0%	35	17.6%	13	20.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	20	7.6%	0	0.0%	8	4.0%	12	18.8%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

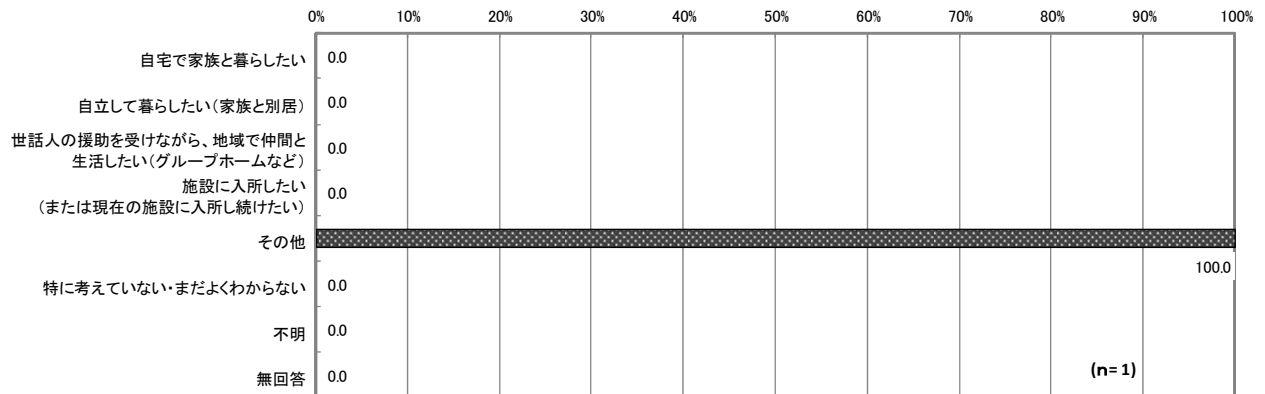
5 その他：主な内訳 自宅生活（2）パソコン講座の無料支援（1）転職、転居（1）働きたい（1）1人で生活をしているので身体に気をつけてこのままで（1）結婚して2人で住みたい（1）小中学校の同級生がいない所（1）希望なんてものは抱けない（1）自宅で親と暮らしたいが亡くなったり、年をとって親の体がきかなくなったらどうしたらよいかわからないが、施設には入所したくない（1）



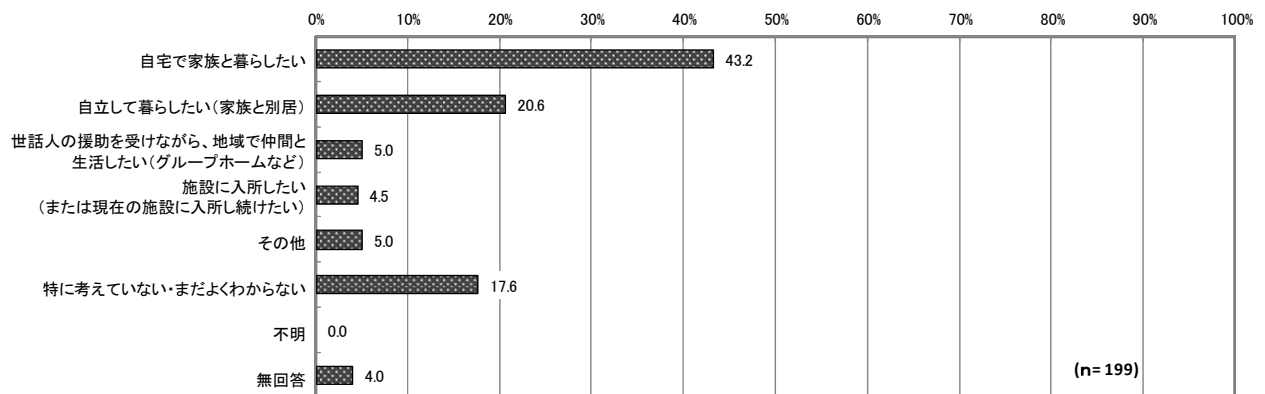
n=264

【年代別】

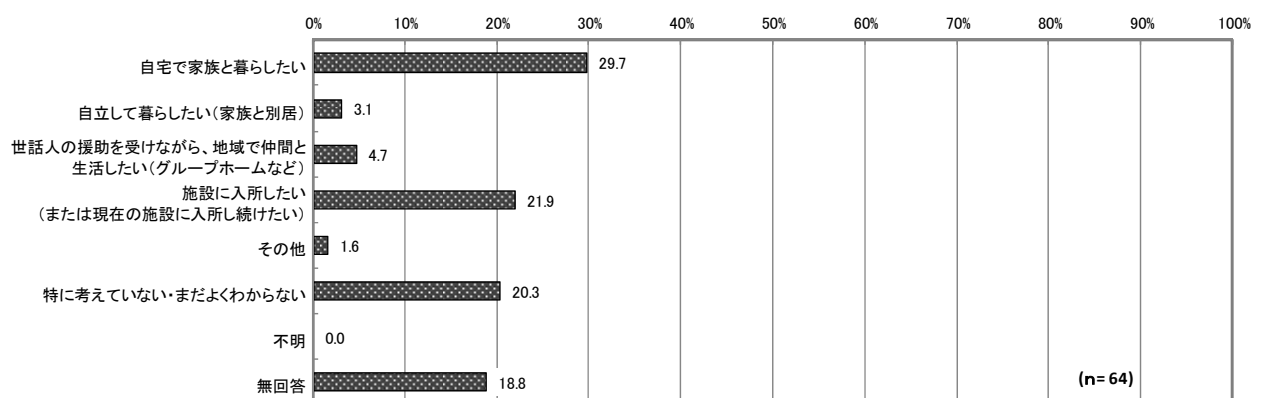
《18 歳未満》



《18～64 歳》



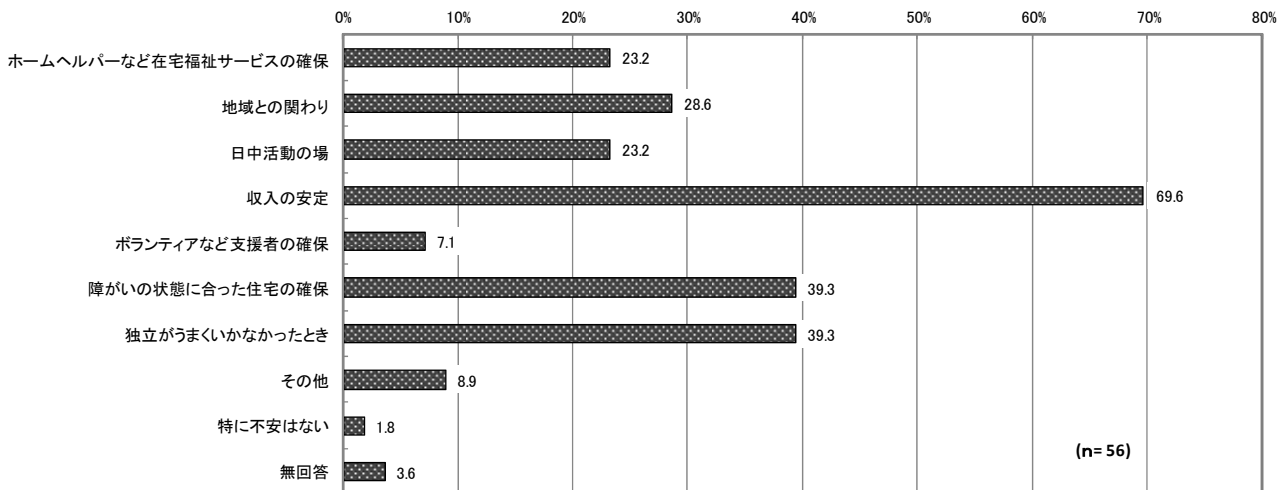
《65 歳以上》



問 40 問 39 で「2」または「3」を回答した方におたずねします。独立にあたり、どのようなことが不安ですか。（複数回答 n=56）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ホームヘルパーなど在宅福祉サービスの確保	13	23.2%	0	0.0%	10	19.6%	3	60.0%
2 地域との関わり	16	28.6%	0	0.0%	14	27.5%	2	40.0%
3 日中活動の場	13	23.2%	0	0.0%	13	25.5%	0	0.0%
4 収入の安定	39	69.6%	0	0.0%	38	74.5%	1	20.0%
5 ボランティアなど支援者の確保	4	7.1%	0	0.0%	3	5.9%	1	20.0%
6 障がいの状態に合った住宅の確保	22	39.3%	0	0.0%	22	43.1%	0	0.0%
7 独立がうまくいかなかったとき	22	39.3%	0	0.0%	21	41.2%	1	20.0%
8 その他	5	8.9%	0	0.0%	4	7.8%	1	20.0%
9 特に不安はない	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%
無回答	2	3.6%	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%
合計	56		0		51		5	

8 その他：主な内訳 健康面（2）病院の確保（1）障害の知識がある支援者育成（1）

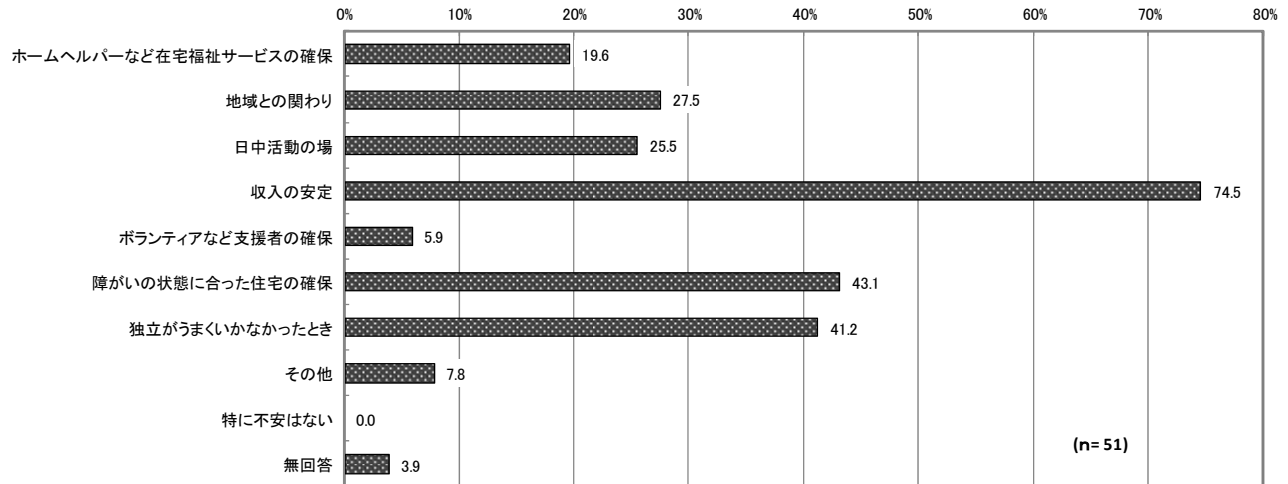


【年代別】

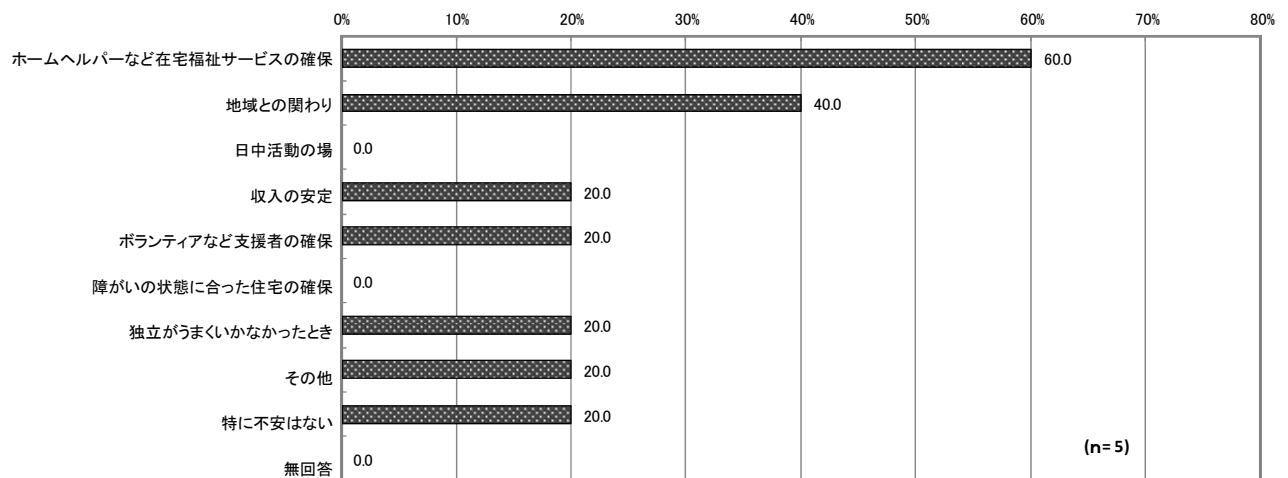
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》

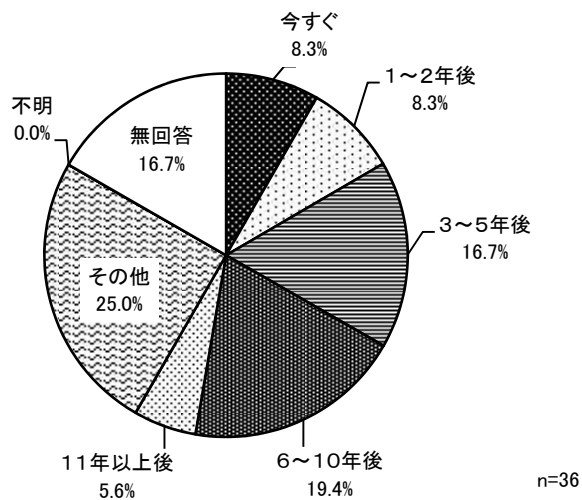


《65 歳以上》



問 41 問 39 で「3」または「4」を回答した方におたずねします。グループホームなどへの入居または施設への入所はいつ頃までにしたいと考えていますか。 （単数回答 n=36）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 今すぐ	3	8.3%	0	0.0%	2	10.5%	1	5.9%
2 1～2年後	3	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	17.6%
3 3～5年後	6	16.7%	0	0.0%	3	15.8%	3	17.6%
4 6～10年後	7	19.4%	0	0.0%	5	26.3%	2	11.8%
5 11年以上後	2	5.6%	0	0.0%	2	10.5%	0	0.0%
6 その他	9	25.0%	0	0.0%	3	15.8%	6	35.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	16.7%	0	0.0%	4	21.1%	2	11.8%
合計	36	100.0%	0	0.0%	19	100.0%	17	100.0%

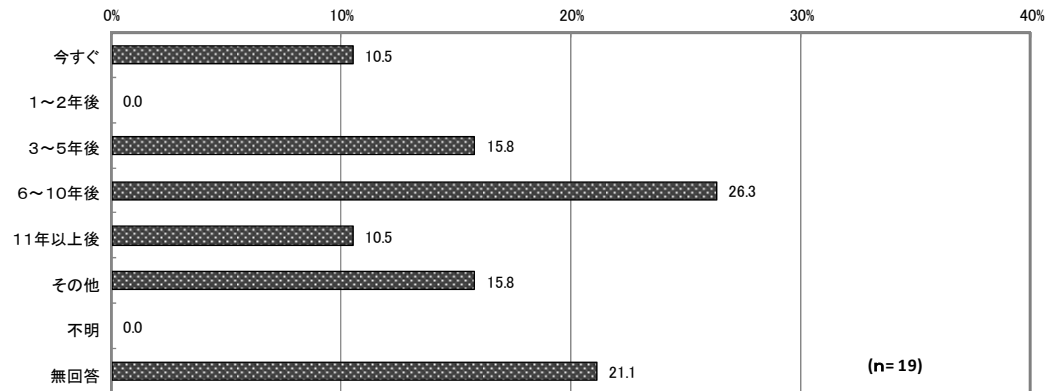


【年代別】

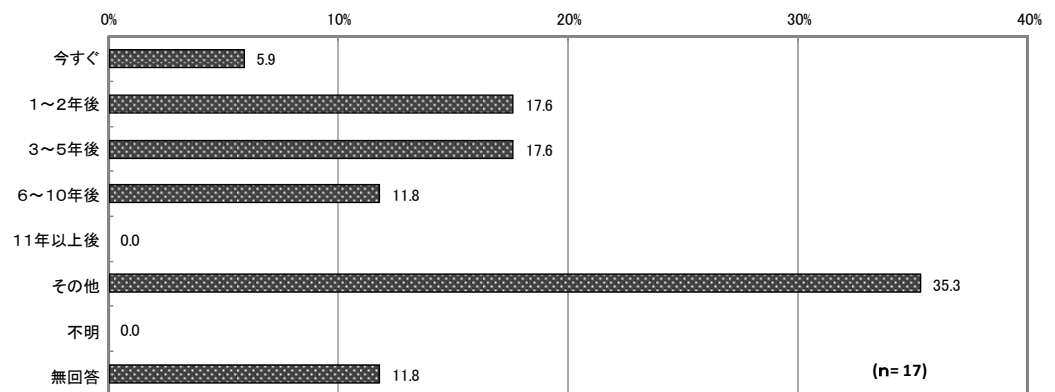
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》

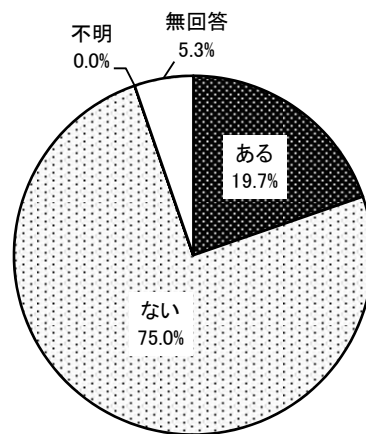


《65 歳以上》

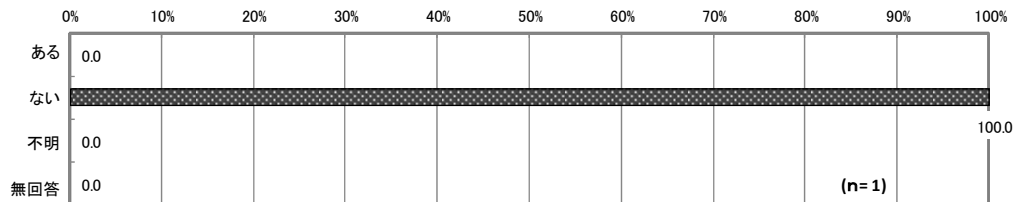
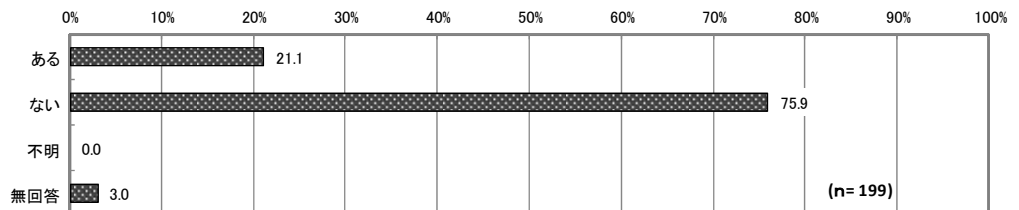
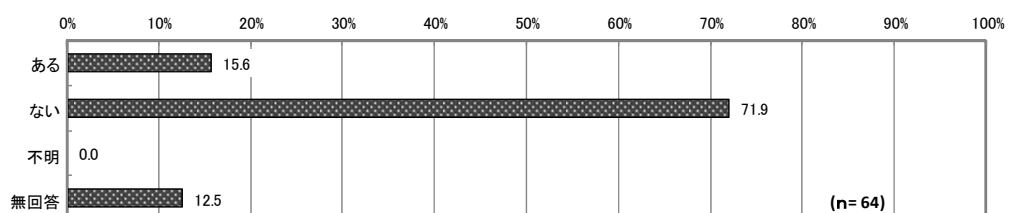


問 42 あなたは、悪質商法などの被害にあったことがありますか。 (単数回答 n=264)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	52	19.7%	0	0.0%	42	21.1%	10	15.6%
2 ない	198	75.0%	1	100.0%	151	75.9%	46	71.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	14	5.3%	0	0.0%	6	3.0%	8	12.5%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



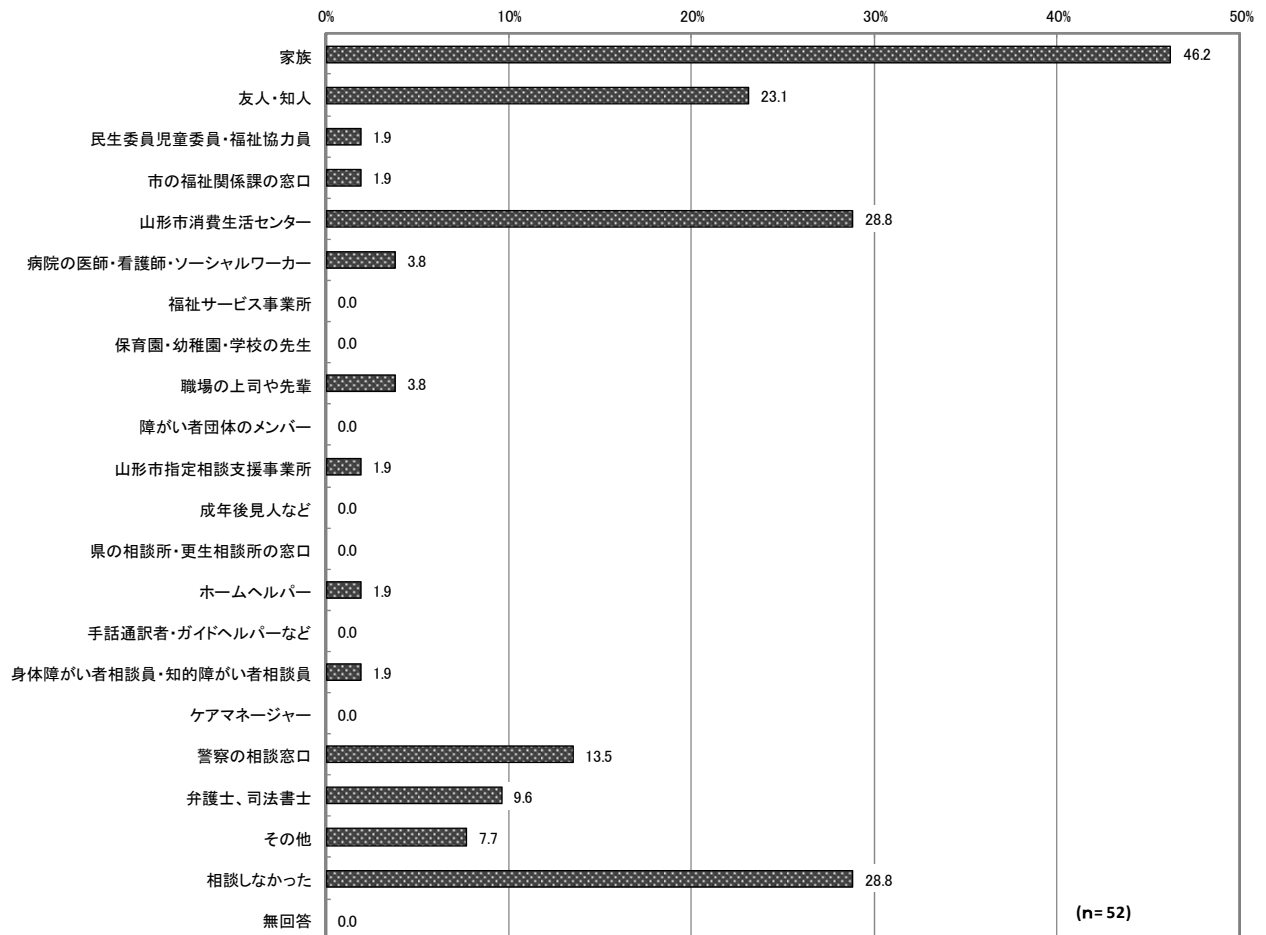
n=264

【年代別】
《18 歳未満》

《18～64 歳》

《65 歳以上》


問 43 問 42 で「1」を回答した方におたずねします。その時、誰（どこ）へ相談しましたか。
 （複数回答 n=52）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	24	46.2%	0	0.0%	20	47.6%	4	40.0%
2 友人・知人	12	23.1%	0	0.0%	10	23.8%	2	20.0%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	1	1.9%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
4 市の福祉関係課の窓口	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%
5 山形市消費生活センター	15	28.8%	0	0.0%	12	28.6%	3	30.0%
6 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	2	3.8%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%
7 福祉サービス事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 保育園・幼稚園・学校の先生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 職場の上司や先輩	2	3.8%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%
10 障がい者団体のメンバー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 山形市指定相談支援事業所	1	1.9%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
12 成年後見人など	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13 県の相談所・更生相談所の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14 ホームヘルパー	1	1.9%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
15 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	1	1.9%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
17 ケアマネージャー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
18 警察の相談窓口	7	13.5%	0	0.0%	5	11.9%	2	20.0%
19 弁護士、司法書士	5	9.6%	0	0.0%	5	11.9%	0	0.0%
20 その他	4	7.7%	0	0.0%	4	9.5%	0	0.0%
21 相談しなかった	15	28.8%	0	0.0%	11	26.2%	4	40.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	52		0		42		10	

20 その他：主な内訳 消費者センター（1）産業医（1）携帯電話の店（1）共産党の困りごと相談（1）

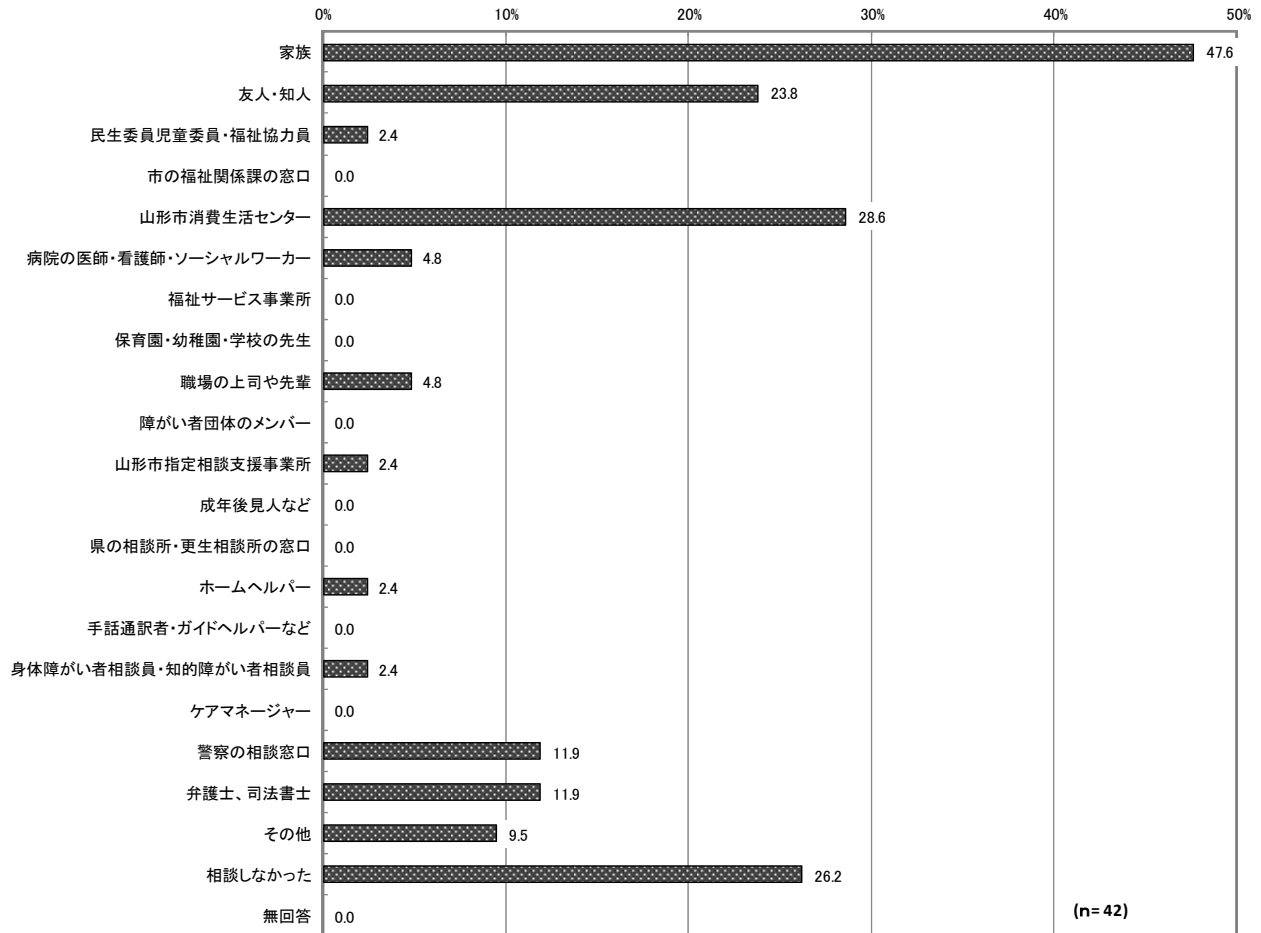


【年代別】

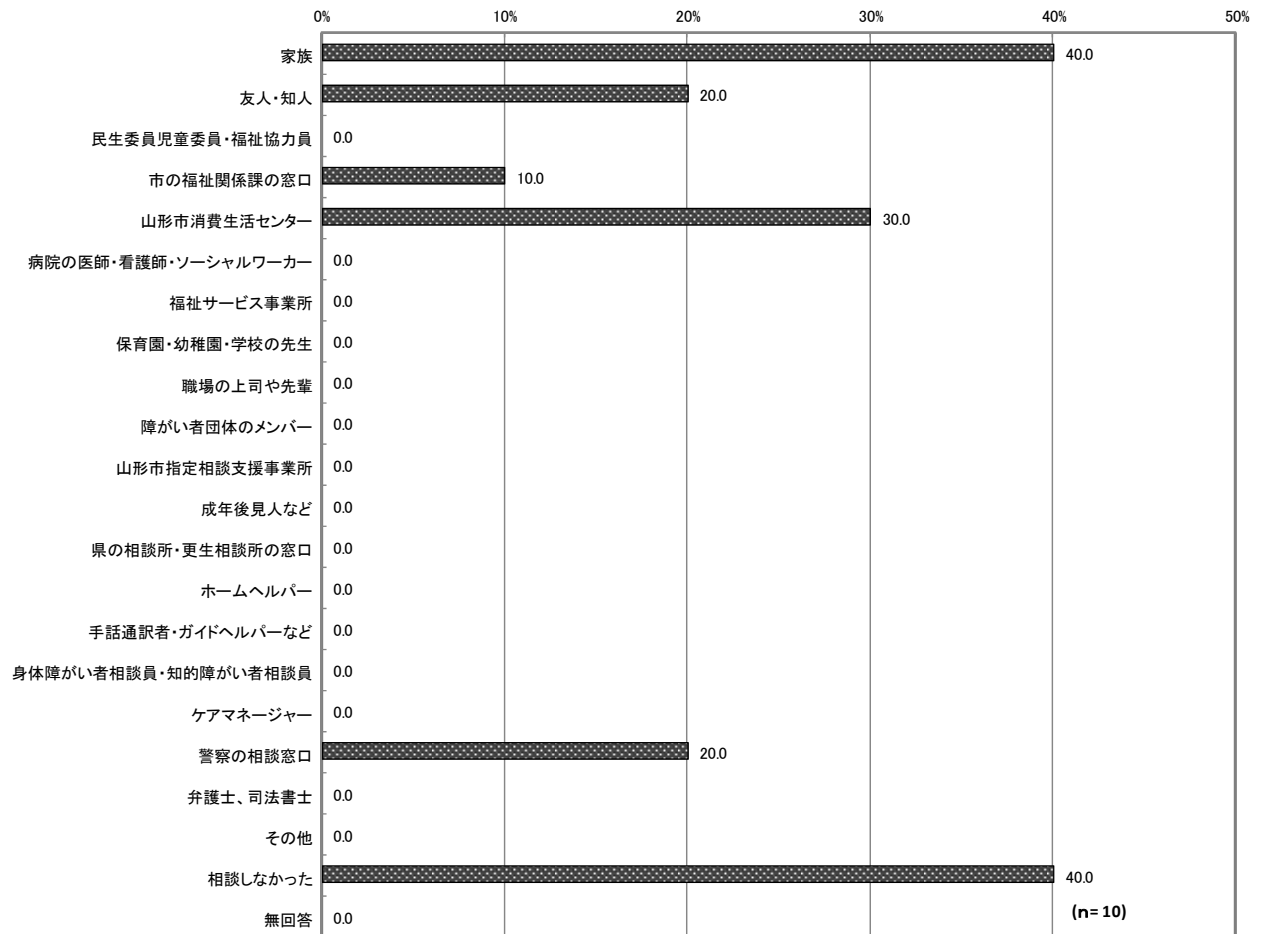
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

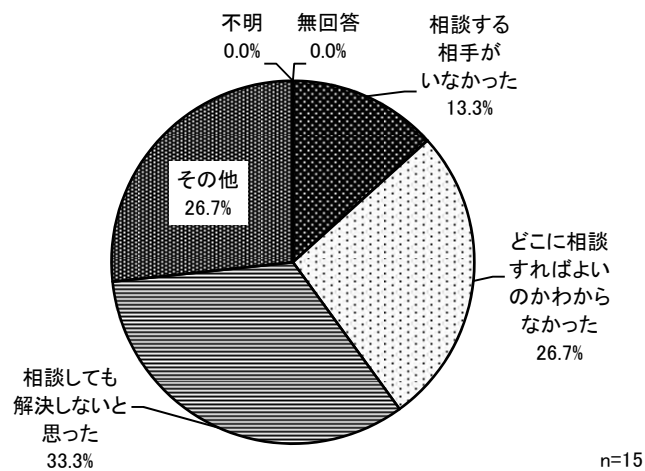


問 44 問 43 で「21」を回答した方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。

(単数回答 n=15)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 相談する相手がいなかった	2	13.3%	0	0.0%	1	9.1%	1	25.0%
2 どこに相談すればよいのかわからなかった	4	26.7%	0	0.0%	4	36.4%	0	0.0%
3 相談しても解決しないと思った	5	33.3%	0	0.0%	3	27.3%	2	50.0%
4 その他	4	26.7%	0	0.0%	3	27.3%	1	25.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	15	100.0%	0	0.0%	11	100.0%	4	100.0%

4 その他：主な内訳 焦ったため（ワンクリック詐欺）（1）将来のためのお金を得たいと思って、選んだ仕事（商法）だったが、結局あとから考えると働いた分上手に金を巻き上げられていた（1）

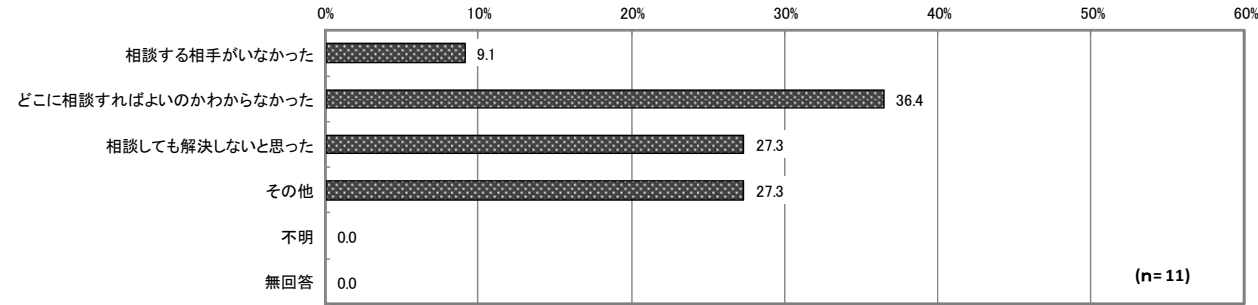


【年代別】

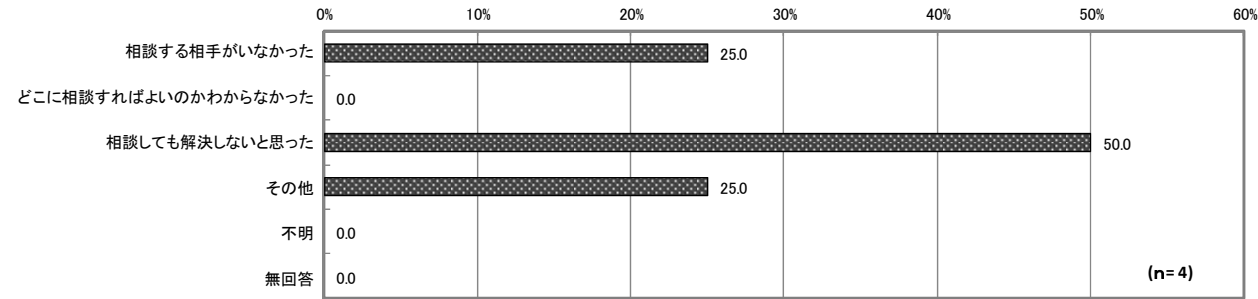
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



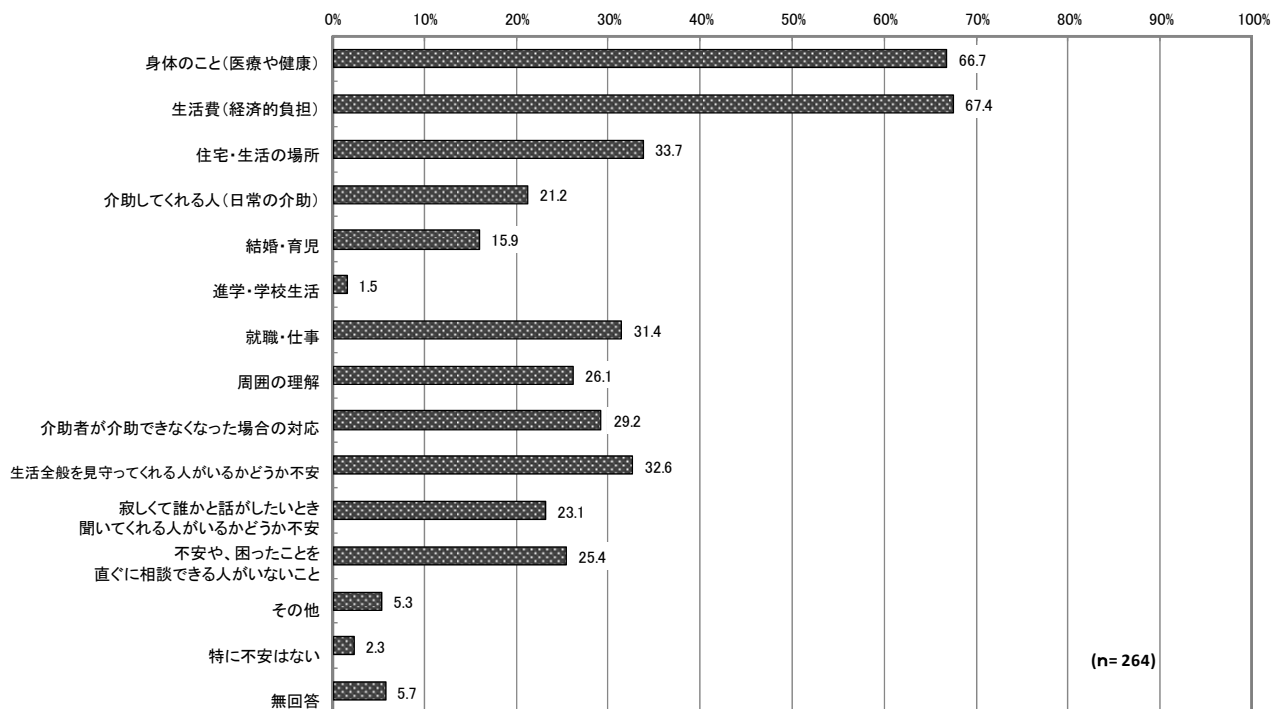
《65 歳以上》



問 45 あなたは今後の生活に対してどのような不安がありますか。 (複数回答 n=264)

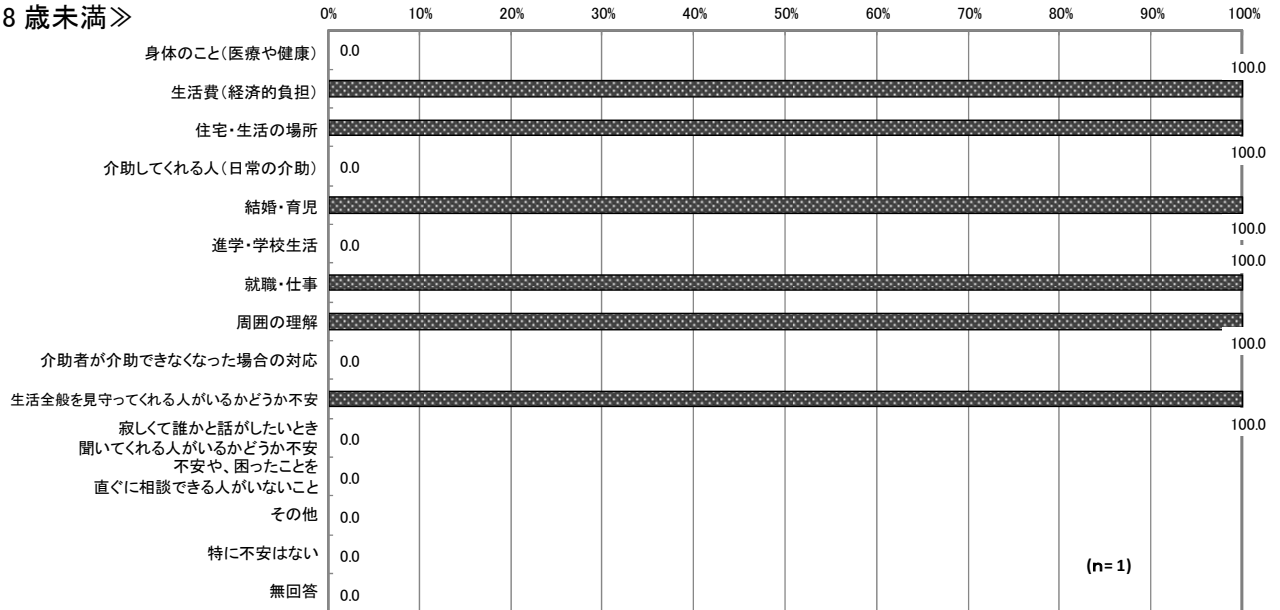
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 身体のこと (医療や健康)	176	66.7%	0	0.0%	134	67.3%	42	65.6%
2 生活費 (経済的負担)	178	67.4%	1	100.0%	152	76.4%	25	39.1%
3 住宅・生活の場所	89	33.7%	1	100.0%	73	36.7%	15	23.4%
4 介助してくれる人 (日常の介助)	56	21.2%	0	0.0%	39	19.6%	17	26.6%
5 結婚・育児	42	15.9%	1	100.0%	39	19.6%	2	3.1%
6 進学・学校生活	4	1.5%	0	0.0%	4	2.0%	0	0.0%
7 就職・仕事	83	31.4%	1	100.0%	81	40.7%	1	1.6%
8 周囲の理解	69	26.1%	1	100.0%	61	30.7%	7	10.9%
9 介助者が介助できなくなった場合の対応	77	29.2%	0	0.0%	61	30.7%	16	25.0%
10 生活全般を見守ってくれる人がいるかどうか不安	86	32.6%	1	100.0%	70	35.2%	15	23.4%
11 寂しくて誰かと話がしたいとき聞いてくれる人がいるかどうか不安	61	23.1%	0	0.0%	50	25.1%	11	17.2%
12 不安や、困ったことを直ぐに相談できる人がいないこと	67	25.4%	0	0.0%	60	30.2%	7	10.9%
13 その他	14	5.3%	0	0.0%	14	7.0%	0	0.0%
14 特に不安はない	6	2.3%	0	0.0%	3	1.5%	3	4.7%
無回答	15	5.7%	0	0.0%	6	3.0%	9	14.1%
合計	264		1		199		64	

13 その他：主な内訳 L G B Tへの法的整備 (パートナーシップ法などの、早期実現) (1) 障害年金の等級変更 (1) 家族の無理解 (1) 親と不仲 (1) 家族が病気になった時など (1) ずっと独身の場合、親類に迷惑をかけるのではないかという不安 (1) 路線バスが少ないので移動が不便 (1) 信頼できるヘルパーさんに会えるか (1) 子どもの将来の為に預金できない (1) 仕事がない不満に対するストレス (1) 対応してくれる医療機関の確保 (1)

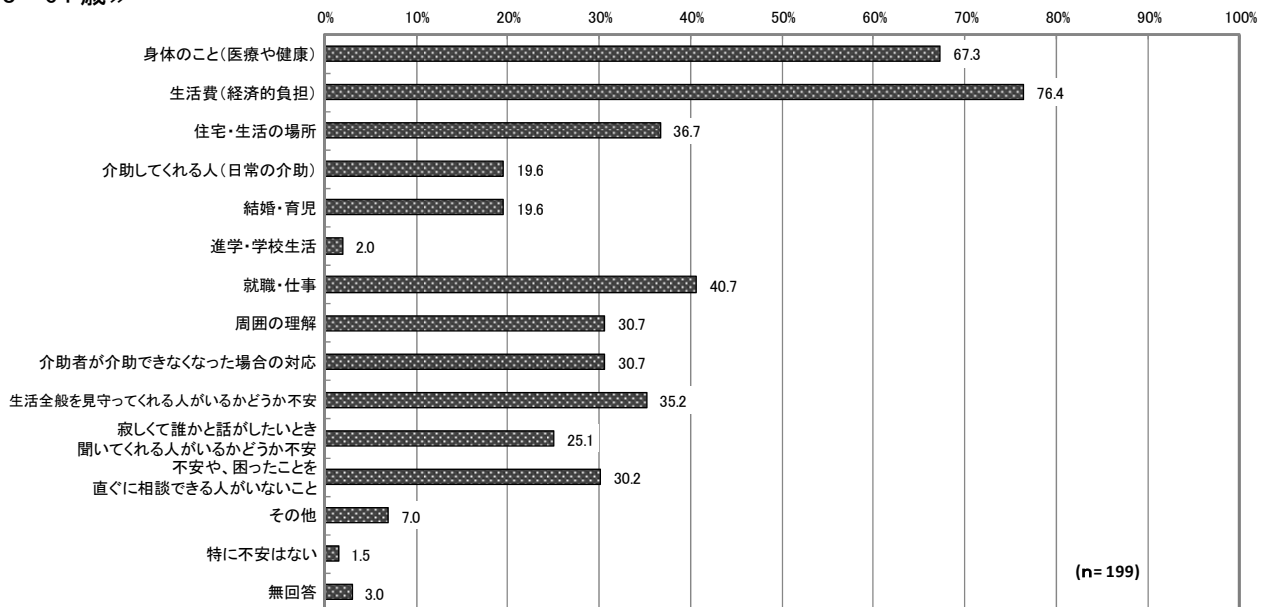


【年代別】

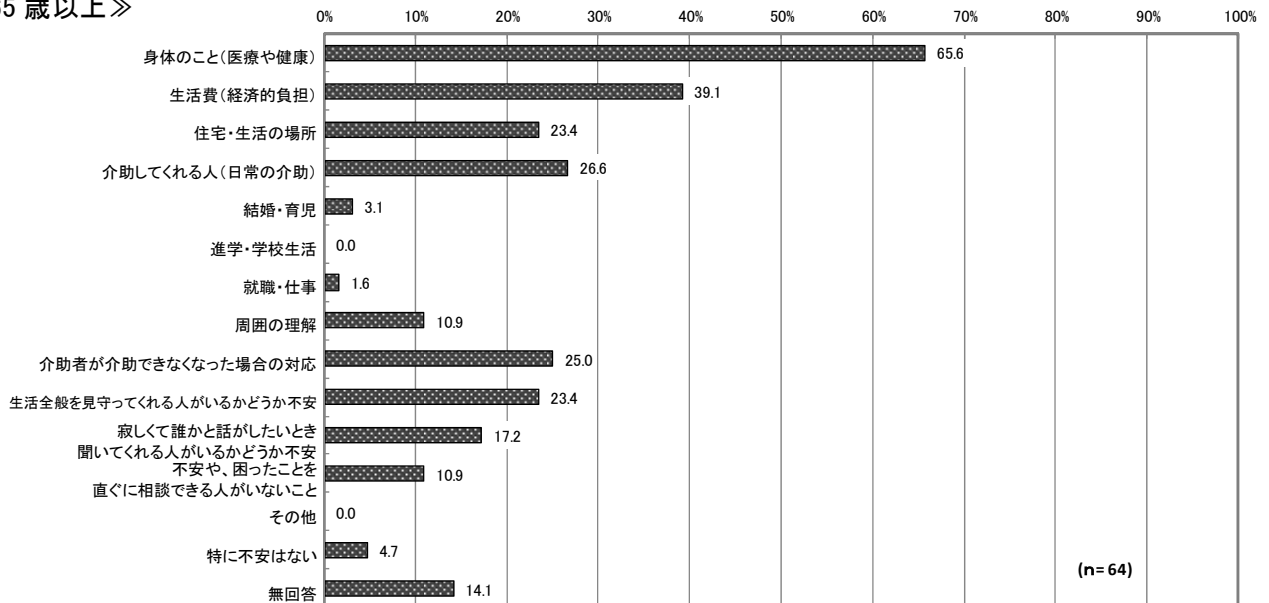
≪18歳未満≫



≪18～64歳≫



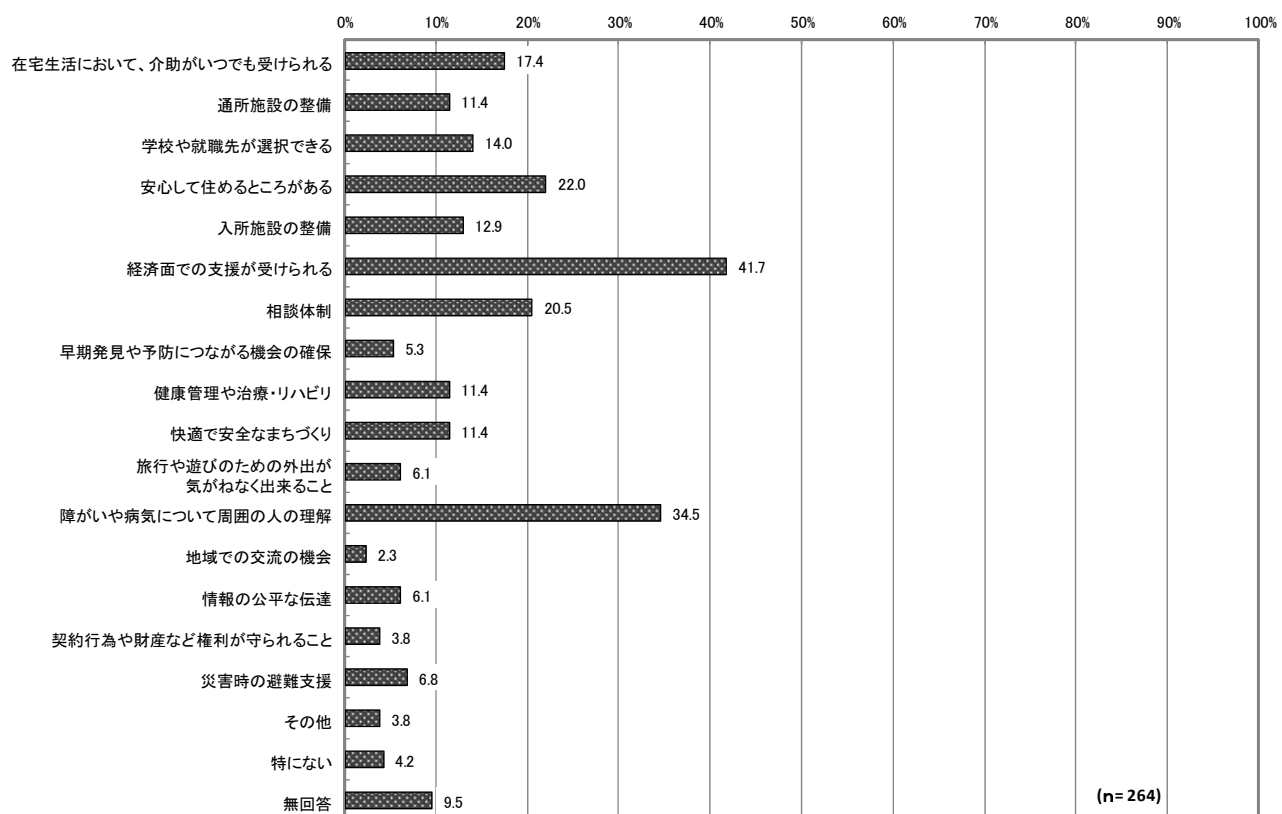
≪65歳以上≫



問 46 今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思われますか。（3つまで○印） （複数回答 n=264）

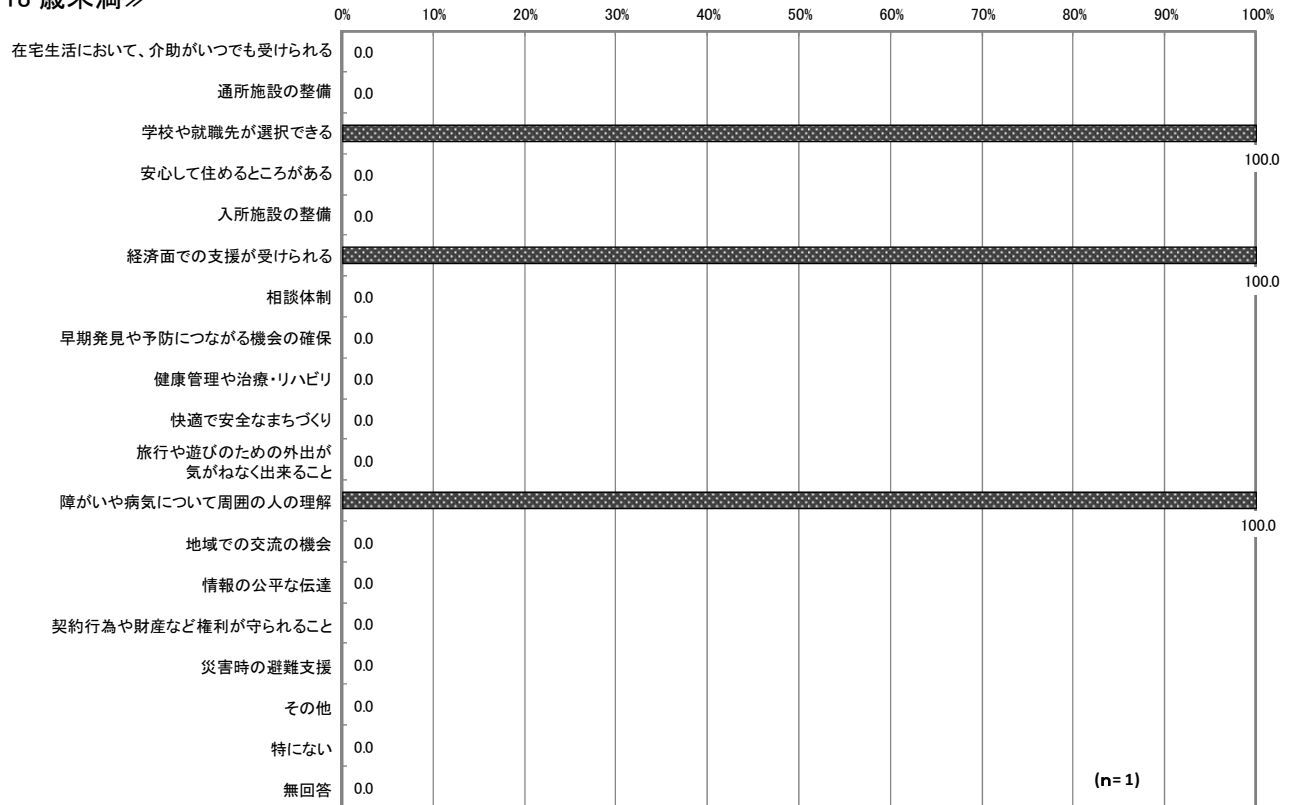
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 在宅生活において、介助がいつでも受けられる	46	17.4%	0	0.0%	29	14.6%	17	26.6%
2 通所施設の整備	30	11.4%	0	0.0%	24	12.1%	6	9.4%
3 学校や就職先が選択できる	37	14.0%	1	100.0%	35	17.6%	1	1.6%
4 安心して住めるところがある	58	22.0%	0	0.0%	45	22.6%	13	20.3%
5 入所施設の整備	34	12.9%	0	0.0%	21	10.6%	13	20.3%
6 経済面での支援が受けられる	110	41.7%	1	100.0%	96	48.2%	13	20.3%
7 相談体制	54	20.5%	0	0.0%	42	21.1%	12	18.8%
8 早期発見や予防につながる機会の確保	14	5.3%	0	0.0%	9	4.5%	5	7.8%
9 健康管理や治療・リハビリ	30	11.4%	0	0.0%	19	9.5%	11	17.2%
10 快適で安全なまちづくり	30	11.4%	0	0.0%	20	10.1%	10	15.6%
11 旅行や遊びのための外出が気がねなく出来ること	16	6.1%	0	0.0%	14	7.0%	2	3.1%
12 障がいや病気について周囲の人の理解	91	34.5%	1	100.0%	80	40.2%	10	15.6%
13 地域での交流の機会	6	2.3%	0	0.0%	2	1.0%	4	6.3%
14 情報の公平な伝達	16	6.1%	0	0.0%	11	5.5%	5	7.8%
15 契約行為や財産など権利が守られること	10	3.8%	0	0.0%	9	4.5%	1	1.6%
16 災害時の避難支援	18	6.8%	0	0.0%	13	6.5%	5	7.8%
17 その他	10	3.8%	0	0.0%	8	4.0%	2	3.1%
18 特にない	11	4.2%	0	0.0%	7	3.5%	4	6.3%
無回答	25	9.5%	0	0.0%	11	5.5%	14	21.9%
合計	264		1		199		64	

17 その他：主な内訳 精神障がい者にとっての、有料道路50％割引、高速長距離バスの半額割、新幹線の半額割、パソコン講座の無料実施（1）障害者の立場に立った、体制改革、職員教育（1）公共交通機関（電車、地下鉄など）（1）タクシーチケットが足りない（1）いろいろな障がいがあるので幅広い知識で対応して欲しい。家で介護してる人への支援も欲しい。障がい者の親が昼と夜、交替で仕事をしている（1人にしておけないから）（1）能力に応じた仕事。具合が悪い時には休めるように（1）

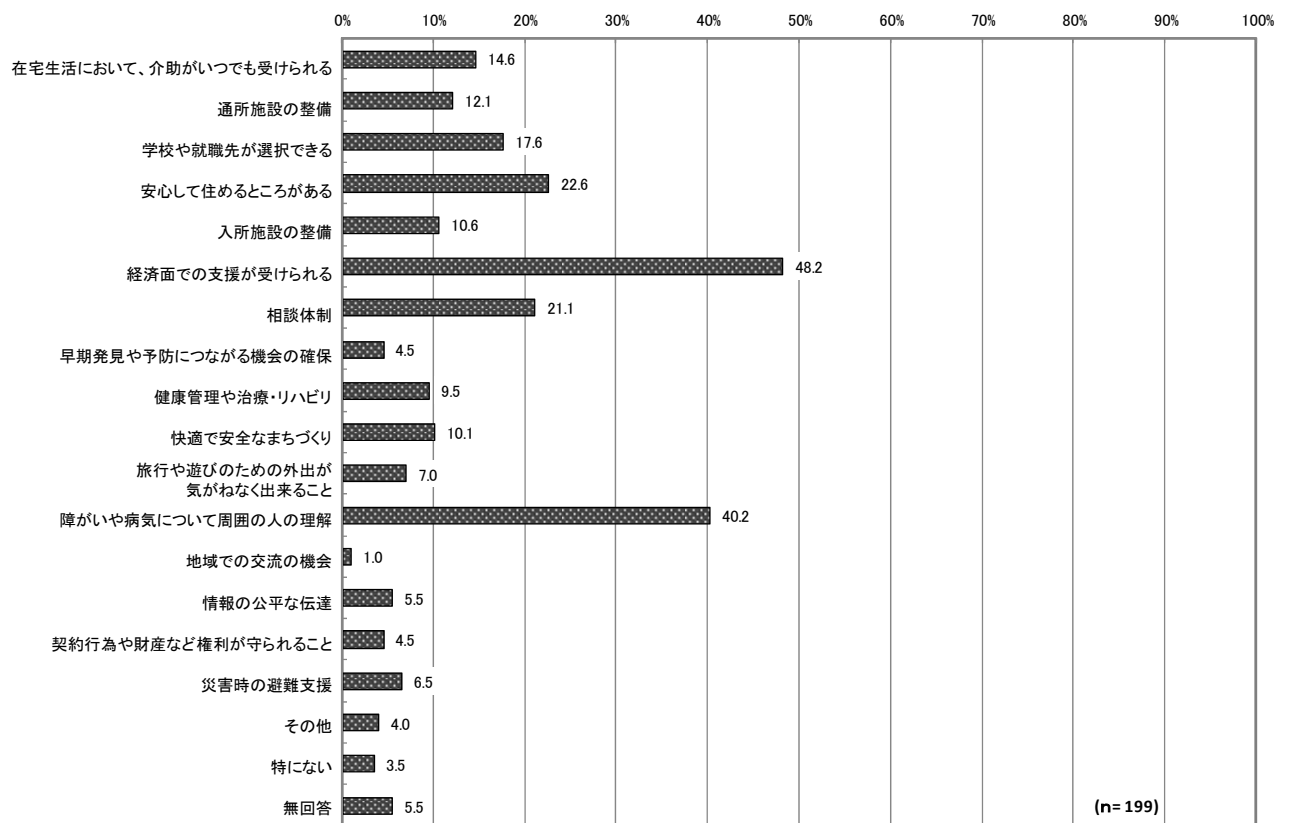


【年代別】

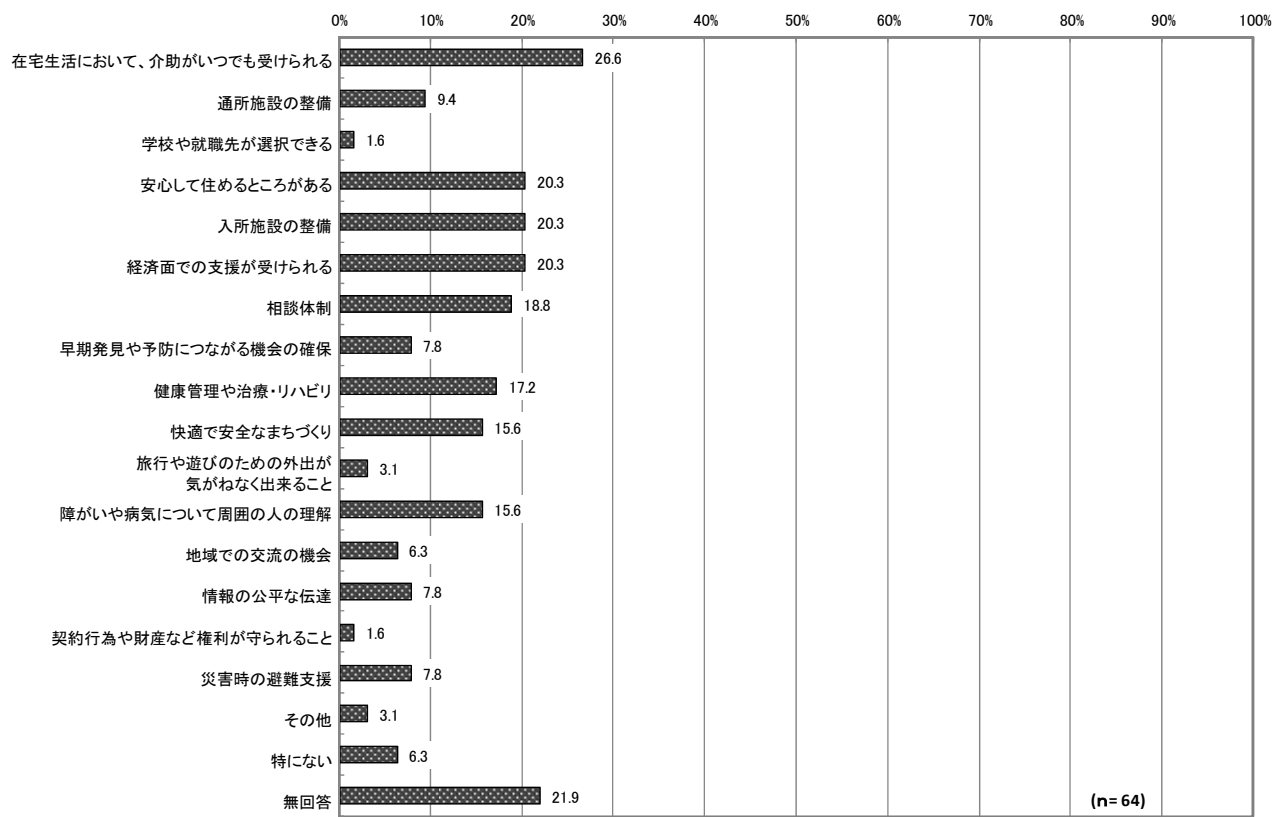
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



【災害】

火事や地震などの災害のときに、自宅にいる場合、一人で避難できるかは、「できる」が65.5%と6割半ばを占めたが、「できない」も28.0%と3割弱となっている。一人で避難できないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「一人で判断をすることができない」が50.0%と半数を占めて最も高く、次いで「一人で移動をすることができない」および「どこに避難すればよいかわからない」が同率18.9%となった。

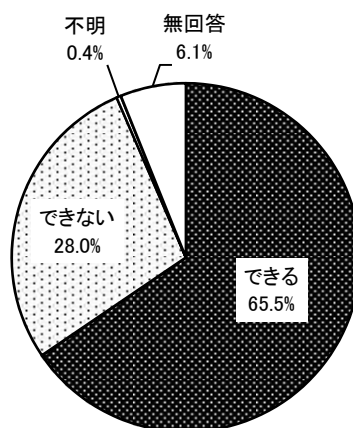
住まいの地区の避難所の場所を知っているかは、「知っている」が47.3%と5割弱を占め、「知らない」の45.8%をわずかに上回った。火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、周囲の人に知らせることができるかは、「できる」が66.3%と6割半ばを占め、「できない」は26.5%と2割半ばとなっている。また、家族のほかに近所に助けてくれる人がいるかは、「いない」が62.1%と6割強を占め、「いる」は30.7%と3割強となった。家族のほかに誰に助けてもらいたいかは、「近所の人」が37.5%と最も高く、次いで「福祉サービス事業所の職員」が12.5%、「友人・知人」及び「行政機関などの職員」が11.4%となった。

「山形市避難行動支援制度」を知っているかは、「知らない」が85.6%と8割半ばを占め、次いで「知っているが、登録はしていない」が7.6%となり、「知っているし、登録もしている」はわずか0.4%にとどまった。災害時に避難支援を受けるために、個人情報（住所、氏名、障がいの有無や状態など）を、山形市が民生委員児童委員・自主防災組織などへ提供することに同意できるかは、「同意できる」が52.3%と半数強を占め、「同意できない」の31.8%を上回った。同意できない理由は、「個人情報が他へ流出する恐れがあるから」が46.4%と最も高く、次いで「障がいがあることを知られたくないから」が42.9%、「その他」が9.5%となった。

問 47 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは一人で避難できますか。

(単数回答 n=264)

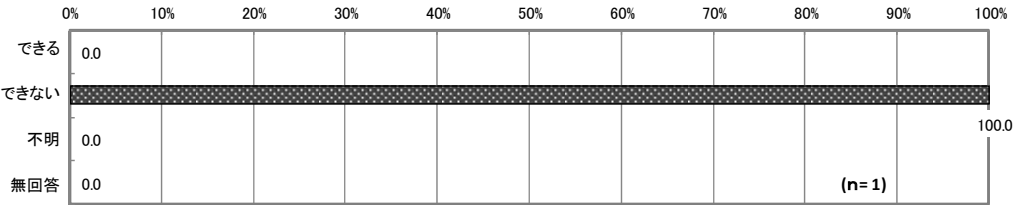
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	173	65.5%	0	0.0%	146	73.4%	27	42.2%
2 できない	74	28.0%	1	100.0%	45	22.6%	28	43.8%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	16	6.1%	0	0.0%	7	3.5%	9	14.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



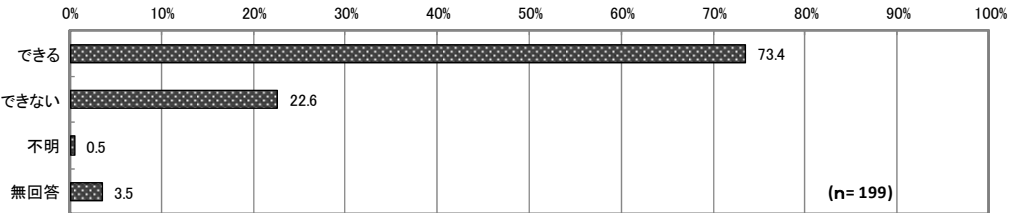
n=264

【年代別】

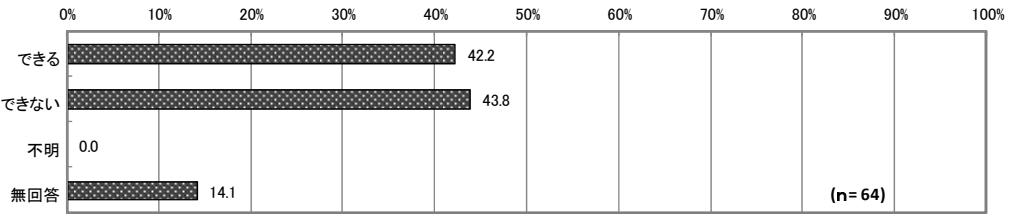
《18 歳未満》



《18～64 歳》



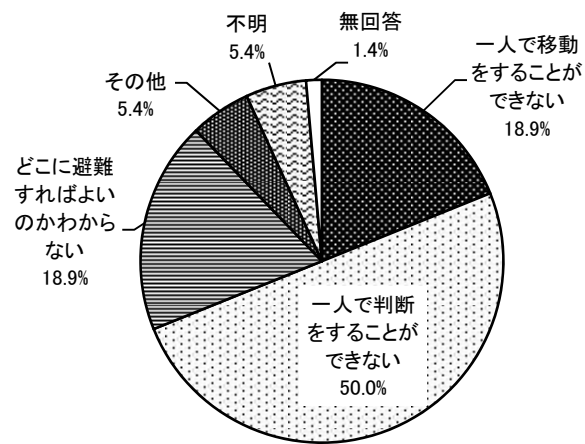
《65 歳以上》



問 48 問 47 で「2」を回答した方におたずねします。災害のときに一人で避難できない理由は何ですか。 （単数回答 n=74）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 一人で移動をすることができない	14	18.9%	0	0.0%	4	8.9%	10	35.7%
2 一人で判断をすることができない	37	50.0%	0	0.0%	27	60.0%	10	35.7%
3 どこに避難すればよいかわからない	14	18.9%	1	100.0%	11	24.4%	2	7.1%
4 その他	4	5.4%	0	0.0%	3	6.7%	1	3.6%
不明	4	5.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	14.3%
無回答	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%
合計	74	100.0%	1	100.0%	45	100.0%	28	100.0%

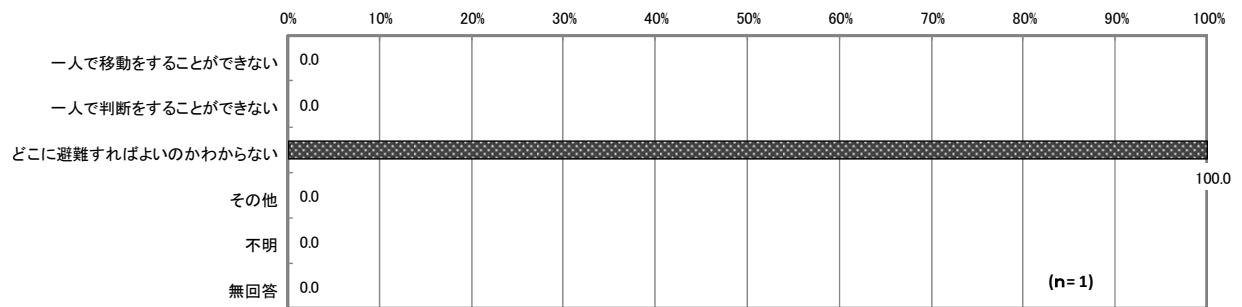
4 その他：主な内訳 聴覚過敏で人の声が苦痛でいられない（1）長期入院中（1）



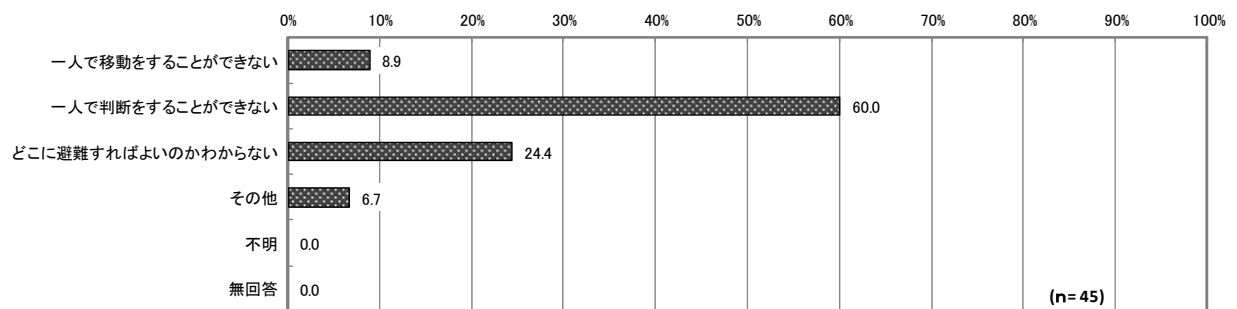
n=74

【年代別】

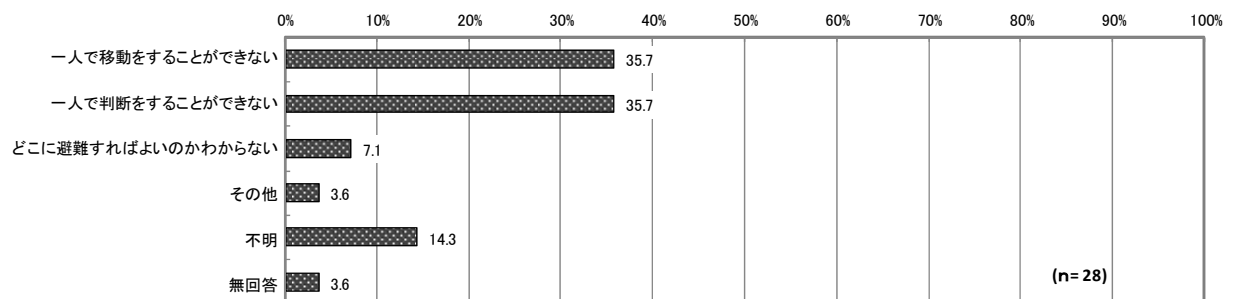
《18 歳未満》



《18～64 歳》

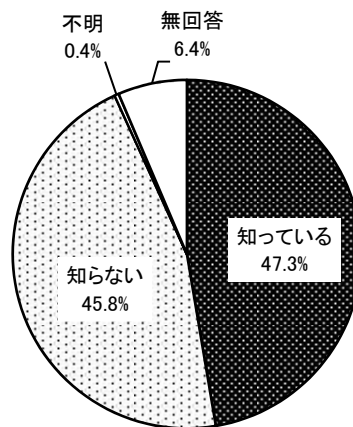


《65 歳以上》



問 49 あなたはお住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。 (単数回答 n=264)

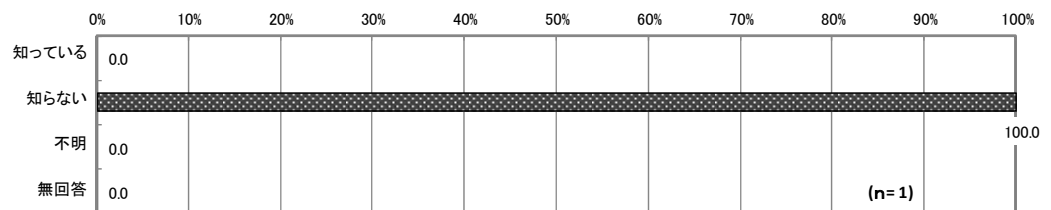
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	125	47.3%	0	0.0%	100	50.3%	25	39.1%
2 知らない	121	45.8%	1	100.0%	90	45.2%	30	46.9%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	17	6.4%	0	0.0%	8	4.0%	9	14.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



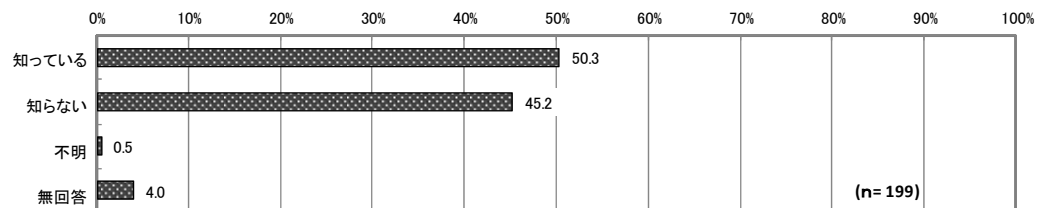
n=264

【年代別】

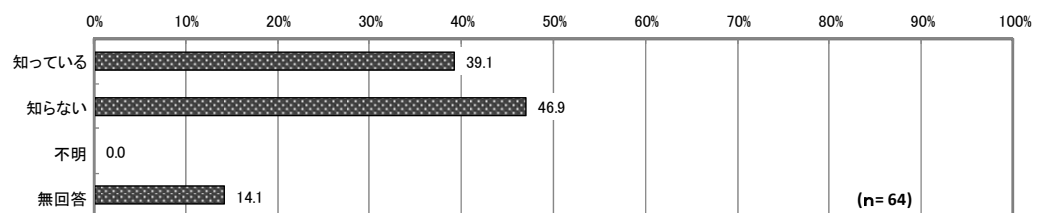
《18 歳未満》



《18～64 歳》



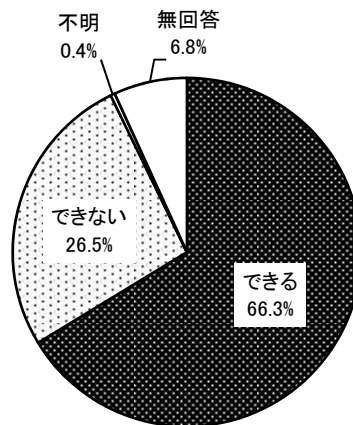
《65 歳以上》



問 50 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは周囲の人に知らせることができますか。

(単数回答 n=264)

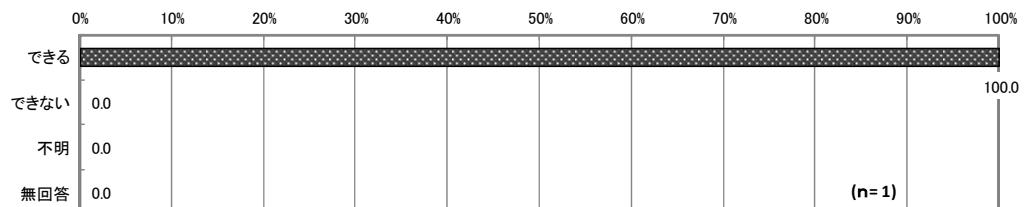
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	175	66.3%	1	100.0%	142	71.4%	32	50.0%
2 できない	70	26.5%	0	0.0%	47	23.6%	23	35.9%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	18	6.8%	0	0.0%	9	4.5%	9	14.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



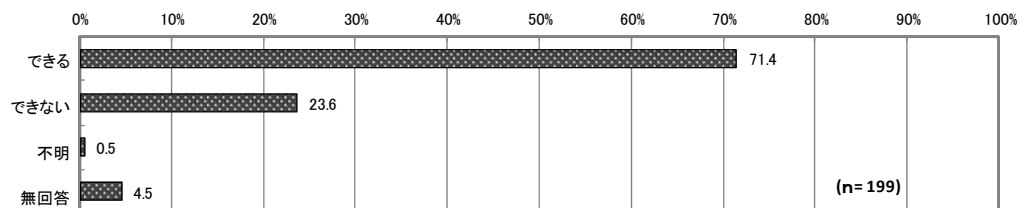
n=264

【年代別】

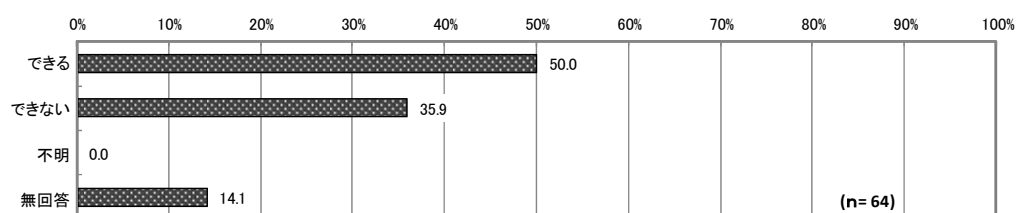
《18 歳未満》



《18～64 歳》

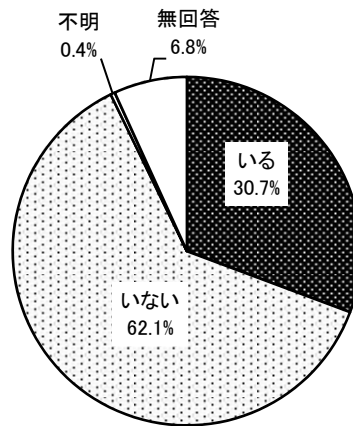


《65 歳以上》



問 51 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、家族のほかにご近所にあなただけを助けてくれる方はいますか。 （単数回答 n=264）

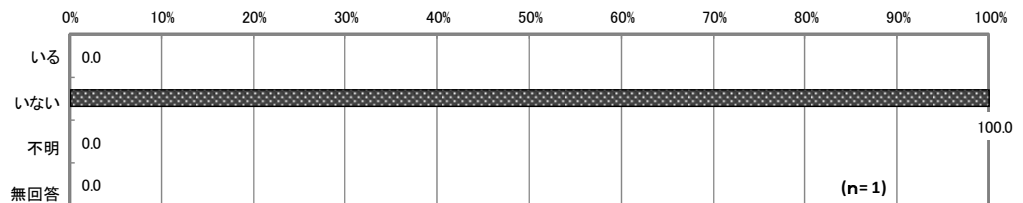
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 いる	81	30.7%	0	0.0%	63	31.7%	18	28.1%
2 いない	164	62.1%	1	100.0%	126	63.3%	37	57.8%
不明	1	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	18	6.8%	0	0.0%	9	4.5%	9	14.1%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



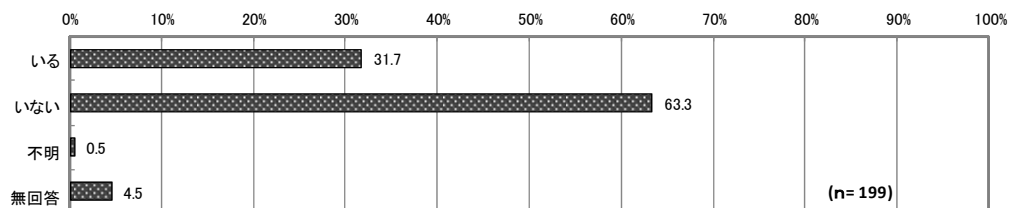
n=264

【年代別】

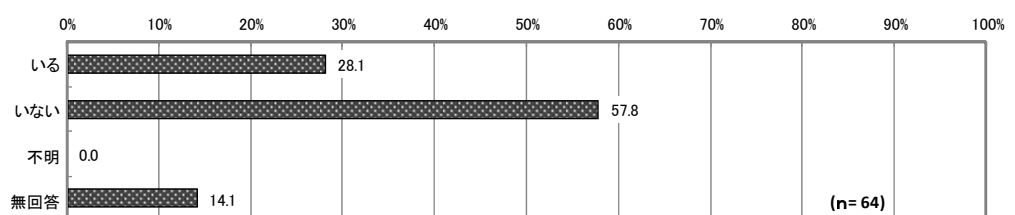
《18 歳未満》



《18～64 歳》



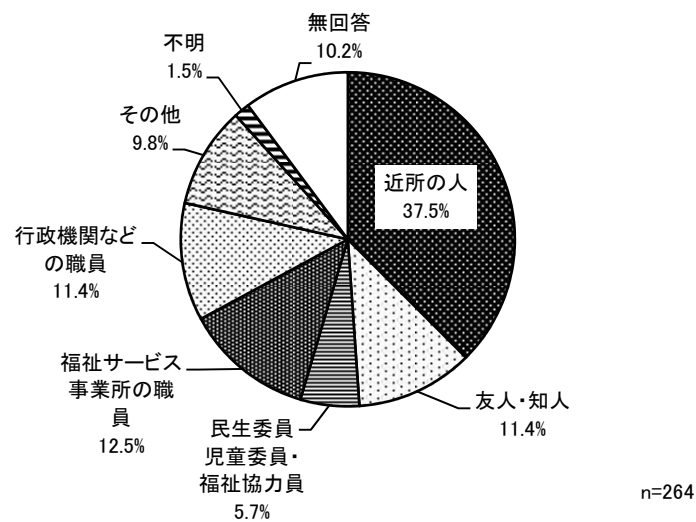
《65 歳以上》



問 52 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは家族のほかに誰に助けてもらいたいですか。 （単数回答 n=264）

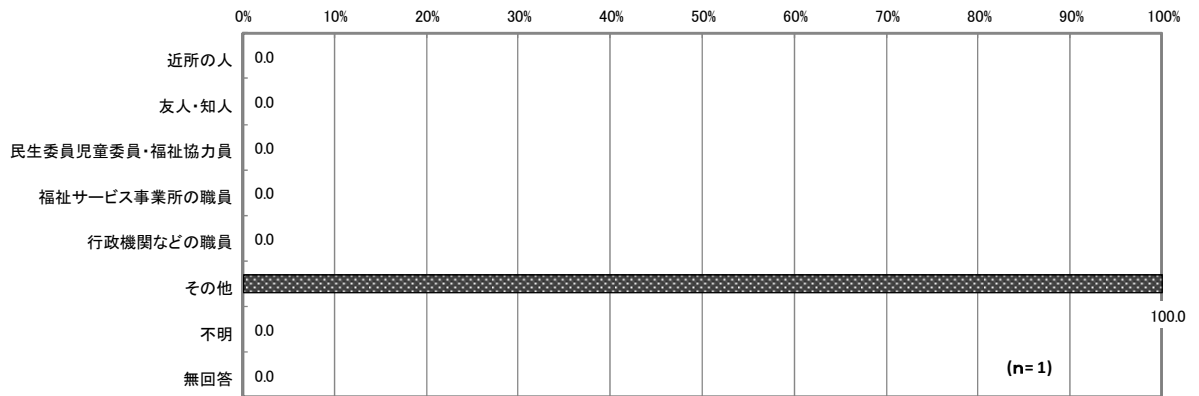
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 近所の人	99	37.5%	0	0.0%	70	35.2%	29	45.3%
2 友人・知人	30	11.4%	0	0.0%	28	14.1%	2	3.1%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	15	5.7%	0	0.0%	11	5.5%	4	6.3%
4 福祉サービス事業所の職員	33	12.5%	0	0.0%	26	13.1%	7	10.9%
5 行政機関などの職員	30	11.4%	0	0.0%	25	12.6%	5	7.8%
6 その他	26	9.8%	1	100.0%	22	11.1%	3	4.7%
不明	4	1.5%	0	0.0%	2	1.0%	2	3.1%
無回答	27	10.2%	0	0.0%	15	7.5%	12	18.8%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

6 その他：主な内訳 助けの必要はない等 (4) 病院スタッフ、看護師 (3) 誰でもいい (3) 親戚 (1) 家族以外はイヤ (1) 消防士 (1) 発達支援センターの職員 (1) 気にかけてくれる人がいるのか不安 (1)

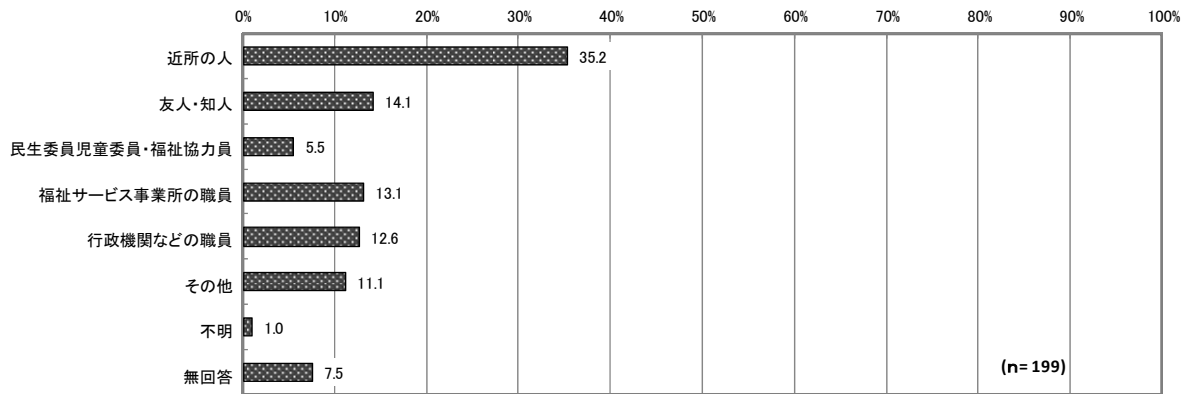


【年代別】

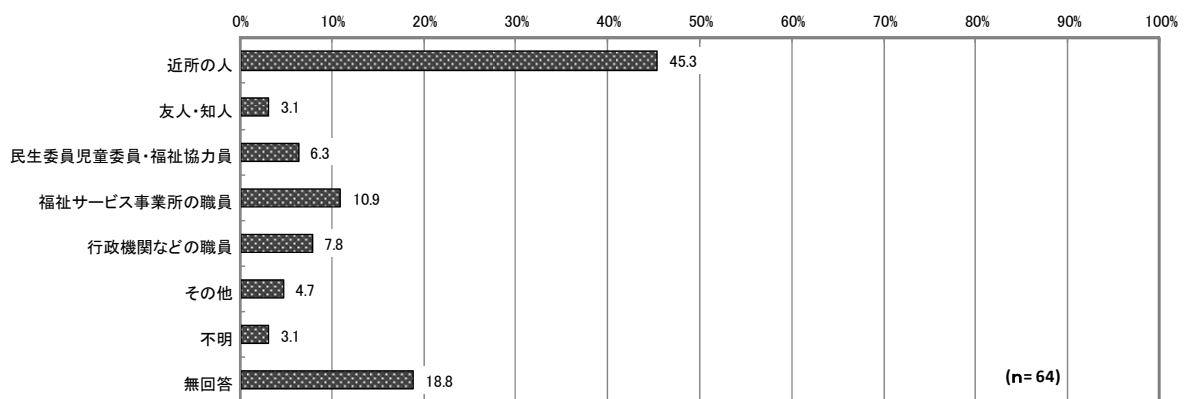
《18 歳未満》



《18～64 歳》

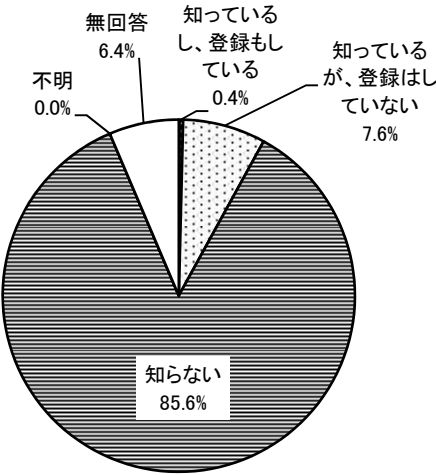


《65 歳以上》



問 53 「山形市避難行動支援制度」を知っていますか。 （単数回答 n=264）

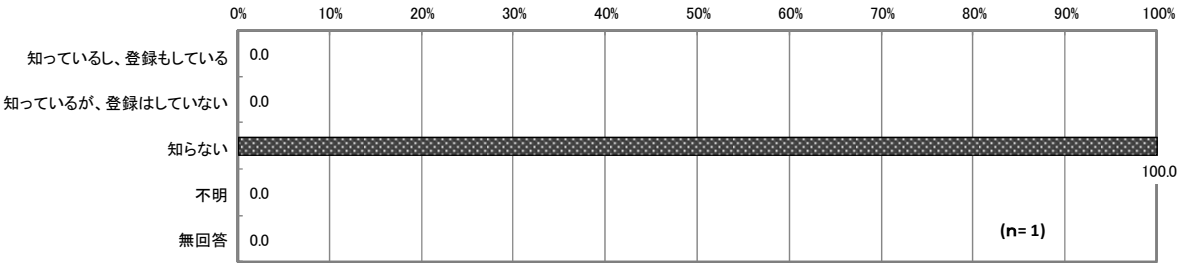
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っているし、登録もしている	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
2 知っているが、登録はしていない	20	7.6%	0	0.0%	14	7.0%	6	9.4%
3 知らない	226	85.6%	1	100.0%	179	89.9%	46	71.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	17	6.4%	0	0.0%	6	3.0%	11	17.2%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%



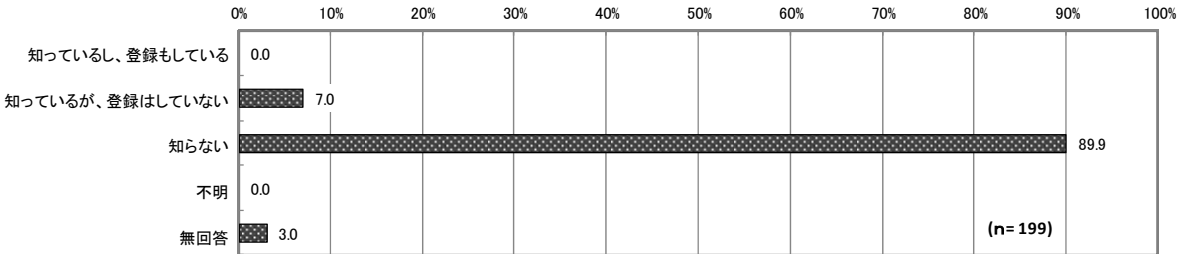
n=264

【年代別】

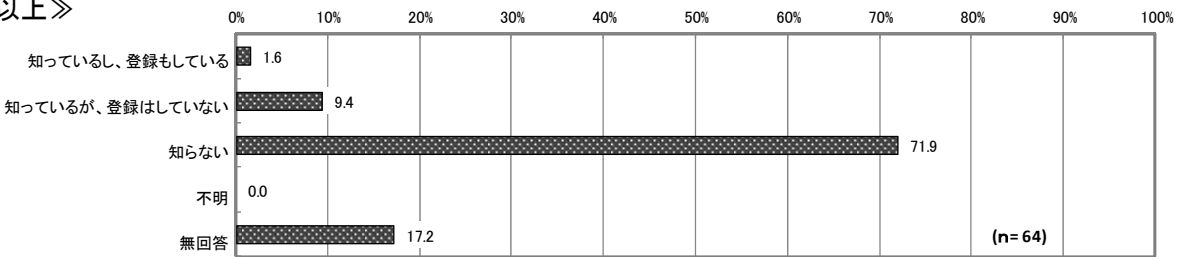
≪18 歳未満≫



≪18～64 歳≫



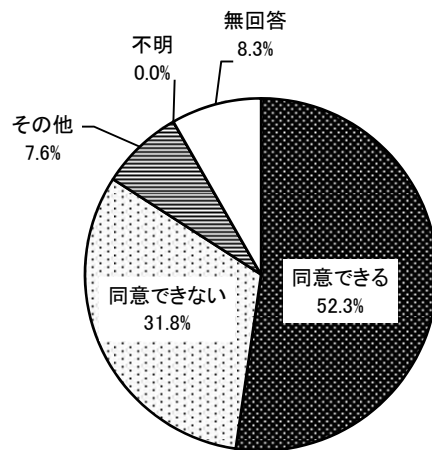
≪65 歳以上≫



問 54 災害時に避難支援を受けるために必要であれば、あなたの個人情報など（住所、氏名、障がいの有無や状態など）を、山形市が民生委員児童委員・自主防災組織などへ提供することに同意できますか。（単数回答 n=264）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 同意できる	138	52.3%	0	0.0%	101	50.8%	37	57.8%
2 同意できない	84	31.8%	1	100.0%	75	37.7%	8	12.5%
3 その他	20	7.6%	0	0.0%	14	7.0%	6	9.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	22	8.3%	0	0.0%	9	4.5%	13	20.3%
合計	264	100.0%	1	100.0%	199	100.0%	64	100.0%

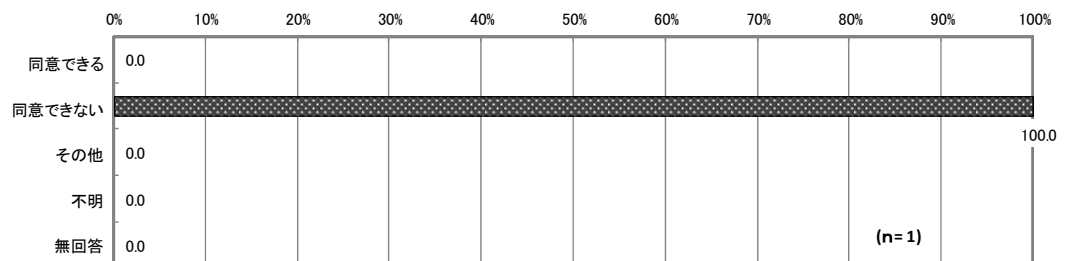
3 その他：主な内訳 施設入居・入院中の為必要がない（4）どちらとも言えない（1）利用しない（1）よく考えて、大丈夫かとにかく考える（1）いつでも提供できるが有益とは思っていない（1）



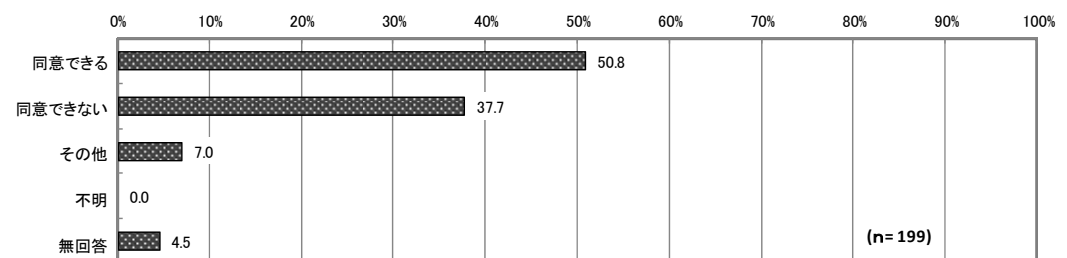
n=264

【年代別】

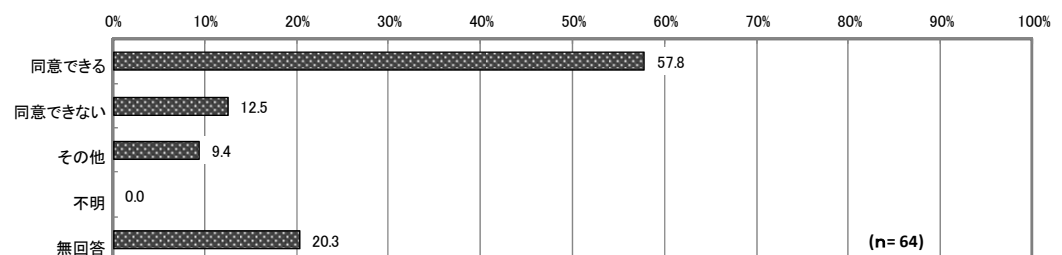
<< 18 歳未満 >>



<< 18～64 歳 >>



<< 65 歳以上 >>

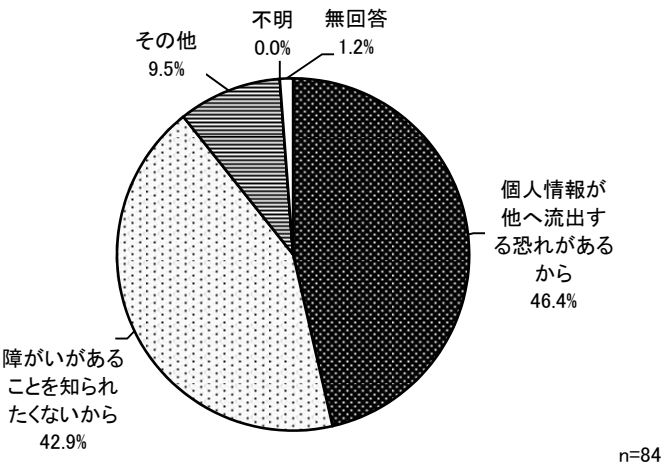


問 55 問 54 で「2」を回答した方におたずねします。同意できない理由は何ですか。

(単数回答 n=84)

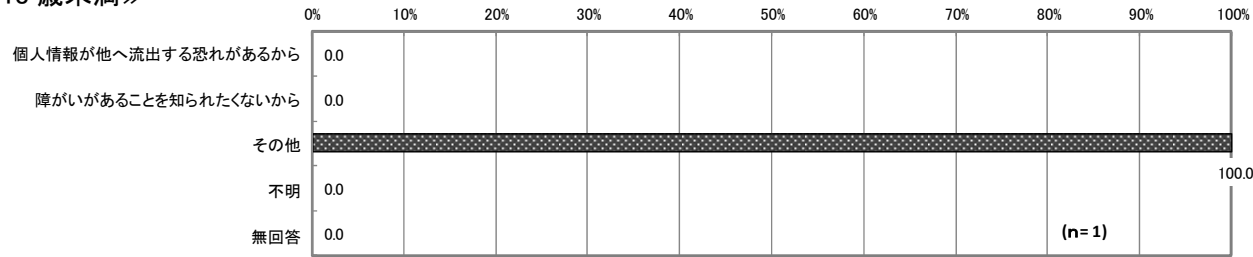
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 個人情報が他へ流出する恐れがあるから	39	46.4%	0	0.0%	36	48.0%	3	37.5%
2 障がいがあることを知られたくないから	36	42.9%	0	0.0%	34	45.3%	2	25.0%
3 その他	8	9.5%	1	100.0%	4	5.3%	3	37.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	1.2%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
合計	84	100.0%	1	100.0%	75	100.0%	8	100.0%

3 その他：主な内訳 自分でできる (2) 近所で自分が障がいを持っていることが知れると困る (1)
嫌な思いをした経験があるため民生委員と極力かわりたくない (1) 1 も 2 も変形して流
れる可能性が有る (1) 自分の存在を知られたくない (1) すべての人に理解がある訳ではな
いから (1)

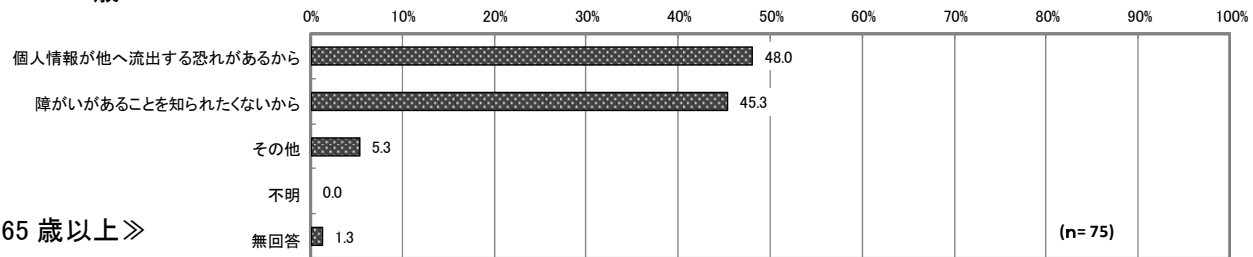


【年代別】

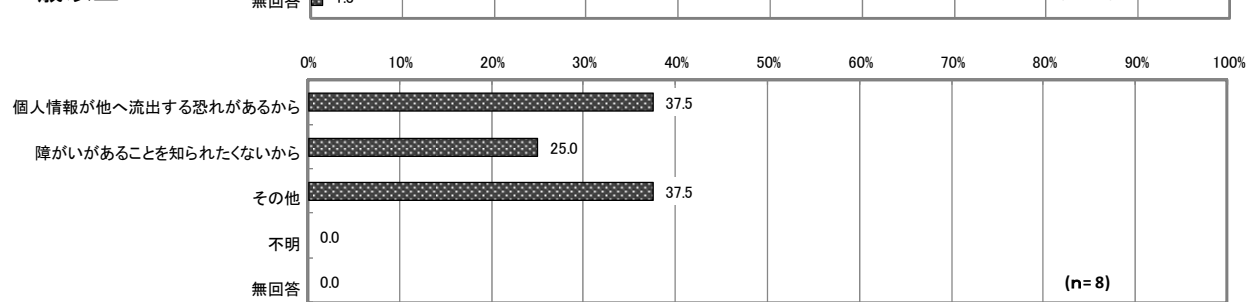
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



障がい者施策に関する主な意見・要望「精神障がい者」

障がい者支援体制の強化

- 若い女性の障害者が積極的に参加できる施設を作ってほしい。
- 特別養護老人ホーム等、定額料金での使用が可能な施設等の拡充。施設職員等のさらなる補助の増額等。
- 精神施設の環境を良くする。学校の教育の環境を良くする。普通の通常教育のあり方が正しいという、家のあり方が良いというのを、学校教育で志す。
- 地震や台風などの時、山形市に27年ぐらい（一人暮らし24年、グループホーム3年）暮らしているが、今まではそんなに避難するような事はなかったが、障がい者は災害の時、人の何倍もこわい思いをするので命をもっていわれてしまうことが心配。でも私は身の医療証をもっているから、経済はなんとか助かっている。山形市は災害が少なくていい町で気に入って住んで、障がい者の施策はありがたいと思っている。
- 重い障がいの方しか利用できないサービスが多いと感じる。重度の身体障害の方は別として65才以下ではほとんどサービスはないと感じる（相談、サポートなどの面）。現に他の市町村（他県も含む）と山形市との比較ができないので、不足している（改善すべき）所がわからない。予算もない中でサービスの向上はむずかしいのではと思っている。身体も精神も公平なサービスを期待している。
- 私達の世代（47才、48才）は学校での、パソコンの使い方の指導が全くなく、かつ、自由業（自営）のため、お金がなければ、民間のパソコン講座を受けることもできなかった。もっと、社会的活動がしたいのに、チラシ作りができないために、あきらめていることが多すぎる。ワード、エクセル、パワーポイント等、使い方指導の無料実施を強く望んでいる。
- 精神障がい者は、就職しにくい。それでいて面接時に症状の説明がうまくできず、就職できても相談者がいなく、ストレスだけがたまっていく。病気の症状によってはいくつかあるのに、1つの症状ばかりでその他を理解してくれず、最悪「あなた本当に障害者？」と言われた。就職場が少ない。就労継続支援A型が少ない。また、B型だと就職しにくい。障がい者のための就職面接会が年に1回しかない。そのため民間主催の面接だと病気のことを理解してくれるかわからず、いちかばちかで面接をしている。何かあるといけないうので手帳・病気の症状を担当者に伝えてから。その時点で断られることが多い。そしてそれがパート。障がい者も民間主催の面接があると助かる。職場があっても通勤に不便な場所がある。昔はハローワークプラザ山形（テルサ）でも月1回は相談できた。専門援助の利用者が前より多くなっているの、2カ所ですべてほしい。
- 障がい者のなんでも相談できる窓口を設置してほしい。
- 民生委員が、もっと訪ねて来てほしい。障害年金を今より、上げてほしい（老後の為）。
- 障がい者が気軽に利用できる公共施設がもっとあるべきだと思う。ストレスがかからず行ってもいいなと思えるような所。障がい者同士がもっともっとコミュニケーションをとらないとダメだと思っています。
- 発達支援センターのような施設を増設してほしいです。バス等公共交通機関の割引について、障がい手帳は提示しづらいので、他にかわるものにしていただきたいと思っています。
- 障がい者年金、障がい者手帳、自立支援医療の継続や再認定のための手続きが別々の時期であるため、手続きが頻繁に感じられとても大変です。一元化できないのでしょうか。就労継続支援事業所B型に通っていて、調子がよくなり、A型に通いたいと思ったとき、ハードルが高く感じます。その中間のようなサービスが欲しいです。例えばですが、A型くらいの時給で週2、3日から通える場所のような。
- 障害者が働けない実情がある以上、障害者年金の充実、精神障害者の偏見がある以上、そういった障害者同士の仲間づくりの場の充実。
- 働いている障害者が情報交換できる場を作してほしい。職場で雇用されている障害者は自分だけ、という方も多いのではないかと思いますので、それぞれの職場でどんな配慮をお願いしているかや工夫を聞いてみたい。障害のある方に就労する場をもっと提供してほしい。人手不足で悩む企業と働きたい障害者をマッチングする仕組みを作ってはどうか。戦力となれる人材を採用してほしい。精神障害、発達障害においてもピアサポ

ーター、ピアカウンセラーを配置してほしい。

- 山形市は就労継続支援A型作業所の数が少ないように感じます（病院のデイケアで知りました）。障害者が就労可能な作業所や働ける場所の増加を強く希望します。また同じ様な障害者が集える場所を設けてもらえると障害のある方も、いろんな人と交流がもてたり、同じ障害のある方と交流し、分かち合いができて、社会参加の一步につながると思います。このような施設の様なものを造って頂くと有難い限りです。
- 障がい者がもっと気軽にサービスを利用できるよう、提出書類の見直しをして欲しい。何回も似たような書類を書いて大変。障がい福祉課とこども福祉課の情報共有を求める。マイナンバーで、利用しているサービスや、持っている手帳、証書など管理して、スムーズな情報提供を求める。障がい者手帳によって利用できるサービスが違うが、差別を感じる。本人の病気に沿った利用、本当に必要なサービスを受けられるよう、見直して欲しい。障がい者の立場で考えて欲しい。例えば、車イスで外を散歩してみてください。段差が多くて困難です。スーパーの車イスも置いてあるだけで、タイヤの空気が抜けてたり。山形市の施策が形だけで終わらないで欲しいと思います。よろしくお願ひします。相談事業所が少ないのでしょうか。スタッフのみなさん忙しいようです。サービスを知ってから申し込み、利用できるまで、ずいぶん時間がかかります。電話しても留守で、直接行ってもわかる人がいないと言われたり。困った時にすぐ相談できる感じではないです。今はとても良い相談員に出会えて信頼してるので満足ですが…。サービスの組み合わせとか、上手に計画できる人が少ない気がします。福祉の仕事が、お給料が安くて重労働、という問題も気になります。ヘルパーさんがコロコロ代わらず、安定して利用したいです。
- 山形市では就職先がない。パートばかりで正社員がない。身体ではなく精神である事を言うと言われてしまう。精神障がいだと免許が取れない。そのため就職の際に、必要資格に免許があるその理由で就職できなかった。ハローワークで職を探している時に「病気をまず治してからでないとダメだ」と言われた。障がい者は就職できないと言われたようで、とても傷ついた。精神障がい者は、公共交通機関（山形市以外）は割引きが適用にならないのを変えてほしいです。
- 働く為の環境整備。
- 山形市で発達障害者の継続的雇用を作りたいです。図書整理、清掃等補助的定型的な業務でいかがでしょうか。
- 正社員で働ける仕事に就けると自立が本当の意味で実現すると思うので、そういう仕事をできれば確保してほしいと思います。住む所もグループホームをたくさんつくるなど、入院以外の住む所をできるだけつくってほしいと思います。勉強するために学校に行くことができるように、給付型の奨学金を受けられるようにしてもらえると、ITやAIなどの勉強もできると思うので、給付金が受けられる新制度や、今からでも多くの社会への参加が可能となるような施策を進めてほしいと思います。障害者手帳を持っている人を、優先して採用してくれる方針を打ち出してほしいと思います。
- 精神症状が有るというだけで、受け入れを拒否される病院が実際にあります。数年前まで酷い対応を受けた経験がありますが、今はすごく良い対応をしてくれるので、すごく有り難いです。

障がい者理解の促進

- 施設職員の知識レベルの向上。知識をもった少人数の専門員だけではなく、全職員の教育をしっかりと行えば障がい者1人1人を尊重し導いていけるのではないかと思います。年金支給の緩和。
- 山形市に限らず障がい者に対する差別・偏見は無くならないと思うし、それによって疎外感を感じ、自分が生きてる事が、無意味に思えて来る。死にたいと毎日思う事もあった。障がい者に対する理解を深めるには長い時間と、根気良く理解を求める事しかないと思う。同じ様な環境にある者同志が、安心して暮らせるようになるために、グループホームや施設の新設が必要と思う。自分も障がい者に対して、理解しているかと言われれば、50%位しか理解していないと思う。同じ病气、環境が似ている人なら少しは安心して話をする事が出来るが、そうでない場合は障がい者という事は話したくないし知られたくない。本気で障がい者の置かれている環境を良くしたいと思うのなら、障がい者の本当の声をきいて、新しい施策を本気でやるという市の姿を見せてほしい。お役所仕事にならなければ良いが…。心から願っています。
- いつもお世話になっております。今まで色々な作業所を見学してきました。精神障害の他にも発達障害（自閉障スペクトラム）で聴覚・視覚・感覚も過敏です。耳せんやサングラス、人と目を合わせない事で対処して生活しております。現在の作業所は、知的・精神・身体・発達すべての人が一緒です。職員の方も理解が少なく、「作業中は耳せんを取るように」と言われました。耳せんは、例えるなら車イスを利用している身体

障害者の方の「車イス」と一緒です。それを取ればひどい音で具合も悪くなり、精神障害の症状も悪くなります。障害別に区分された作業所などがあればとても助かります。また、耳せんなどを利用しても自転車に乗れたら助かります。聴覚過敏の人にとって耳せんを利用して、やっと健常の方より少し耳が良いレベルの聴覚になると思います。どうぞ宜しくお願い致します。そしていつもありがとうございます。

- ハローワークの障害者担当の質をもっと高めてほしい。
- 現代社会は核家族化が進み、家族達が遠方でばらばらに住んでいる状況も珍しくない時代です。毎年、市から多くの申請書類が届きますが、中には市の証明書を添付しなければならないものもあります。障害者にとっては、このこと一つでも大変困難なことなのです。市は、もっと障害者又は介護人の立場になって、今、行なっているあらゆる業務内容を見直し、工夫改善していく努力が大切なのでは。例えば、「障害者の声を聞く課」を設け、その声に対して積極的に対応していく姿勢が望ましいのではないのでしょうか。（アンケート問 11）について 最も煩雑で大変なのが、申請・手続・打合せ等渉外関係です（アンケートにはその項目がありません）。現在は老老介護の身内が対処しているものと思いますが、近い将来、そのシステムは行き詰ることになりかねません。窓口に来る人の実情調査をして、市そのものの足元をしっかりと締め、本気で障害者対策をしないと大変なことになります（アンケートを見る限り、まだまだお役所仕事の感じがします）。
- 障がい者の方々への全体の配慮が、山形県は他の都道府県に対して、何だか物足りなさを感じています。何で障がい者への接し方が、こんなに淋しくて冷たいんでしょうか。イギリスとか欧米は、障がい者への接し方が、日本全体と違って、丁寧かつ本当に細やかに接しつつ、障がい者施策が隅から隅まで徹底して、行き届いているそうですのに、それが、山形や、日本も含めて、どこか欠けてるって思います。もう少し丁寧に、もっと障がい者の心情を思いやりながら、障がい者施策を継続してみますと、障がい者が、今より、うんと日々の生活を送り易くなるかもしれませんし、日常も潤う分だけ、暮らし易くなるかもしれません。機会がありましたら、どうかどうかご検討をお願いしたいと存じますし、よろしくお願い致します。
- 障害はひとりひとり様々で違うことを理解してほしい。身体に障がいとまで言えないハンデを持っていますが、精神障がいと認定されて、初めてそのハンデを認めてもらったようなものなので（眼と足）、精神障がいはあることはありますが、病気になる前よりも、むしろ、コミュニケーション力などは年齢を重ねた分、今の方が正常に近いような気がします。施策とは関係ないですね。すみません。
- 小さいうちから障がいについての理解を深めることが必要。特に、発達障がいの人は顕在化してきている（昔に比べて）が周りの理解が得られるかどうかでかなり違ってくことを（自分が子どもを育てていて）強く感じております。幸い我が家は環境としては恵まれている方ですが、障がいのあるお子さんの他の保護者の方々のお話をきいていると、いじめという名の差別は残念ながらまだ根強く残っていることを思い知らされることが多いです…。年齢を重ねれば重ねるほど、障がいに対する考え方（偏見）があまりよくない方にとられがち（自分の親世代 70 前後）です……。まずは若い世代から意識を変えていくことが大事だと思います。（字が汚くて申し訳ありません…）
- 障がいとは何なのか。普通とは何なのか。障がい者の自分は自分からみたら普通なのに……。日本は安全な国で山形市はもっと安全な町。しかし、日本人は障がい者に厳しい。心狭い国。
- いつもお世話になっております。感謝致します。私はあまりこの支援について考えたり、調べたりはしたことがありません。自立支援制度で医療費も補助制度はとても有り難いです。あれがなければ病院へは…。私は転勤族で全国を転々としているので、他の地域との違いがよく見えるのですが、山形市の精神科病院がとても少ないように思います（評判が悪い所も聞きます）。引越してくる前に、病院を探そうと色々調べました。選択肢が少ないということは、多分精神病について理解の進んでいない土地柄なのだろうという印象を持ちました。私の現在のかかりつけ医は比較的あっさりとして薬だけもらえればよい、と思っているのでその点では満足していますが、本当に悩んでいて「気持ちをとことん聞いてほしい！」と思った時には頼りにはなりません（申し訳ないのですが）。カウンセラーのような人が身近に、予約制だとしても、いてくれるといいなと思います（育児と病気両立の相談はしたいです）。一般的にカウンセラーさんにかかるが高価で続けていくことは難しいように感じますが、どうしても話したいと思うときには、少し安めにかかると嬉しいです。偏見に関しては、小学校とかでも広く知ってもらふ活動は大切だと思います。特に、目に見えないものなので、なまけ者、変わり者と見られがちです。発達障害が発見されず、ムリをした結果の二次障害の私にすれば、生き方がとても難しいと思っています。人に会うために 1 週間以上前から体調を整えねばならないため、その時突然決まったものにすぐ参加することは難しいですし、頻繁にイベントに参加すると、その後にツケが回ってきて数日寝込むということをくり返しています。その調整に費やしている毎日で疲れ、徐々に気分転換に外出したとすると「〇〇病なのに外で遊んでる」と言われることが、病気をカミングアウトした以前の地域ではよくありました。「二次障害が発生すること」「日々自分の体調管理に追われ、それだけで疲れ、虚しく、心がすり減っていること」、そういった隠れて見えない苦勞を知ってもらえたら、偏見で見る人にも少しは入っていくのではと思います。目に見えない苦勞の理解、広報があるとうれしいです。追伸、仕事は

したいのです！でも、コミュニケーションが難しく、決まった時間に出勤することが困難なので家でできる仕事がほしいです！あと、私にもできそうなボランティア。

- どうしても他の障がい者に対する偏見が消えない。自分の偏見が無くならないんだから、大変だろうと思うのですが、かといって何か案もありません。各々の障がいについての理解（どんな症状で、どんなことが原因で、どんな対処が必要なのか）を深めるしかないと思います。が、正直、健常者に理解を示されても気持ち悪い気もします。ただ、人は人、個は個と思う事は難しいです。障がい者の障がいの程度はどうあれ、障がい者は障がい者としてしか見てもらえません。治ったふりをして障がいを持ったという過去もレッテルも消えないので、障がいもったことを知られたくないので仕事もうまく探せません。制度が充実してきているが、働けないから生活は困窮している。家族の理解は難しい。
- 障害者対等の予算費用が見えない。市障害者施設の職員、係員の働きが見えず、各人の資質に一部の人の仕事に向かないのを見る時があり、市長はどんな考えを持っているのか明示してもらいたい。山形市は日本でも有数の障害者対応の市となる事を願う。総ての事案には予算が要るが、その為に住民の税取得を考える事—その様な住民の呼称が要—山形は一部上場企業（地元の）が無い。
- 独立していきっていくためには経済支援が必要です。また、地域の人達が関わりを持ち、障がいに対しての理解が必要です。また、支援を受けながら自立していくために就労の支援もお願いしたいと思います。
- 精神障がいというものを理解していない。それなのに相談にのっていると思い込んでいる節があり、こちらの相談したい事とはかみ合わないの実状であると思います。
- 障がいを理由とした差別をなくそうという動きがあることについて、とてもありがたい事と思っている。より一層の推進を希望する。しかし、色々な課題も多いと思う。障がいに限らず、自分（達）とは違うものを受け入れない（受け入れようとしない）人も沢山いる。例えば、学校で成績の振るわない子達に差別的な態度を取る人達等々である。世の中には色々な状態の人、つまりその時勢にもてはやされている人もいれば、不利な状態の人もある。自分がいつ不利な状態（障害を負ったり、産んだ子供が障害児だったり）に回るかわからないし、むしろいつでもそういう状態に陥る可能性は全員が等しく持っているものと思う。どんな障害も、あるいは不利な状態でも他人事ではない、という意識を持てるような人が増えるよう、特に教育面で力を入れて頂けたらいいなと考える。なお、追記になるが、山形テルサ内にあるハローワークの受付でハローワークカードを提示したところ、(カードの部門番号を見て)「障害者の相談には乗っていないんですけど」ととても大きな声で言われ、周りの人達も振り向いたりし、非常に嫌な思いをした事があった。障害のことをクローズにして働いている（その後もクローズで働く予定だった）がために、余計な心配が増えてしまった。今後このような事がないよう、希望する。

障がい者支援情報・制度に関する広報強化

- 私は現在 26 才ですが、発達障害を持っていることが判明したのは昨年、25 才のときでした。これまでも振り返ると、高校生の頃に一時不登校になり、初めて精神科に通院したり、小・中学校の時も人間関係や健康に不安があることもしばしばでした。しかし、発達障害について指摘されることはなく、就職してから抑うつ状態が悪化し、休職・退職に追い込まれるまで理由が分からず、苦しい状況を何度も経験してきました。確かに、“個性”との違いが分かりづらい障害だと思いますが、教育の場で他の子との違いに気づき、もっと早く気づいて指摘してくれる人がいたら、人生が大きく変わっていたと思います。早期発見できるような指導する立場の方への情報提供者・知識の普及をお願いしたいです。また、昨年精神 3 級の手帳を取得しましたが、利用できる福祉サービスの少なさに悲しい気持ちになりました。その中でも、常日頃から通院している私にとっては、自立支援医療制度は大変助かっている制度です。しかし、手帳取得前にその制度を知る機会はありませんでしたし、取得してからも、手帳の説明会に参加するまで理解できずにいました。さらに言えば、説明会での口頭の説明だけでは内容や、自分が該当するのかかわからず、個人的に質問することでようやく自分も利用できる制度であることがわかりました。精神手帳を取る人は、通院していることが多いと思います。この制度はとても助かるものです。もっと早く、分かりやすく情報を提供していただければ、と感じました。
- 手帳の更新を教えてくれない。自分で覚えて更新しないといけなのは、とても大変。せめて連絡ぐらいほしい。病院に入院した時、体をしばられ、手足をしばられ、あばれてもいないのにひどい事をされた。言葉使いもひどい！人と思われていない。荷物の検査など、ケイタイのとりあげなど、どうしてそこまでするのか、家族にも友人にも連絡できなくされてしまう。もっと人として接してほしい。まちがいあつかいされるのが入院をことわる理由にある。つらくて死にたくなり、誰かに話を聞いてほしくて、いのちの電話に何度となく電話したけど、いっさいつながった事がない。理解してくれない家族への連絡、説明をもっとしてほしい。

- 自立支援の事を知らずに、ずっと3割払っていました。施設や病院、ケアマネージャーなど連絡を密にしてほしいです。
- 問14中17で交通料金の割引では何故障がい者保険福祉手帳を使えないのですか。問35私自身小学生の時にはすでに障がい児でした。同級生に見られないように保健室で薬を飲んでいたある時、保健の教師から私の薬に「どんな味？」と当時の粉薬を指でさわられたりしました。また、別の日には授業中に発作的気分の悪さになり保健室に行って横になる事に。その時、何故かそこに居た事務員から「この子、体弱いよねえ」の声。ベッドの上で私は「チキショウ、ナリタクテナッタンジャアネエヨ！」と男言葉でした。胸の中で…他にも教師には、小・中と続けました。教師(大人)にはその意識は無いからどうしようも有りませんでした。勿論、全員では有りませんが。数年前に、当時の友人に出会った時、その人は言っていました。「・・・そう、だったらそうだってみんなに教えてくれれば良かったのにねえ」と。その時の私は奉仕する側としての手話サークルに行く途中でした。私は0歳の時の事故でこうなり、働く事もムリ(半ば隠し事)をした時もありました。何故、医者も市役所も「20歳以上はそれなりに・・・」と教えてくれなかったのか、他の人達は何故知っている(た)のか不思議です。私には「手当」をもらえる事を誰も教えてくれませんでした。私よりも若い友達(精神障)はすでにもらっていて、働いてなどいないのにお金が有り、別友は身体で働き、彼女も私のように「手当」について無知でした。問46、今の山形の道は歩道とそれが無い道との高さがちがいが過ぎます。また、狭すぎます。それに広いような所には自転車、お店の品。車椅子はどうか通れるようにしてほしい。ある女の子(人?)は、何かの帰りに市役所前から丘山方面にバスに乗って行きます。自問は午後となるとバス停は道路の東側、盲目の彼女と最近一緒の盲導犬も日陰ではない所にいて汗だらけ、犬は苦しそう。あの情景は忘れられません。どうか普通の人中心の町作りにはしないで下さい。いくら問53に加盟しても、倒れたからといってすぐに車に乗せると逆効果という人もいますので。それに私が若かった頃、外見障がい者とはわからないため、バスや電車では立っていました。目のために平衡感覚が悪い私はこしかけづらかったです。似たような人達はどうかすべればいいですか。
- 近所づきあいが無いので家族がいない時、いざという時どうしたらいいかわからない。
- 障がいの内容により入所できる施設の情報を提供して欲しい。どこにどのような施設があるのかわからない。高齢になった場合のことを考えると不安である。
- ハローワークの専門援助部門で、パソコンで情報が見られるようにしてほしい(障害者雇用の情報を自宅で見る事ができないため)。他県のは見られるが、山形のはハローワークの2Fに行ってファイルを見るようになっているので、とても不便でした。
- いつもお世話になっております。自分にはどのような支援がうけられるのか、わかるものを提示して頂きたい。
- そもそもどんな施策があるのかが、分かっていない。自分で情報を入手する努力も必要だと思う。

収入・年金・生活費・給料等、金銭に関する不安

- 高齢の母と二人暮らしで父は施設に入居してます。年金は生活費で外食もせず、生活してます。我が家で母と生活するのが自分に合って、母からも生活面で助けられてます。
- 障害年金を貰って生活していますが、都道府県ごとに審査の基準があいまいで、山形は特に厳しいと医師に言われました。もっと安心して誰もが豊かな生活ができるように、審査の基準などを引き下げて欲しい。来年更新なのですが、引き続き年金を頂けるか不安です。
- 障害者年金を上げてほしい。障害者というだけで会社に行っても働けない。働けないので結婚もあきらめなくてはならない。未来がないので自殺する人も多数いる。働けないので年金に頼らなければならないのだが、年金の額があまりにも低すぎる。生活がまずしくギリギリの状態です。暮らす人も多数いる。(自殺した人もいた)行政側の方はこれらの人がいる事をわかっていない。
- 私が働けなくなったせいで収入的に苦しくなり親と同居しています。今後働ける気はしないし、使ってくれる所もないと思うけれど、夫一人で生活する余裕もないので病気が悪化していくばかりで申し訳ないです。
- 障がいがゆえに生活保護となることを少しでも減らしてほしい。もっと障害者が自立し社会参加できる市政にしてほしいです。障がい者にもっと経済的な支援をしてほしい。会社・企業にもっと障がい者雇用を増やすようにうながしてほしい。また、それが実現されやすいように障がい者を雇用している会社・企業への支援をしてほしい。

- 色々なもの、例えば食べ物。税が高くなっているのに、生活保護の金額は下がる一方なので生活保護の金額をもっと考えてほしい。
- 障がい基礎年金を頂き大変ありがたく思っております。しかし今年から急に病状にも変化がないのに1級から2級に変更となり、「神」も変換しました。不安で仕方ありません。年金も減り、当面暮らしてはいけませんが、「神」を中心とした人生設計をしていただけない、人生の長期の見通しがたてられず、途方にきております。自民党の女性議員の生産性のない人間には税金を使うべきではない、などという考えを耳にすると、社会に対して申し訳ない気持ちでいっぱいになります。はたして私は生きていいのか、と思うのです。身体障がいのため、介護支援2の認定を受けております。ショートステイを利用し、とかみとあかしやに通っております。どちらも楽しく快適で、まるで天国のように思っております。ただ入所は無理ですし、精神病院に入院していたときの厳しさを思うと、悲しい気持ちがします。なんとか精神病患者のための施設があればどんなに夢と希望が持て、明るい気持ちになれるだろうかと感じております。お世話になっていて本当にありがたいです。お仕事ごころう様でございます。どうかこれからもよろしくお願いいたします。
- 障がい者の就労場所を増やしてほしい。以前に就労継続支援B型に勤めてた事があります。お金が少なく、県市の方で考えてもらいたい。支援してほしい。

将来的不安の解消・サポート

- 私も年を取り先が心配で、それが一番悩んでいる所です。
- 災害の時の人工透析はどうなるのか、介助者（姉・同居）が亡くなったらどうすればいいのか、わからない。
- 発達障害は、養育手帳の取得が難しく国に守ってもらえる訳でもなく、一番生きづらいように思う。小中学校の嫌な思い出が、時々フラッシュバックしてしまう時もある。今は親が面倒を見ているが、あと何年私達がこの子の面倒を見れるのか不安しかない。兄、姉がいるが、この子達にこの子の面倒を見てくれとは言えない。なるべく自分で生きていくように導いてあげたいが、障害者雇用がだいぶ増えてきているが、本当に理解して雇用してくれる企業がいかに少ないのか現実を知ってもらいたい。仕事の為の福祉ではなく、偽善でも良いから心優しい人達が増える世の中になってもらいたい。

アンケートについて

- 今回、障害者アンケートの記入を頂きました。私は本人と生活した事はなく、どうゆう状態で入所したか不明です。私の回りで、はっきりわかる人がおりません。答えが正しいかどうか不明です。本人関係の人は、全部死亡している為はっきりわかりません。アンケートを調査する際、まったくわからない家族を避けてほしいです。
- 入院中の特定健診。がん健診について、広報誌もハガキ案内も入院先には届かず、関係者・家族等が気付いても入院先と他所との調整に困難あり、受診に至らない。いくつかの課題があると考えます。精神障害のある本人は、認知機能、不安、自尊心の低下等によりアンケートの方法に課題があると考えます。
- アンケートについて分かりづらいこともあったが、施策については整っていると思う。
- 無記名方式・・・だけで、ナンバリングで個人がわかっているのなら、わざわざ表示することはないのでは。〈問 54〉などもあるので・・・。災害があった時、どこをめざせばいいのかもよくわからないので、調べようと思いました。施設などまだまだ知らないことが多いことに気が付きました。

その他の意見

- 退院して家族と仲よく暮らしたい。
- 障害年金手続きの際、あまりにも、時間がかかりすぎる。
- 病院に通所して大変助っております。父はアルツハイマー、長女は高次脳機能障害で複数の病院に通院しています。

障がい者施策に関する主な意見・要望「精神障がい」

- 精神障がい3級でも1級の人と同じように、車税や、対策をして欲しい。見た目ではわからず、軽い為、なかなか仕事が続かなかったり、将来に不安を感じたり、軽いからこそ苦勞してと思います。

- 福祉協力員（主人がやっています）をやっています。近所の人が酒をのんであばれてきました。俺がこまっているのにお前は何にもしてくれないとおおさわぎしてきました。でもそれはその人は何かあった時は娘の所に電話するからいいといっておきながらそれ以上の事は、個人じょうほうでかかわれないでしょうと思う！！

- 中高年には障害者雇用制度は無意味である。

- タクシー券をもっと金額をふやして欲しい（片道しか利用できない為）。

- 大学に通学中に発病、以後治療中にしだいに知能が低下。現在は認知症に近くなっている。服用している薬の副作用も考えられるが確かめる方法が無い。職につく知識は無くなっていると思われる。

- 医院に通院する時に、指定した医院に自立支援書をもって行き料金が安くなるのは助かりますが、他の病院、医院、薬局にて診察が受けるのができないこと、診察が受けられても全額払い、手続きして後で返していただけなのですが、急な時、県外県内の医院でも診察できるようにしていただきたいと思います。字がきたなくて申し訳ございません。

- 障がい者は、山形の花火大会や花笠おどりを見に行くことができないので、是非テレビ中継してほしい。

- 病院に入院しないで自宅で通院していくのを続けたい。家事を重点にしたい。（デイケア活動は二の次にしたい）

- このアンケートは本人ではなく母親が書きました。本人は今、体調が悪くて書けない様子でしたので…。広汎性発達障害で学習障害もあり「書く」ことが苦手です。ありがたいことにハローワークに紹介していただいた職場が理解もあり、居ごちが良いい様子。仕事もやりがいがあり、将来もずっと働き続けたいそうです。上司にも仕事ぶりを認めてもらっているようです。それでもストレス発散がうまくできず、体調をくずしてしまいます。なんとか、乗り越えられるように見守っているところです。正社員になって5年目です。母

障がい者施策に関する主なニーズ「精神障がい者」

【働き続ける（または将来働く）ために必要だと思うこと】

働き続ける（または将来働く）ために必要だと思うことについて、全体では、「自分に合った仕事である」が33.3%と最も高く、次いで「障がいや病気に対する理解や配慮」が32.2%、「具合が悪くなった時に気軽に通院できる」が23.9%と続いている。

《精神障がいの等級別》

精神障がいの等級別でみると、＜1級＞では、「通勤が自分でできる」が最も高く、2割半ばを占め、次いで「自分に合った仕事である」および「障がいや病気に対する理解や配慮」が同率23.0%で続いた。＜2級＞では、「障がいや病気に対する理解や配慮」が最も高く、4割弱となったほか、「自分に合った仕事である」が33.0%、「具合が悪くなった時に気軽に通院できる」が30.4%で続いた。＜3級＞では、「自分に合った仕事である」が最も高く、4割強となったほか、「障がいや病気に対する理解や配慮」が3割半ば、「職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること」が3割で続いた。

上段:件数 下段:%		回答件数	勤務時間や 日数の短縮	通勤が自分 でできる	具合が悪く なった時に気 軽に通院で きる	職場の建物 や設備などを 障がい者に 配慮した環 境への整備	自宅で仕事 ができること	給料・賃金が 妥当である	自分に合っ た仕事であ る	職業訓練な どで就労の ための知識・ 技術習得
全 体		264 100.0	43 16.3	57 21.6	63 23.9	18 6.8	32 12.1	57 21.6	87 33.0	8 3.0
精神 等障 がいの	1級	61 100.0	6 9.8	16 26.2	12 19.7	7 11.5	7 11.5	9 14.8	14 23.0	1 1.6
	2級	112 100.0	21 18.8	27 24.1	34 30.4	8 7.1	18 16.1	29 25.9	37 33.0	3 2.7
	3級	80 100.0	16 20.0	14 17.5	13 16.3	3 3.8	5 6.3	19 23.8	33 41.3	4 5.0

上段:件数 下段:%		回答件数	会社や家族 などの自分 への理解	徐々に仕事 に慣れてい けるようス テップを踏 めること	職場に適切 な助言や指 導、配慮を してくれる 人がいるこ と	障がいや病 気に対する 理解や配慮	その他	特にない・ま だよくわか らない	無回答
全 体		264 100.0	43 16.3	36 13.6	63 23.9	85 32.2	15 5.7	28 10.6	33 12.5
精神 等障 がいの	1級	61 100.0	6 9.8	4 6.6	8 13.1	14 23.0	9 14.8	10 16.4	11 18.0
	2級	112 100.0	20 17.9	14 12.5	28 25.0	43 38.4	4 3.6	10 8.9	10 8.9
	3級	80 100.0	15 18.8	17 21.3	24 30.0	27 33.8	1 1.3	7 8.8	9 11.3

1位 2位 3位 の項目

【差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うこと】

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 55.3%と最も高く、次いで「地域に気軽に相談できるサポートセンター」が 29.2%、「情報提供の充実」が 24.6%と続いている。

《精神障がいの等級別》

精神障がいの等級別でみると、全ての等級で、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が最も高く 5 割以上を占めた。次点は、＜1 級＞では、「地域に気軽に相談できるサポートセンター」が 3 割強を占め、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 2 割半ばで続いた。＜2 級＞では、「具合が悪くなったときすぐいける病院など」が 3 割強を占め、「地域に気軽に相談できるサポートセンター」および「情報提供の充実」が同率 28.6%で続いた。＜3 級＞では、「地域に気軽に相談できるサポートセンター」が 3 割を占め、「情報提供の充実」が 3 割弱で続いた。

上段：件数 下段：%		回答件数	子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	情報提供の充実	障がいや病気への正しい理解の啓発	支援ボランティアの育成を進める	公共施設などの改善・整備を進める	障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める
全 体		264 100.0	52 19.7	29 11.0	65 24.6	146 55.3	14 5.3	30 11.4	25 9.5
精神 等障 がいの 等級	1 級	61 100.0	15 24.6	7 11.5	10 16.4	32 52.5	7 11.5	9 14.8	6 9.8
	2 級	112 100.0	20 17.9	15 13.4	32 28.6	59 52.7	3 2.7	11 9.8	10 8.9
	3 級	80 100.0	17 21.3	6 7.5	23 28.8	50 62.5	3 3.8	9 11.3	8 10.0
上段：件数 下段：%		回答件数	障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	地域に気軽に相談できるサポートセンター	具合が悪くなったときすぐいける病院など	その他	特になし	無回答	
全 体		264 100.0	37 14.0	77 29.2	62 23.5	12 4.5	18 6.8	23 8.7	
精神 等障 がいの 等級	1 級	61 100.0	9 14.8	19 31.1	10 16.4	3 4.9	7 11.5	7 11.5	
	2 級	112 100.0	18 16.1	32 28.6	34 30.4	4 3.6	5 4.5	8 7.1	
	3 級	80 100.0	9 11.3	24 30.0	16 20.0	4 5.0	5 6.3	7 8.8	

1位 2位 3位 の項目

【相談機能を充実させるために必要だと思うこと】

相談機能を充実させるために必要だと思うことについて、全体では、「身近な場所で相談できること」が 38.6%と最も高く、次いで「適切なアドバイスができる人材」が 33.0%、「わかりやすい情報の提供」が 29.9%と続いている。

《精神障がいの等級別》

精神障がいの等級別でみると、＜1級＞では、「身近な場所で相談できること」が最も高く 4 割弱を占め、＜2級＞では、「身近な場所で相談できること」および「プライバシーの配慮」が 4 割弱で同率 1 位となり、＜3級＞では、「身近な場所で相談できること」および「適切なアドバイスができる人材」が 4 割弱で同率 1 位となった。次点は、＜1級＞では、「適切なアドバイスができる人材」が 3 割半ばを占め、「わかりやすい情報の提供」が 2 割半ばで続いた。＜2級＞では、「適切なアドバイスができる人材」および「わかりやすい情報の提供」が 30.4%で同率 2 位となった。＜3級＞では、「わかりやすい情報の提供」が 3 割で続いた。

上段:件数 下段:%		回答件数	身近な場所 で相談できる こと	プライバシー の配慮	適切なアドバ イスができる 人材	電話やFA X、Eメールな どによりいつ でも相談でき ること	素早い対応 をしてくれる	わかりやす い情報の提 供	たらい回しに されない
全 体		264 100.0	102 38.6	78 29.5	87 33.0	26 9.8	44 16.7	79 29.9	46 17.4
精 神 等 障 が い の	1級	61 100.0	24 39.3	10 16.4	22 36.1	3 4.9	11 18.0	16 26.2	7 11.5
	2級	112 100.0	42 37.5	42 37.5	34 30.4	14 12.5	22 19.6	34 30.4	24 21.4
	3級	80 100.0	30 37.5	23 28.8	30 37.5	9 11.3	9 11.3	24 30.0	15 18.8
上段:件数 下段:%		回答件数	相談員の資 質向上	一か所で用 事が済む相 談窓口を設 置する	市や県、民 間相談機関 の連携	福祉・教育・ 就労などの 一貫した相 談支援体制 を充実	その他	無回答	
全 体		264 100.0	34 12.9	59 22.3	26 9.8	51 19.3	6 2.3	24 9.1	
精 神 等 障 が い の	1級	61 100.0	7 11.5	13 21.3	5 8.2	15 24.6	3 4.9	10 16.4	
	2級	112 100.0	13 11.6	24 21.4	10 8.9	15 13.4	3 2.7	6 5.4	
	3級	80 100.0	12 15.0	19 23.8	11 13.8	19 23.8	0 0.0	6 7.5	

1位 2位 3位 の項目

今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要がある
と思うこと】

今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると
思うことについて、全体では、「経済面での支援が受けられる」が 41.7%と最も高く、次いで「障がい
や病気について周囲の人の理解」が 34.5%、「安心して住めるところがある」が 22.0%と続いている。

《精神障がいの等級別》

精神障がいの等級別でみると、＜１級＞では、「安心して住めるところがある」が最も高く ２割半ば
を占め、＜２級＞＜３級＞では、「経済面での支援が受けられる」が ４割半ばから ５割強を占めて最も
高かった。次点は、＜１級＞では、「経済面での支援が受けられる」が ２割半ばを占め、「入所施設の整
備」が ２割強で続き、＜２級＞＜３級＞では、「障がいや病気について周囲の人の理解」が ３割強から ４
割強で続いた。なお、「経済面での支援が受けられる」「安心して住めるところがある」は、全ての等級
で ３位以内となり、比較的高い結果を示している。

上段:件数 下段:%	回答件数	在宅生活に おいて、介助 がいつでも受 けられる	通所施設の 整備	学校や就職 先が選択で きる	安心して住 めるところが ある	入所施設の 整備	経済面での 支援が受け られる	相談体制	早期発見や 予防につな がる機会の 確保	健康管理や 治療・リハビ リ	快適で安全 なまちづくり
全 体	264 100.0	46 17.4	30 11.4	37 14.0	58 22.0	34 12.9	110 41.7	54 20.5	14 5.3	30 11.4	30 11.4
精 神 障 が い の 等 級	1級	61 100.0	9 14.8	8 13.1	6 9.8	16 26.2	14 23.0	15 24.6	10 16.4	3 4.9	8 13.1
	2級	112 100.0	23 20.5	17 15.2	13 11.6	27 24.1	15 13.4	51 45.5	21 18.8	3 2.7	12 10.7
	3級	80 100.0	10 12.5	4 5.0	18 22.5	13 16.3	4 5.0	43 53.8	20 25.0	8 10.0	9 11.3

上段:件数 下段:%	回答件数	旅行や遊び のための外 出が気がね なく出来るこ と	障がいや病 気について 周囲の人の 理解	地域での交 流の機会	情報の公平 な伝達	契約行為や 財産など権 利が守られ ること	災害時の避 難支援	その他	特にな	無回答
全 体	264 100.0	16 6.1	91 34.5	6 2.3	16 6.1	10 3.8	18 6.8	10 3.8	11 4.2	25 9.5
精 神 障 が い の 等 級	1級	61 100.0	2 3.3	14 23.0	1 1.6	5 8.2	2 3.3	1 1.6	3 4.9	9 14.8
	2級	112 100.0	11 9.8	46 41.1	2 1.8	7 6.3	5 4.5	6 5.4	2 1.8	7 6.3
	3級	80 100.0	2 2.5	27 33.8	2 2.5	4 5.0	3 3.8	8 10.0	3 3.8	7 8.8

1位 2位 3位 の項目